

# 広島県子供の生活に関する実態調査

## 報告書

令和6年3月

広島県



# 目次

I 調査実施の概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 配布・回収状況	2
4 報告書の見方	3
5 回答者の基本属性等	3
II 調査結果の概要	9
1 保護者の生活状況	9
2 子供の生活状況	10
3 新型コロナウイルス感染症の影響	10
4 支援の利用状況や効果等	11
5 広島県の子供政策への希望	11
6 総括(求められる支援や今後の課題)	11
III 分析結果	13
1 保護者の生活状況	13
(1)経済的な状況、暮らしの状況	13
(2)就労の状況	29
(3)保育の状況	40
(4)子供との関わり方	46
(5)学校との関わり・参加	58
(6)進学期待・展望	64
(7)頼れる人の有無・相手	76
(8)保護者の心理的な状態	98
2 子供の生活状況	103
(1)学習の状況	103
(2)進学希望	123
(3)部活動等への参加状況	146
(4)日常的な生活の状況	153
(5)子供の心理的な状態	170
(6)逆境体験	179
(7)ヤングケアラーの実態	184
3 新型コロナウイルス感染症の影響	194
(1)保護者の状況	194
(2)子供の状況	198

4 支援の利用状況や効果等 .....	204
(1)保護者の状況.....	204
(2)子供の状況.....	213
5 広島県の子供政策への希望.....	232
(1)保護者の状況.....	232
(2)子供の状況.....	252
IV 参考資料.....	267
1 等価世帯収入の算出.....	267
2 調査票.....	269
(1)保護者票.....	269
(2)小学生票.....	285
(3)中学生票.....	300

## I 調査実施の概要

### 1 調査目的

広島県では、すべての子供たちが、夢や希望に向かってチャレンジできる県を目指し、現状を把握するとともに、新たな施策や現在取り組んでいる施策の強化の必要性等を確認するため、市町と連携して県内すべての地域の子供たちの生活実態を調査した。

### 2 調査設計

本調査は、県内の小学校・中学校（公立、私立、国立）に通う小学5年生及び中学2年生とその保護者を対象に、令和5年6～12月に実施した。

調査の実施主体は県であるが、次の6市町の市立・町立の小学校・中学校についてはそれぞれの市町が実施主体となっている。

広島市、呉市、三原市、福山市、安芸高田市、府中町

実施主体	調査の方法など
広島県	[抽出方法]県内市立・県立・私立・国立の小学5年生及び中学2年生より、各小学校・中学校にて原則として各1組を抽出 [配布・回収方法]小学校・中学校を通じて配布・回収（インターネット回答も可）
広島市	[抽出方法]市内在住の小学5年生・中学2年生を対象に無作為抽出 [配布・回収方法]郵送にて配布・回収
呉市	[抽出方法]市立小学5年生・中学2年生全員 [配布・回収方法]小学校・中学校を通じて配布・回収
三原市	[抽出方法]市立小学5年生・中学2年生全員 [配布・回収方法]小学校・中学校を通じて配布・回収（インターネット回答）
福山市	[抽出方法]市立小学5年生・中学2年生全員 [配布・回収方法]小学校・中学校を通じて配布・回収
安芸高田市	[抽出方法]市立小学5年生・中学2年生全員 [配布・回収方法]小学校・中学校を通じて配布・回収
府中町	[抽出方法]町立小学5年生・中学2年生全員 [配布・回収方法]小学校・中学校を通じて配布・回収

### 3 配布・回収状況

実施主体	調査対象区分		配布数 (票)	有効回収数 (票)	有効回答率 (%)
広島県	小学5年生	子 供	3,645	2,927	80.3
		保護者	3,645	2,957	81.1
	中学2年生	子 供	3,228	2,495	77.3
		保護者	3,228	2,500	77.4
広島市	小学5年生	子 供	4,000	1,411	35.3
		保護者	4,000	1,407	35.2
	中学2年生	子 供	4,000	1,292	32.3
		保護者	4,000	1,292	32.3
呉市	小学5年生	子 供	1,620	1,435	88.6
		保護者	1,620	1,430	88.3
	中学2年生	子 供	1,615	1,355	83.9
		保護者	1,615	1,355	83.9
三原市	小学5年生	子 供	727	650	89.4
		保護者	727	430	59.1
	中学2年生	子 供	683	488	71.4
		保護者	683	240	35.1
福山市	小学5年生	子 供	1,506	1,199	79.6
		保護者	1,506	1,207	80.1
	中学2年生	子 供	1,523	1,098	72.1
		保護者	1,523	1,102	72.4
安芸高田市	小学5年生	子 供	189	151	79.9
		保護者	189	154	81.5
	中学2年生	子 供	194	146	75.3
		保護者	194	146	75.3
府中町	小学5年生	子 供	572	500	87.4
		保護者	572	502	87.8
	中学2年生	子 供	396	290	73.2
		保護者	396	293	74.0
合計	小学5年生	子 供	12,259	8,273	67.5
		保護者	12,259	8,087	66.0
	中学2年生	子 供	11,639	7,164	61.6
		保護者	11,639	6,928	59.5

※広島県は上記のうち小学5年生子供(18.5%)、小学5年生保護者(20.5%)、中学2年生(26.1%)、  
中学2年生保護者(27.9%)がインターネットによる回答であった。

#### 4 報告書の見方

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 設問に応じ、単数回答、複数回答、数量回答、自由回答の別を示している。
- (3) 複数回答は回答の合計が調査数を上回ることがある。
- (4) 図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 数表、図表、文中に示すnは、回答総数を表している。
- (6) その他や自由意見については、読みやすさを考慮し文章の表現を一部変更し掲載している。
- (7) 本資料の「Ⅲ 分析結果」以降の集計については、自治体の回収率の違いを調整するため、特段記載のない限りは統計的な処理に基づく集計（ウエイト付き集計）となっている。
- (8) この調査は、内閣府の「令和3年 子供の生活状況調査の分析」と共通する調査項目については全体集計の比較を行っている。
- (9) クロス集計や平均値の比較に関してはカイ2乗検定やt検定、分散分析による検定を行っている。図表で示した内容のうち、5%水準で統計的に有意ではない結果については、注釈にてその旨を記載した（特段記載がない箇所は、5%水準で統計的に有意である結果である）。

#### 5 回答者の基本属性等

##### (1) 保護者の子供との続柄

保護者票問1. お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(単数回答)

	上段：(人) 下段：(%)					
	合計	母親	父親	祖父母	その他	無回答
小学5年生	8,087	7,187	780	34	18	68
	100.0	88.9	9.6	0.4	0.2	0.8
中学2年生	6,928	6,053	679	16	30	150
	100.0	87.4	9.8	0.2	0.4	2.2
国中学2年生	2,715	2,213	466	9	4	23
	100.0	81.5	17.2	0.3	0.1	0.8

※WB前の数値

(2) 保護者の年齢

保護者票問4. お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(数量回答)

		上段：(人) 下段：(%)					
		合計	3 9 歳 以下	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 歳 以上	無 回 答
小学5年生	母親	8,087	2,765	4,597	436	3	286
		100.0	34.2	56.8	5.4	0.0	3.5
小学5年生	父親	8,087	1,876	4,341	985	61	824
		100.0	23.2	53.7	12.2	0.8	10.2
中学2年生	母親	6,928	1,154	4,542	901	4	327
		100.0	16.7	65.6	13.0	0.1	4.7
中学2年生	父親	6,928	703	3,879	1,402	104	840
		100.0	10.1	56.0	20.2	1.5	12.1

※WB前の数値

(3) 保護者の居住地

保護者票問2. あなたがお住まいの市町を教えてください。(単数回答)

		上段：(人) 下段：(%)									
		合計	広島市	呉市	竹原市	三原市	尾道市	福山市	府中市	三次市	庄原市
小学5年生		8,087	1,562	1,398	108	451	458	1,227	124	159	149
		100.0	19.3	17.3	1.3	5.6	5.7	15.2	1.5	2.0	1.8
中学2年生		6,928	1,572	1,314	70	267	360	1,229	85	158	68
		100.0	22.7	19.0	1.0	3.9	5.2	17.7	1.2	2.3	1.0
小学5年生	大竹市	69	657	383	154	83	501	113	66	64	23
	東広島市	0.9	8.1	4.7	1.9	1.0	6.2	1.4	0.8	0.8	0.3
中学2年生	廿日市市	76	402	248	151	80	302	37	50	39	21
	安芸高田市	1.1	5.8	3.6	2.2	1.2	4.4	0.5	0.7	0.6	0.3
小学5年生	江田島市	112	29	69	46	4	78				
	府中町	1.4	0.4	0.9	0.6	0.0	1.0				
中学2年生	海田町	63	20	57	47	46	166				
	熊野町	0.9	0.3	0.8	0.7	0.7	2.4				
小学5年生	坂町										
	安芸太田町										
中学2年生	北広島町										
	大崎上島町										
小学5年生	世羅町										
	神石高原町										
中学2年生	広島県外										
	無回答										

※WB前の数値



(4) 同居家族の構成と人数

保護者票問3. お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(単数回答)

		上段：(人) 下段：(%)						
		合計	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
小学5年生	祖母	8,222	6,877	769	26			551
		100.0	83.6	9.4	0.3			6.7
	祖父	8,222	7,104	529	17			572
		100.0	86.4	6.4	0.2			7.0
	母親	8,222	111	8,087				25
		100.0	1.3	98.3				0.3
	父親	8,222	703	7,490				30
		100.0	8.5	91.1				0.4
姉・兄	8,222	3,632	3,081	946	126	31	407	
	100.0	44.2	37.5	11.5	1.5	0.4	4.9	
妹・弟	8,222	3,799	2,908	940	120	26	429	
	100.0	46.2	35.4	11.4	1.5	0.3	5.2	
その他	8,222	7,315	146	25	7	9	721	
	100.0	89.0	1.8	0.3	0.1	0.1	8.8	
中学2年生	祖母	7,061	5,668	733	20			640
		100.0	80.3	10.4	0.3			9.1
	祖父	7,061	5,905	479	9			667
		100.0	83.6	6.8	0.1			9.5
	母親	7,061	113	6,911				37
		100.0	1.6	97.9				0.5
	父親	7,061	689	6,325				46
		100.0	9.8	89.6				0.6
姉・兄	7,061	3,216	2,554	681	83	22	505	
	100.0	45.5	36.2	9.6	1.2	0.3	7.2	
妹・弟	7,061	3,115	2,478	772	129	38	529	
	100.0	44.1	35.1	10.9	1.8	0.5	7.5	
その他	7,061	6,110	88	17	4	21	822	
	100.0	86.5	1.2	0.2	0.1	0.3	11.6	

		上段：(人) 下段：(%)								
		合計	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	無回答
小学5年生	8,222	156	1,104	3,650	2,268	652	265	125	-	
	100.0	1.9	13.4	44.4	27.6	7.9	3.2	1.5	-	
中学2年生	7,061	198	1,036	3,084	1,899	555	194	94	-	
	100.0	2.8	14.7	43.7	26.9	7.9	2.7	1.3	-	
国中学2年生	2,715	107	513	1,177	602	192	73	17	34	
	100.0	3.9	18.9	43.4	22.2	7.1	2.7	0.6	1.3	

※国数値は単身赴任者を含まない人数となっている

保護者票問5. お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(複数回答)

	合計	上段：(人) 下段：(%)				
		単身赴任中の お子さんの 母親が	単身赴任中の お子さんの 父親が	その他	単身赴任中の 者は	無回答
小学5年生	8,222	4	467	97	7,511	144
	100.0	0.0	5.7	1.2	91.3	1.8
中学2年生	7,061	4	462	128	6,313	156
	100.0	0.1	6.5	1.8	89.4	2.2

(5) 保護者の婚姻の状況

保護者票問6. お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(単数回答)

	合計	上段：(人) 下段：(%)						
		結婚して いる(再婚 を含む)	離婚	死別	未婚	わからない	いない	無回答
小学5年生	8,222	7,396	687	36	43	9	16	36
	100.0	90.0	8.4	0.4	0.5	0.1	0.2	0.4
中学2年生	7,061	6,230	652	58	34	15	20	51
	100.0	88.2	9.2	0.8	0.5	0.2	0.3	0.7
国中学2年生	2,715	2,358	283	37	20	10		7
	100.0	86.9	10.4	1.4	0.7	0.4		0.3

※以下、保護者票問6で「離婚」「死別」「未婚」を合わせて「ひとり親世帯」と定義する

	合計	上段：(人) 下段：(%)		
		(回答者 世帯親)	(回答者 世帯親)	無回答
小学5年生	766	666	81	19
	100.0	86.9	10.6	2.5
中学2年生	744	645	82	17
	100.0	86.7	11.0	2.3
国中学2年生	340	293	37	10
	100.0	86.2	10.9	2.9

	合計	上段：(人) 下段：(%)			
		祖父母と同居	祖父母以外の者と同居	回答以外の同居なし(無回答を含む)	
小学5年生	全体	8,222	863	70	7,290
		100.0	10.5	0.8	88.7
	ふたり親世帯	7,396	664	38	6,695
	100.0	9.0	0.5	90.5	
	ひとり親世帯	766	192	25	548
	100.0	25.1	3.3	71.6	
中学2年生	全体	7,061	832	49	6,179
		100.0	11.8	0.7	87.5
	ふたり親世帯	6,230	627	36	5,568
	100.0	10.1	0.6	89.4	
	ひとり親世帯	744	186	5	553
	100.0	25.0	0.7	74.3	



上段：（人） 下段：（％）

	合計	はい それも 以上、 大学 また	た い は ず れ か が 、 大 学 ま	む そ の 他 （ 無 回 答 を 含
小学5年生	8,222	1,965	2,580	3,678
	100.0	23.9	31.4	44.7
中学2年生	7,061	1,498	2,180	3,383
	100.0	21.2	30.9	47.9
国中学2年生	2,715	442	788	1,485
	100.0	16.3	29.0	54.7

（8）子供の性別

子供票問1. あなたの性別を教えてください。（単数回答）

上段：（人） 下段：（％）

	合計	男	女	い そ の 他 ・ 答 え た く な	無 回 答
小学5年生	8,273	3,992	4,119	73	89
	100.0	48.3	49.8	0.9	1.1
中学2年生	7,164	3,416	3,519	132	97
	100.0	47.7	49.1	1.8	1.4
国中学2年生	2,715	1,300	1,362	33	20
	100.0	47.9	50.2	1.2	0.7

※WB前の数値

---

## II 調査結果の概要

---

### 1 保護者の生活状況

経済的な状況について、等価世帯収入の水準により分類したところ、「中央値の2分の1未満」に該当するのは小学5年生世帯で9.1%、中学2年生世帯で9.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは、小学5年生世帯で33.8%、中学2年生世帯で30.2%となっている。親の婚姻状況から世帯の状況を分類したところ、「ひとり親世帯」は小学5年生世帯で9.3%、中学2年生世帯で10.5%となっている。等価世帯収入の水準には、世帯の状況や就労状況等が影響しており、「ひとり親世帯」や正社員でない場合には等価世帯収入の水準が低くなる傾向がみられる。

現在の暮らしの状況について、「中央値の2分の1未満」の世帯や「ひとり親世帯」では『苦しい』との回答が約5～6割となっており、「中央値以上」や「ふたり親世帯」と比べて大きな差がみられる。また、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、食料や衣服を買えなかったことや公共料金の未払いになったことがある割合が高くなっており、収入の水準が最も低い「中央値の2分の1未満」の世帯では、食料や衣服を買えなかったことがある割合は4割以上となっている。

子供が進むと思う進学先については、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では『大学またはそれ以上』を希望する割合が低くなっている。親の最終学歴も関連しており、収入が低い世帯であっても、親が『大学またはそれ以上』の場合は子供の進学先も『大学またはそれ以上』の回答割合が高く、親が『大学またはそれ以上』でない場合は子供の進学先も『大学またはそれ以上』の回答割合が低くなっている。子供の進学先について、『高校まで』と考える理由として、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では『家庭の経済的な状況から考えて』と回答する割合が高くなっている。

子育てに関する相談で頼れる人が『いない』との回答は、特に中学2年生世帯では等価世帯収入の水準が低いほど高い傾向がある。頼れる人の有無別に生活満足度をみると、頼れる人がいないの方が低くなっている。

保護者の心理的な状態について、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、「うつ・不安障害相当」と考えられる割合は高くなっており、生活に対する満足度については低くなっている。

## 2 子供の生活状況

ふだんの勉強の仕方について、『塾で勉強する』が国と比較すると低く、1日あたりの勉強時間も国と比較すると短くなっている。等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、『塾で勉強する』の割合が低く、1日あたりの勉強時間も短くなっており、クラス内での成績も『下のほう』と回答する割合が高くなっている。学校の授業の理解度についても、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では『わからない』の回答が高くなっており、等価世帯収入の水準が高い世帯や「ふたり親世帯」に比べて、早い段階から授業がわからなくなる傾向がみられる。

進学希望について、『大学またはそれ以上』との回答が国と比べて低く、等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」ほど低くなっている。進学先について、『高校まで』と考える理由として、保護者の回答と異なり、『家にお金がないと思うから』の割合は低く、『とくに理由はない』と回答する割合が高くなっている。

部活動等への参加状況は、等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では『参加していない』の割合が高くなっている。

日常的な生活の状況について、等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、毎日朝食を食べている割合や平日同じ時間に寝ている割合が低くなっている。また、生活満足度について、等価世帯収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」のほうが低くなっている。

困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人について、『だれにも相談できない、相談したくない』の割合は、等価世帯収入の水準別で大きな差はみられない。相談できる人の有無別に生活満足度をみると、相談できる人がいない子供の方が低くなっている。

子供の心理的な状況について、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、「情緒の問題」のスコアが高く、「逆境体験」を経験している割合も高くなっている。

ヤングケアラーの実態について、言葉の認知度は収入の水準が低い世帯ほど低くなっている。ヤングケアラーにあてはまると思うかについて、『あてはまる』との回答は、収入や世帯の状況に関わらず1~2%程度となっているが、収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、『分からない』との回答が高くなっている。家族の世話の状況について、等価世帯収入の水準が低い世帯では、『世話をしている人はいない』の割合が低くなっている。「世話をしている人」の対象としては、『きょうだいの世話をしている』と回答した割合が高い傾向がみられる。

## 3 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症拡大前後の影響については、小学5年生世帯、中学2年生世帯ともに、感染症拡大前と拡大していた期間を比べ「生活に必要な支出の変化」が『増えた』と回答し、かつ拡大期間以降、現在までにも『増えた』と回答した割合が高くなっている。

子供への影響では、「家族で外食する回数」について、感染症拡大前と拡大期間を比べて『減った』と回答した割合が高く、このうち拡大期間と現在を比べると『増えた』と回答した割合が最も高くなっている一方、『減った』『変わらない』との回答も一定程度あった。「家族で家で過ごす時間」については、感染症拡大前と拡大期間を比べると、『増えた』と回答した割合が高く、このうち拡大期間と現在を比べると『増えた』と回答した割合が最も高くなっている。

#### 4 支援の利用状況や効果等

保護者の支援制度の利用状況について、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯や「ひとり親世帯」では、「就学援助」や「児童扶養手当」の利用は5～6割前後となっているが、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」の利用は1割未満となっている。

子供の居場所の利用状況について、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」は、約4割の子供が利用しており、国と比較して高くなっている。「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」「勉強を無料でみえてくれる場所」「何でも相談できる場所」については、利用している子供は1割未満であるが、『あれば利用したいと思う』は2～4割となっている。利用による変化として、小学5年生では約8割に何らかの良い変化があり、『友だちが増えた』が最も多くなっており、中学2年生では約6割に何らかの良い変化があり、『勉強する時間が増えた』が最も高くなっている。

#### 5 広島県の子供政策への希望

広島県の子供に関する取組で特に力を入れてほしいと思うことについて、保護者・子供のいずれについても『小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける』が最も高くなっており、選んだ理由としては、塾に行かなくても学校で必要な学力が身につけられるようにしてほしいといった意見のほか、コミュニケーションや体験、パソコンやプログラミング、税金等のお金のことなど、勉強以外の将来社会で役に立つことをもっと学びたいという意見が多くみられる。収入の水準が低い世帯や「ひとり親世帯」では、『ひとり親の子どもやその家族への支援』が高くなっており、養育費を取り決めても支払われない、働くほど損になってしまうので手当の所得制限を見直してほしい、子供が中高生になってからがとくに厳しいといった金銭面での意見が多くみられる。

#### 6 総括（求められる支援や今後の課題）

本調査においては、保護者の経済状況や世帯状況により生活実態をみてきたが、等価世帯収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、成績を『下のほう』と回答する割合が高い、学校の授業の理解度について『わからない』の回答が高い、大学への進学希望者が少ないなどの傾向があり、保護者の経済状況が子供の学習状況に影響を与えていることが明らかとなった。

全国との比較では、広島県では、全国平均と比べて、塾で勉強する子供が少なく、学校外の勉強時間が短く、将来の進学先について『まだわからない』と回答した割合が高くなっていた。

広島県の子供に関する取組で特に力を入れてほしいと思うことについては、保護者・子供のいずれについても「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が最も高く、学校教育に一層力を入れていくことが求められている。また、ICT等の技術の発展など、社会環境が目まぐるしく変わっていく中、子供たちが将来社会に出た時に本当に役に立つ知識や能力を身につけられるような学習内容としていくことが期待される。

保護者の経済状況は、子供の生活習慣や心理的側面にも影響があることが明らかとなった。

また、経済状況に関わらず、困っているときに相談できる人がいない子供や、子育てに関する相談で頼れる人がいない保護者が一定程度存在し、相談できる人（頼れる人）がいない場合は、相談できる人（頼れる人）がいる場合に比べて、生活満足度が低いことが明らかとなった。

子供の居場所について、利用状況は様々であるが、いずれも「あれば利用したいと思う」との回答が2～4割あり、実際に利用した小学5年生では約8割、中学2年生では約6割に何らかの良い変化がみられている。

近年、子供の貧困を始めとし、いじめ・不登校・虐待・障害・ヤングケアラーなど、子供や子育て世帯を取り巻く環境においては様々な課題が顕在化してきており、個人が抱える課題も複雑化している。子供や子育てを行う保護者が課題を抱え込んで孤独になってしまわないように、相談しやすい体制・環境づくりや、ほっとできる時間が提供できるような多様な居場所づくりを進めていく必要がある。



### Ⅲ 分析結果

#### 1 保護者の生活状況

##### (1) 経済的な状況、暮らしの状況

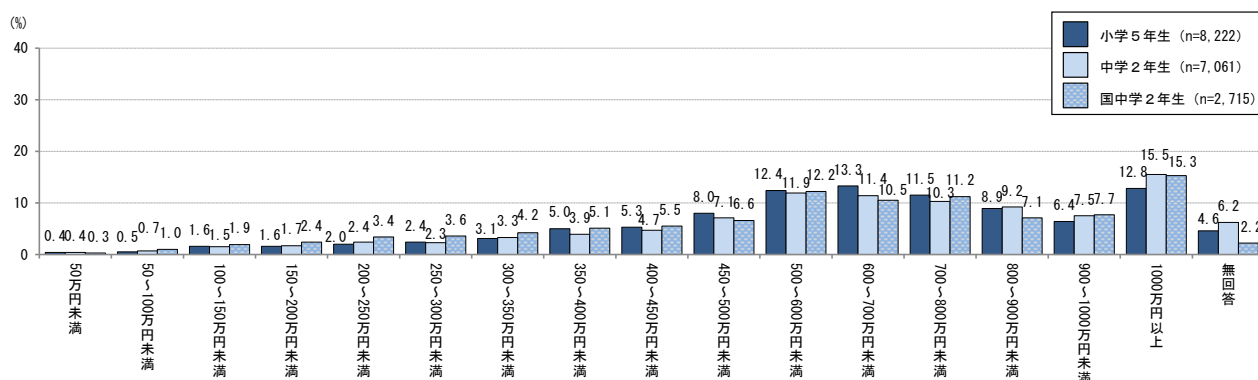
保護者票問 20. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(単数回答)

#### 【全体】

※2022年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）



世帯全体の年間収入について、小学5年生の保護者では、「600～700万円未満」が13.3%と最も高く、次いで、「1000万円以上」(12.8%)、「500～600万円未満」(12.4%)などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「1000万円以上」が15.5%と最も高く、次いで、「500～600万円未満」(11.9%)、「600～700万円未満」(11.4%)などの順となっている。

## 1 保護者の生活状況

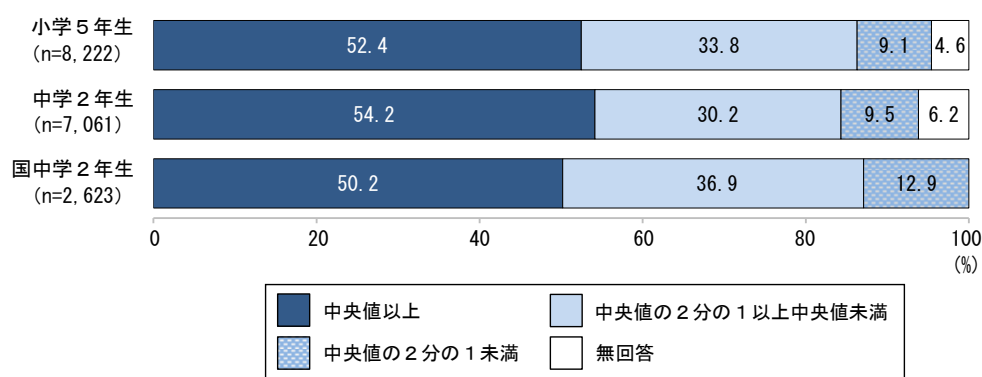
### (1) 経済的な状況、暮らしの状況

本資料においては、世帯の年間収入の水準について、「子供と同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行う。

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする）。

○上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

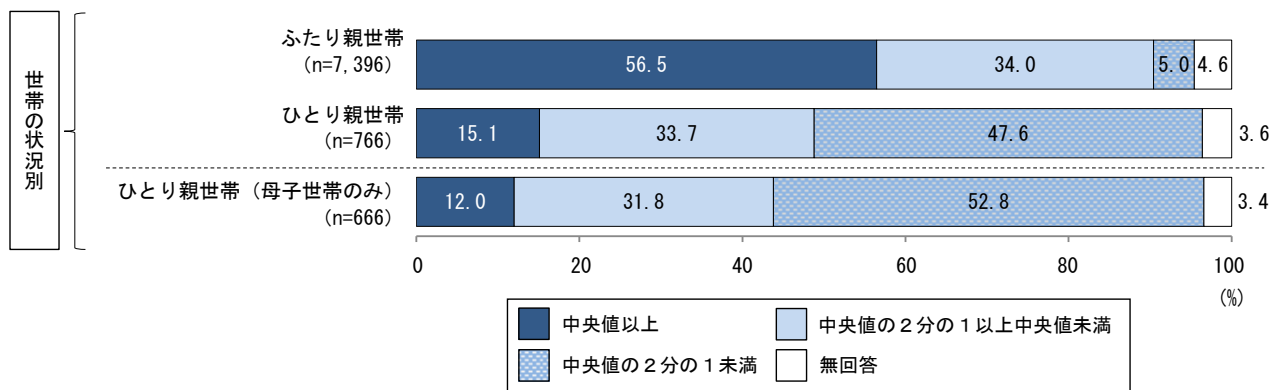


等価世帯収入の水準について、小学5年生の保護者では、「中央値以上」が52.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が33.8%、「中央値の2分の1未満」が9.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「中央値以上」が54.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が30.2%、「中央値の2分の1未満」が9.5%となっている。国と比較すると、「中央値の2分の1未満」は大きな差はみられない。

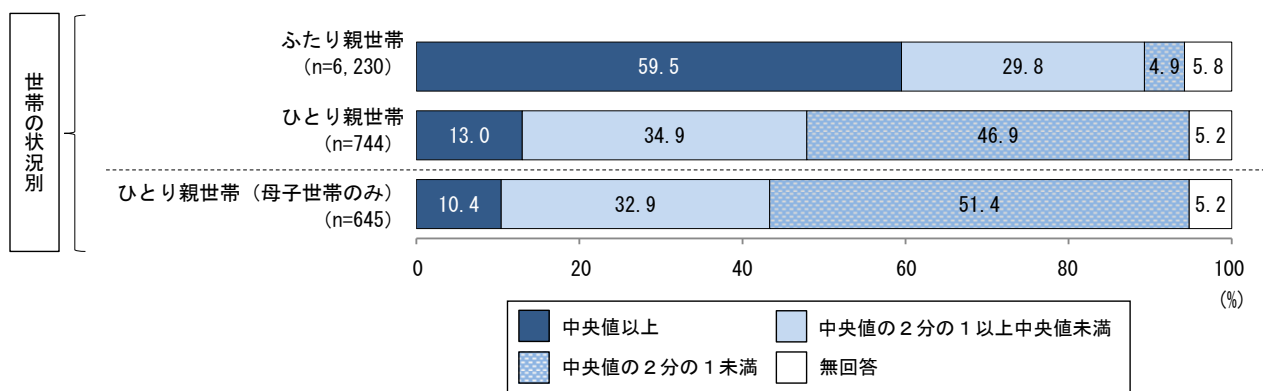
本報告書では、特に「中央値の2分の1未満」に該当する世帯を、「貧困」の課題を抱えている世帯であると考え、集計・分析を行った。また、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当する世帯も「貧困」の課題を抱えるリスクが高い世帯であると考え、回答傾向の把握を行った。

【世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



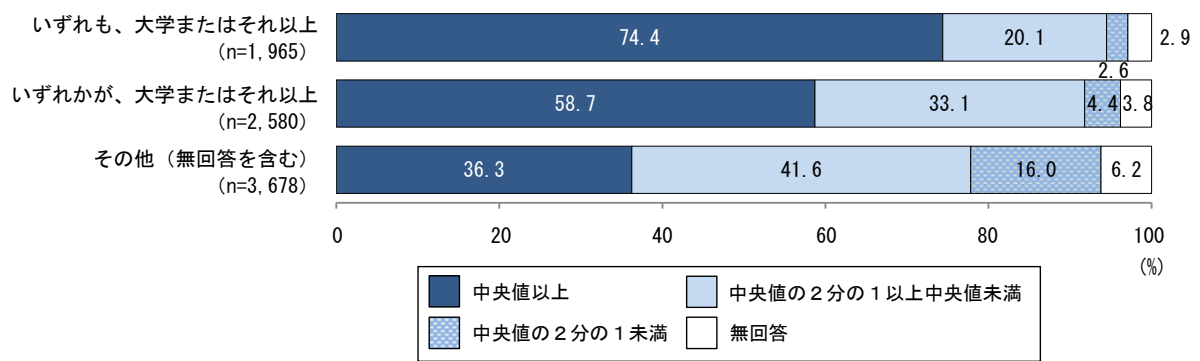
世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では5.0%、「ひとり親世帯全体」では47.6%、「母子世帯のみ」では52.8%となっている。

【世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



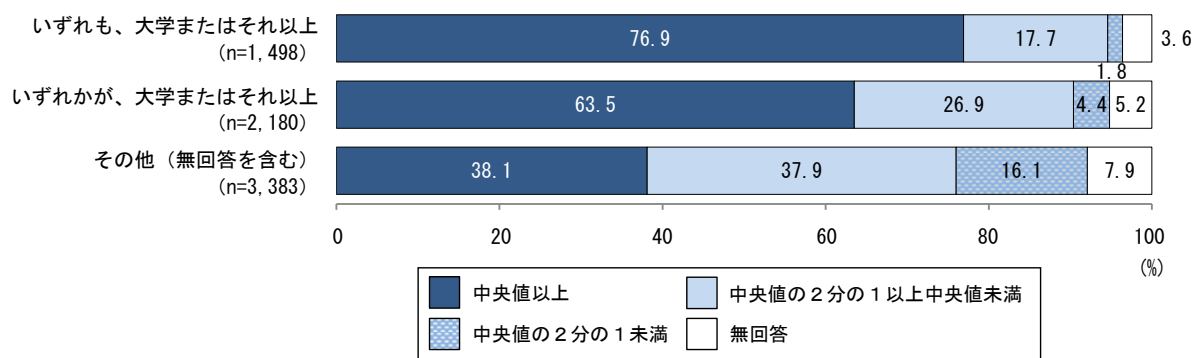
世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では4.9%、「ひとり親世帯全体」では46.9%、「母子世帯のみ」では51.4%となっている。

【親の学歴状況別\_小学5年生の保護者】



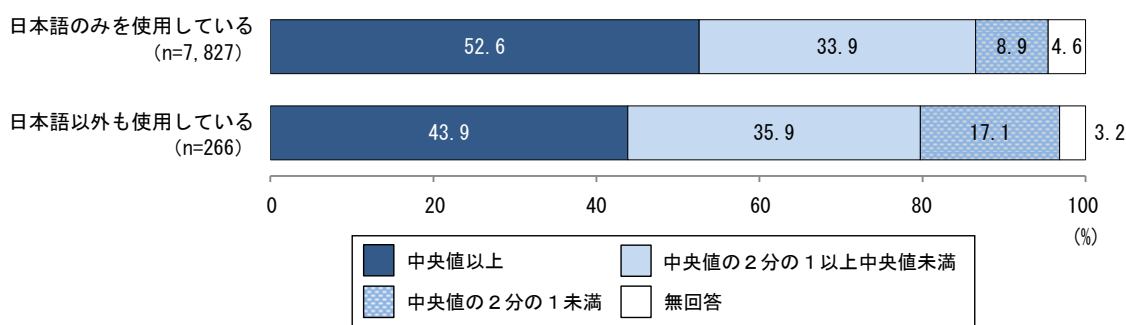
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では2.6%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では4.4%、「その他 (無回答を含む)」では16.0%となっている。

【親の学歴状況別\_中学2年生の保護者】



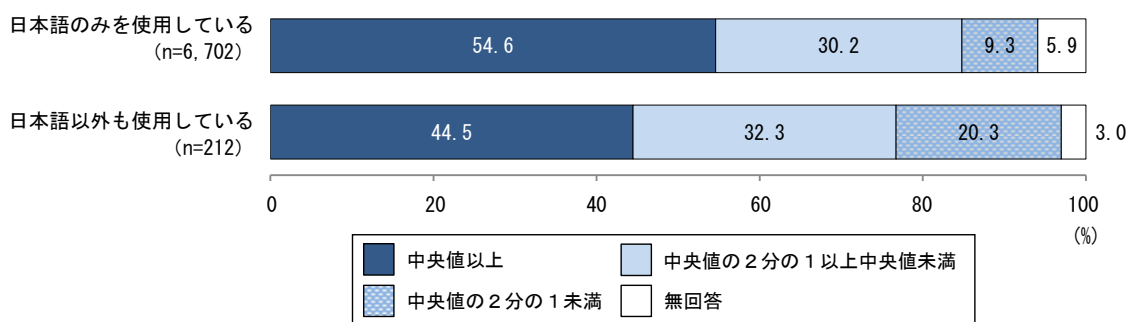
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では1.8%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では4.4%、「その他 (無回答を含む)」では16.1%となっている。

## 【日本語以外の言語使用状況別\_小学5年生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、『日本語以外も使用している（「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」と「日本語以外の言語を使うことが多い」を合わせた割合）』（17.1%）が「日本語のみを使用している」（8.9%）を8.2ポイント上回っている。

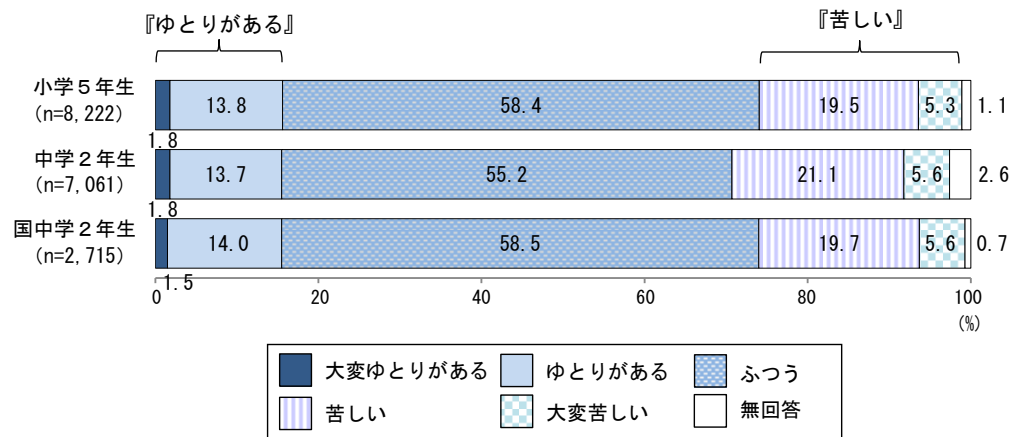
## 【日本語以外の言語使用状況別\_中学2年生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、『日本語以外も使用している』（20.3%）が「日本語のみを使用している」（9.3%）を11.0ポイント上回っている。

保護者票問 19. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単数回答)

【全体】

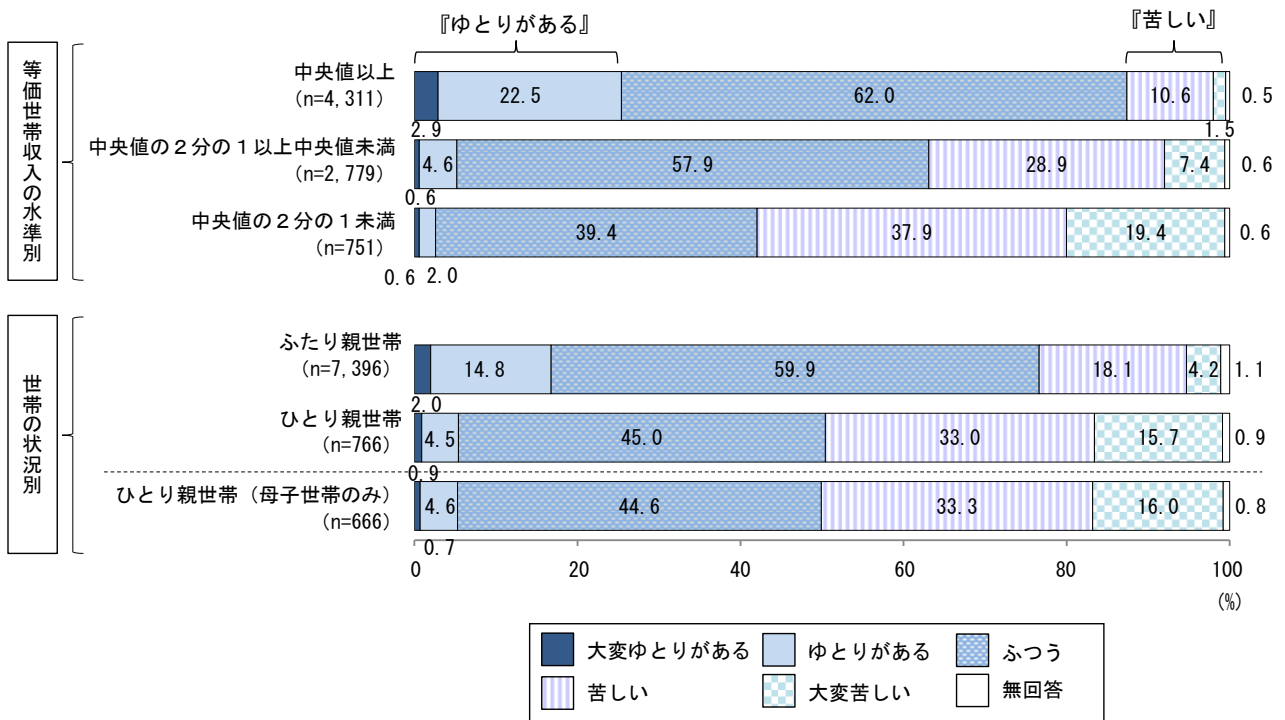


暮らしの状況について、小学5年生の保護者では、『ゆとりがある（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた割合）が15.6%、「ふつう」が58.4%、『苦しい（「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合）が24.8%となっている。

中学2年生の保護者では、『ゆとりがある』が15.5%、「ふつう」が55.2%、『苦しい』が26.7%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 19. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】

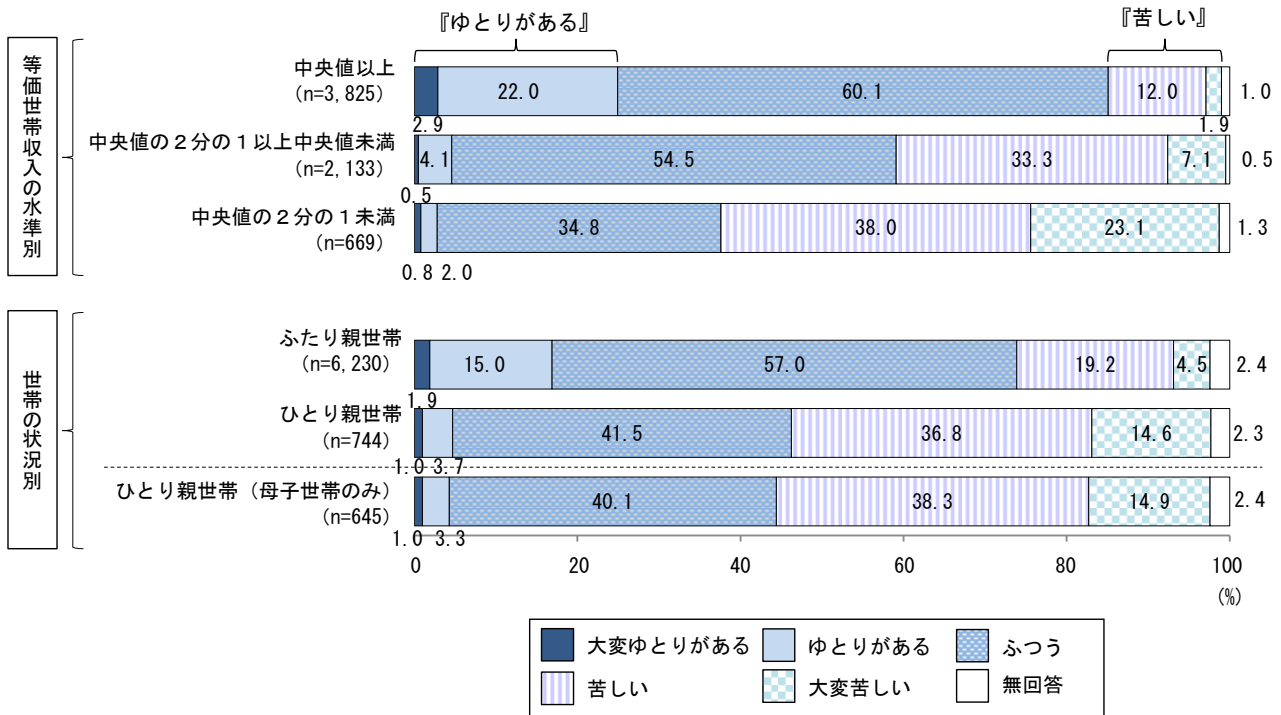


等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では12.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では36.3%、「中央値の2分の1未満」では57.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では22.3%、「ひとり親世帯全体」では48.7%、「母子世帯のみ」では49.3%となっている。

保護者票問 19. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



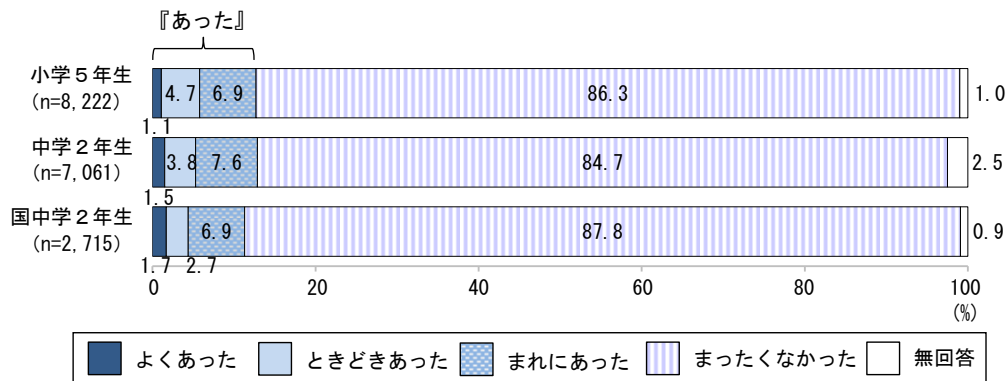
等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では13.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では40.4%、「中央値の2分の1未満」では61.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では23.7%、「ひとり親世帯全体」では51.4%、「母子世帯のみ」では53.2%となっている。



保護者票問 21. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(単数回答)

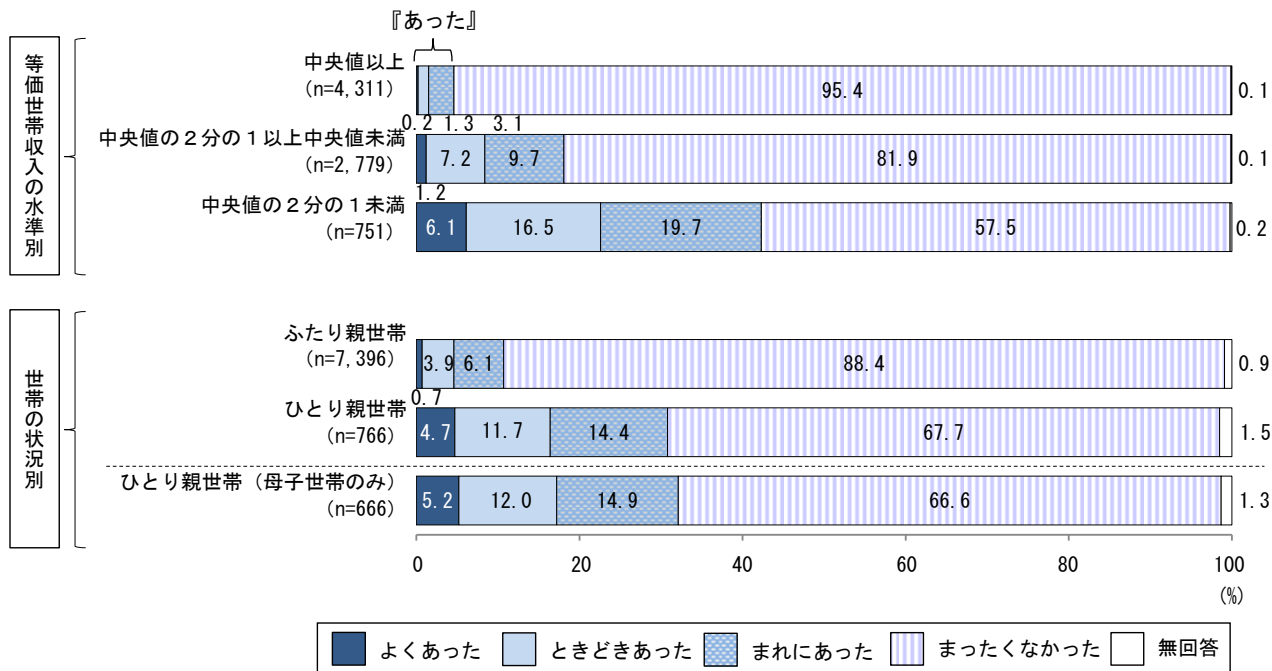
【全体】



食料が買えなかった経験について、小学5年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が12.7%、「まったくなかった」が86.3%となっている。

中学2年生の保護者では、『あった』が12.9%、「まったくなかった」が84.7%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】

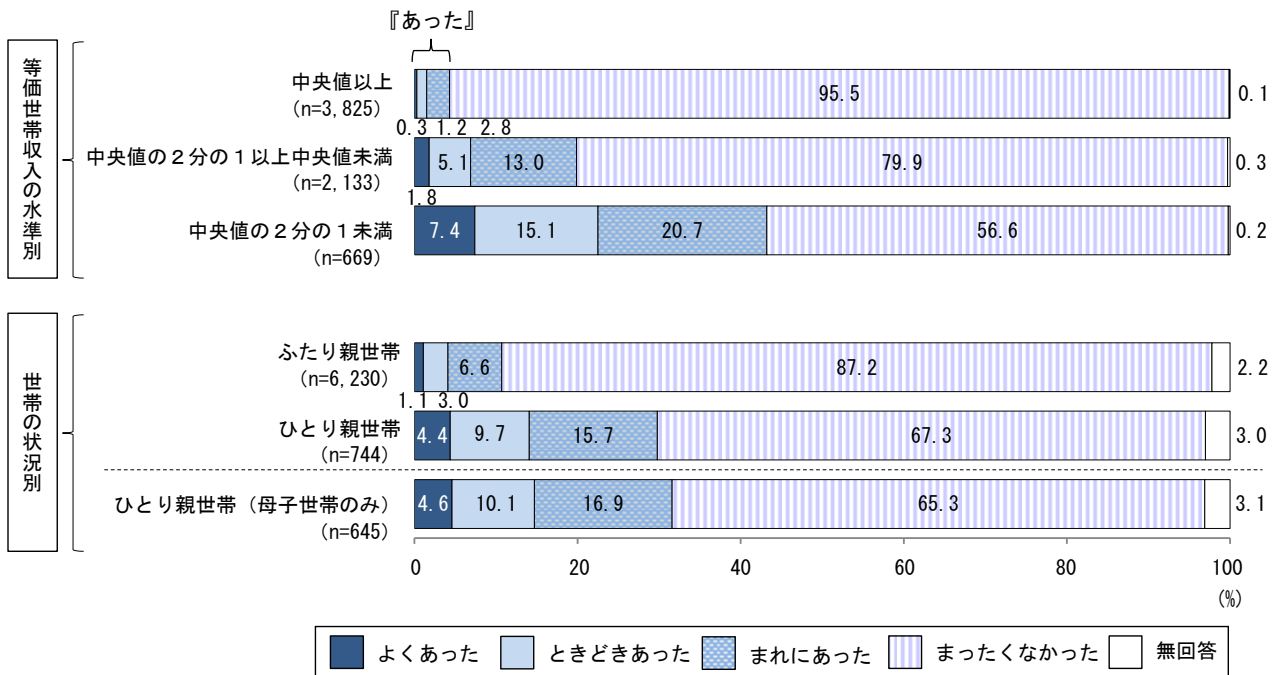


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では4.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では18.1%、「中央値の2分の1未満」では42.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では10.7%、「ひとり親世帯全体」では30.8%、「母子世帯のみ」では32.1%となっている。

保護者票問 21. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学 2 年生の保護者】

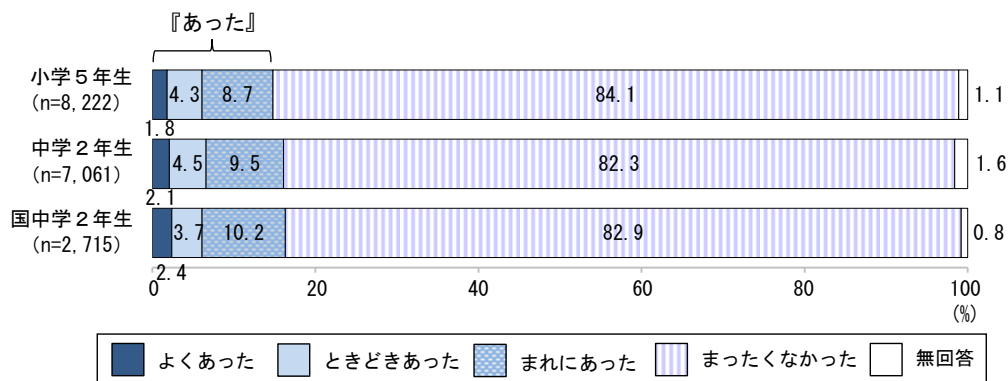


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 4.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 19.9%、「中央値の2分の1未満」では 43.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 10.7%、「ひとり親世帯全体」では 29.8%、「母子世帯のみ」では 31.6%となっている。

保護者票問 22. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(単数回答)

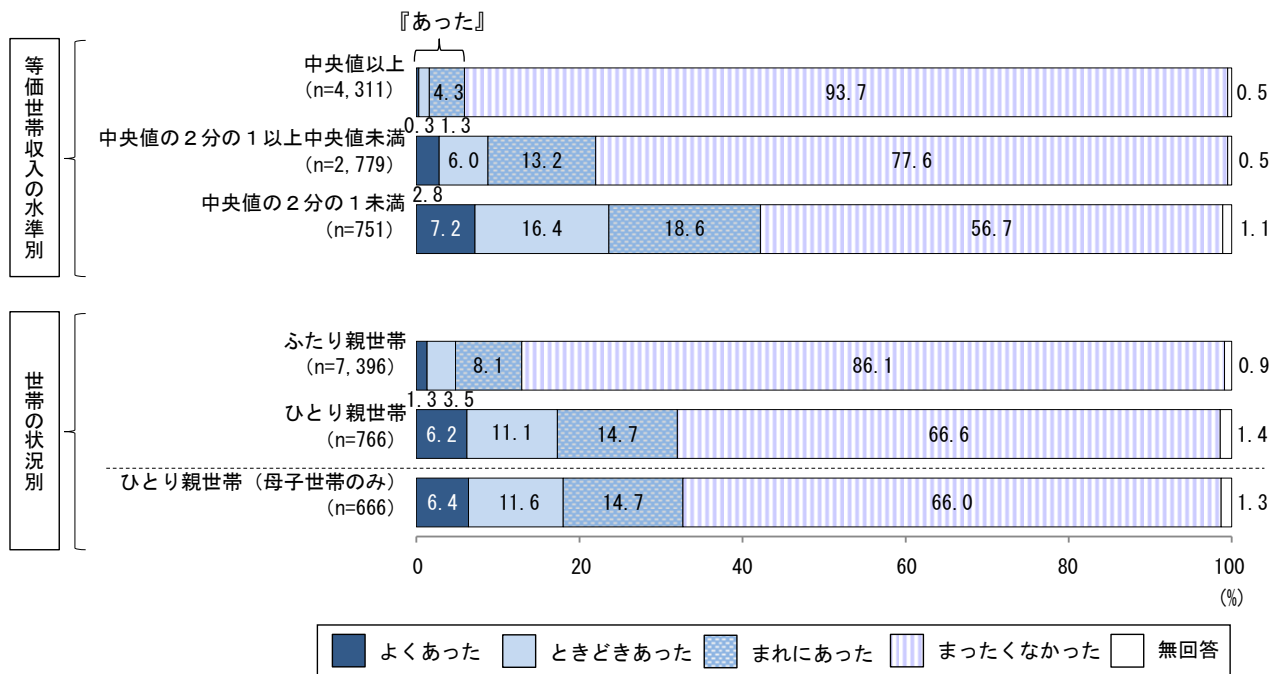
【全体】



衣服が買えなかった経験について、小学5年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が14.8%、「まったくなかった」が84.1%となっている。

中学2年生の保護者では、『あった』が16.1%、「まったくなかった」が82.3%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

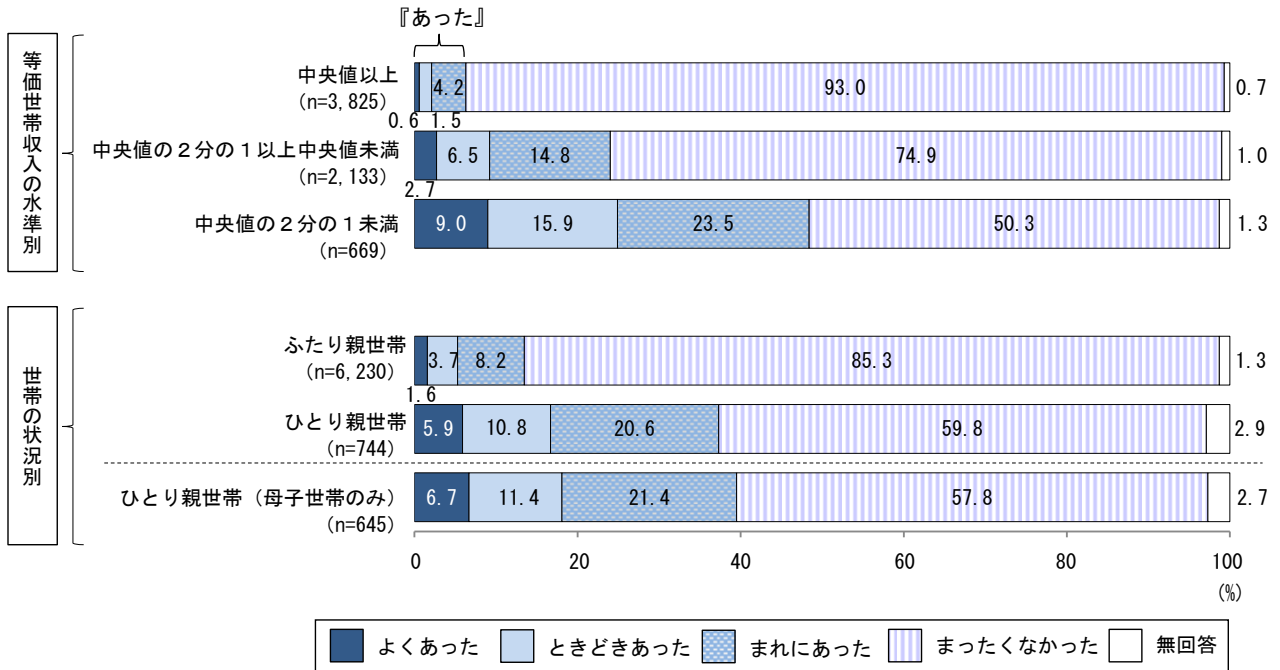
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では5.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.0%、「中央値の2分の1未満」では42.2%となっている。世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では12.9%、「ひとり親世帯全体」では32.0%、「母子世帯のみ」では32.7%となっている。

保護者票問 22. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学 2 年生の保護者】

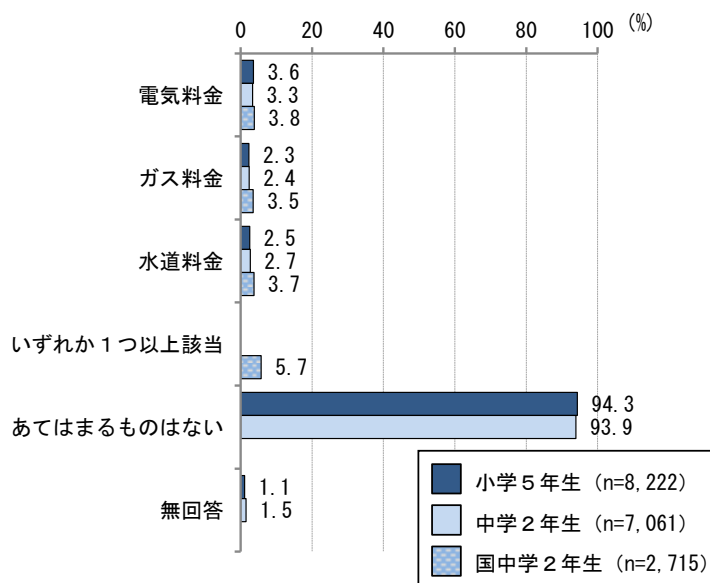


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 6.3%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」では 24.0%、「中央値の 2 分の 1 未満」では 48.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 13.5%、「ひとり親世帯全体」では 37.3%、「母子世帯のみ」では 39.5%となっている。

保護者票問 23. あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(複数回答)

【全体】

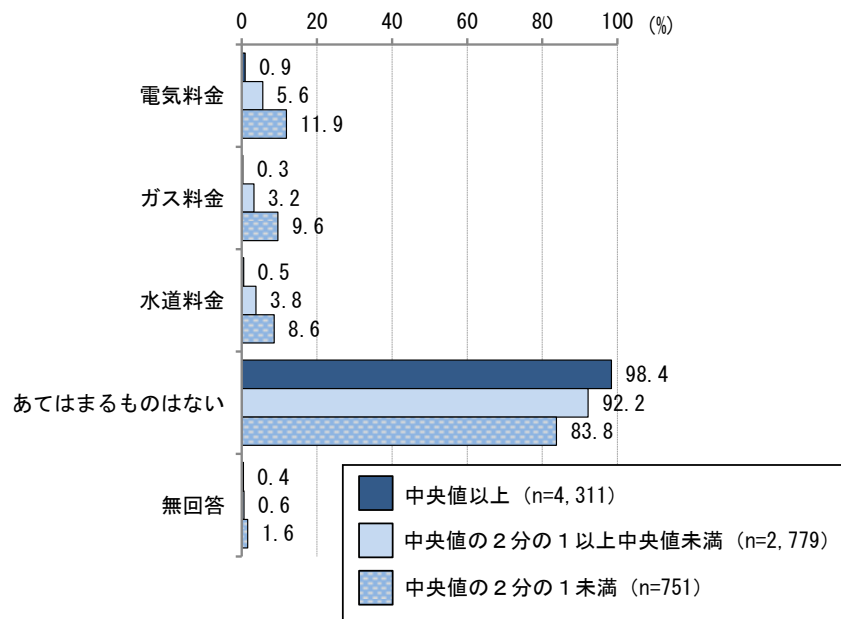


過去1年間に、「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」について経済的な理由で未払いになったことがあったかについて、小学5年生の保護者では、それぞれ3.6%、2.3%、2.5%となっている。

中学2年生の保護者では、それぞれ3.3%、2.4%、2.7%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

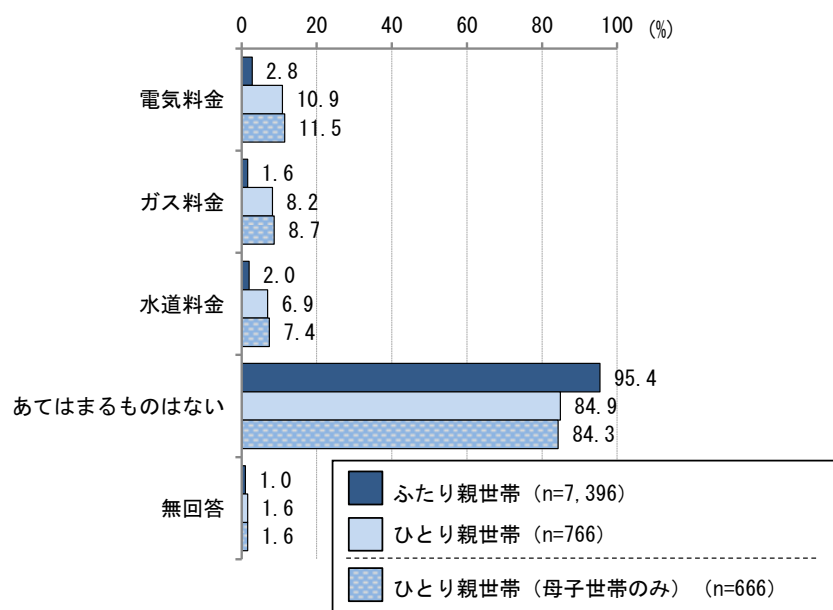
保護者票問 23. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別\_小学 5 年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」では、「電気料金」(11.9%)、「ガス料金」(9.6%)、「水道料金」(8.6%)となっている。

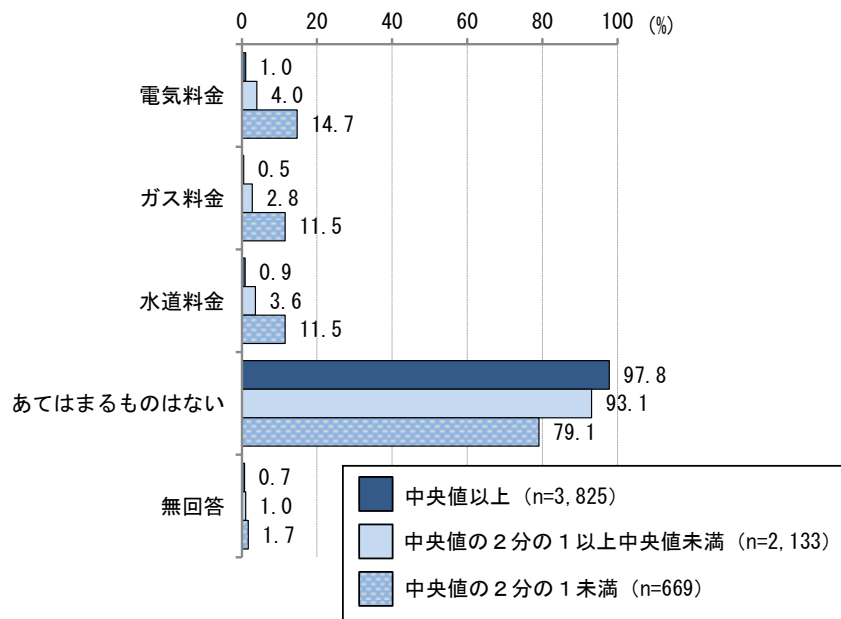
【世帯の状況別\_小学 5 年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「電気料金」(10.9%)、「ガス料金」(8.2%)、「水道料金」(6.9%)となっている。

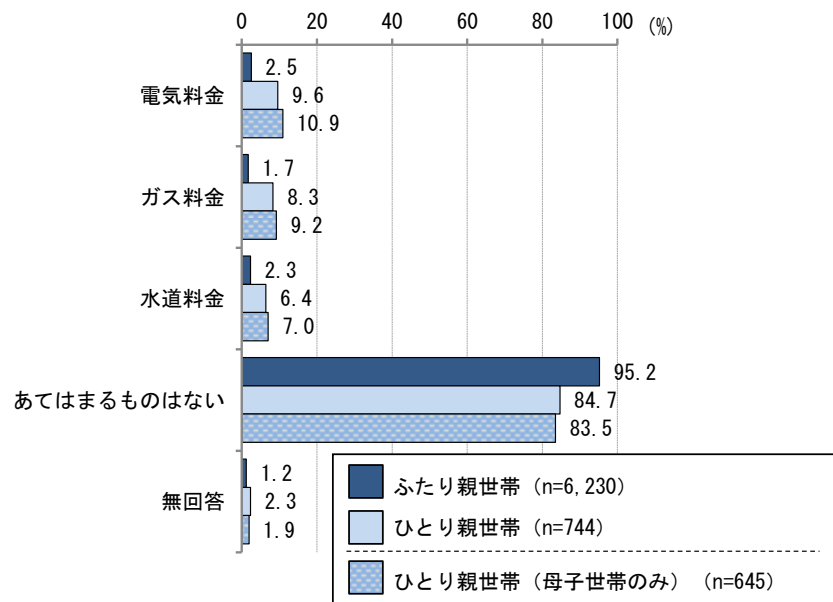
保護者票問 23. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別\_中学 2 年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」では、「電気料金」(14.7%)、「ガス料金」(11.5%)、「水道料金」(11.5%) となっている。

【世帯の状況別\_中学 2 年生の保護者】

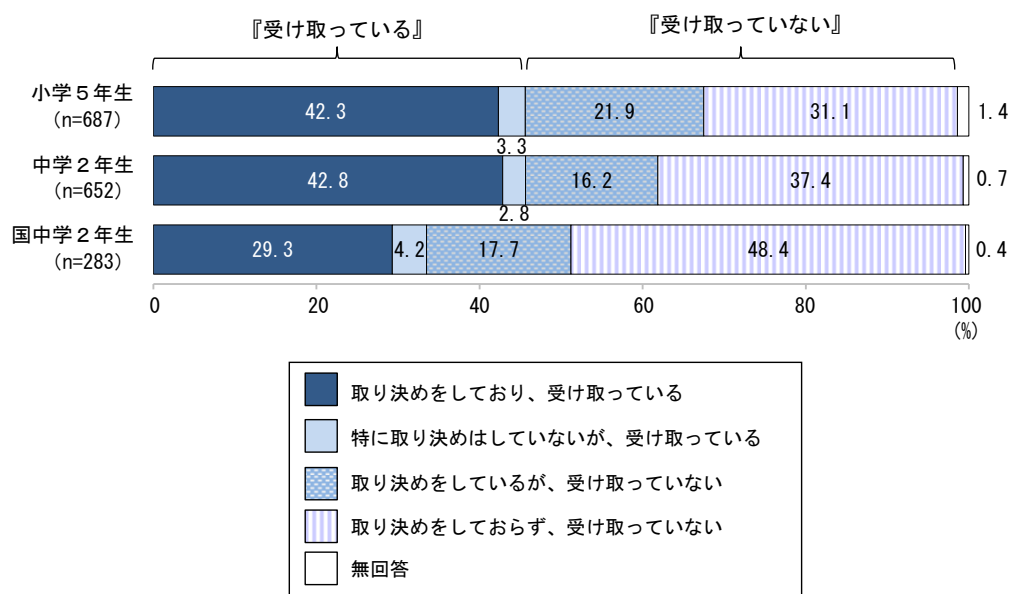


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「電気料金」(9.6%)、「ガス料金」(8.3%)、「水道料金」(6.4%) となっている。

## ※問6で「2 離婚」を選んだ方に

保護者票問7. 離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(単数回答)

## 【全体】



養育費の取り決めについて、小学5年生の保護者では、『受け取っている（「取り決めをしており、養育費を受け取っている」と「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」を合わせた割合）』が45.6%、『受け取っていない（「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」と「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた割合）』が53.0%となっている。

中学2年生の保護者では、『受け取っている』が45.6%、『受け取っていない』が53.6%となっている。国と比較すると、『受け取っていない』は広島県（53.6%）が国（66.1%）を12.5ポイント下回っている。

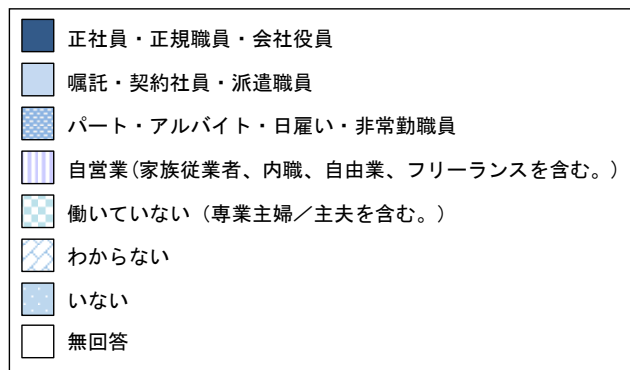
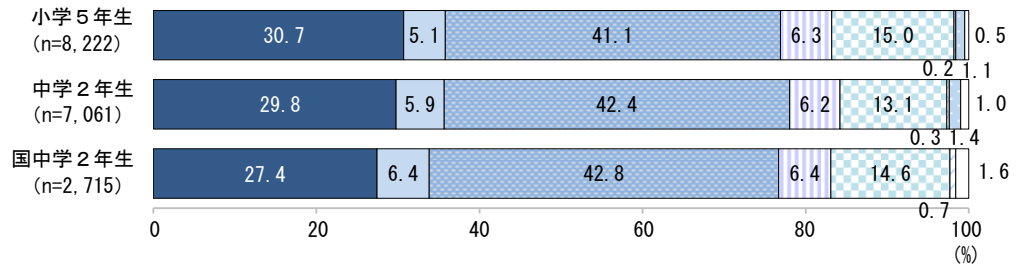


(2) 就労の状況

**保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(単数回答)**

= 母親の就労状況 =

【全体】



※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

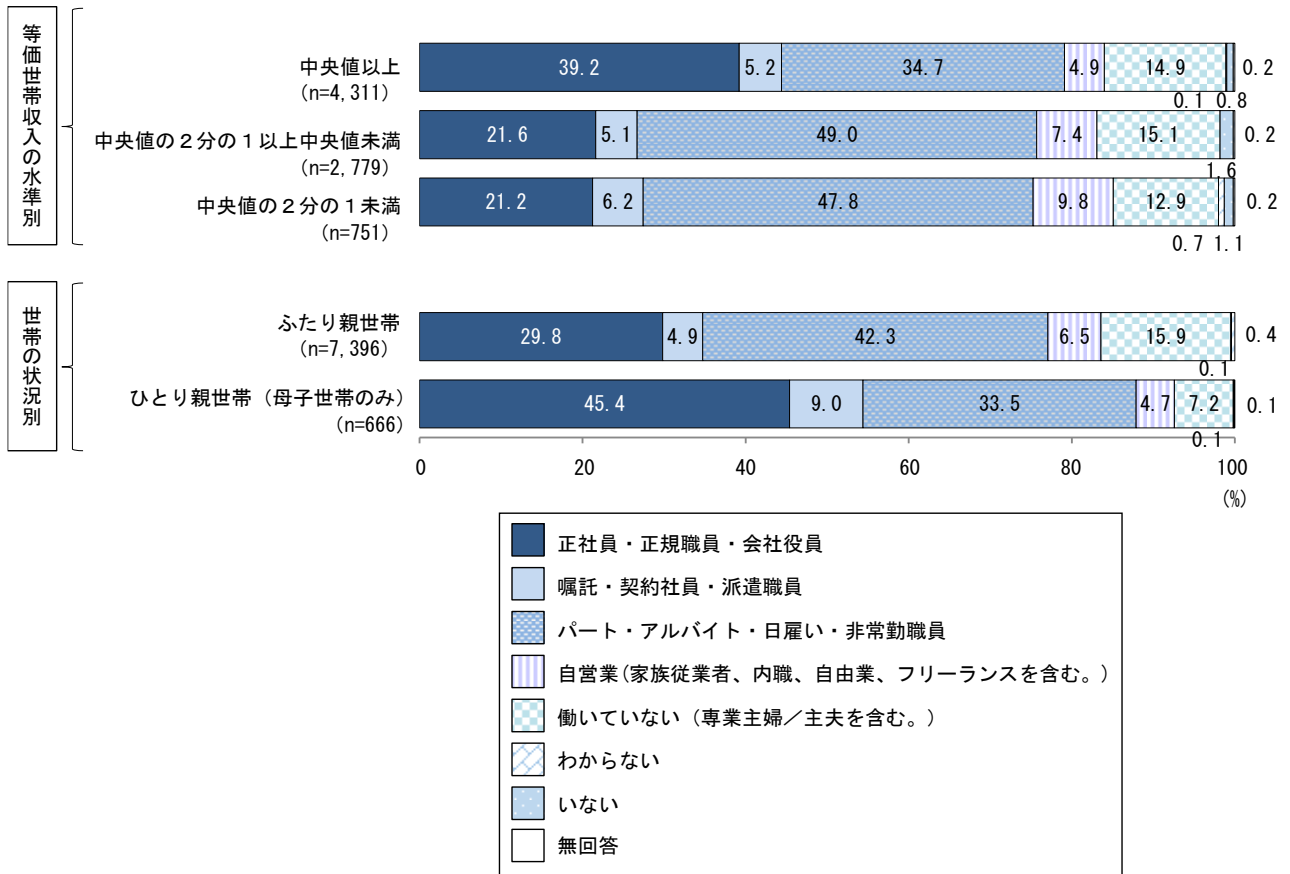
母親の就労状況について、小学5年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が41.1%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が30.7%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む。)」が15.0%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が42.4%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が29.8%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む。)」が13.1%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(単数回答)

= 母親の就労状況 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



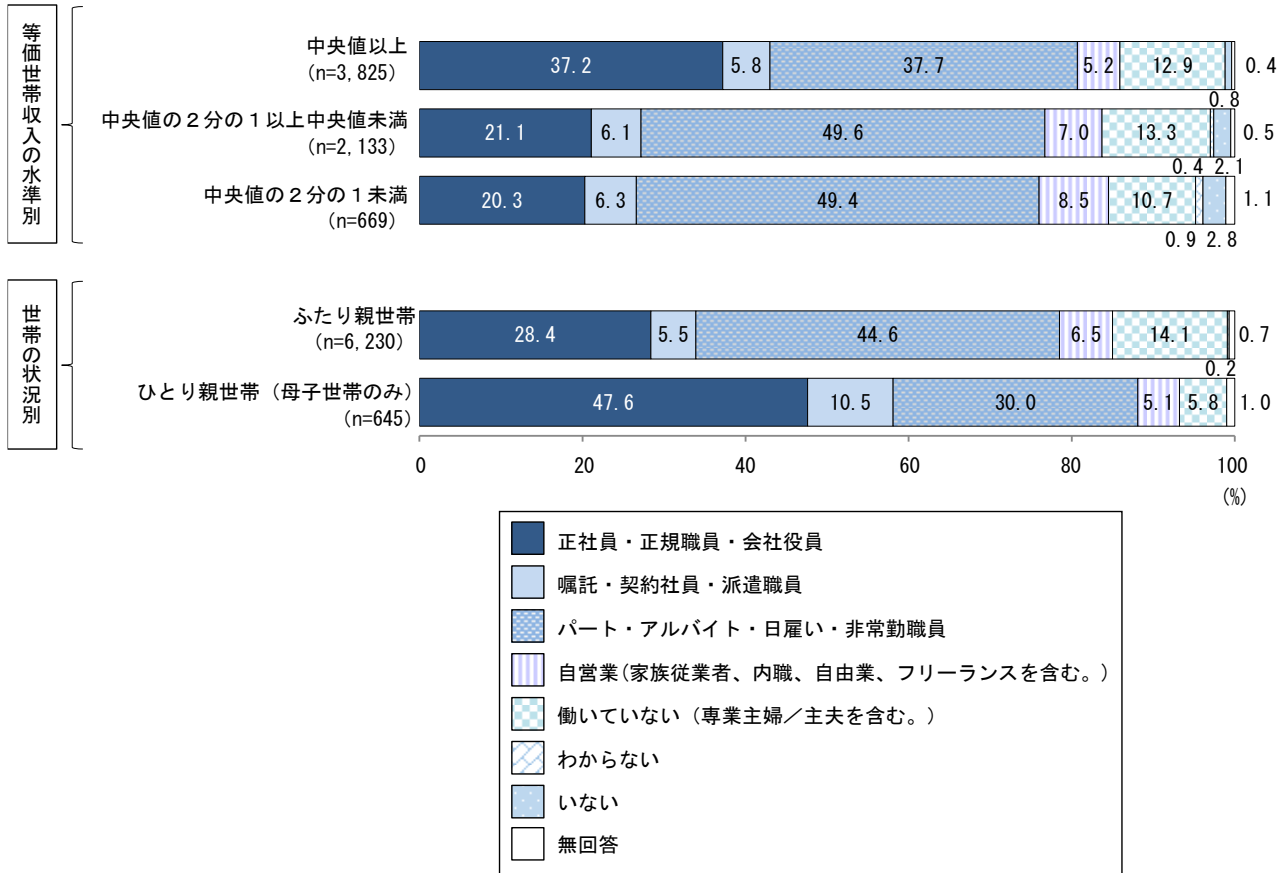
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が47.8%となっている。また、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では39.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では21.6%、「中央値の2分の1未満」では21.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が42.3%、「母子世帯」では「正社員・正規職員・会社役員」が45.4%と最も高くなっている。

保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(単数回答)

= 母親の就労状況 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



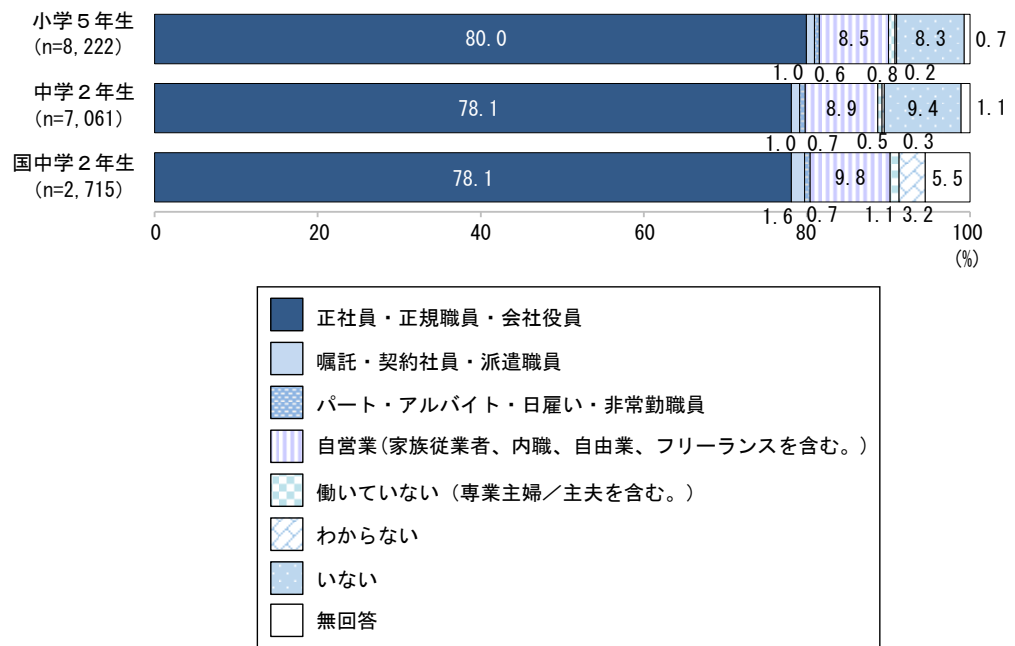
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が49.4%となっている。また、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では37.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では21.1%、「中央値の2分の1未満」では20.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が44.6%、「母子世帯」では「正社員・正規職員・会社役員」が47.6%と最も高くなっている。

保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(単数回答)

= 父親の就労状況 =

【全体】



※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

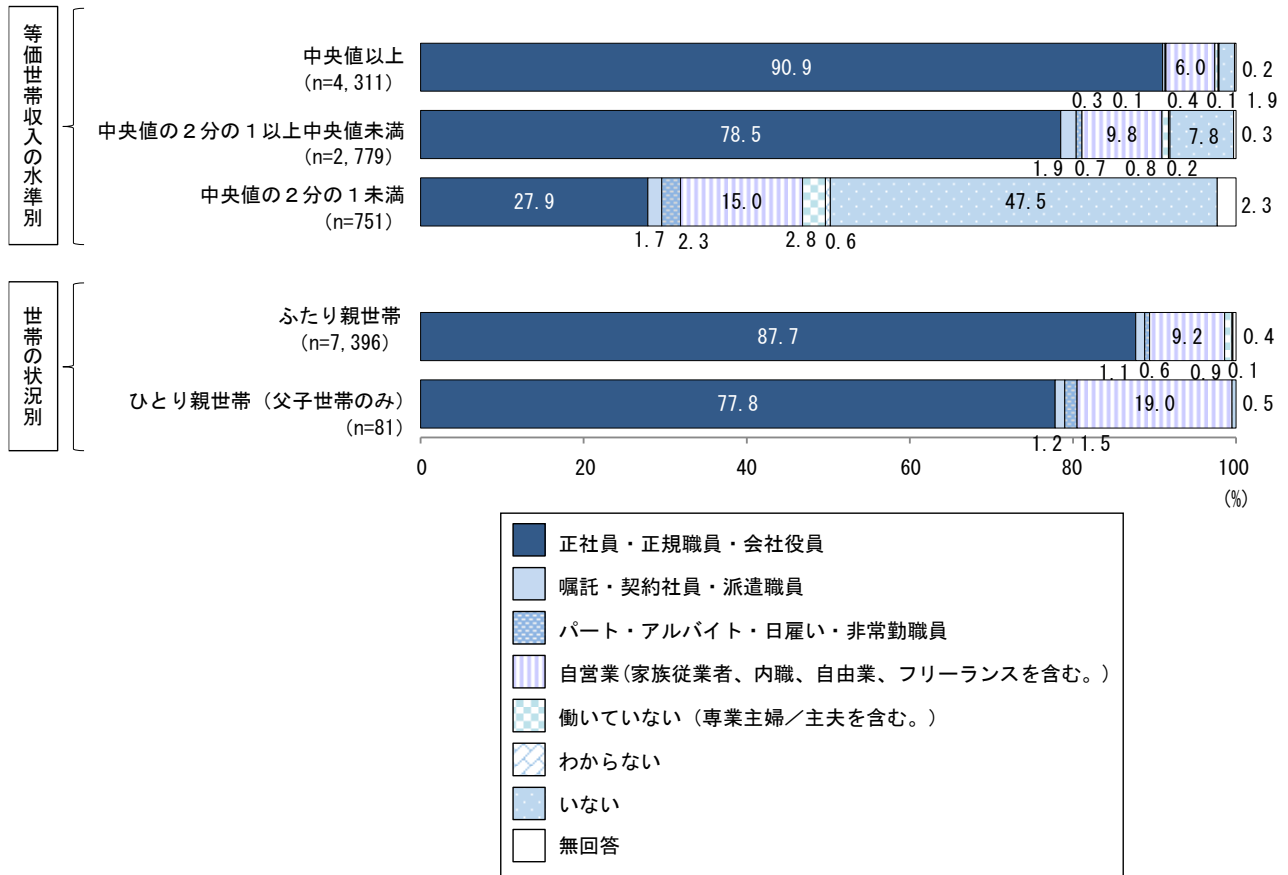
父親の就労状況について、小学5年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が80.0%と最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が8.5%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が78.1%と最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が8.9%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(単数回答)

= 父親の就労状況 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



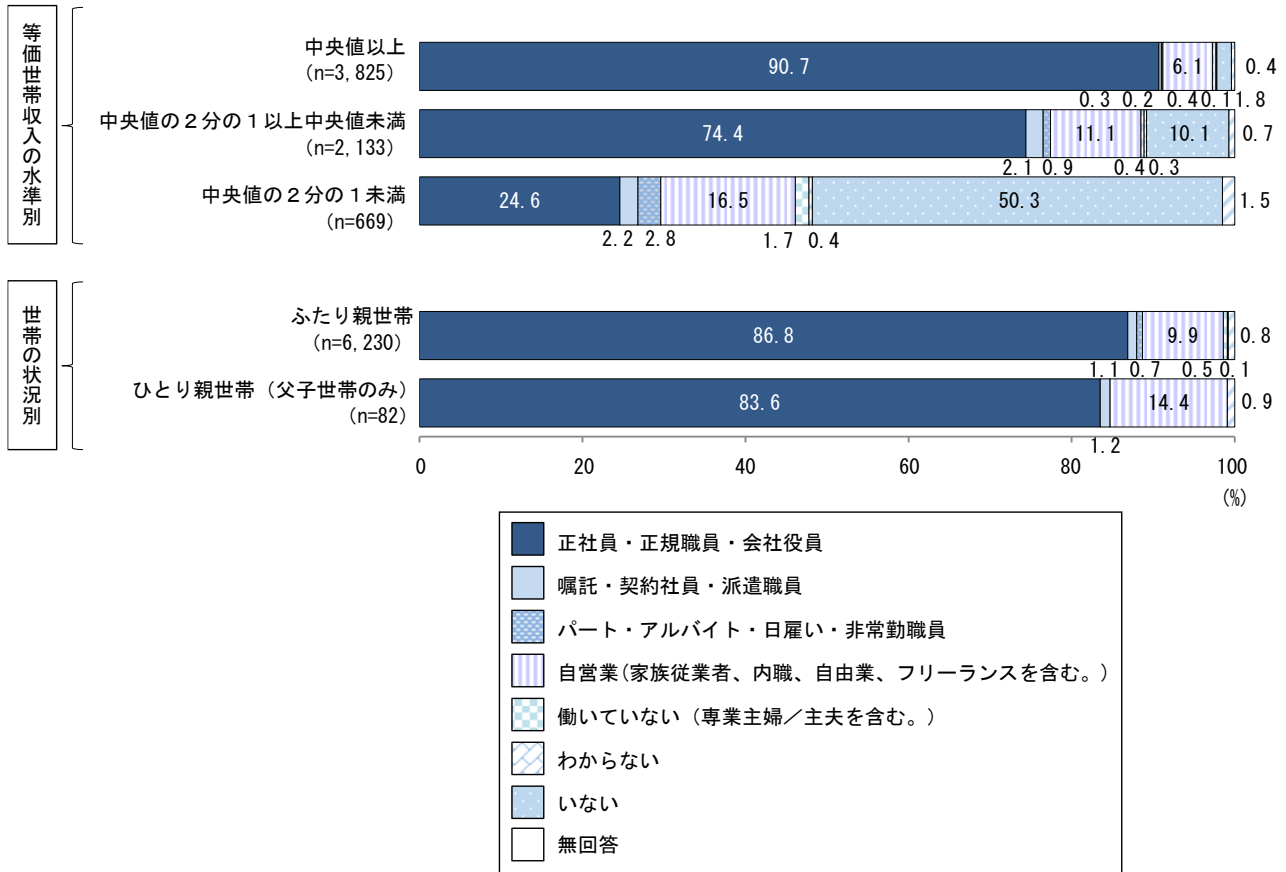
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「正社員・正規職員・会社役員」が27.9%と他の世帯に比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では87.7%、「父子世帯」では77.8%となっている。

保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(単数回答)

= 父親の就労状況 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「正社員・正規職員・会社役員」が24.6%と他の世帯に比べて低くなっている。

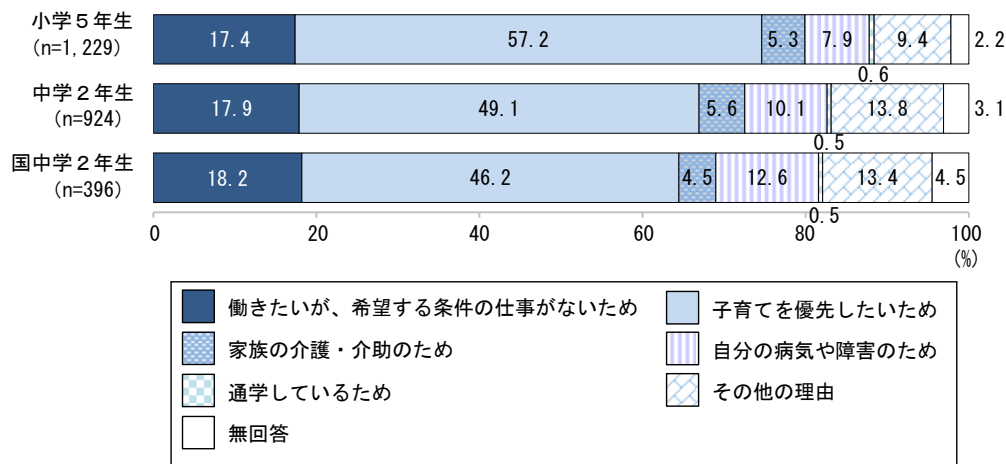
世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では86.8%、「父子世帯」では83.6%となっている。

※問 10 で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。(単数回答)

= 母親が働いていない理由 =

【全体】



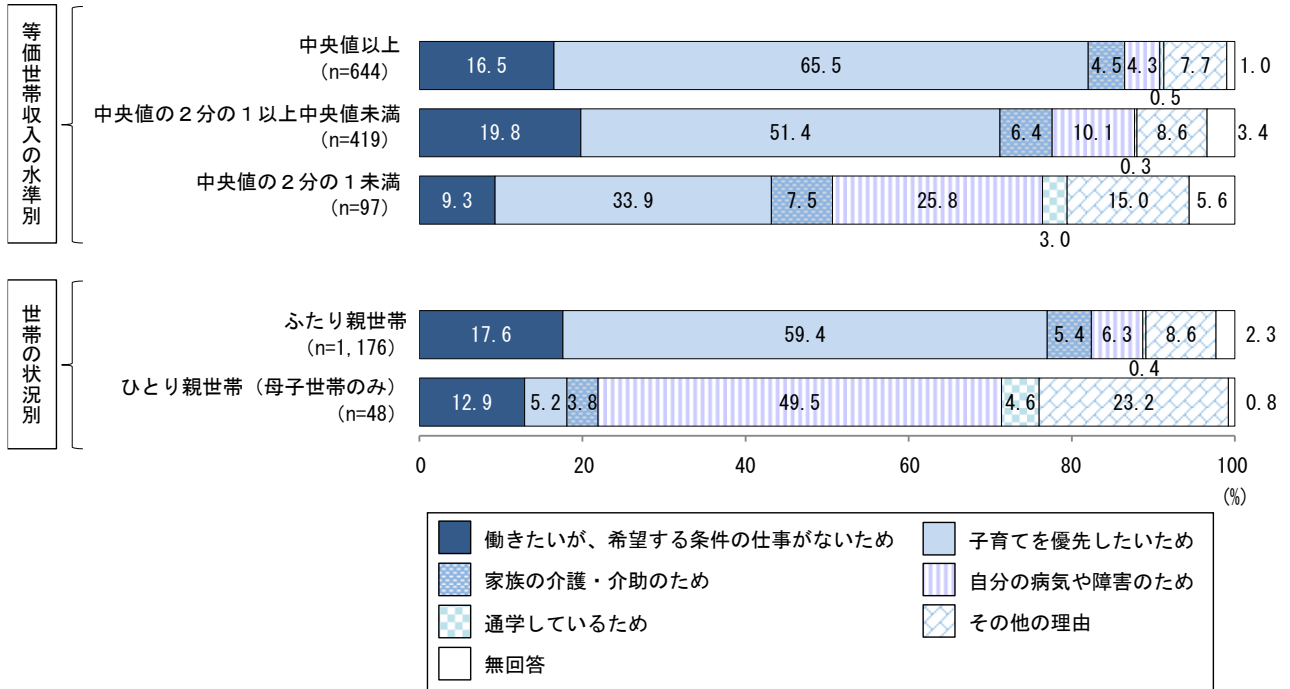
母親が働いていない理由について、小学5年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が57.2%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が17.4%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が49.1%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が17.9%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。(単数回答)

= 母親が働いていない理由 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分の病気や障害のため」が25.8%と他の世帯に比べて高くなっている。

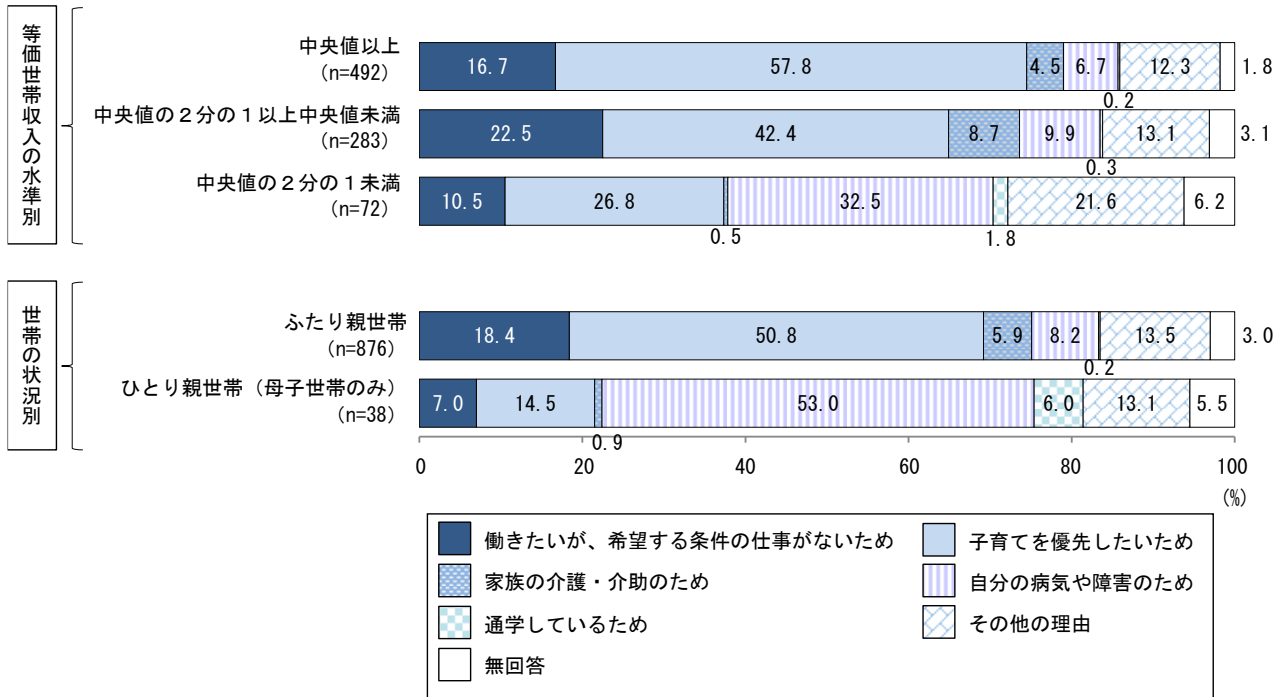
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「自分の病気や障害のため」が49.5%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。



保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。(単数回答)

= 母親が働いていない理由 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



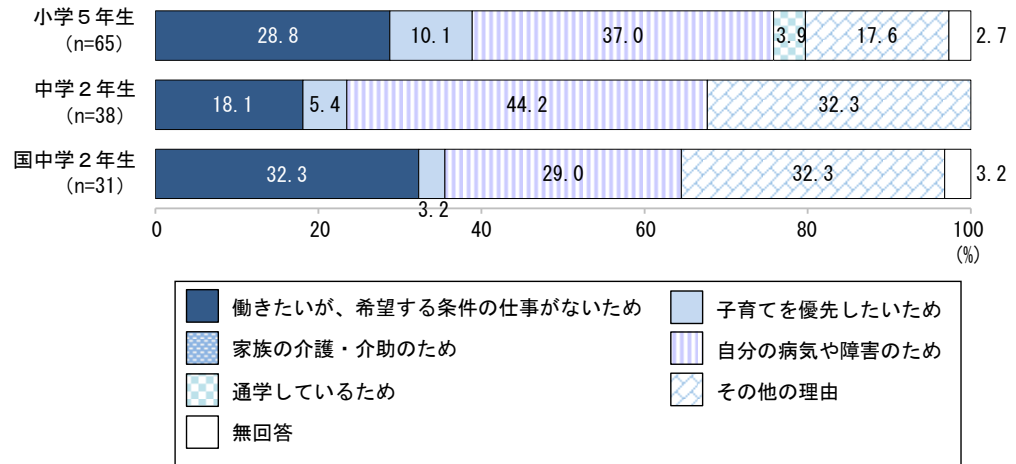
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分の病気や障害のため」が32.5%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「自分の病気や障害のため」が53.0%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。(単数回答)

= 父親が働いていない理由 =

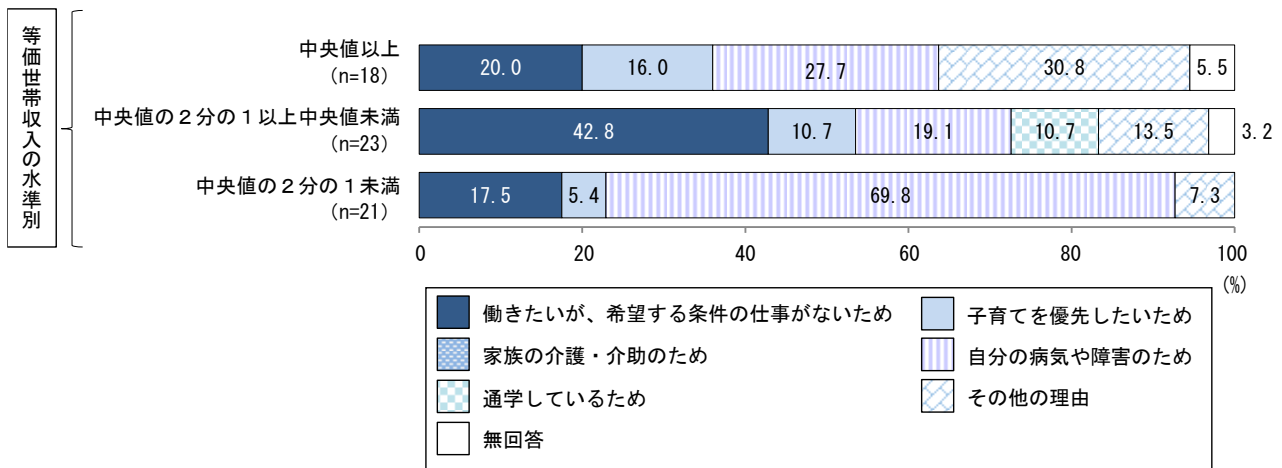
【全体】



父親が働いていない理由について、小学5年生の保護者では、「自分の病気や障害のため」が37.0%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が28.8%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「自分の病気や障害のため」が44.2%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が18.1%などの順となっている。国と比較すると、「自分の病気や障害のため」は広島県（44.2%）が国（29.0%）を15.2ポイント上回っている。

【等価世帯収入の水準別\_小学5年生の保護者】

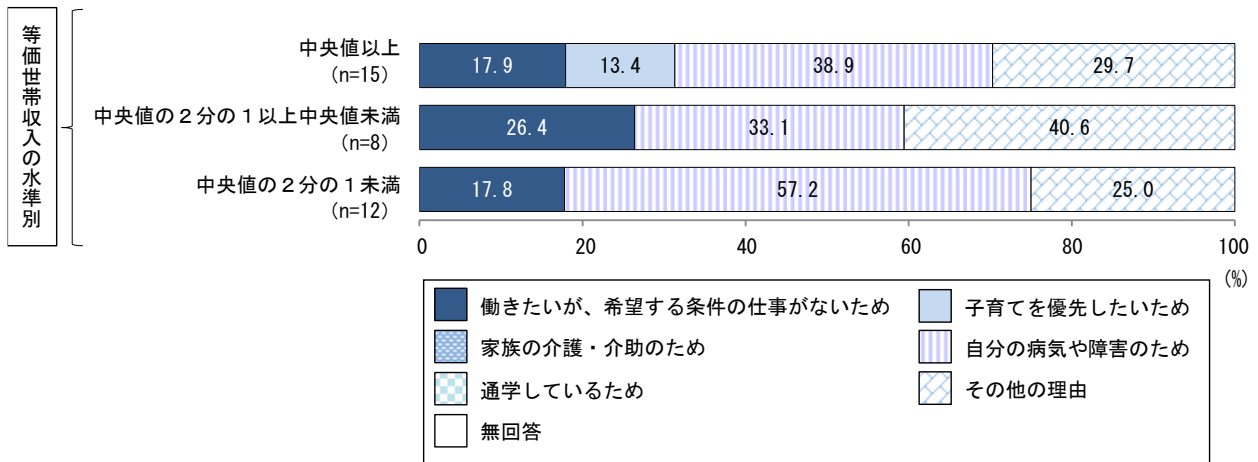


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分の病気や障害のため」が69.8%と他の世帯に比べて高くなっている。

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。(単数回答)

= 父親が働いていない理由 =

【等価世帯収入の水準別\_中学2年生の保護者】



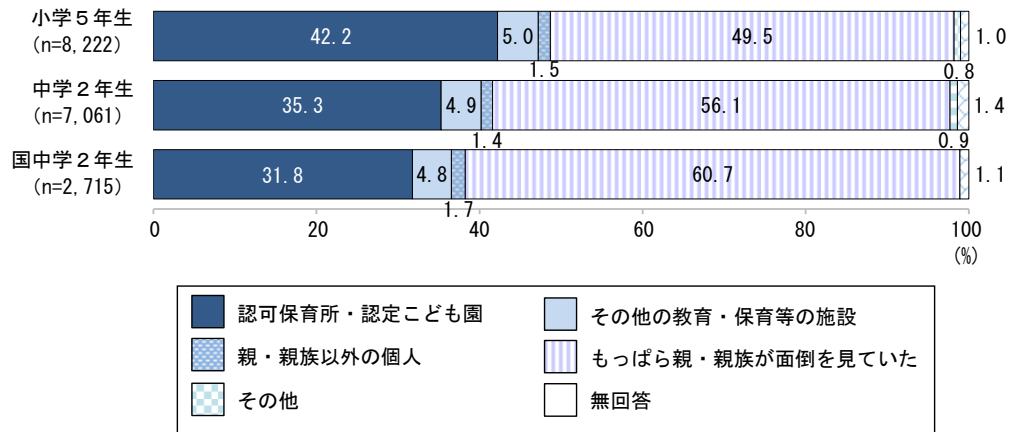
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分の病気や障害のため」が57.2%と他の世帯に比べて高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果については、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

(3) 保育の状況

保護者票問 12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（単数回答）

【全体】



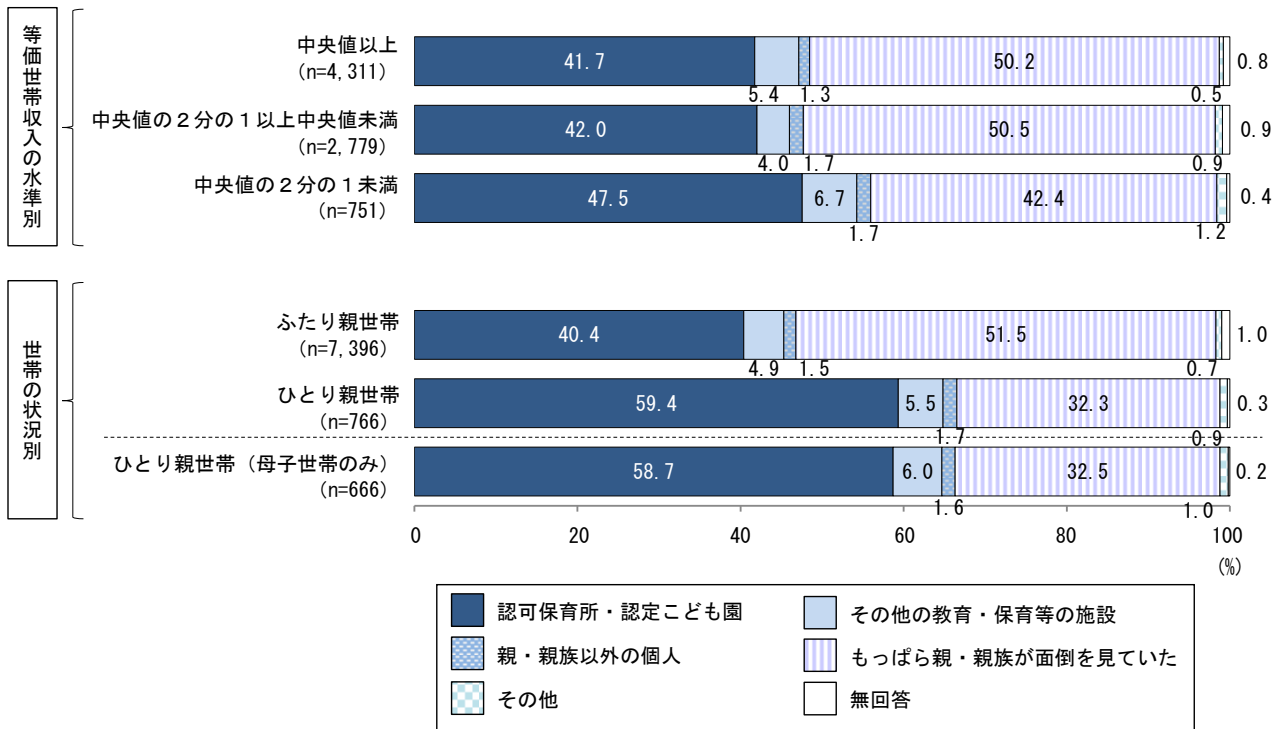
※国調査では「その他」の選択肢なし

子供が0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学5年生の保護者では、「もっばら親・親族が面倒を見ていた」が49.5%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が42.2%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「もっばら親・親族が面倒を見ていた」が56.1%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が35.3%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（単数回答）

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】

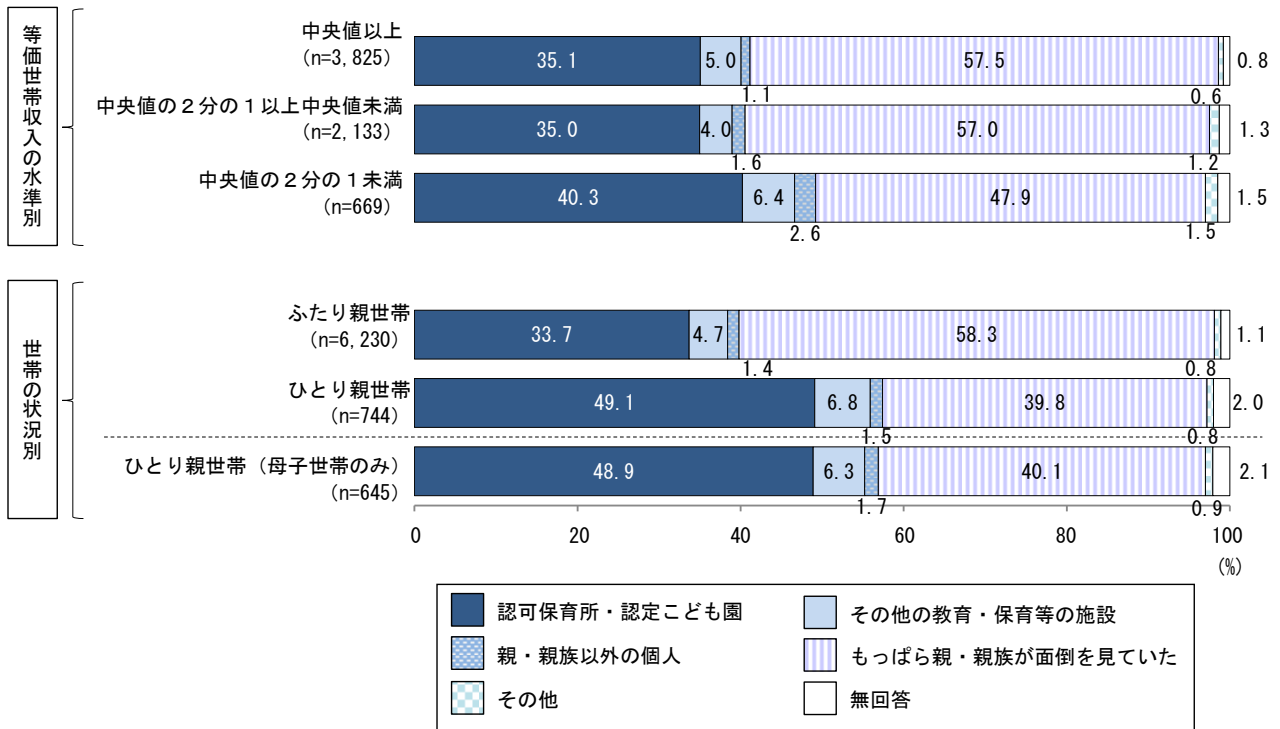


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が42.4%と他の世帯に比べて低く、「認可保育所・認定こども園」は47.5%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が32.3%と低く、「認可保育所・認定こども園」は59.4%と高くなっている。

保護者票問 12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（単数回答）

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】

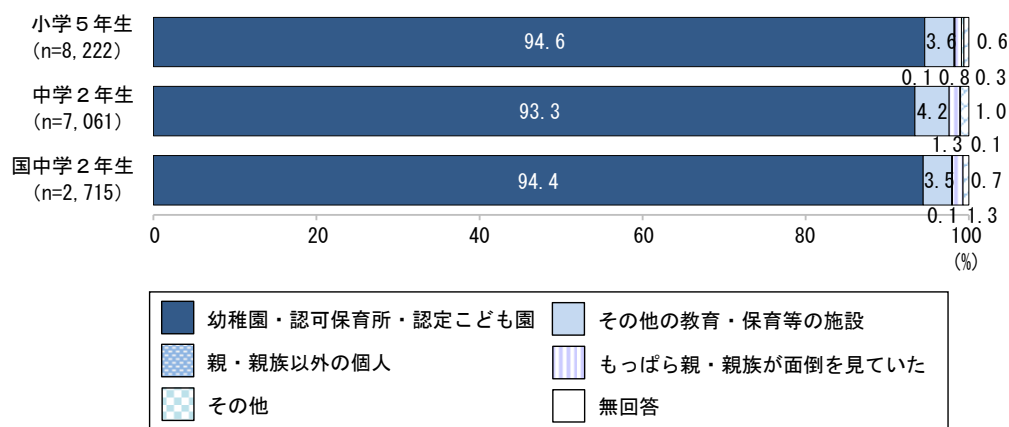


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が47.9%と他の世帯に比べて低く、「認可保育所・認定こども園」は40.3%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が39.8%と低く、「認可保育所・認定こども園」は49.1%と高くなっている。

保護者票問 13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（単数回答）

【全体】

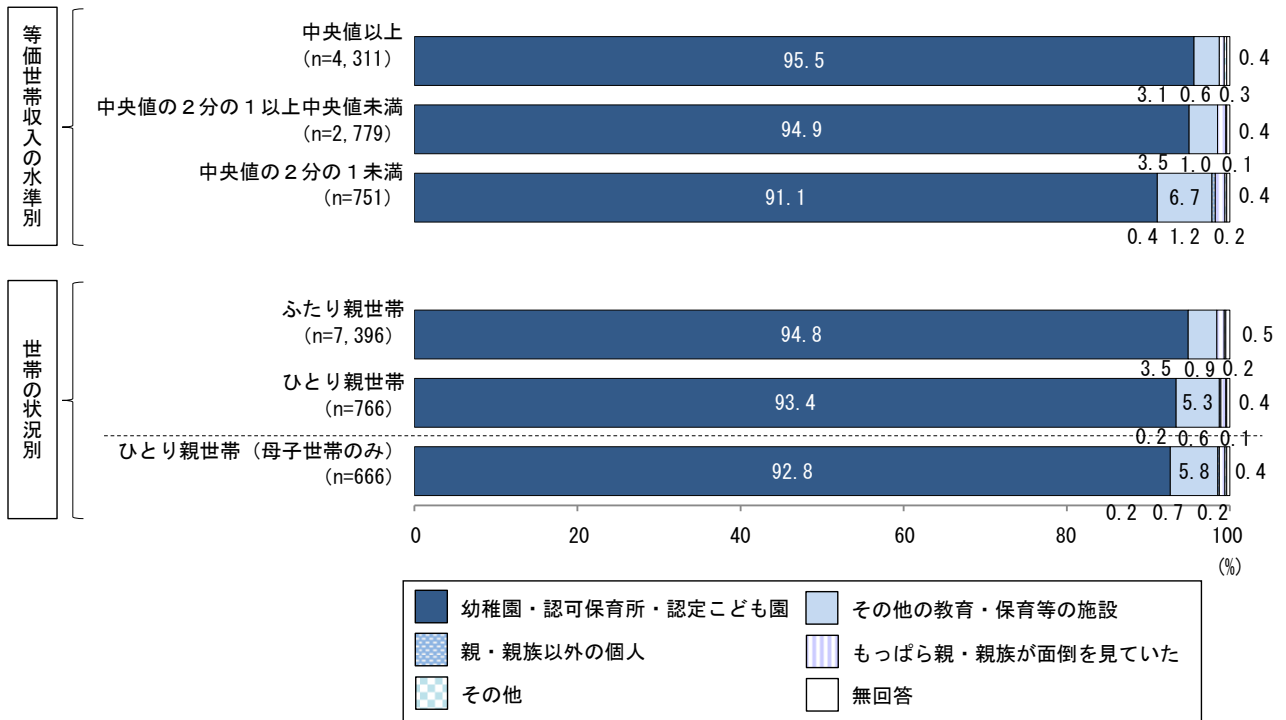


子供が3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学5年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が94.6%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が3.6%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が93.3%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が4.2%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（単数回答）

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



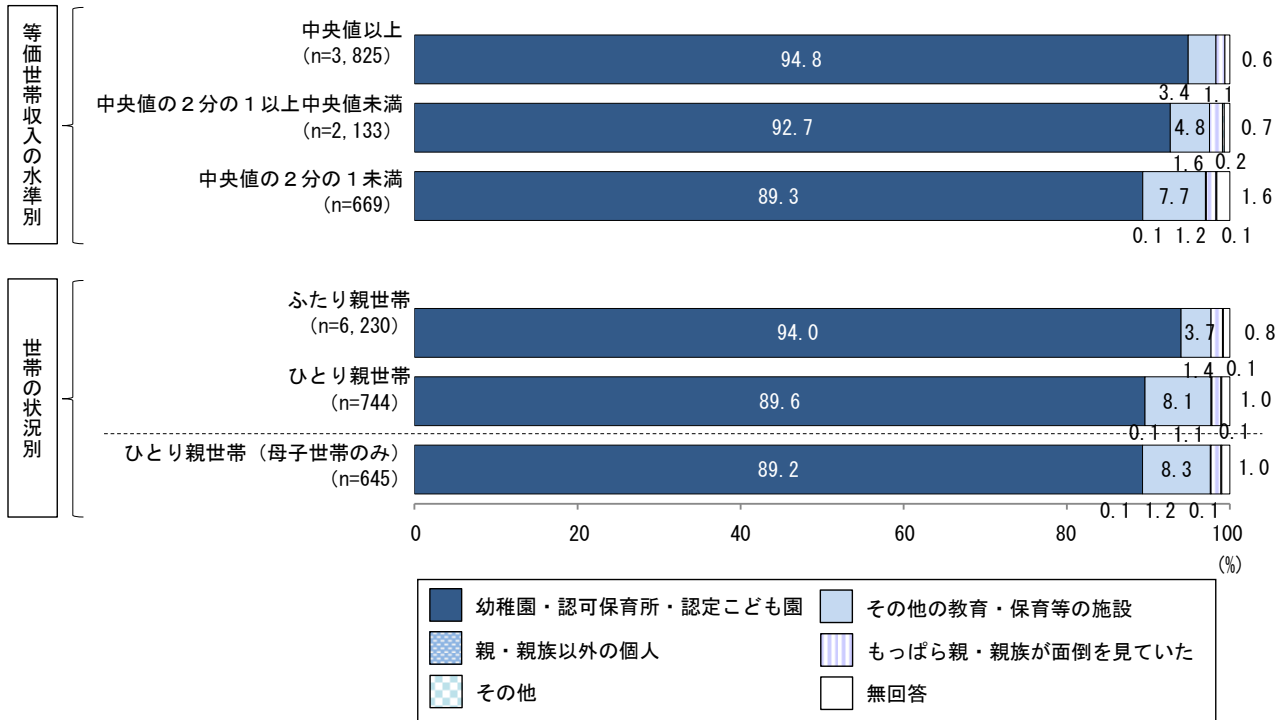
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が91.1%となっており、他の世帯と大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が93.4%となっており、「ふたり親世帯」と大きな差はみられない。



保護者票問 13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（単数回答）

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、等価世帯収入の水準が下がるにつれて、低くなる傾向がみられる。

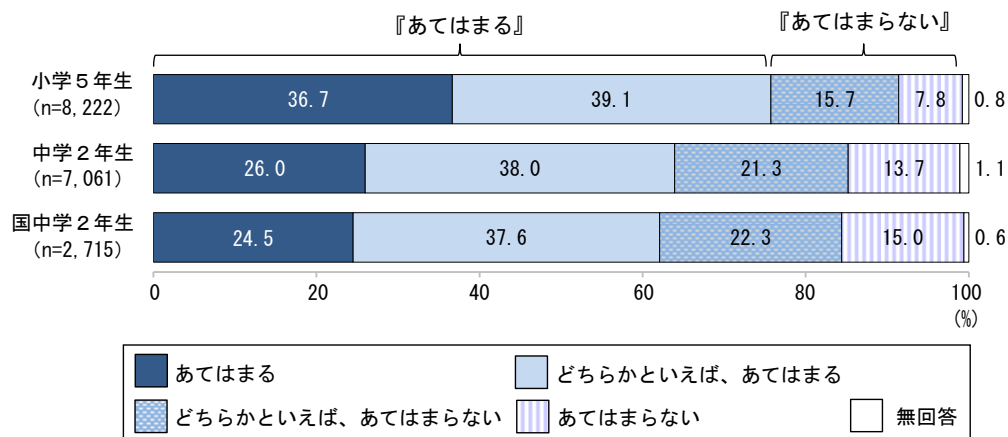
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 89.6% となっており、「ふたり親世帯」に比べて低くなっている。

## (4) 子供との関わり方

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

＝ テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている ＝

【全体】



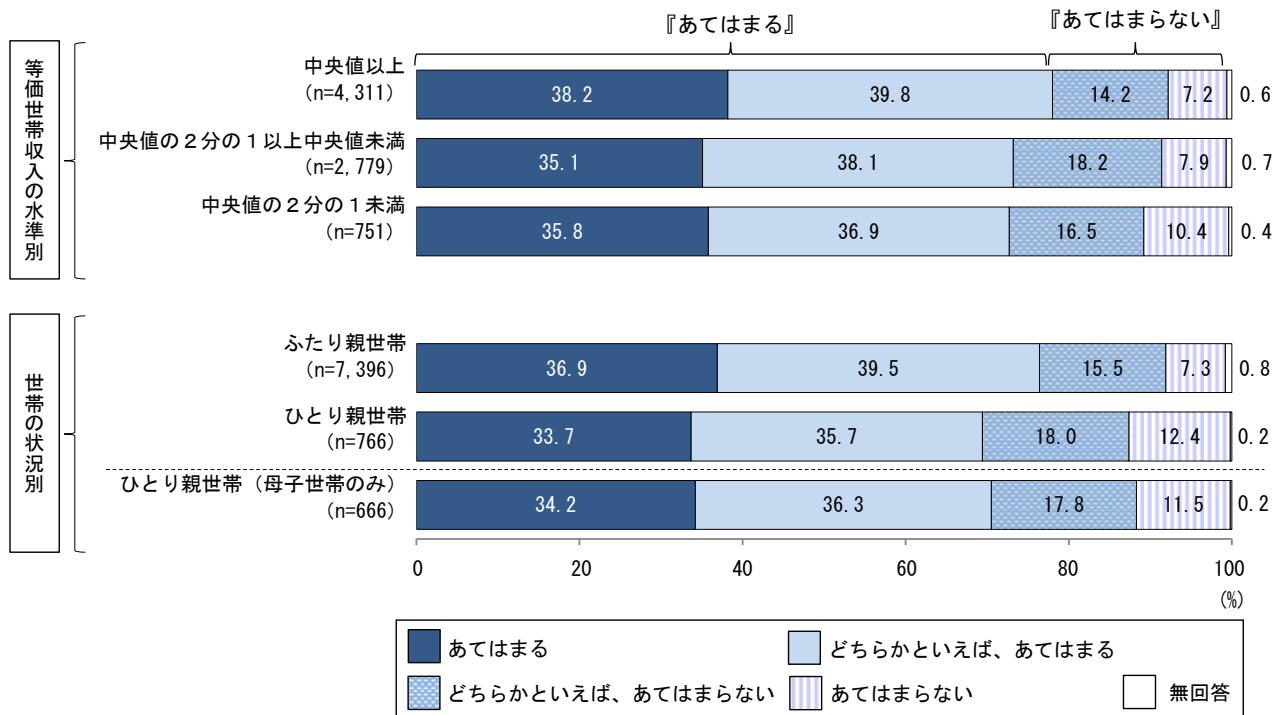
テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合）』が75.8%、『あてはまらない（「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合）』が23.5%となっている。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が64.0%、『あてはまらない』が35.0%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

＝ テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている ＝

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



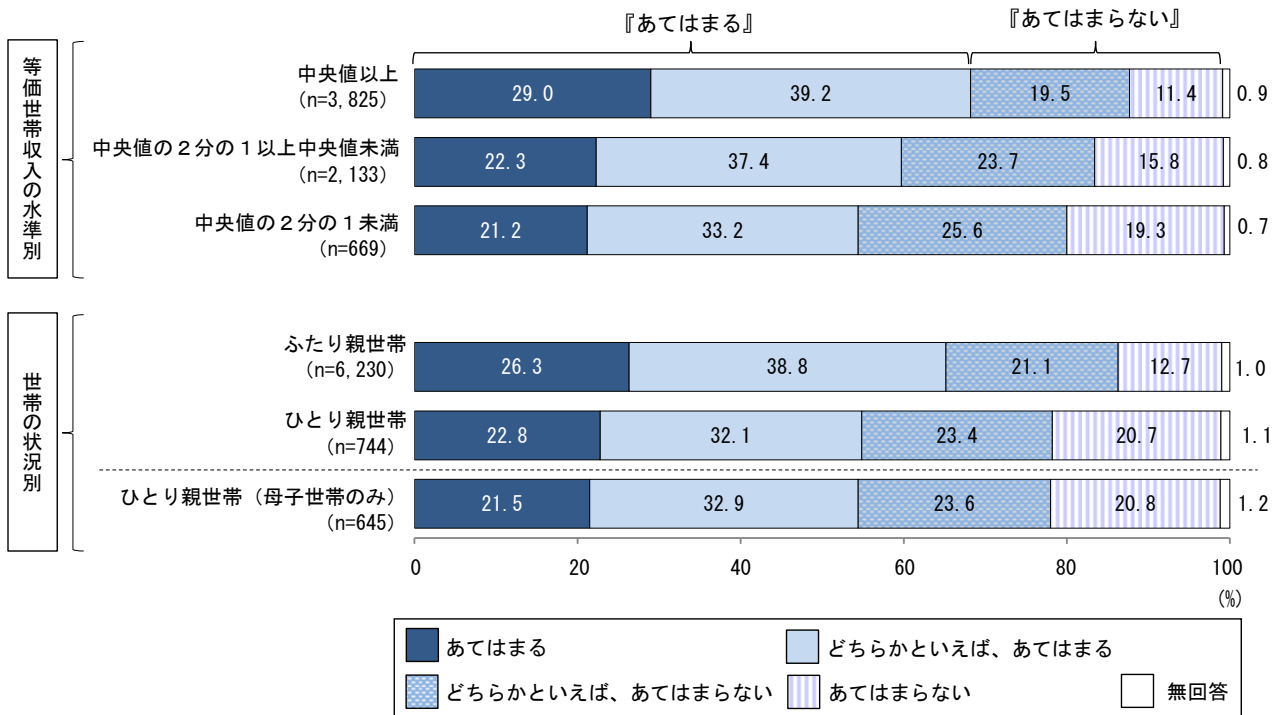
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では21.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では26.1%、「中央値の2分の1未満」では26.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では22.8%、「ひとり親世帯全体」では30.4%、「母子世帯のみ」では29.3%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

＝ テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている ＝

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



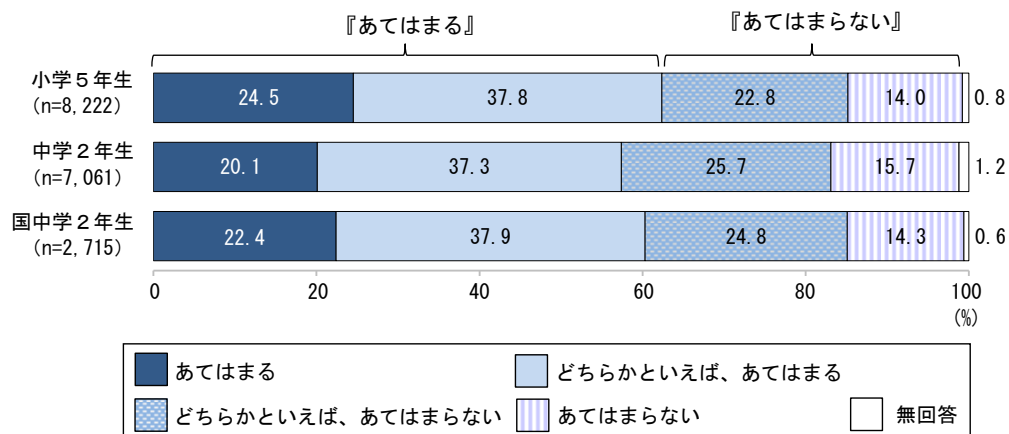
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では30.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.5%、「中央値の2分の1未満」では44.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では33.8%、「ひとり親世帯全体」では44.1%、「母子世帯のみ」では44.4%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんに本や新聞を読むように勧めている =

【全体】



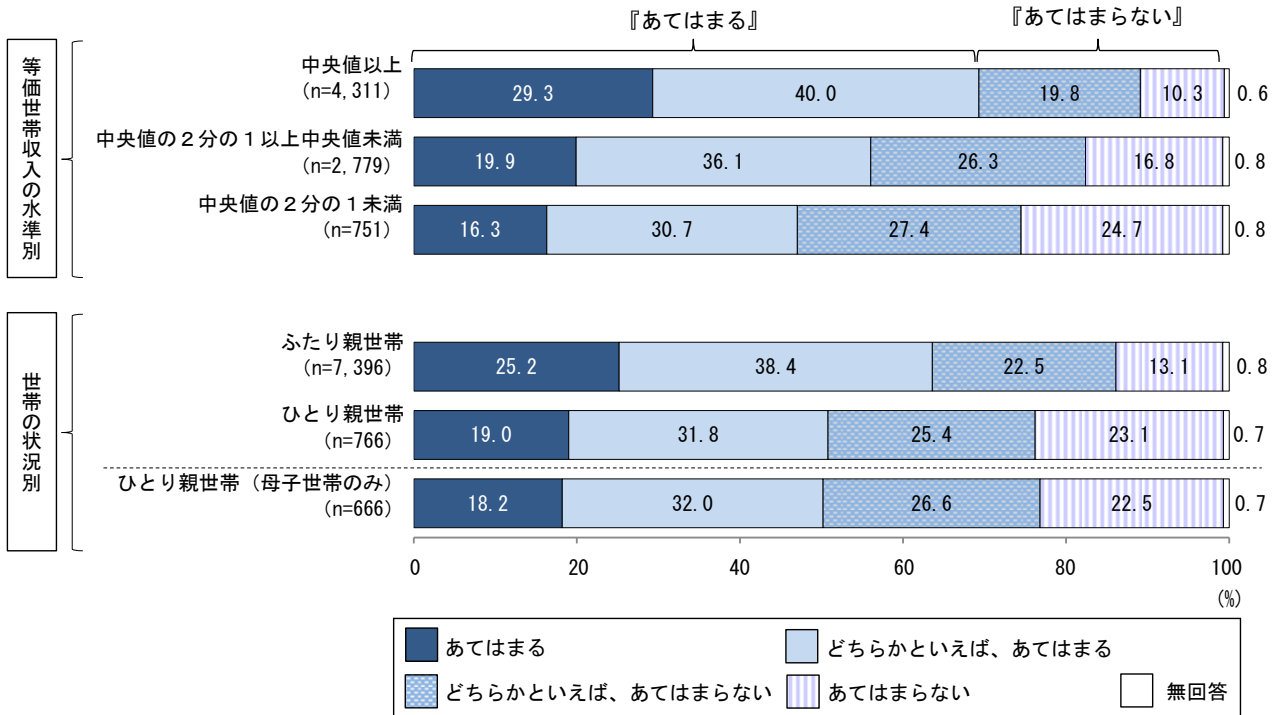
子供に本や新聞を読むように勧めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が62.3%、『あてはまらない』が36.8%となっている。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が57.4%、『あてはまらない』が41.4%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんに本や新聞を読むように勧めている =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



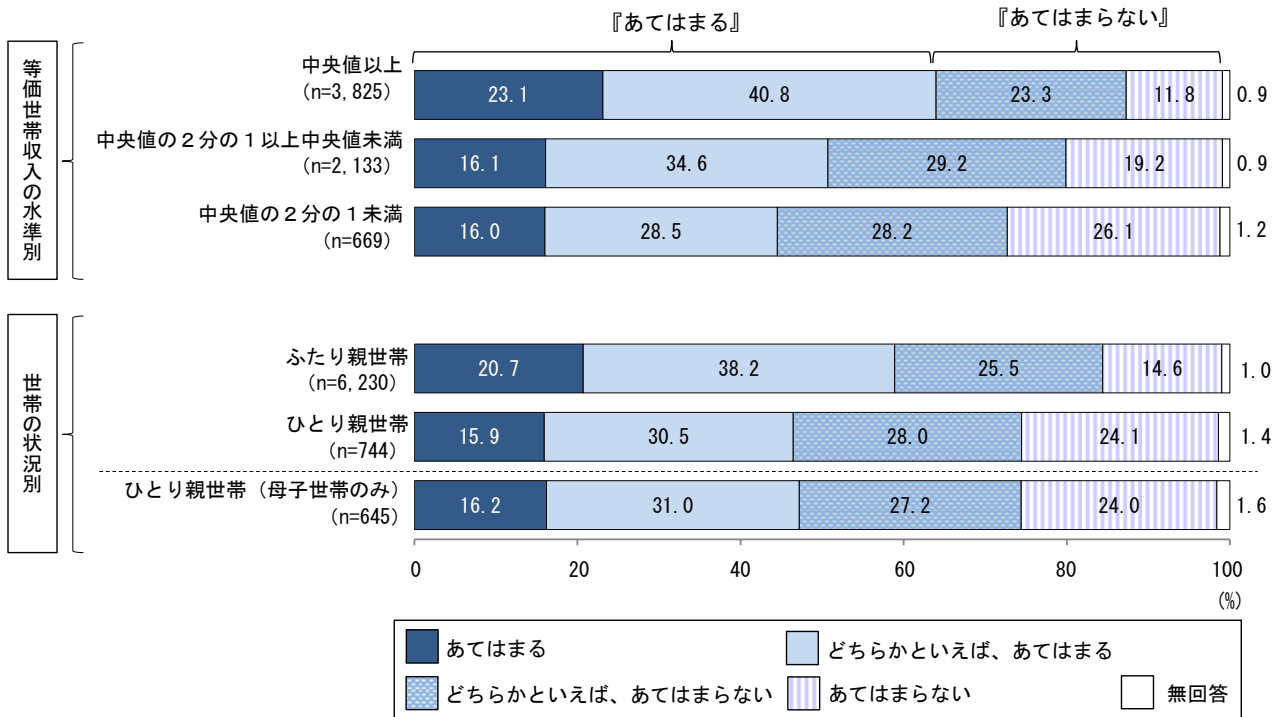
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では30.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では43.1%、「中央値の2分の1未満」では52.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では35.6%、「ひとり親世帯全体」では48.5%、「母子世帯のみ」では49.1%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんに本や新聞を読むように勧めている =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



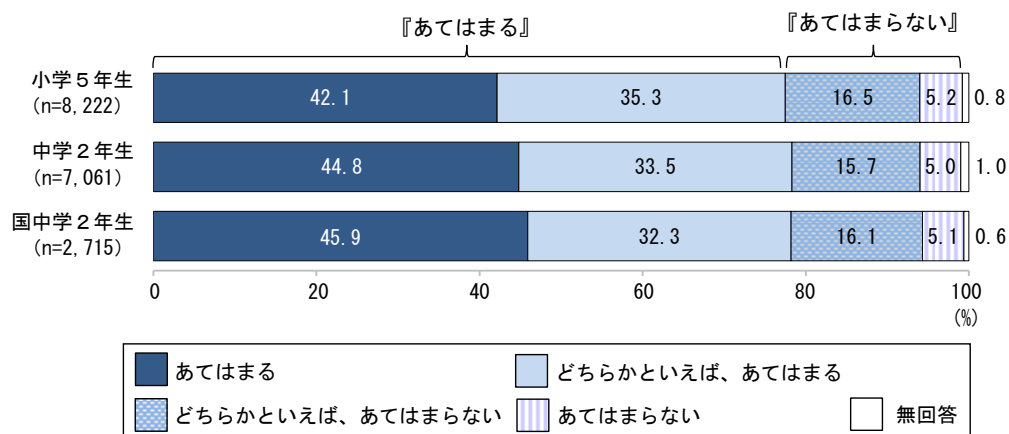
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では35.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では48.4%、「中央値の2分の1未満」では54.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では40.1%、「ひとり親世帯全体」では52.1%、「母子世帯のみ」では51.2%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた =

【全体】



子供が小さいころに絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が77.4%、『あてはまらない』が21.7%となっている。

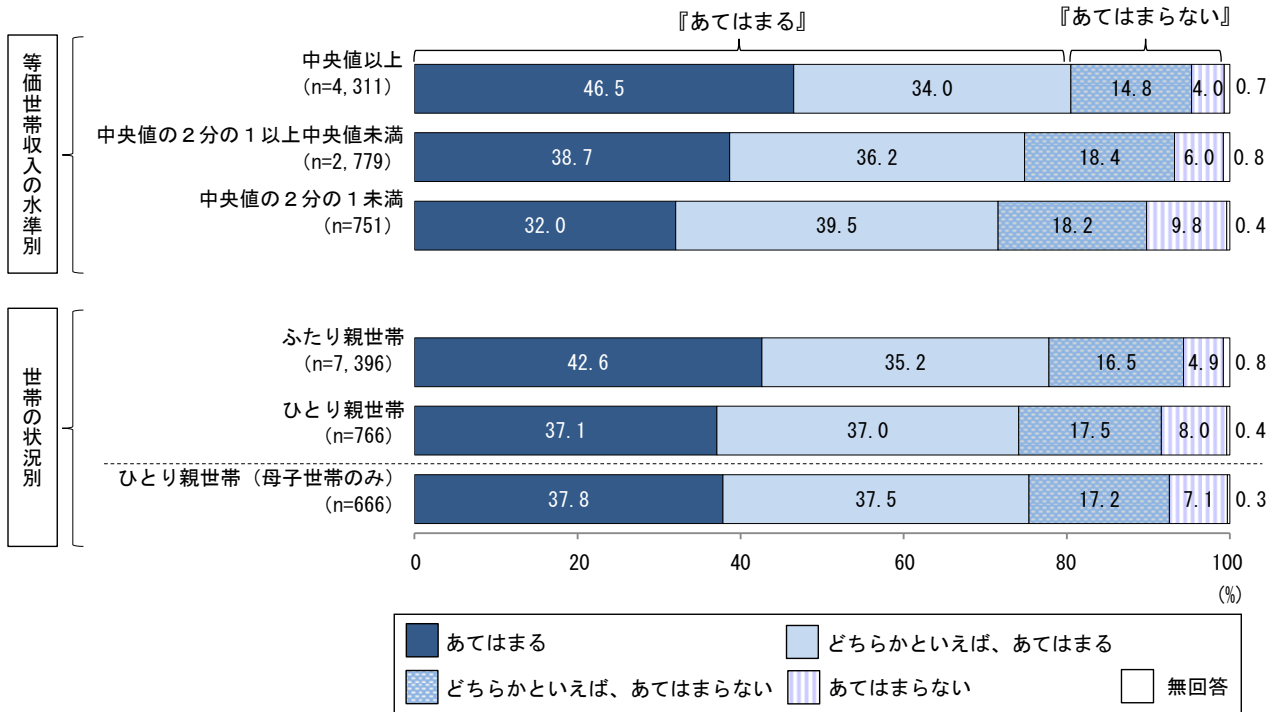
中学2年生の保護者では、『あてはまる』が78.3%、『あてはまらない』が20.7%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。



保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



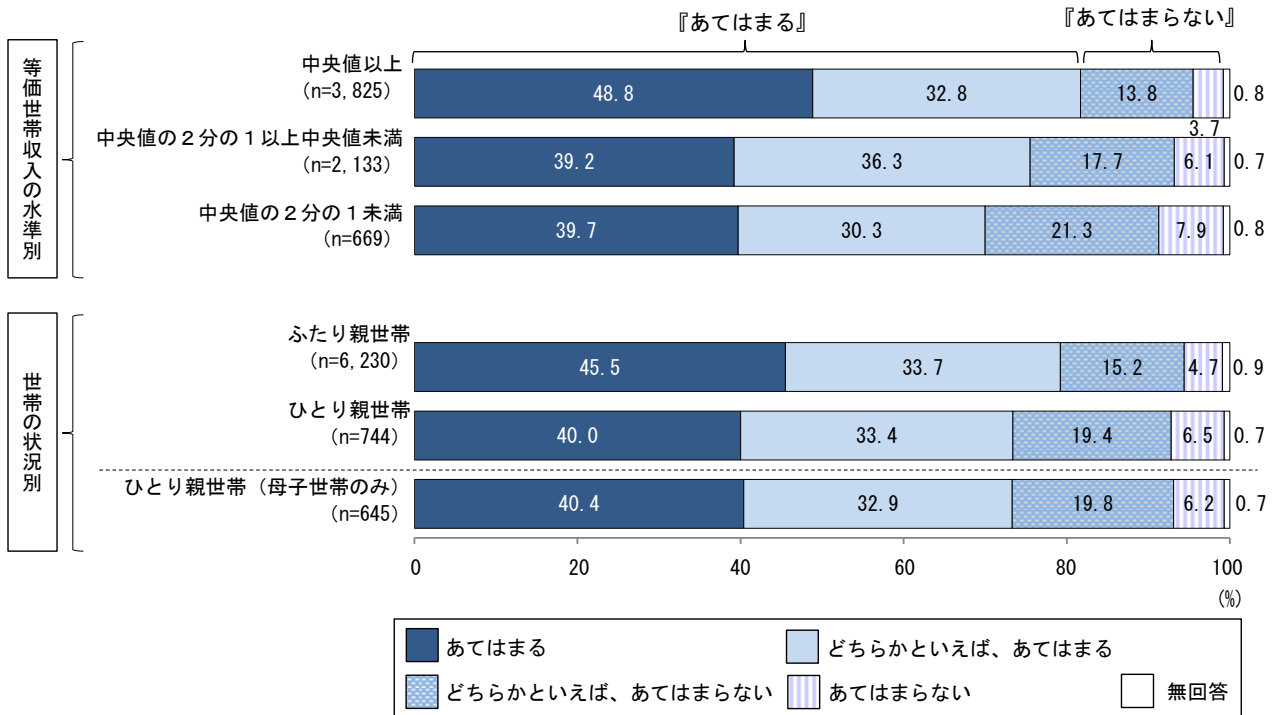
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では18.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では24.4%、「中央値の2分の1未満」では28.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では21.4%、「ひとり親世帯全体」では25.5%、「母子世帯のみ」では24.3%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



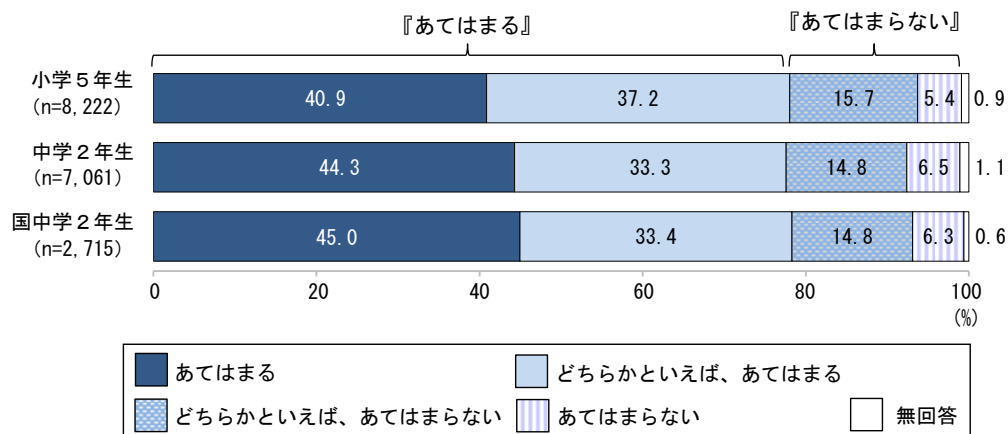
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では17.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では23.8%、「中央値の2分の1未満」では29.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では19.9%、「ひとり親世帯全体」では25.9%、「母子世帯のみ」では26.0%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる =

【全体】



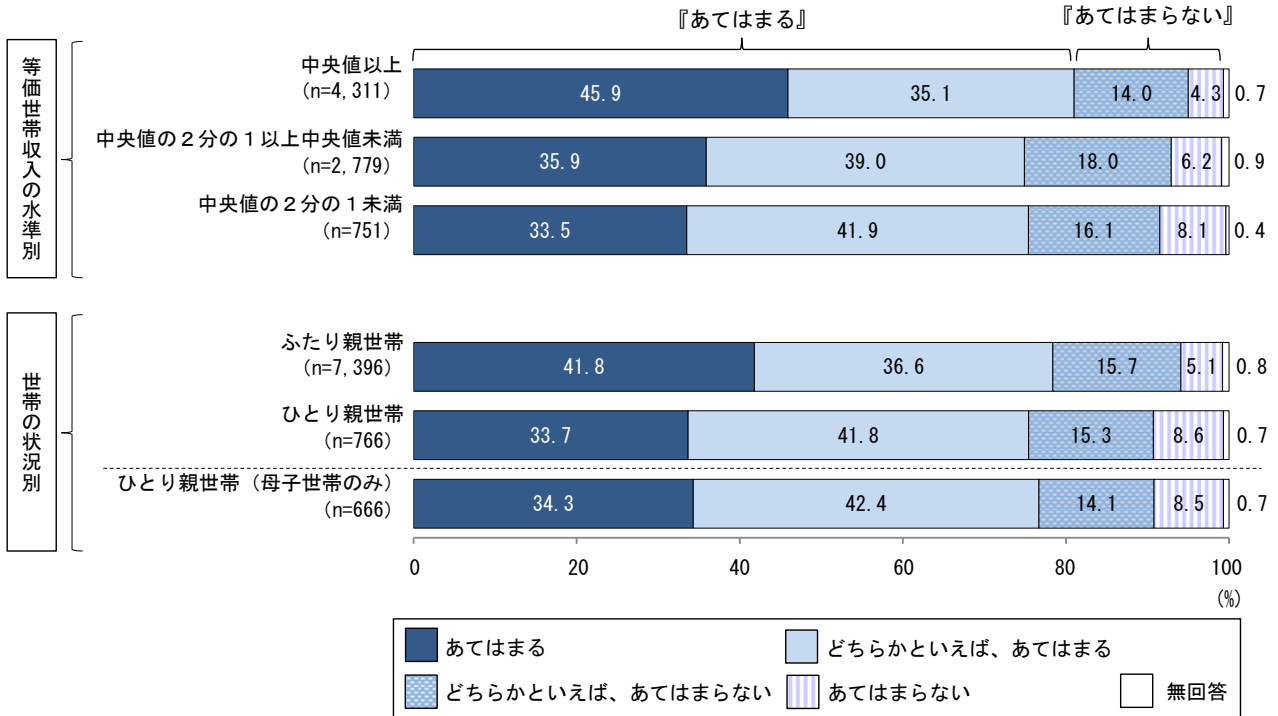
子供から勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が78.1%、『あてはまらない』が21.1%となっている。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が77.6%、『あてはまらない』が21.3%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



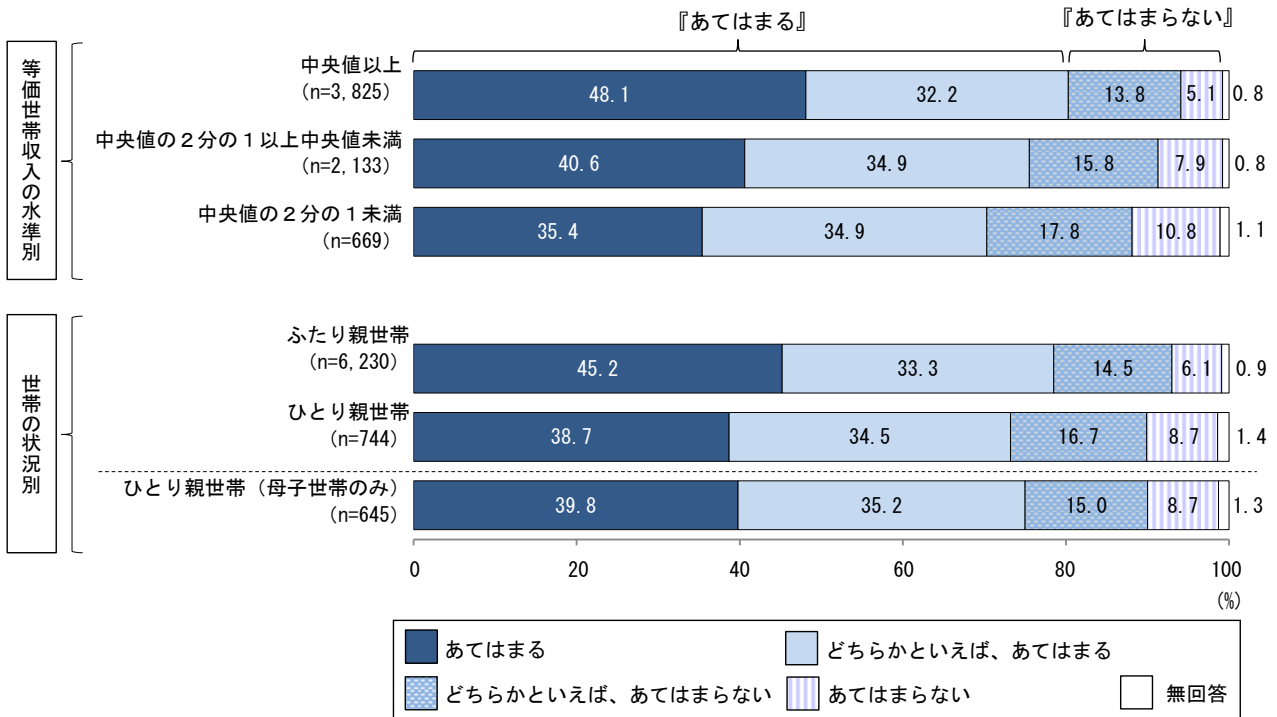
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では18.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では24.2%、「中央値の2分の1未満」では24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では20.8%、「ひとり親世帯全体」では23.9%、「母子世帯のみ」では22.6%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

= お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では18.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では23.7%、「中央値の2分の1未満」では28.6%となっている。

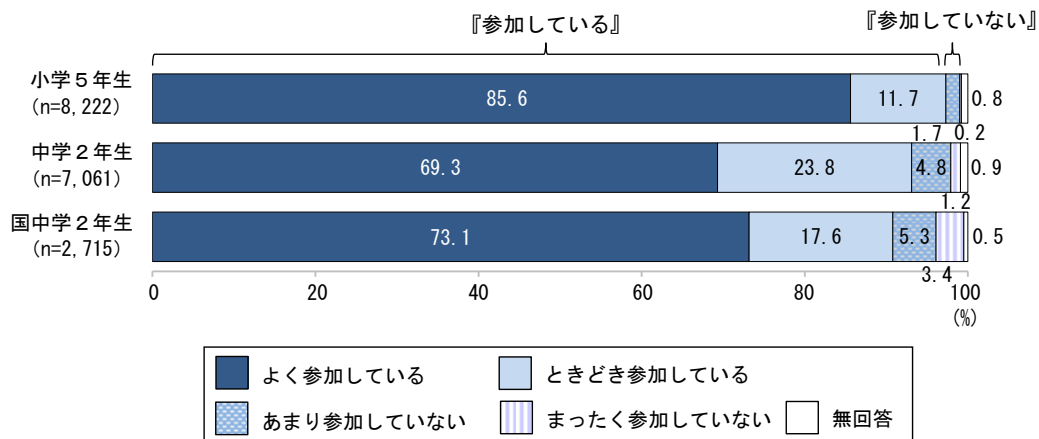
世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では20.6%、「ひとり親世帯全体」では25.4%、「母子世帯のみ」では23.7%となっている。

## (5) 学校との関わり・参加

保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(単数回答)

= 授業参観や運動会などの学校行事への参加 =

【全体】



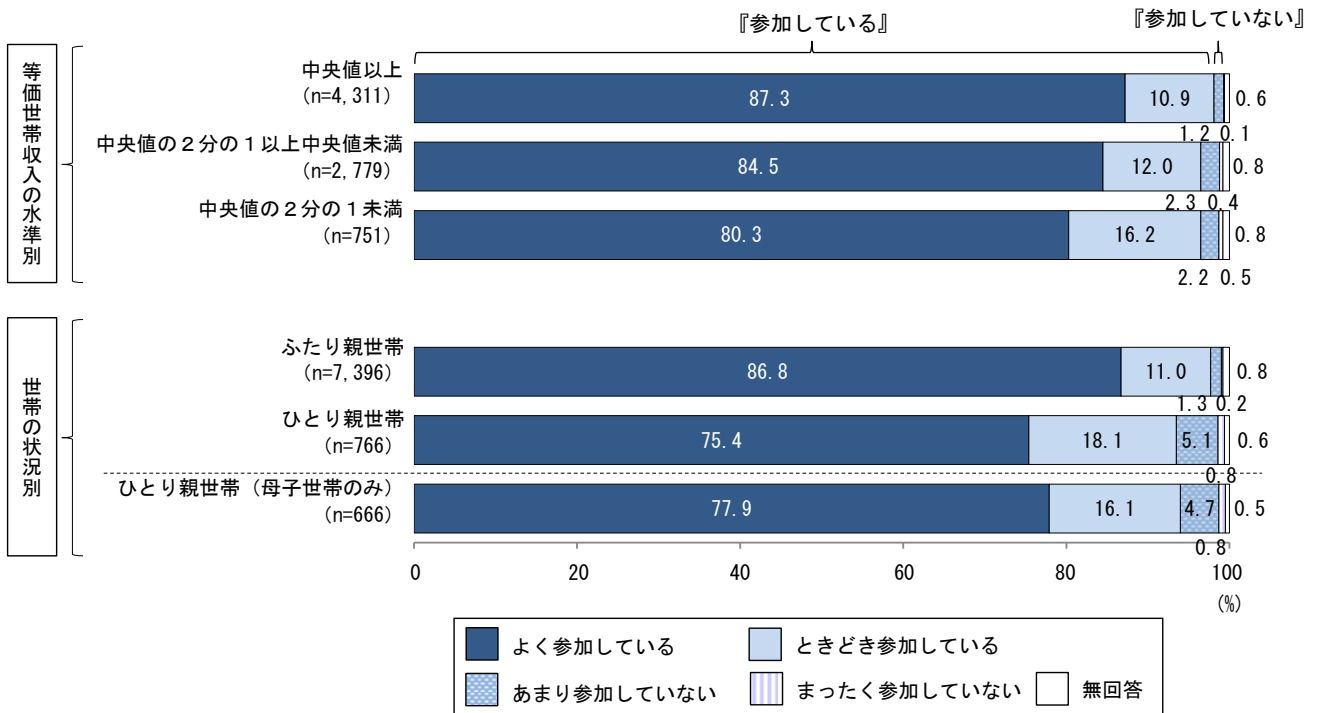
授業参観や運動会などの学校行事について、小学5年生の保護者では、『参加している（「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合）』が97.3%、『参加していない（「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた割合）』が1.9%となっている。

中学2年生の保護者では、『参加している』が93.1%、『参加していない』が6.0%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(単数回答)

= 授業参観や運動会などの学校行事への参加 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



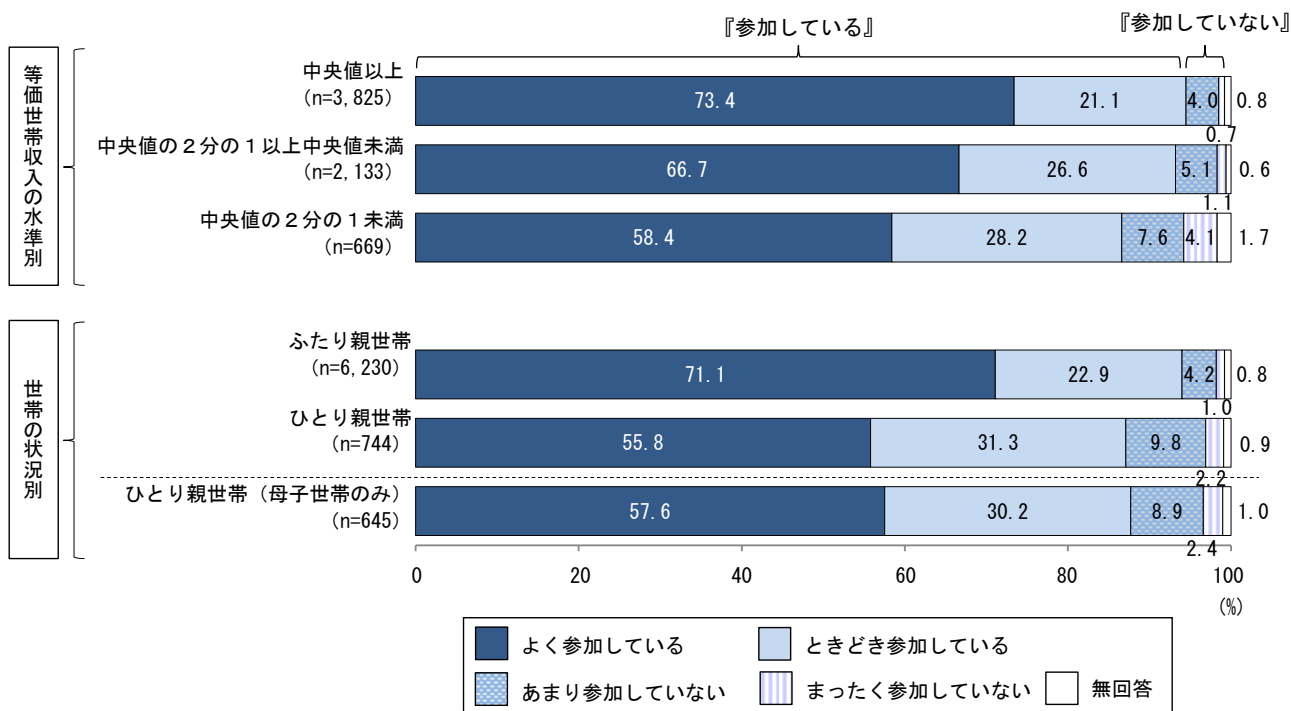
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では98.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では96.5%、「中央値の2分の1未満」では96.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では97.8%、「ひとり親世帯全体」では93.5%、「母子世帯のみ」では94.0%となっている。

保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(単数回答)

= 授業参観や運動会などの学校行事への参加 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では94.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では93.3%、「中央値の2分の1未満」では86.6%となっている。

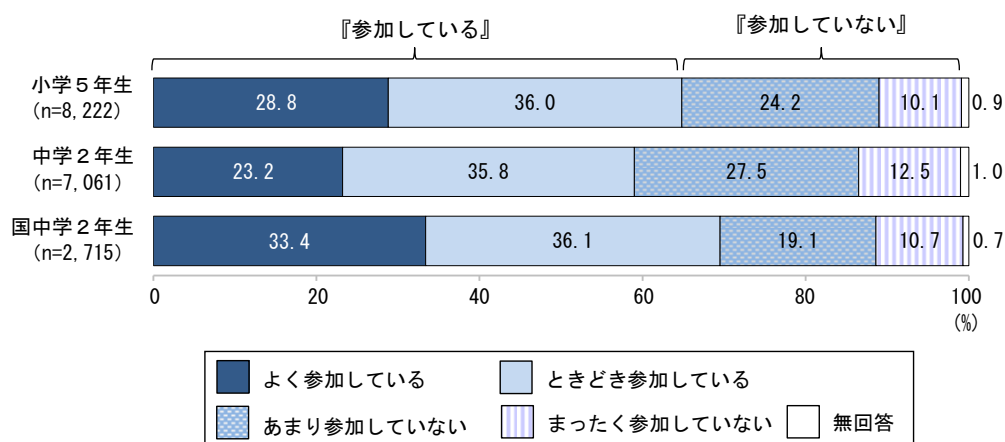
世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では94.0%、「ひとり親世帯全体」では87.1%、「母子世帯のみ」では87.8%となっている。



保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(単数回答)

= P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加 =

【全体】



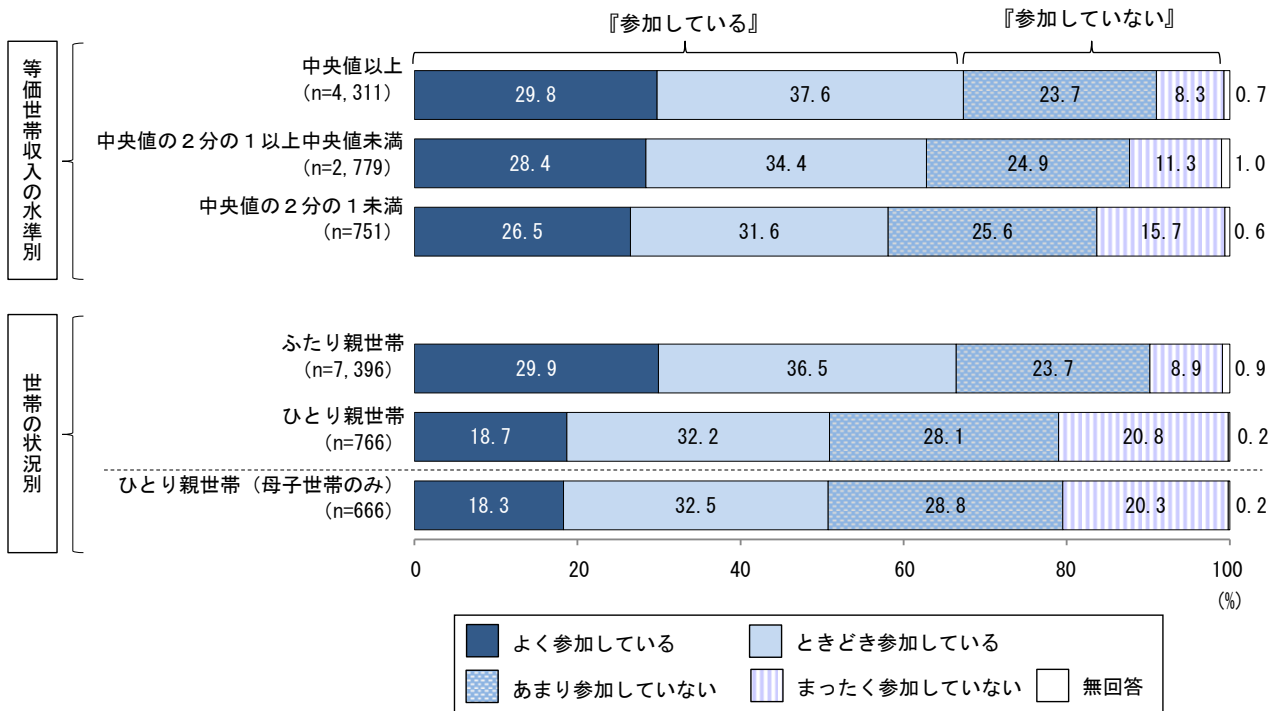
P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどについて、小学5年生の保護者では、『参加している』が64.8%、『参加していない』が34.3%となっている。

中学2年生の保護者では、『参加している』が59.0%、『参加していない』が40.0%となっている。国と比較すると、『参加している』は広島県(59.0%)が国(69.5%)を10.5ポイント下回っている。

保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(単数回答)

= P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



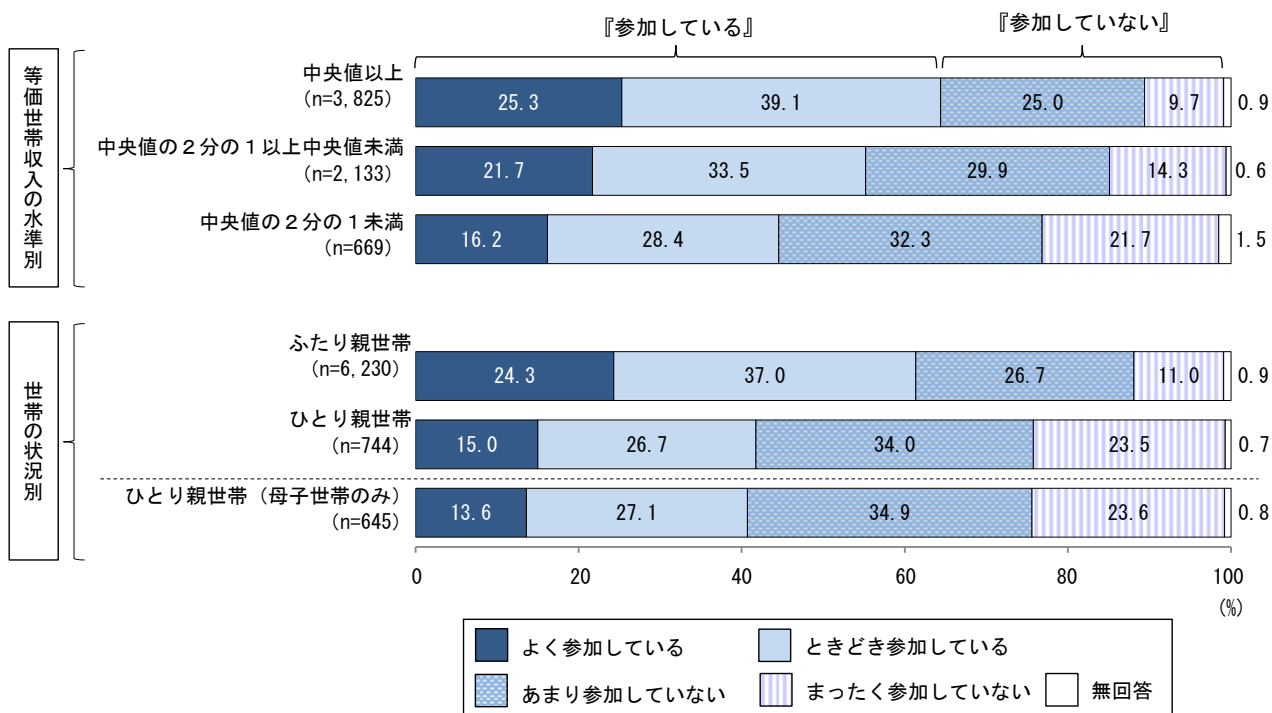
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では67.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では62.8%、「中央値の2分の1未満」では58.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では66.4%、「ひとり親世帯全体」では50.9%、「母子世帯のみ」では50.8%となっている。

保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(単数回答)

= P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では64.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では55.2%、「中央値の2分の1未満」では44.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では61.3%、「ひとり親世帯全体」では41.7%、「母子世帯のみ」では40.7%となっている。

(6) 進学期待・展望

保護者票問 16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(単数回答)

【全体】



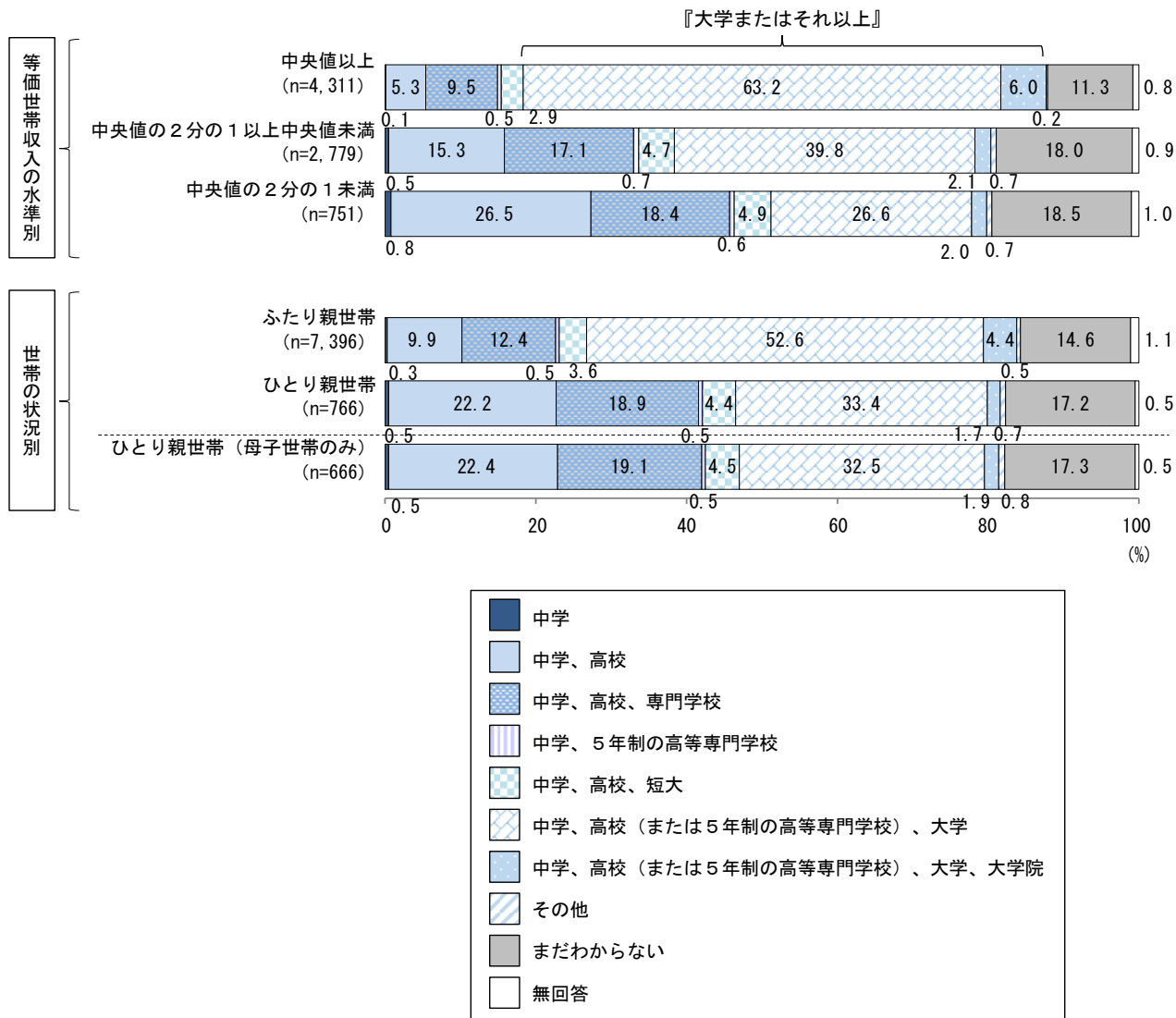
※1：国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている  
 ※2：国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

子供が将来どの学校に進学すると思うかについて、小学5年生の保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が50.7%と最も高く、次いで「まだわからない」が14.9%、「中学、高校、専門学校」が13.0%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が51.9%と最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」が12.9%、「まだわからない」が12.4%などの順となっている。国と比較すると、『大学またはそれ以上（「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」を合わせた割合）』は広島県（57.3%）が国（50.1%）を7.2ポイント上回っている。

保護者票問 16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】

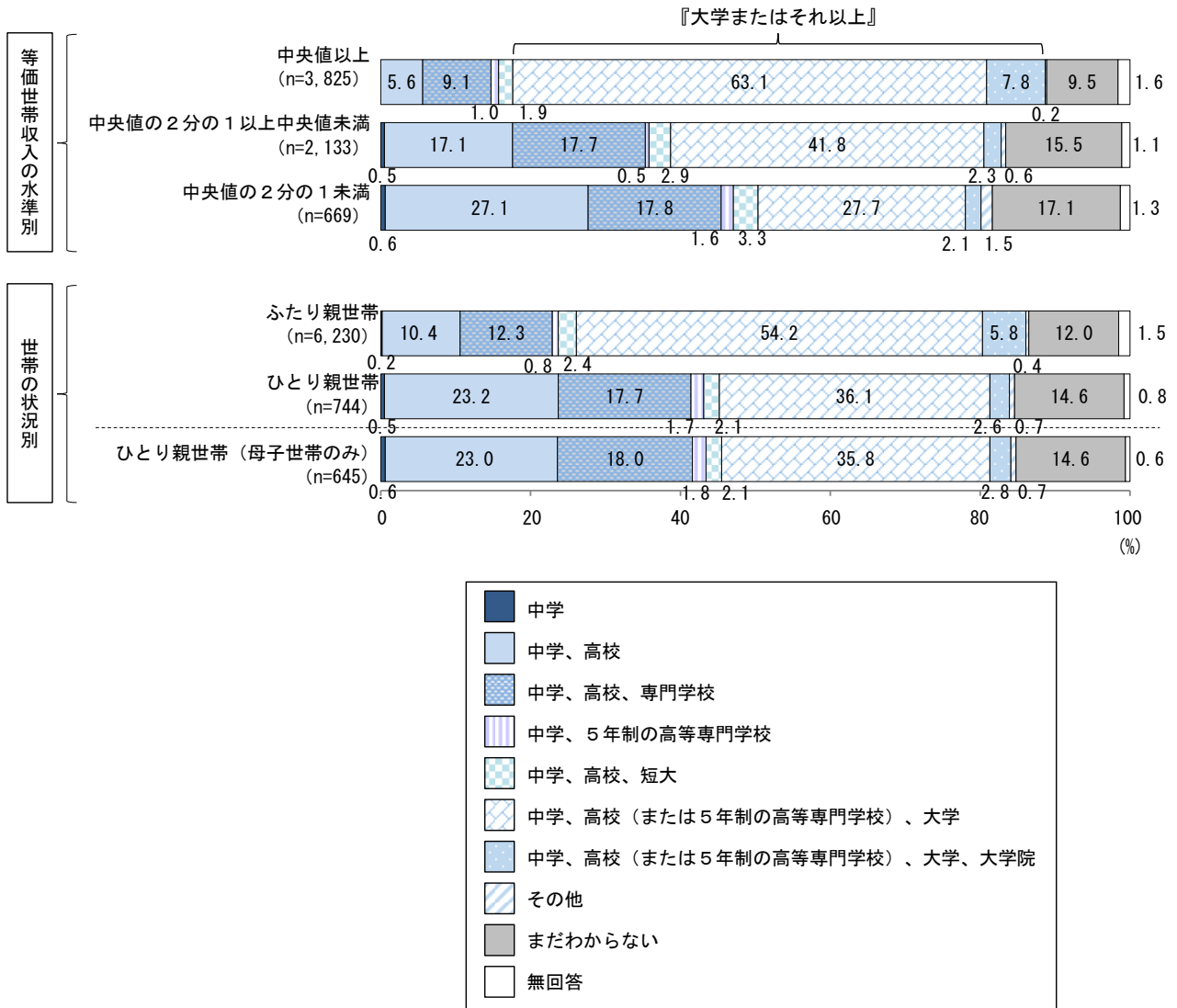


等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では69.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では41.9%、「中央値の2分の1未満」では28.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では57.0%、「ひとり親世帯全体」では35.1%、「母子世帯のみ」では34.4%となっている。

保護者票問 16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】

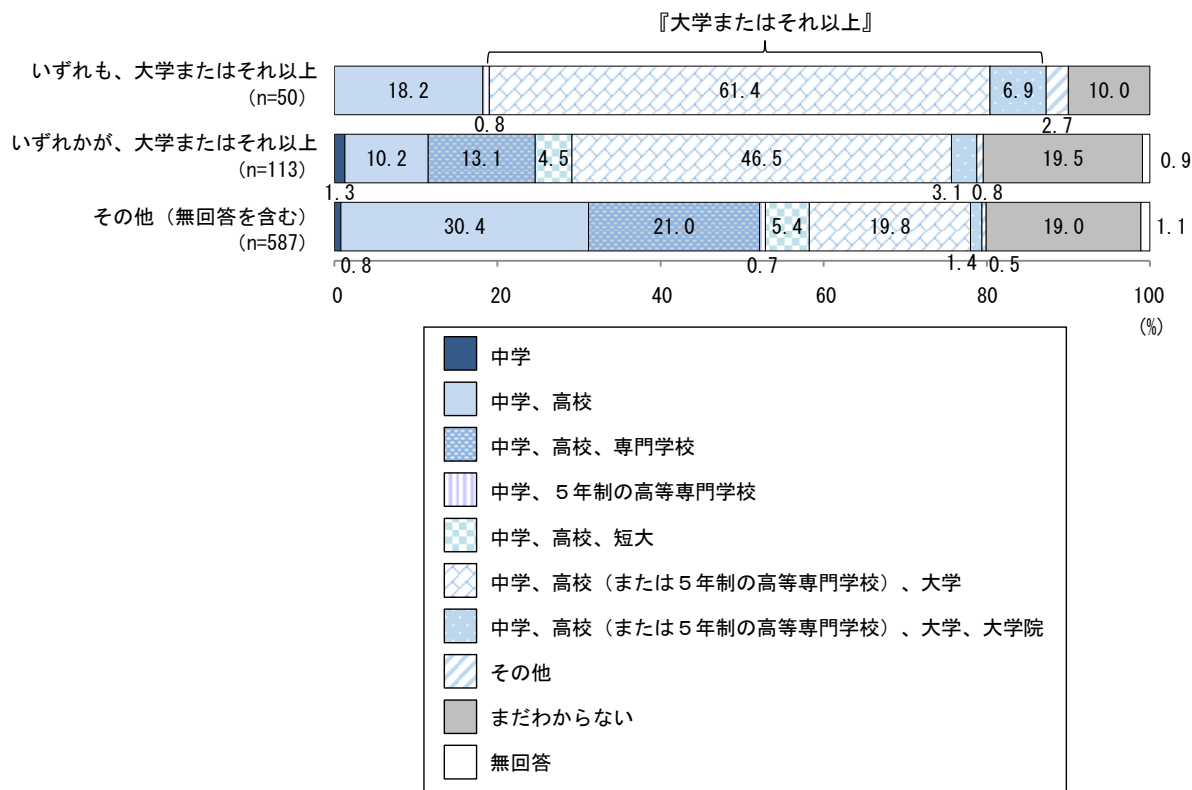


等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では70.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では44.1%、「中央値の2分の1未満」では29.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では60.0%、「ひとり親世帯全体」では38.7%、「母子世帯のみ」では38.6%となっている。

保護者票問 16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(単数回答)

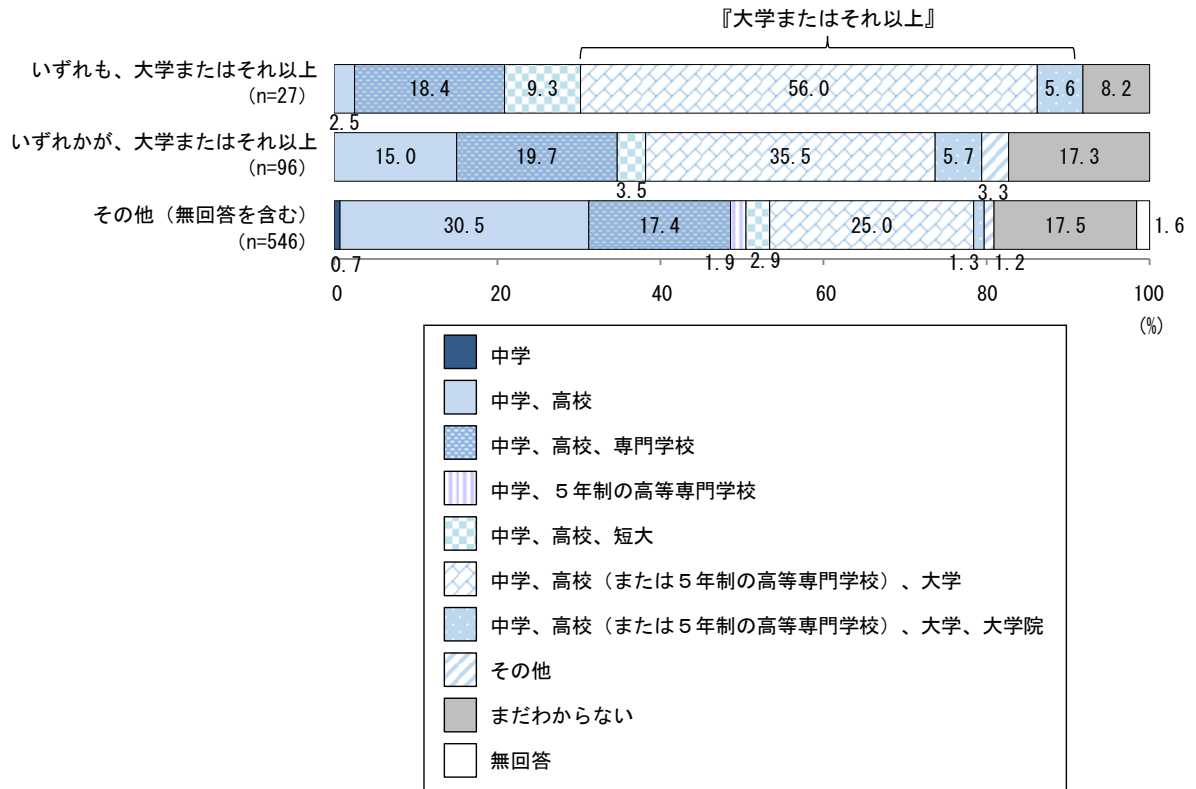
【親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）\_小学5年生の保護者】



親の学歴状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「いずれも、大学またはそれ以上」では68.3%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では49.6%、「その他（無回答を含む）」では21.2%となっている。

保護者票問 16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(単数回答)

【親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）\_中学2年生の保護者】



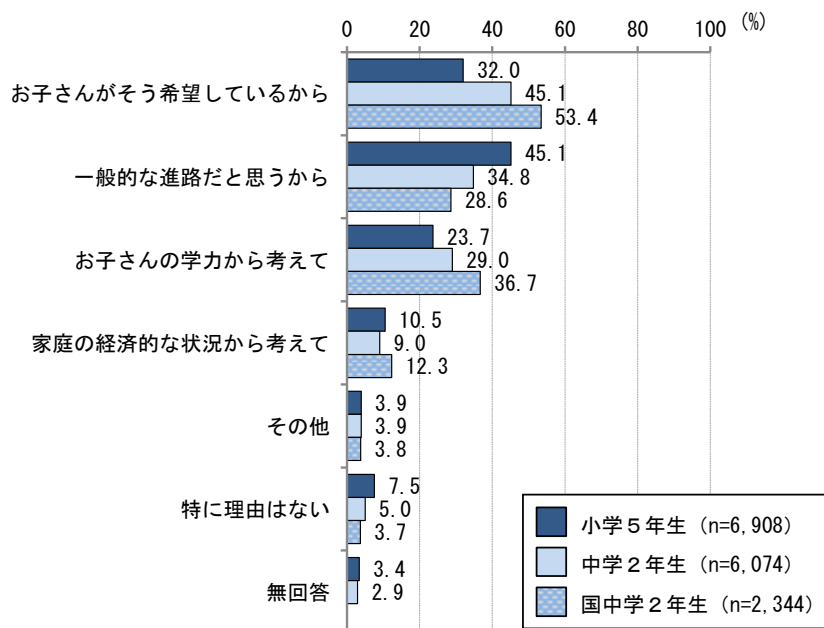
親の学歴状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「いずれも、大学またはそれ以上」では61.6%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では41.2%、「その他（無回答を含む）」では26.3%となっている。



※問 16 で「1～8」と答えた方に

保護者票問 17. その理由は何ですか。(複数回答)

【全体】



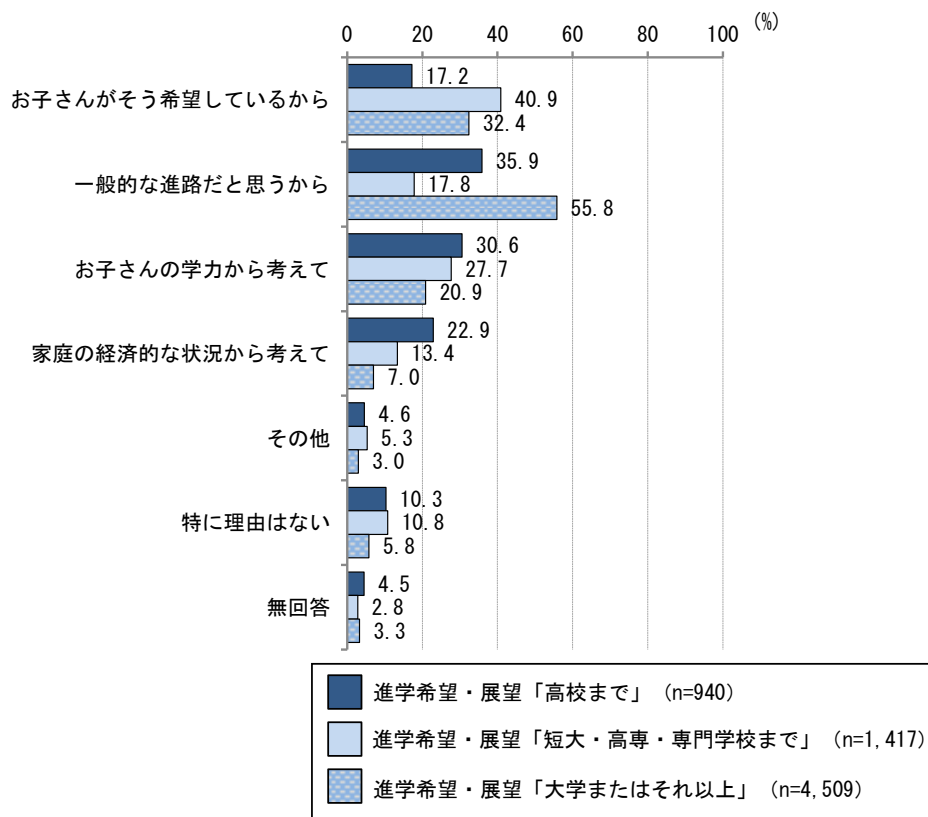
子供の進学学校に関する希望・展望について保護者がそう考える理由について、小学5年生の保護者では、「一般的な進路だと思うから」が45.1%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が32.0%、「お子さんの学力から考えて」が23.7%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が45.1%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が34.8%、「お子さんの学力から考えて」が29.0%などの順となっている。国と比較すると、「お子さんがそう希望しているから」は広島県(45.1%)が国(53.4%)を8.3ポイント下回っている。一方で、「一般的な進路だと思うから」は広島県(34.8%)が国(28.6%)を6.2ポイント上回っている。

※問 16 で「1～8」と答えた方に

保護者票問 17. その理由は何ですか。(複数回答)

【子供の進学段階に関する希望・展望の回答別\_小学5年生の保護者】

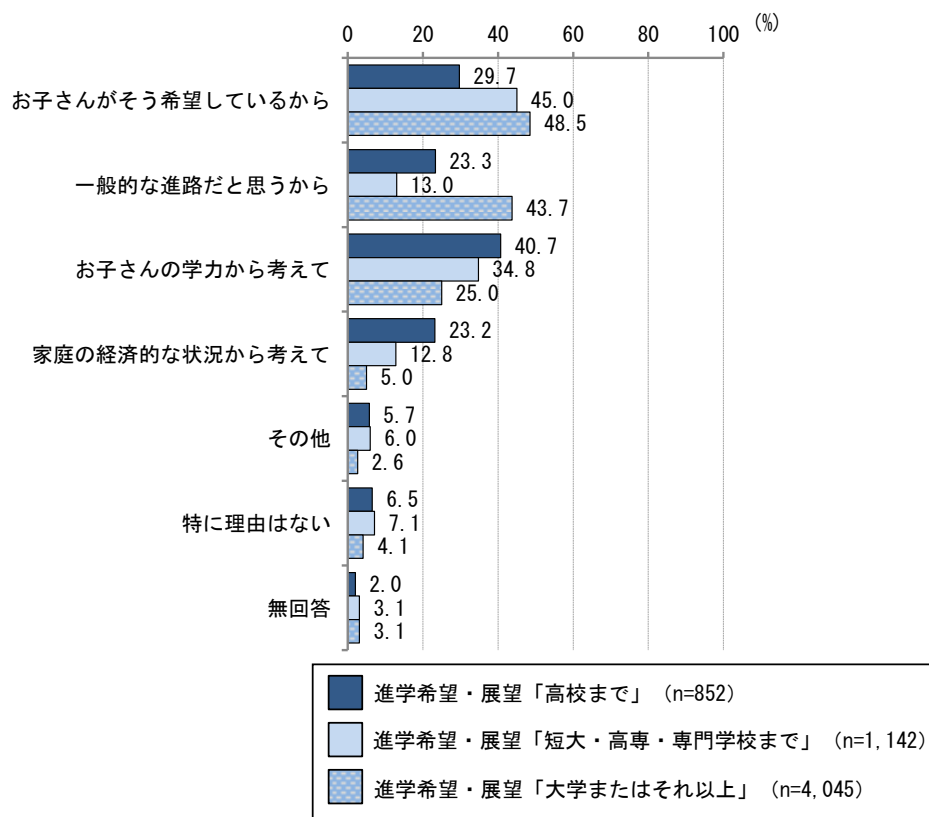


子供の進学学校に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が30.6%、「家庭の経済的な状況から考えて」が22.9%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

※問 16 で「1～8」と答えた方に

保護者票問 17. その理由は何ですか。(複数回答)

【子供の進学段階に関する希望・展望の回答別\_中学2年生の保護者】

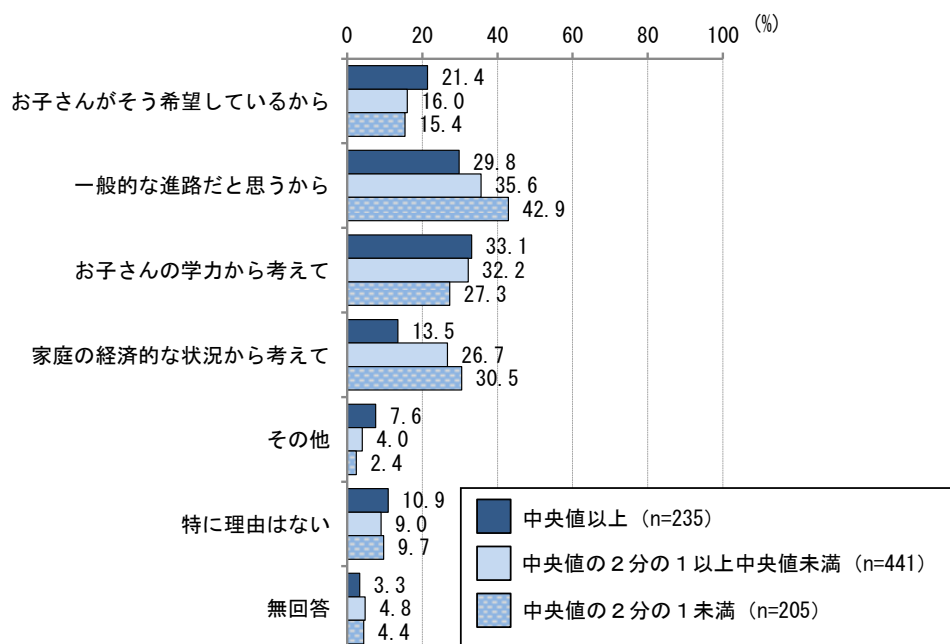


子供の進学学校に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が40.7%、「家庭の経済的な状況から考えて」が23.2%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

※問16で「1～8」と答えた方に

保護者票問17. その理由は何ですか。(複数回答)

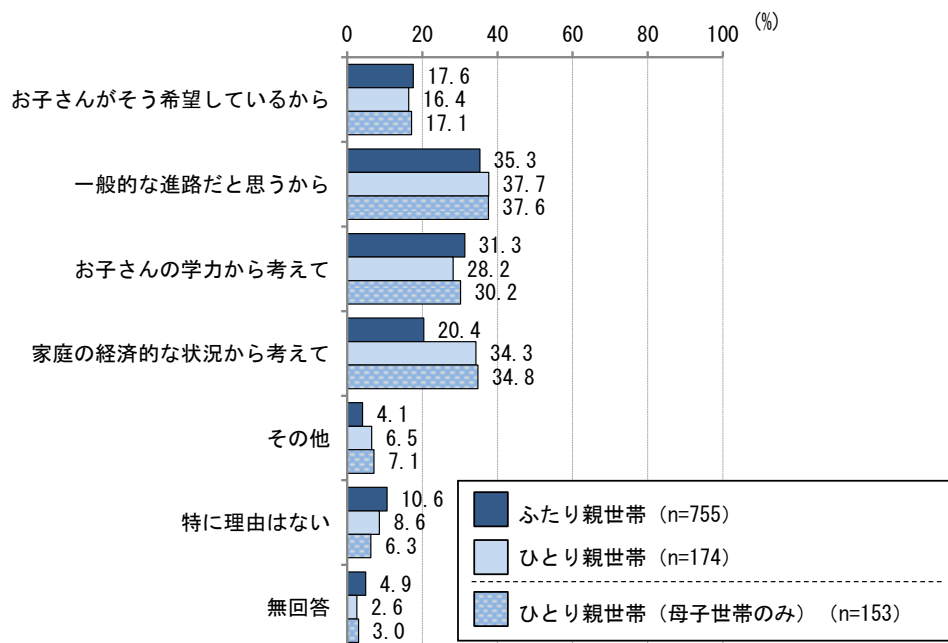
【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）\_小学5年生の保護者】



『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「一般的な進路だと思うから」が42.9%、「家庭の経済的な状況から考えて」が30.5%と他の世帯と比べて高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「お子さんがそう希望しているから」、「お子さんの学力から考えて」、「特に理由はない」の3項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

## 【世帯の状況別（高校までを希望している場合）\_小学5年生の保護者】



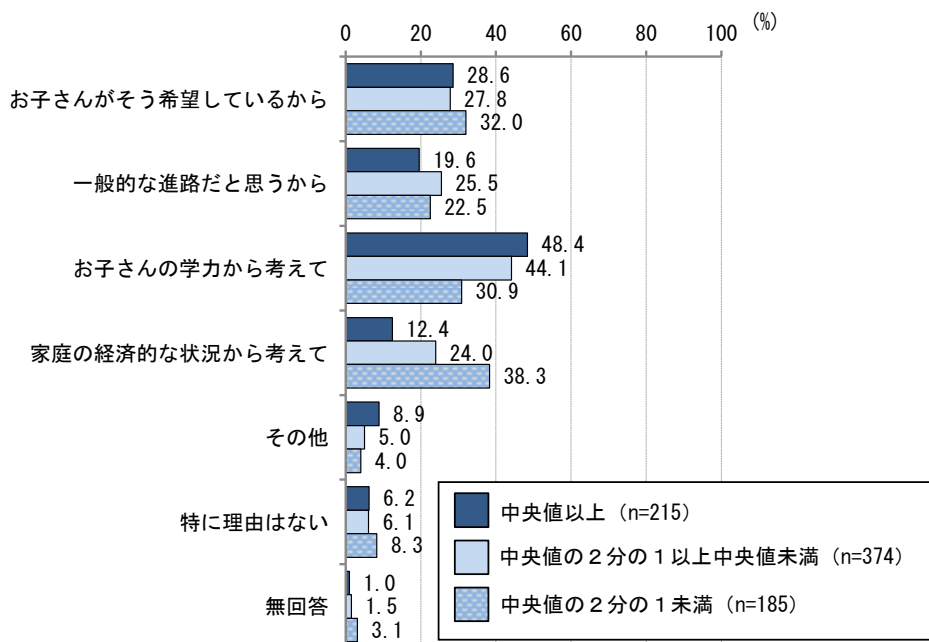
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家庭の経済的な状況から考えて」が34.3%と高くなっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「お子さんがそう希望しているから」、「一般的な進路だと思うから」、「お子さんの学力から考えて」、「その他」、「特に理由はない」の5項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問 16 で「1～8」と答えた方に

保護者票問 17. その理由は何ですか。(複数回答)

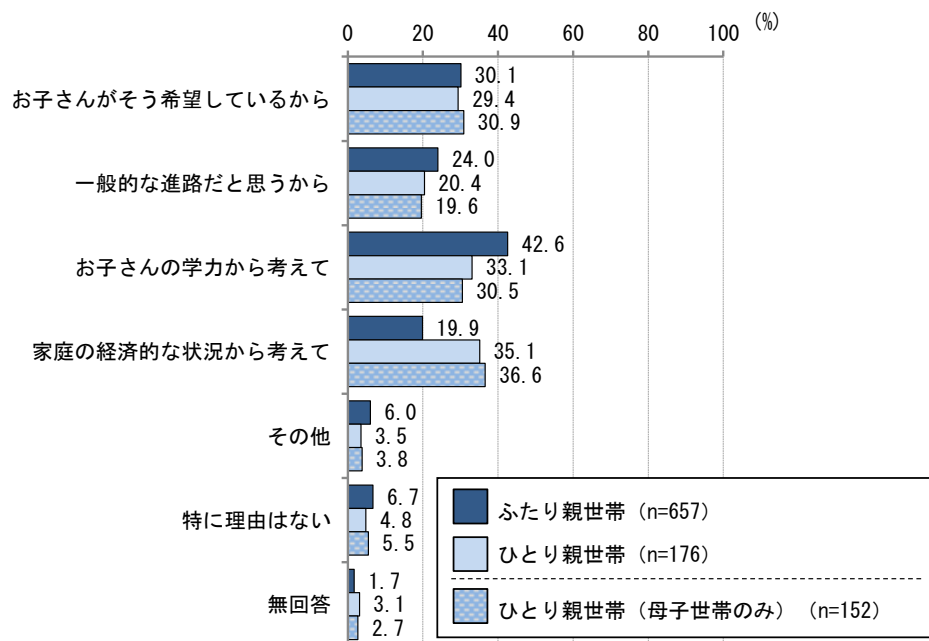
【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）\_中学2年生の保護者】



『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家庭の経済的な状況から考えて」が38.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「お子さんがそう希望しているから」、「一般的な進路だと思うから」、「その他」、「特に理由はない」の4項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

## 【世帯の状況別（高校までを希望している場合）\_中学2年生の保護者】



『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家庭の経済的な状況から考えて」が35.1%と高くなっている。

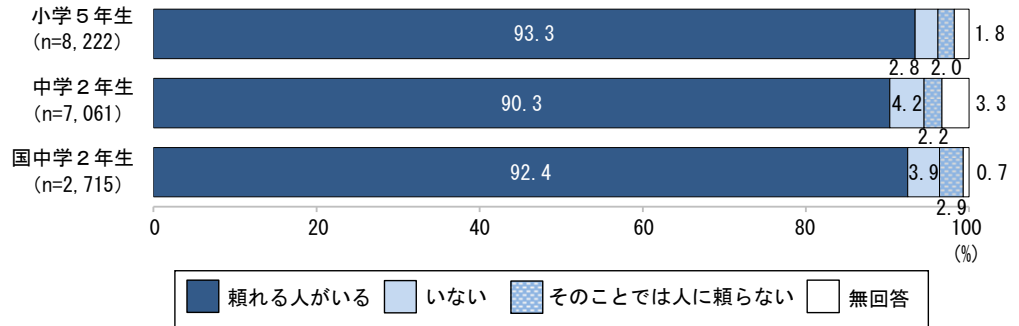
※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「お子さんがそう希望しているから」、「一般的な進路だと思うから」、「その他」、「特に理由はない」の4項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

(7) 頼れる人の有無・相手

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 子育てに関する相談 =

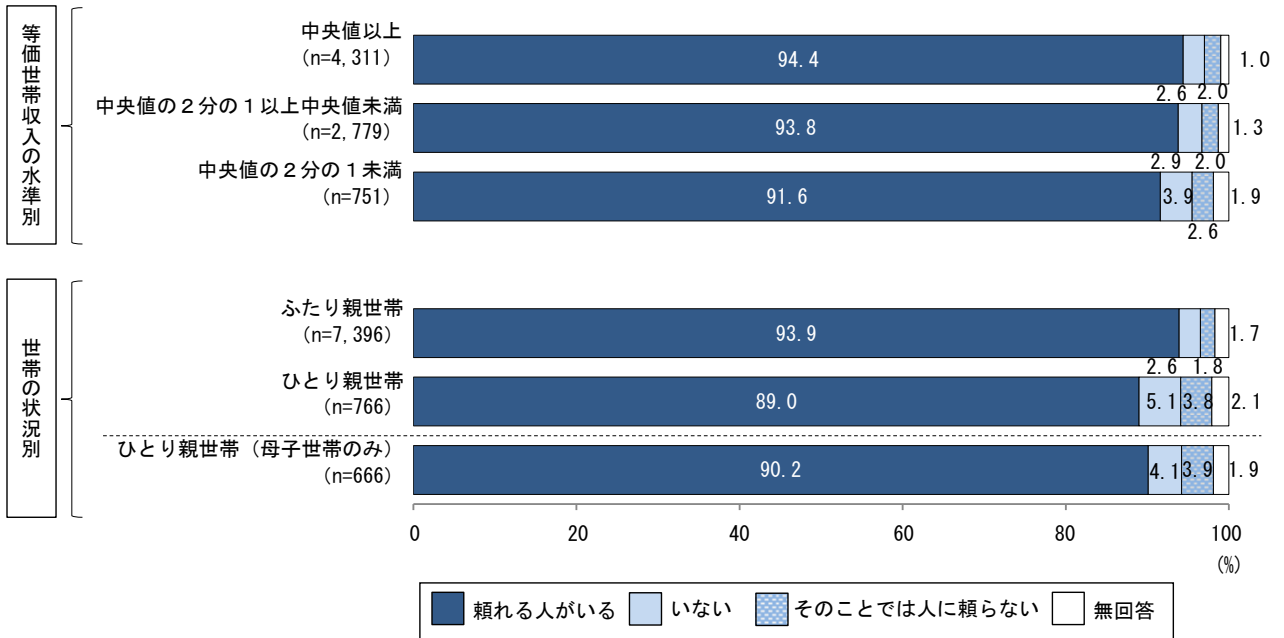
【全体】



子育てに関する相談について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が93.3%、「いない」が2.8%、「そのことでは人に頼らない」が2.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が90.3%、「いない」が4.2%、「そのことでは人に頼らない」が2.2%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では2.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.9%、「中央値の2分の1未満」では3.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.6%、「ひとり親世帯全体」では5.1%、「母子世帯のみ」では4.1%となっている。

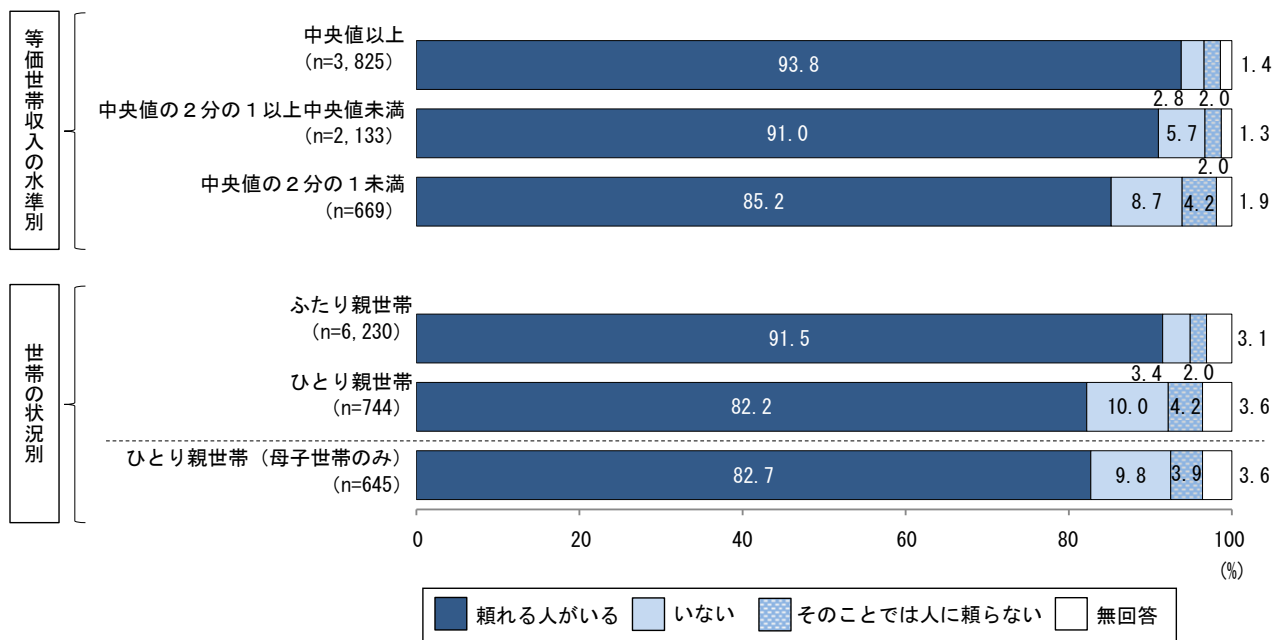
※等価世帯収入の水準別の集計結果については、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。



保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 子育てに関する相談 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では2.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.7%、「中央値の2分の1未満」では8.7%となっている。

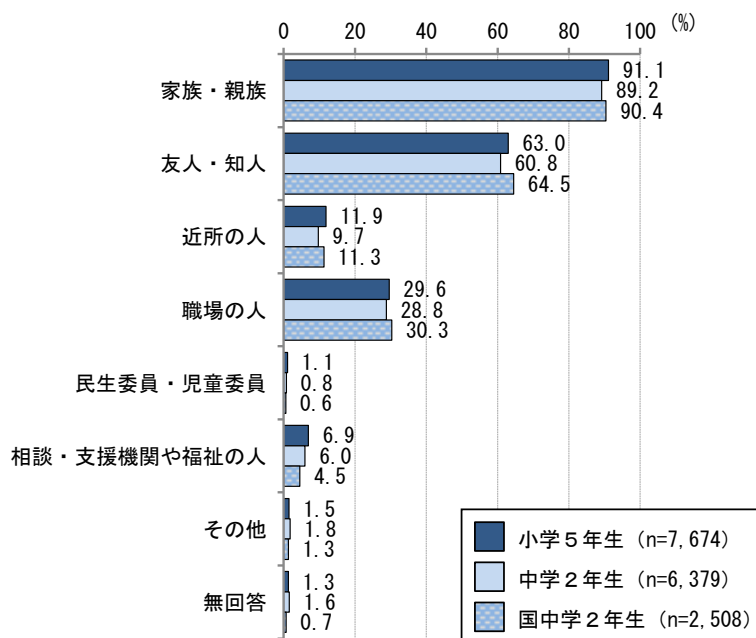
世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では3.4%、「ひとり親世帯全体」では10.0%、「母子世帯のみ」では9.8%となっている。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 子育てに関する相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【全体】



「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が91.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が63.0%、「職場の人」が29.6%などの順となっている。

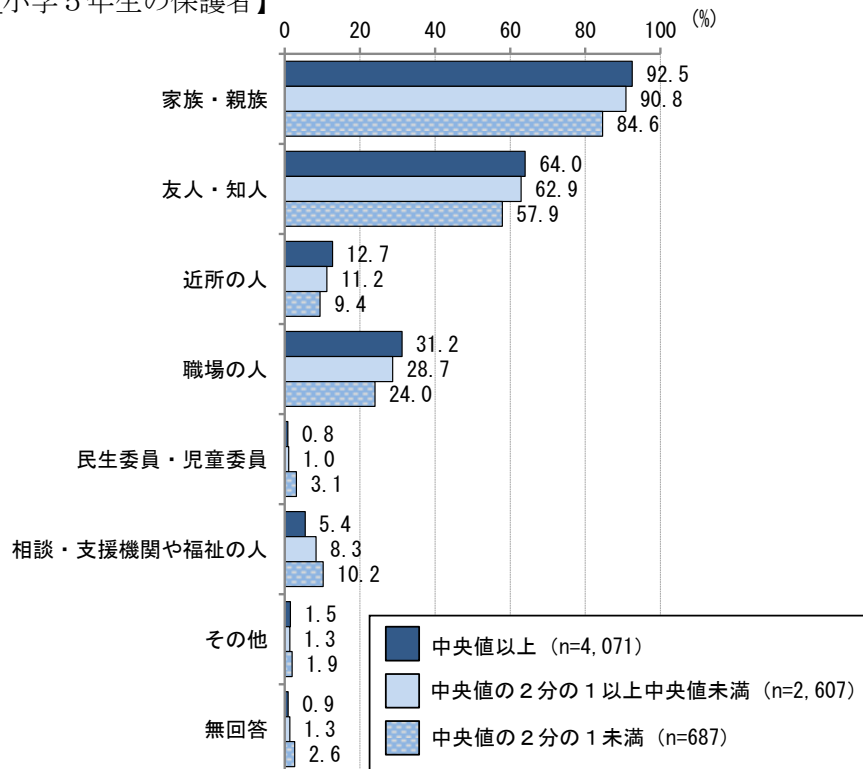
中学2年生の保護者では、「家族・親族」が89.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が60.8%、「職場の人」が28.8%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 子育てに関する相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【等価世帯収入の水準別\_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」は、「中央値以上」では92.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では90.8%、「中央値の2分の1未満」では84.6%となっている。

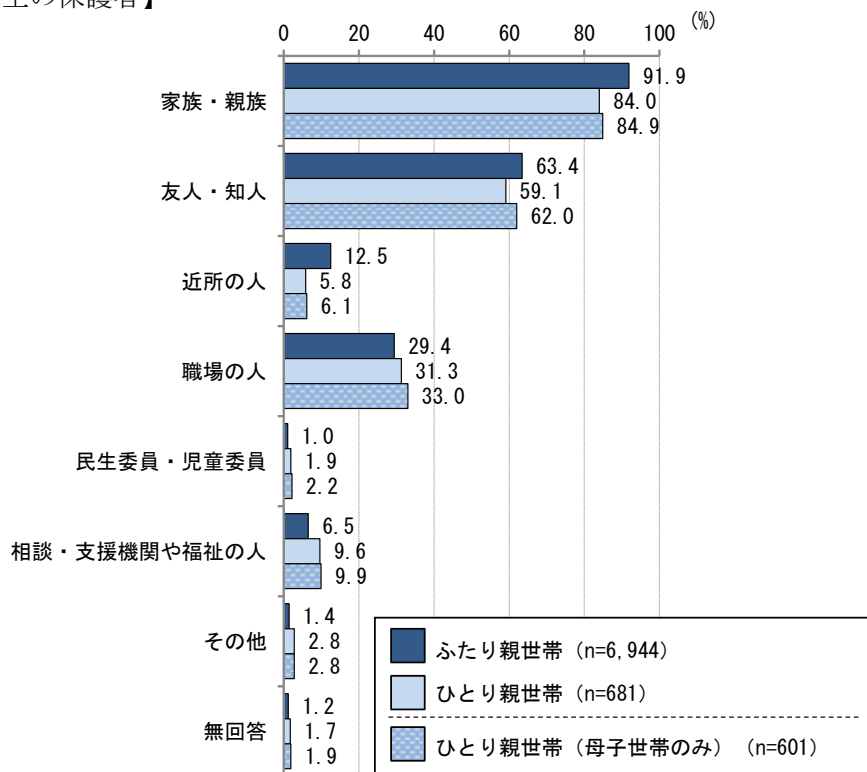
※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「その他」の1項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 子育てに関する相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「家族・親族」は「ふたり親世帯」では91.9%、「ひとり親世帯全体」では84.0%、「母子世帯のみ」では84.9%となっている。

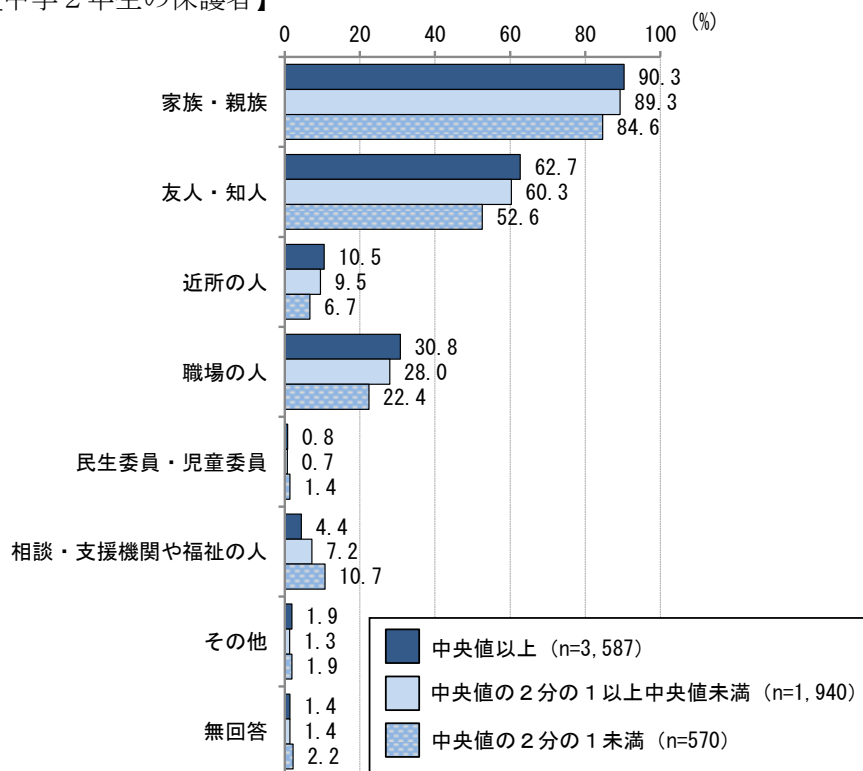
※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「職場の人」の1項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 子育てに関する相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【等価世帯収入の水準別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」は、「中央値以上」では90.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では89.3%、「中央値の2分の1未満」では84.6%となっている。

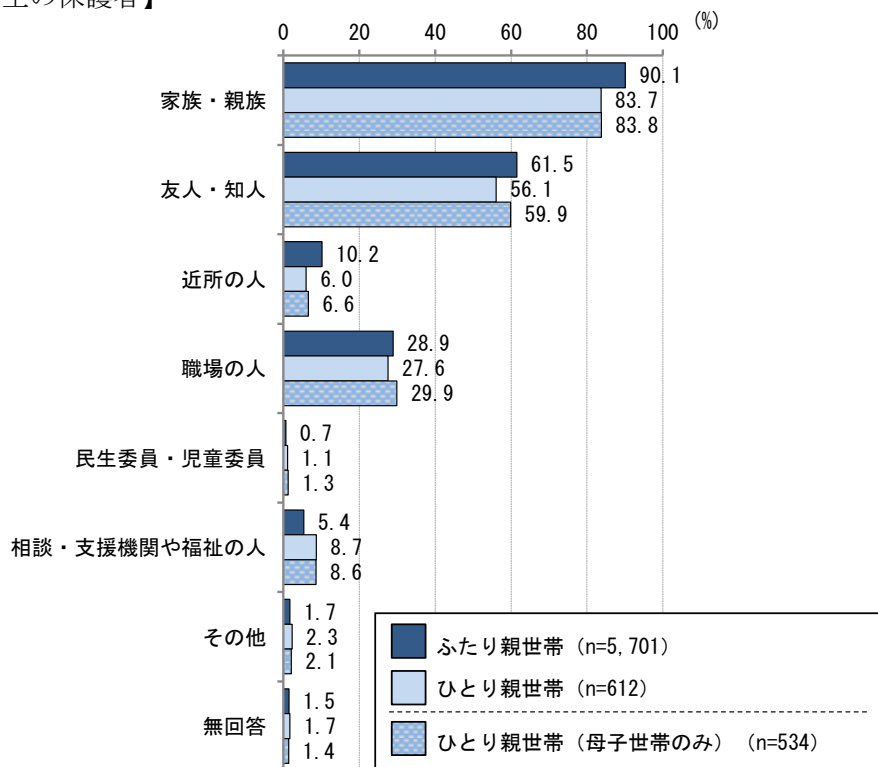
※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「民生委員・児童委員」、「その他」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 子育てに関する相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

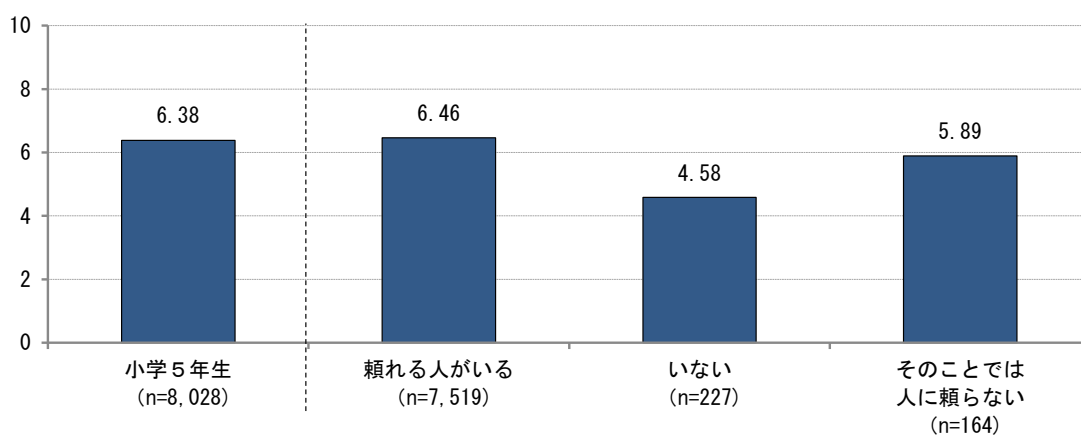
【世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「家族・親族」は「ふたり親世帯」では90.1%、「ひとり親世帯全体」では83.7%、「母子世帯のみ」では83.8%となっている。

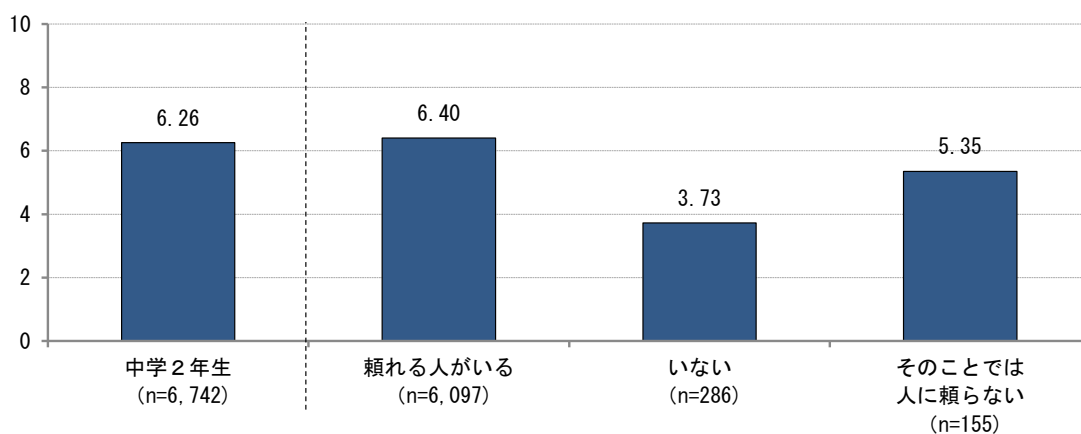
※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「職場の人」、「民生委員・児童委員」、「その他」の3項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

## 【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度\_小学5年生の保護者】



子育てに関する相談をできる人の有無別に、保護者の最近の生活満足度(保護者票問25への回答)をみると、保護者の生活満足度の平均値は、頼れる人が「いない」(4.58)が「頼れる人がいる」(6.46)を1.88点下回っている。

## 【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度\_中学2年生の保護者】

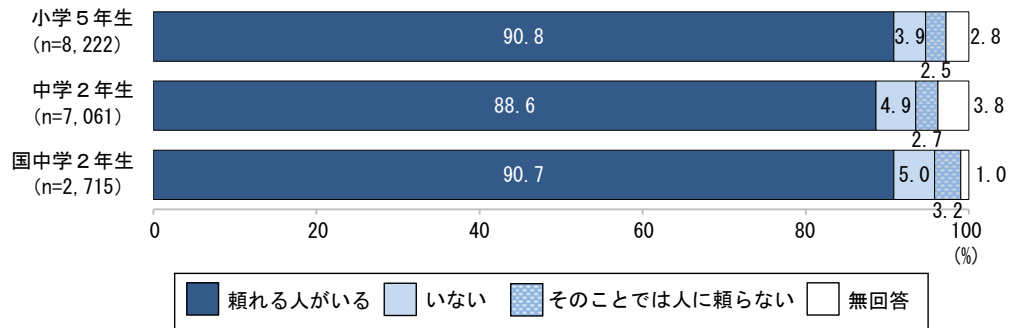


子育てに関する相談をできる人の有無別に、保護者の最近の生活満足度(保護者票問25への回答)をみると、保護者の生活満足度の平均値は、「いない」(3.73)が「頼れる人がいる」(6.40)を2.67点下回っている。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

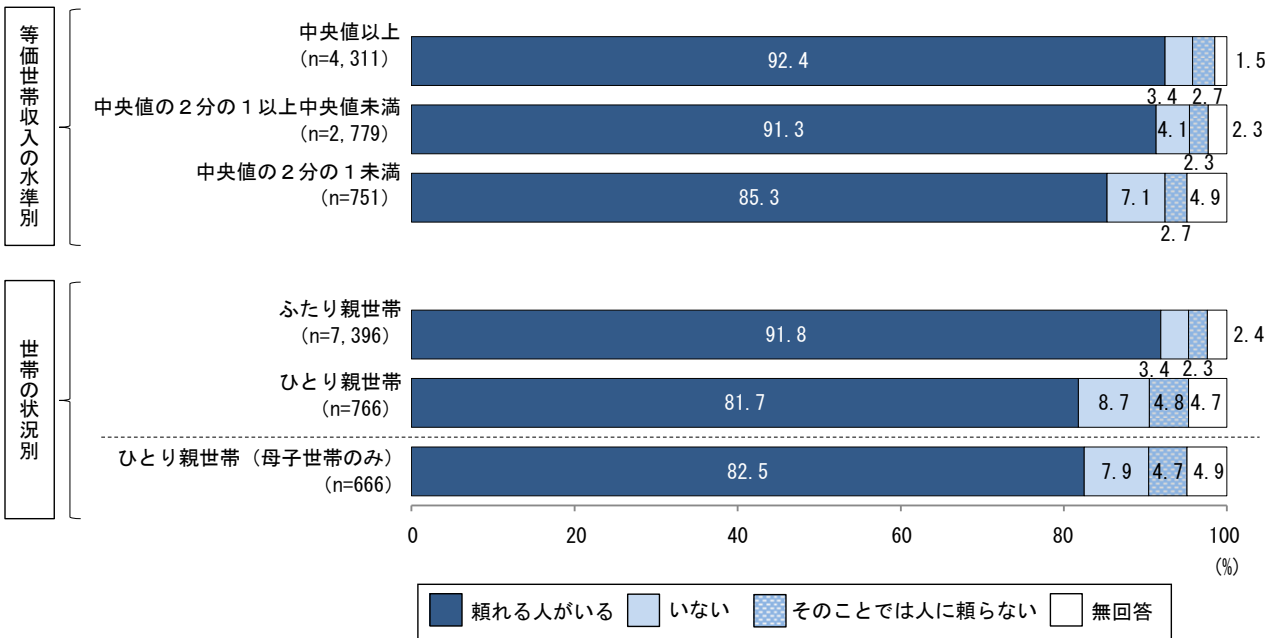
= 重要な事柄の相談 =

【全体】



重要な事柄の相談について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が90.8%、「いない」が3.9%、「そのことでは人に頼らない」が2.5%となっている。  
 中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が88.6%、「いない」が4.9%、「そのことでは人に頼らない」が2.7%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



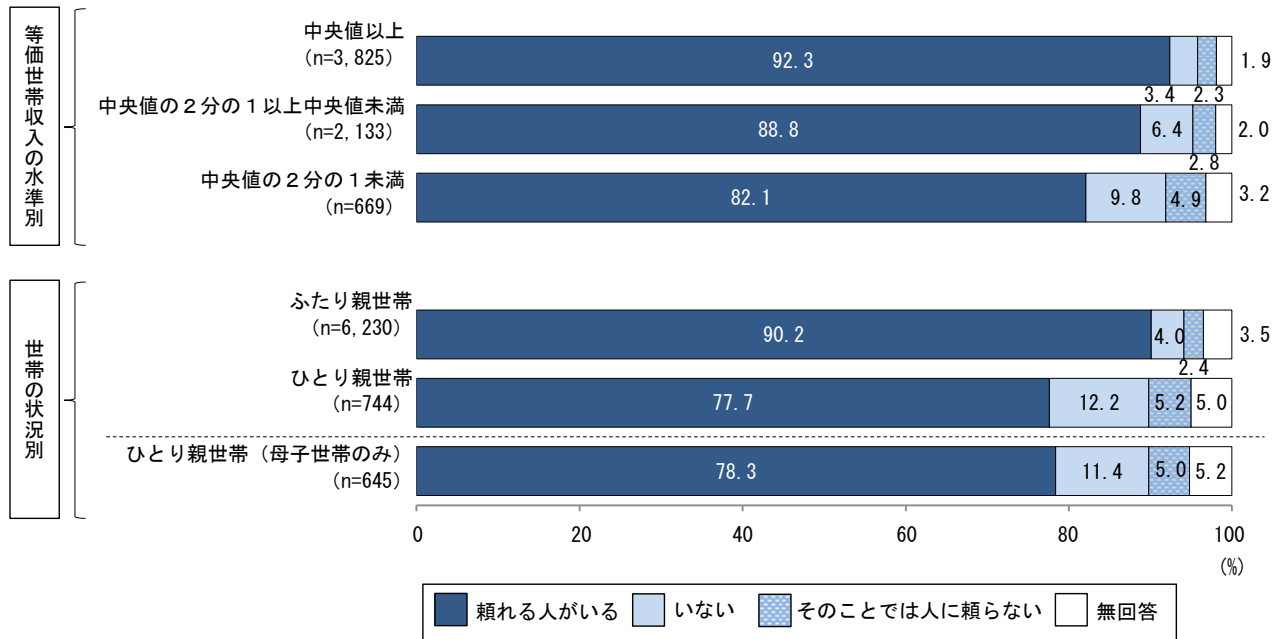
等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では3.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.1%、「中央値の2分の1未満」では7.1%となっている。  
 世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では3.4%、「ひとり親世帯全体」では8.7%、「母子世帯のみ」では7.9%となっている。



保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 重要な事柄の相談 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では3.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.4%、「中央値の2分の1未満」では9.8%となっている。

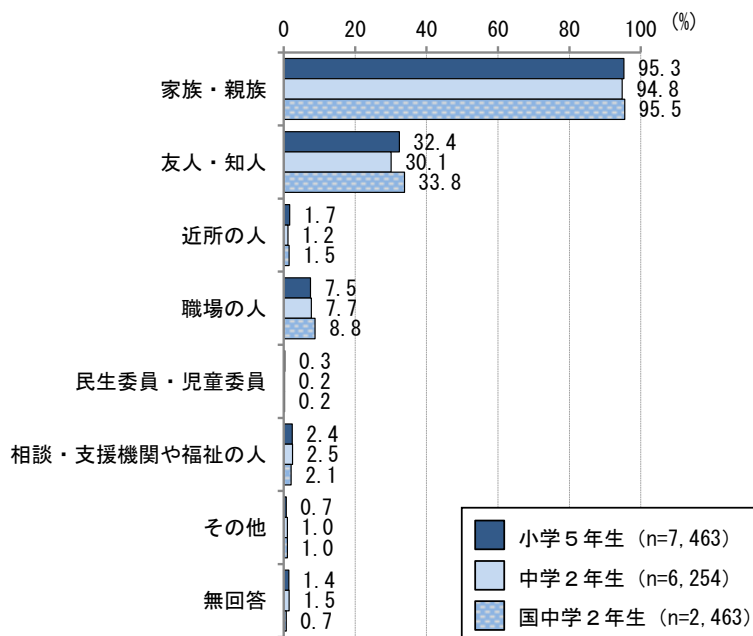
世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では4.0%、「ひとり親世帯全体」では12.2%、「母子世帯のみ」では11.4%となっている。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 重要な事柄の相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【全体】



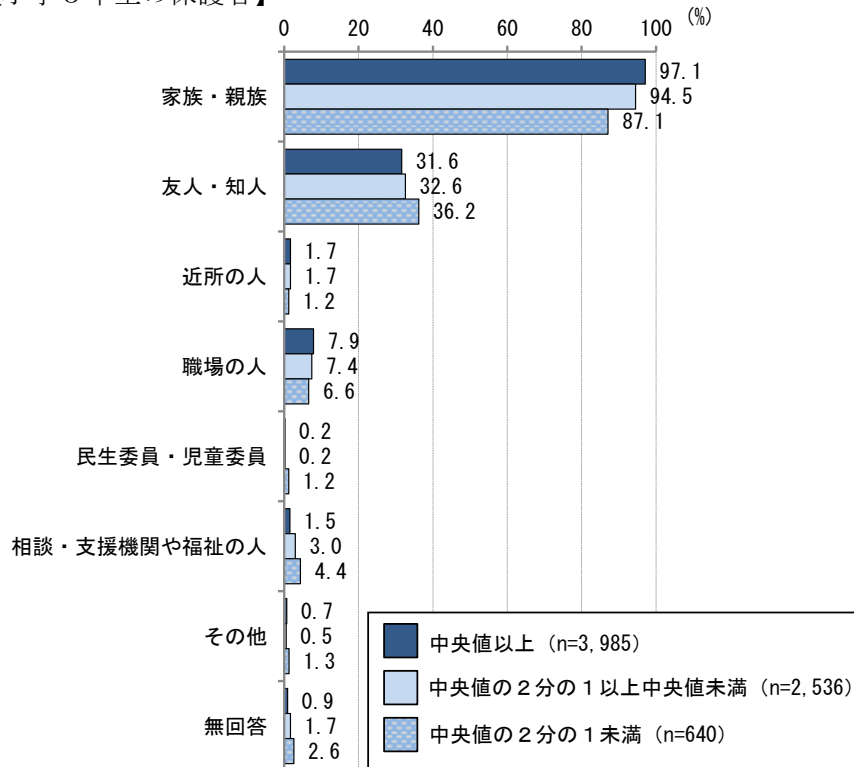
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が95.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が32.4%、「職場の人」が7.5%などの順となっている。中学2年生の保護者では、「家族・親族」が94.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が30.1%、「職場の人」が7.7%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 重要な事柄の相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【等価世帯収入の水準別\_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」は、「中央値以上」では97.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では94.5%、「中央値の2分の1未満」では87.1%となっている。

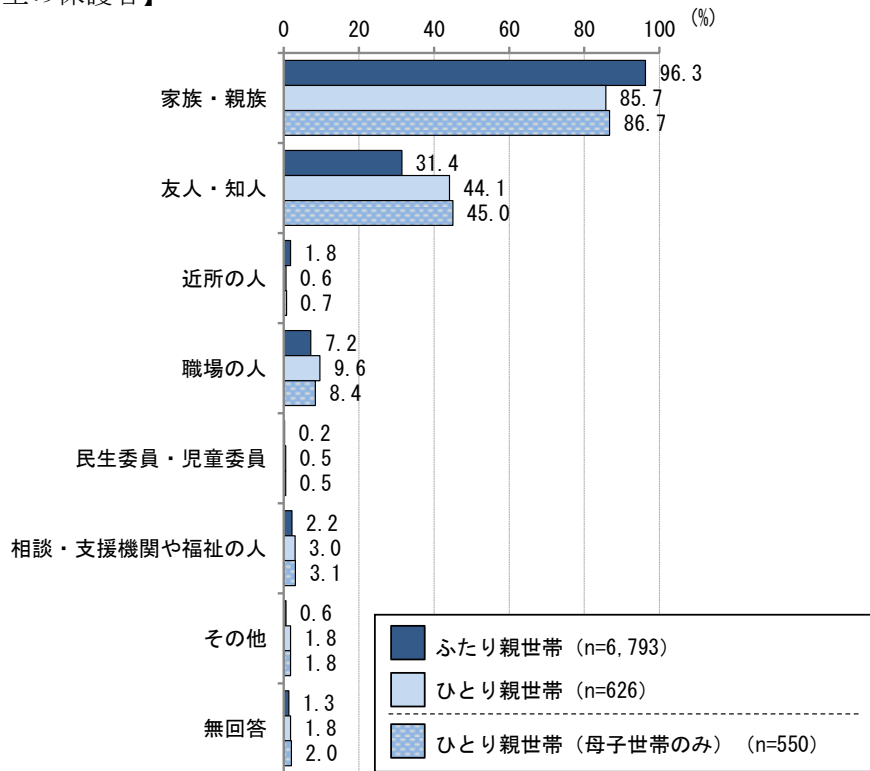
※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「近所の人」、「職場の人」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 重要な事柄の相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「家族・親族」は、「ふたり親世帯」では96.3%、「ひとり親世帯全体」では85.7%、「母子世帯のみ」では86.7%となっている。

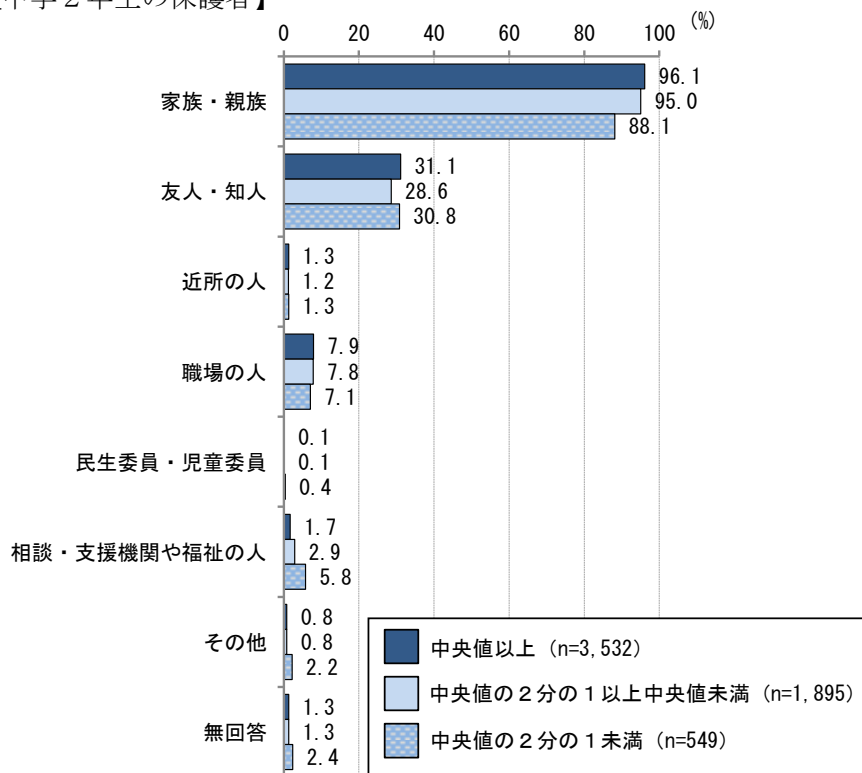
※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「民生委員・児童委員」、「相談・支援機関や福祉の人」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 重要な事柄の相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【等価世帯収入の水準別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」は、「中央値以上」では96.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では95.0%、「中央値の2分の1未満」では88.1%となっている。

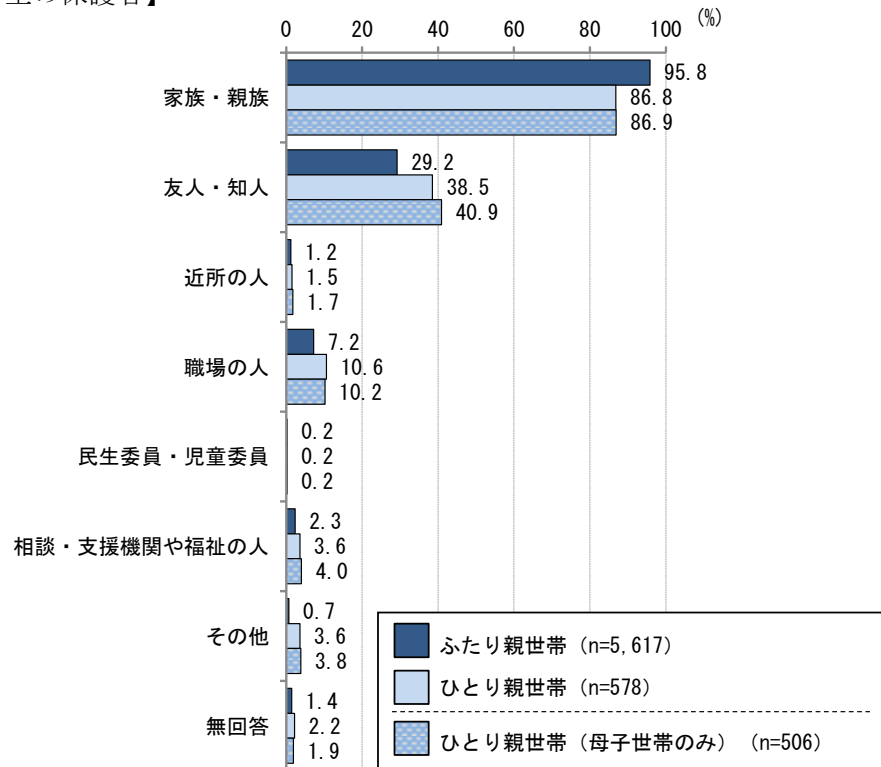
※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「友人・知人」、「近所の人」、「職場の人」、「民生委員・児童委員」の4項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= 重要な事柄の相談 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



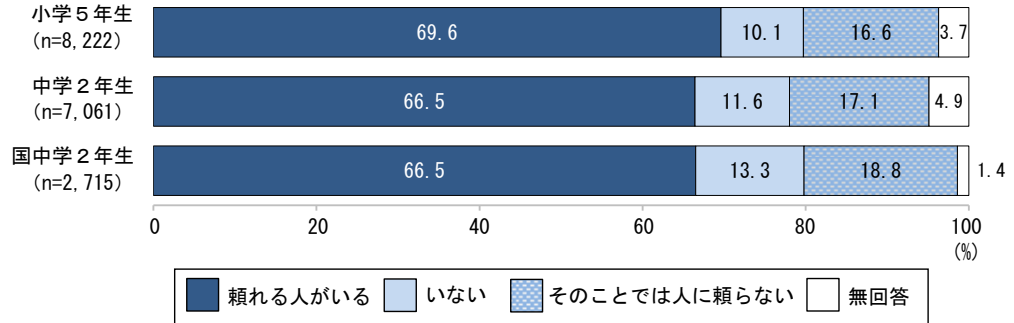
世帯の状況別にみると、「家族・親族」は、「ふたり親世帯」では95.8%、「ひとり親世帯全体」では86.8%、「母子世帯のみ」では86.9%となっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「近所の人」、「民生委員・児童委員」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= いざという時のお金の援助 =

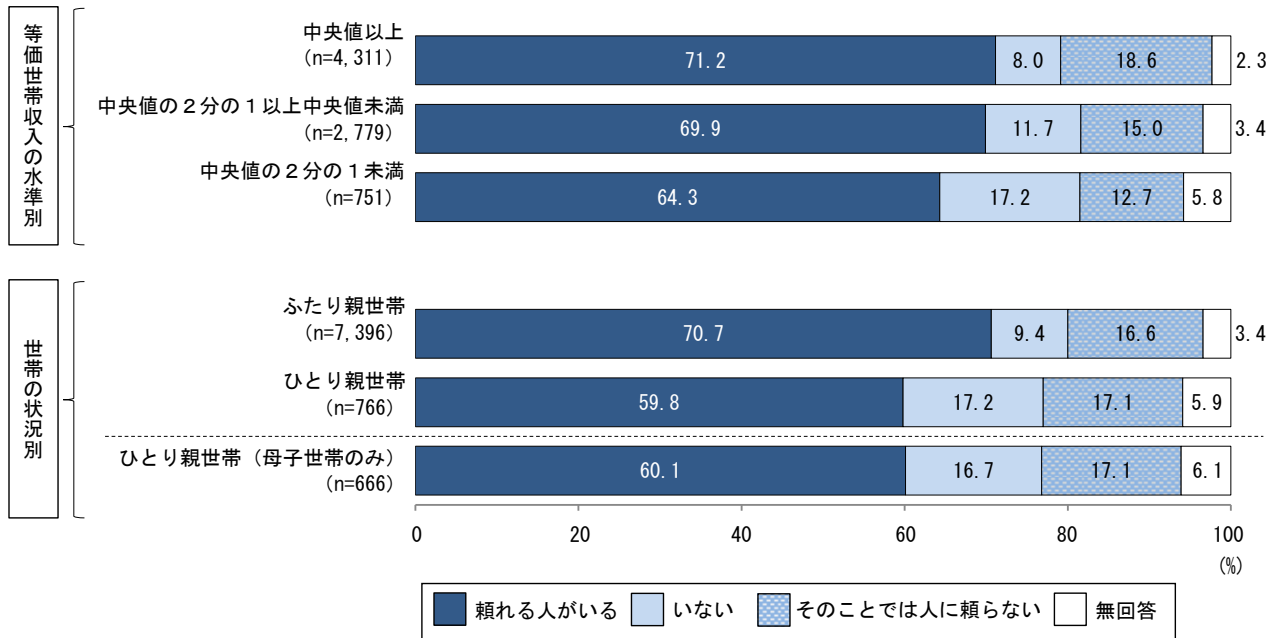
【全体】



いざという時のお金の援助について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が69.6%、「いない」が10.1%、「そのことでは人に頼らない」が16.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が66.5%、「いない」が11.6%、「そのことでは人に頼らない」が17.1%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



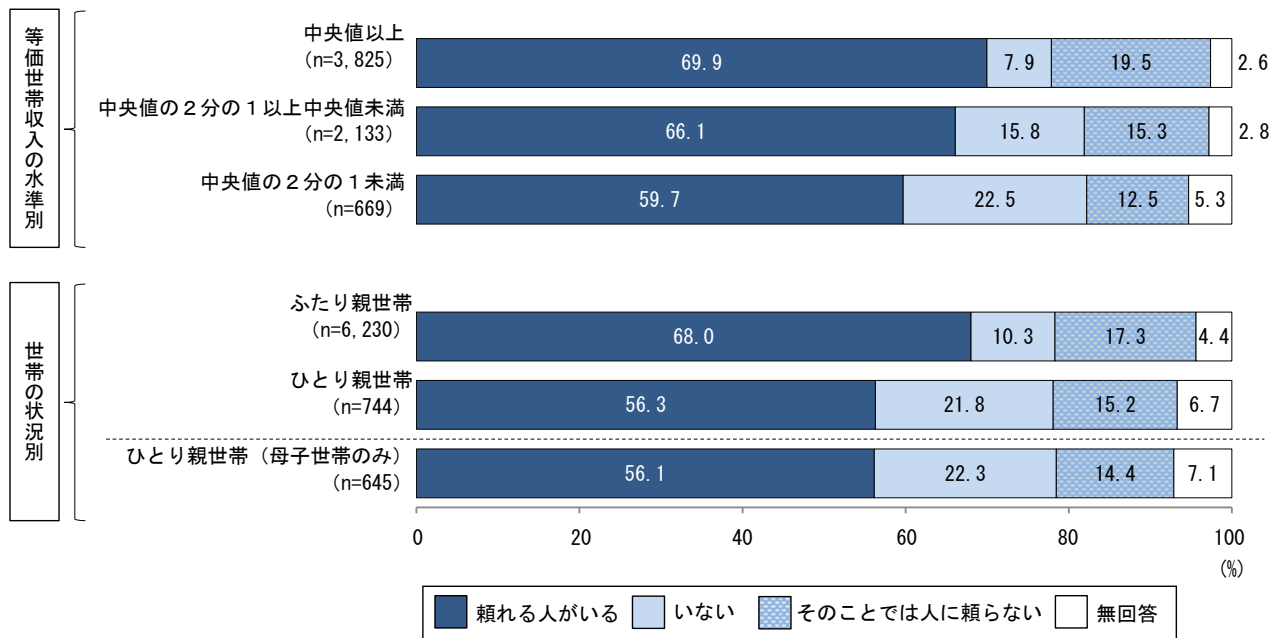
等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では8.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.7%、「中央値の2分の1未満」では17.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では9.4%、「ひとり親世帯全体」では17.2%、「母子世帯のみ」では16.7%となっている。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= いざという時のお金の援助 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 7.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 15.8%、「中央値の2分の1未満」では 22.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 10.3%、「ひとり親世帯全体」では 21.8%、「母子世帯のみ」では 22.3%となっている。

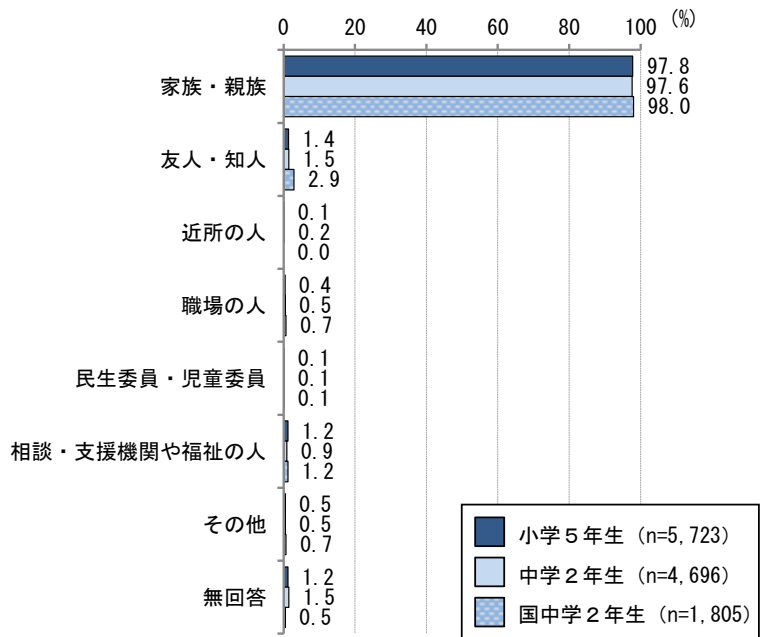


保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= いざという時のお金の援助 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【全体】



「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が97.8%と最も高くなっている。

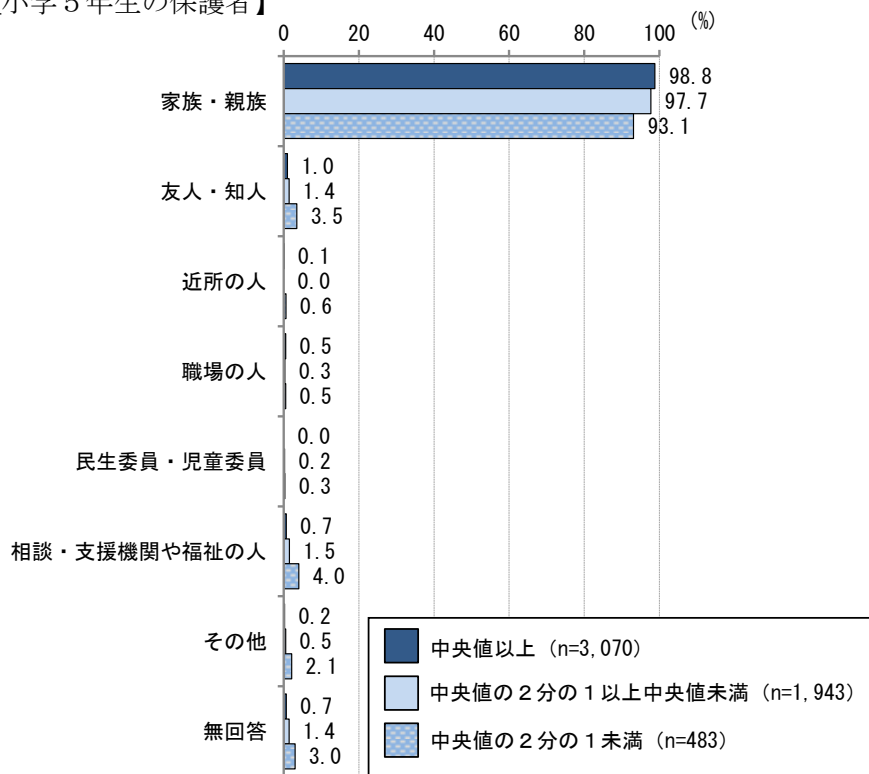
中学2年生の保護者では、「家族・親族」が97.6%と最も高くなっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= いざという時のお金の援助 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【等価世帯収入の水準別\_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」は、「中央値以上」では98.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では97.7%、「中央値の2分の1未満」では93.1%となっている。

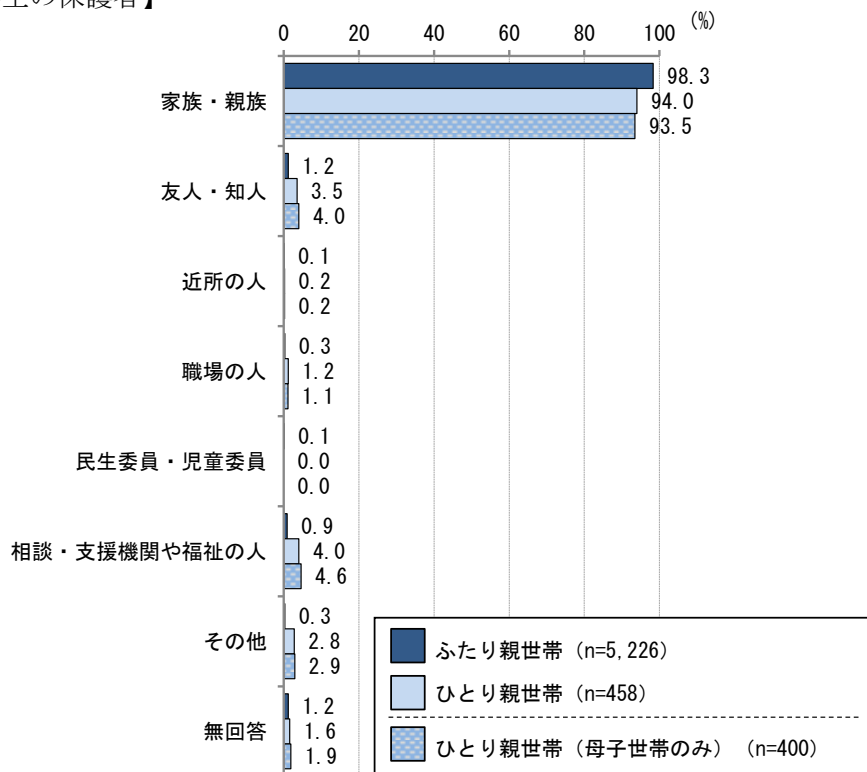
※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「職場の人」の1項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= いざという時のお金の援助 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【世帯の状況別\_小学5年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「家族・親族」は、「ふたり親世帯」では98.3%、「ひとり親世帯全体」では94.0%、「母子世帯のみ」では93.5%となっている。

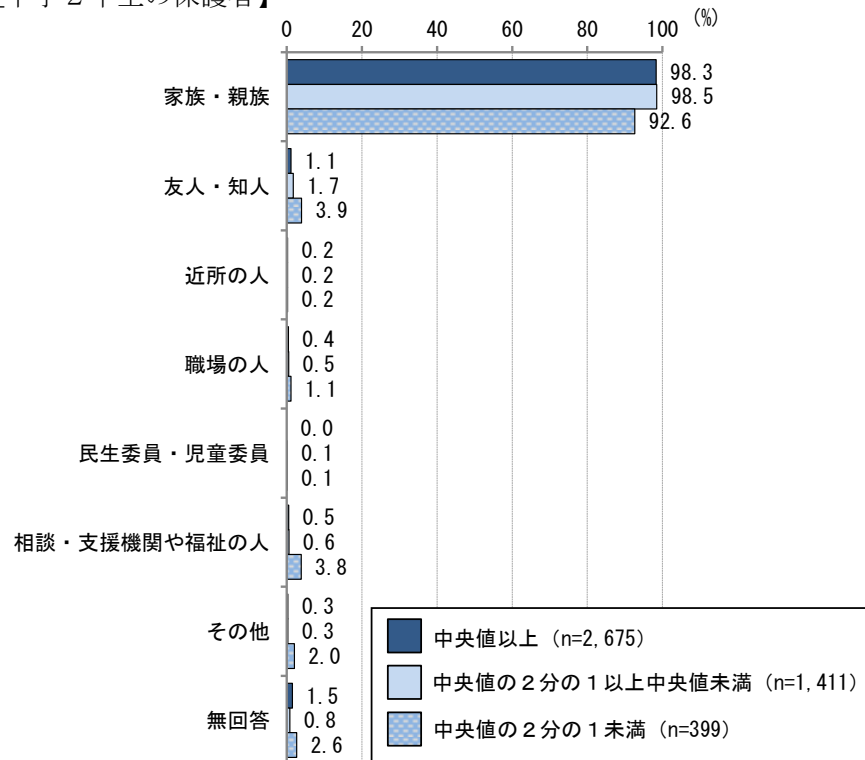
※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「近所の人」、「民生委員・児童委員」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= いざという時のお金の援助 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【等価世帯収入の水準別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「家族・親族」は、「中央値以上」では98.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では98.5%、「中央値の2分の1未満」では92.6%となっている。

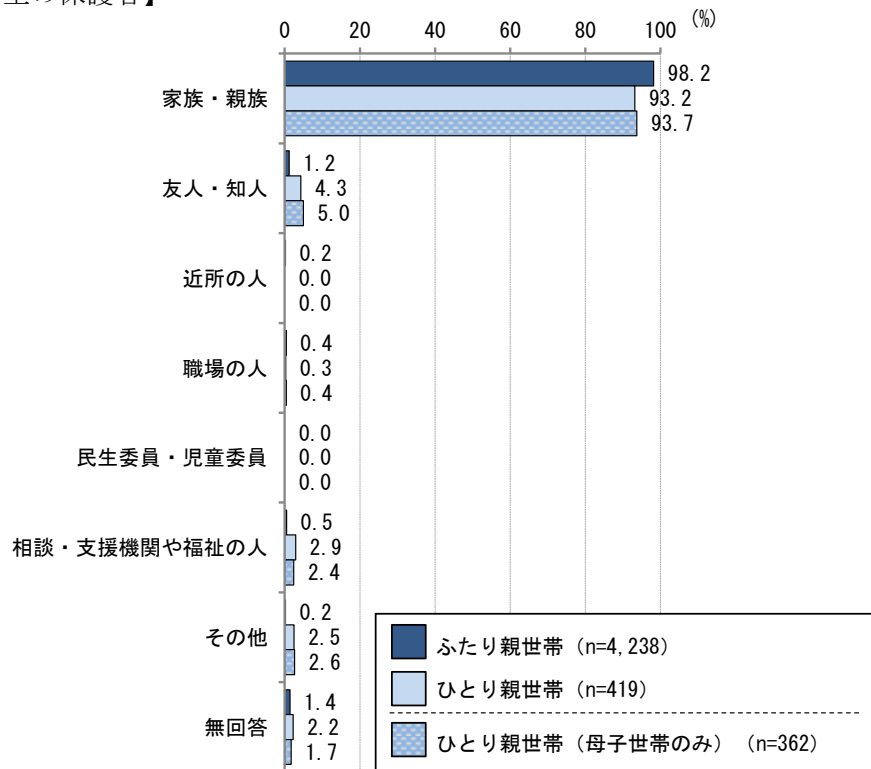
※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「近所の人」、「職場の人」、「民生委員・児童委員」の3項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(単数回答)  
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(複数回答)

= いざという時のお金の援助 =

< 「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手 >

【世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「家族・親族」は、「ふたり親世帯」では98.2%、「ひとり親世帯全体」では93.2%、「母子世帯のみ」では93.7%となっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「近所の人」、「職場の人」、「民生委員・児童委員」の3項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

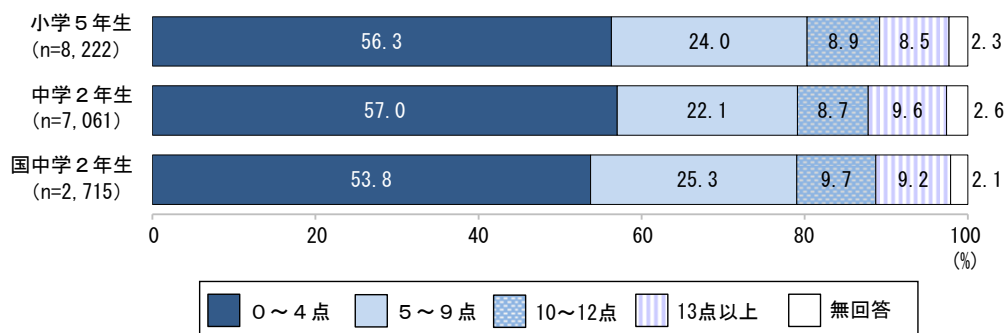
## (8) 保護者の心理的な状態

保護者票問 24. 次の a~f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
(単数回答)

- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

「保護者の心理的な状態」に関して、本調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための 6 つの項目を設定した。採点方法は、1 つの質問ごとに 0 点（「5 まったくない」）から 4 点（「1 いつも」）を振り、0 点から 24 点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。

## 【全体】

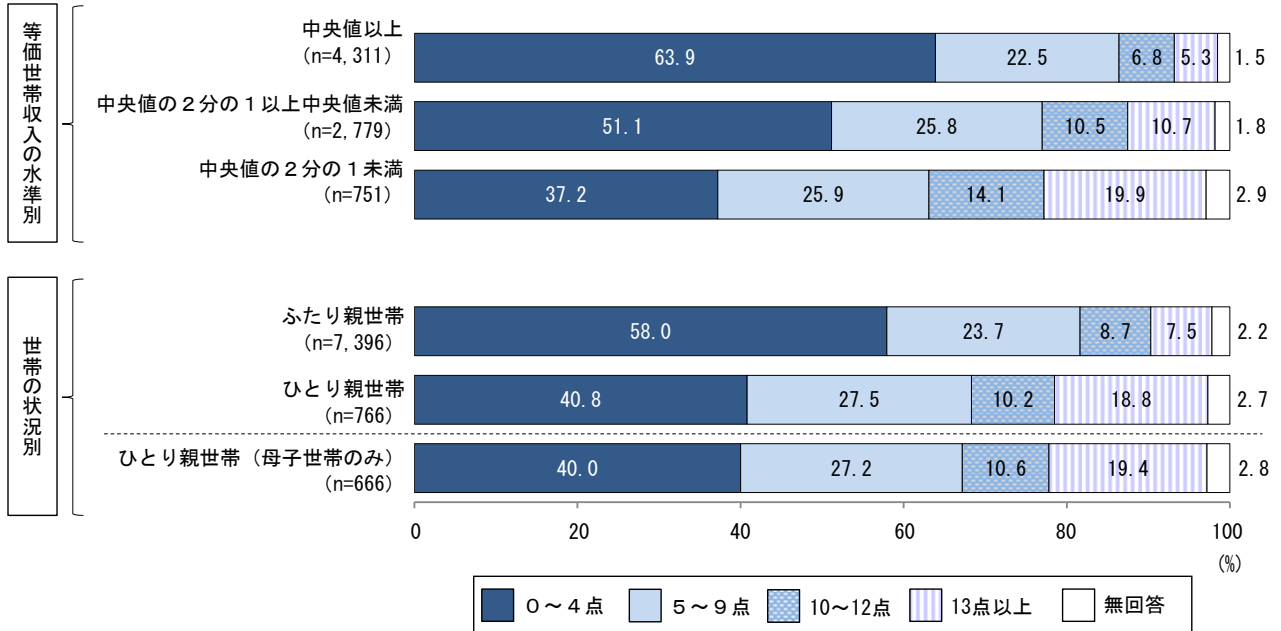


K6 のスコアについて、小学 5 年生の保護者では、「うつ・不安障害相当」とされている「13 点以上」は 8.5% となっている。

中学 2 年生の保護者では、「13 点以上」は 9.6% となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 24. 次の a~f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
 (単数回答)  
 (※選択肢の内容、採点方式については P. 98 を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】

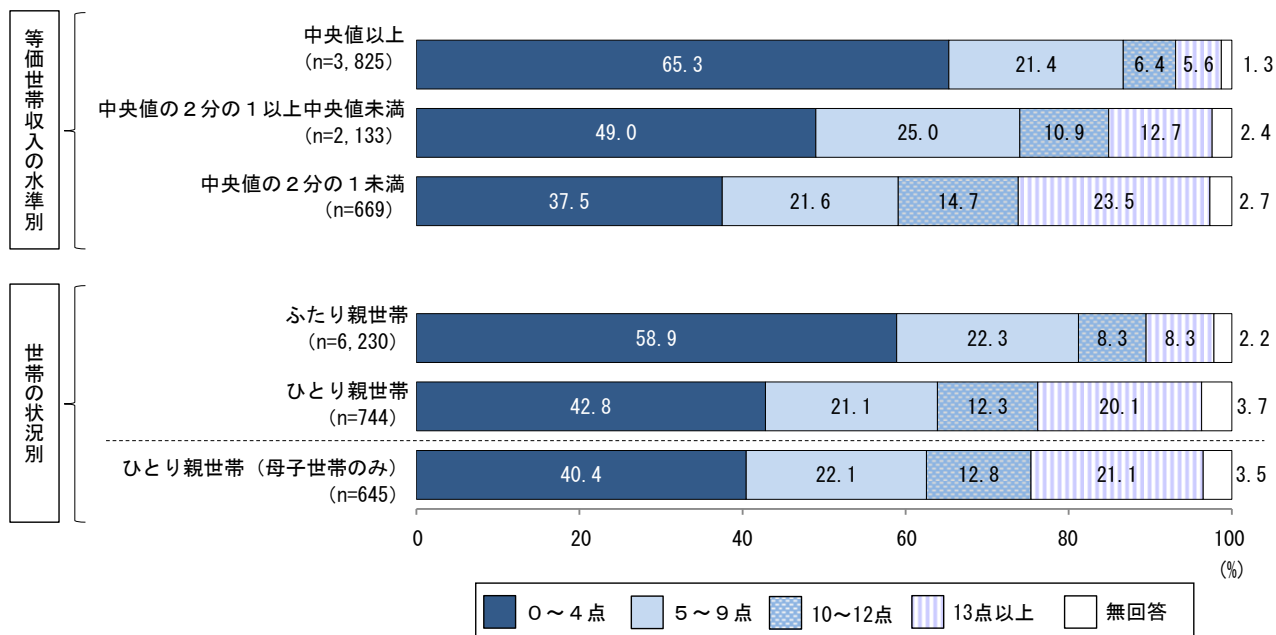


等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」は、「中央値以上」では5.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.7%、「中央値の2分の1未満」では19.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「13点以上」は、「ふたり親世帯」では7.5%、「ひとり親世帯全体」では18.8%、「母子世帯のみ」では19.4%となっている。

保護者票問 24. 次の a~f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。  
 (単数回答)  
 (※選択肢の内容、採点方式については P. 98 を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学 2 年生の保護者】



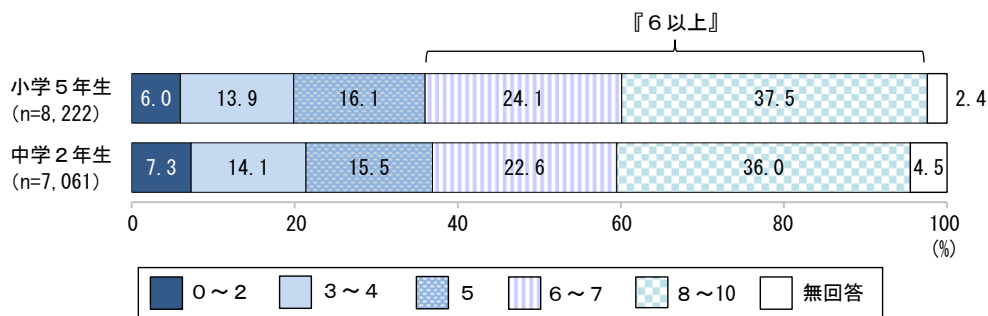
等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」は、「中央値以上」では5.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では12.7%、「中央値の2分の1未満」では23.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「13点以上」は、「ふたり親世帯」では8.3%、「ひとり親世帯全体」では20.1%、「母子世帯のみ」では21.1%となっている。



保護者票問 25. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(単数回答)  
 「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で答えてください。

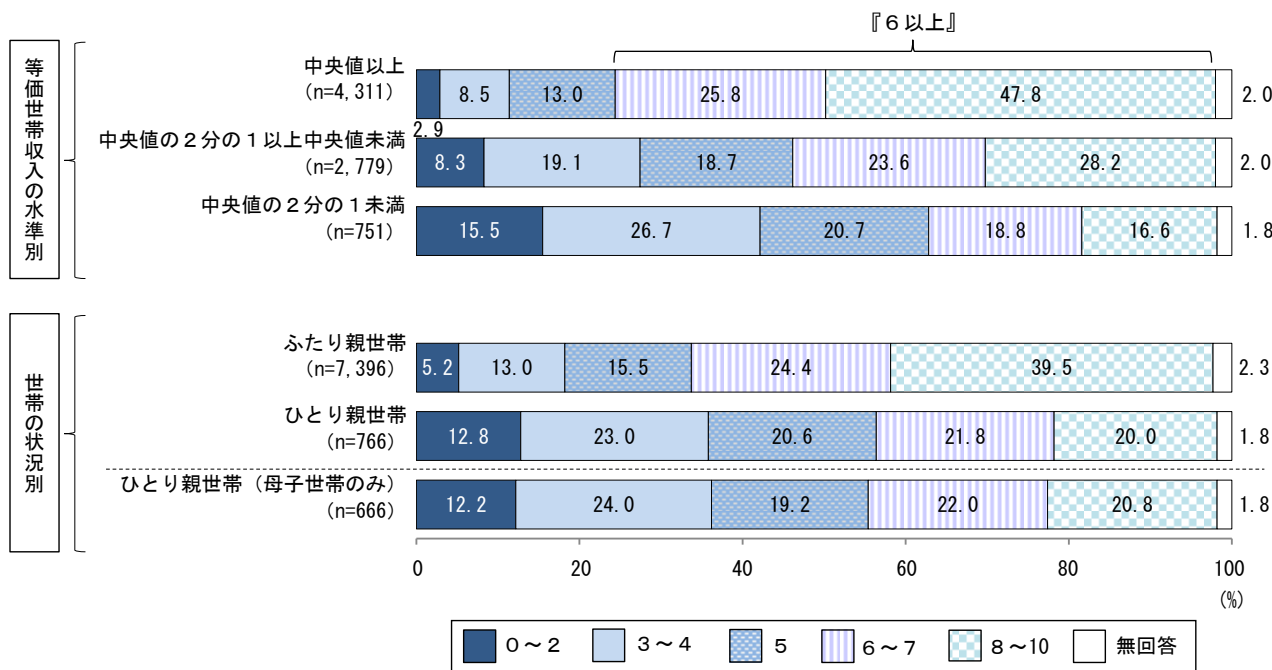
【全体】



最近の生活満足度について、小学5年生の保護者では、「0~2」が6.0%、「3~4」が13.9%、「5」が16.1%、「6~7」が24.1%、「8~10」が37.5%となっている。

中学2年生の保護者では、「0~2」が7.3%、「3~4」が14.1%、「5」が15.5%、「6~7」が22.6%、「8~10」が36.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生の保護者】

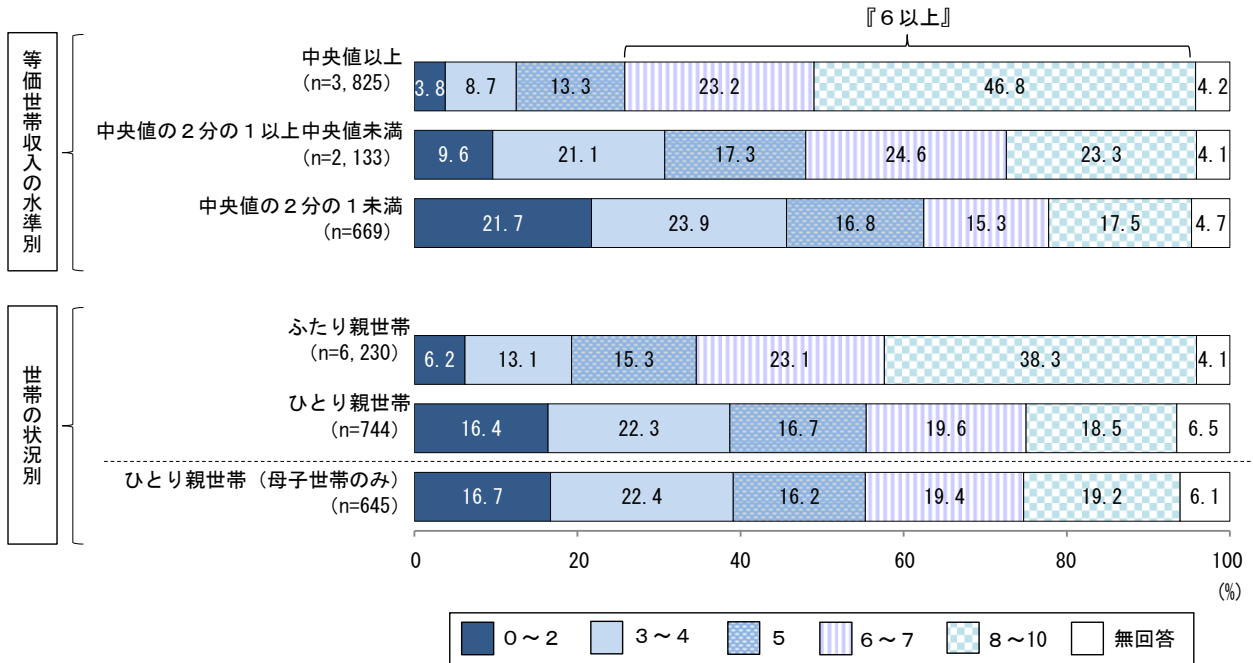


等価世帯収入の水準別にみると、『6以上(「6~7」と「8~10」を合わせた割合)』は、「中央値以上」では73.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では51.8%、「中央値の2分の1未満」では35.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では63.9%、「ひとり親世帯全体」では41.8%、「母子世帯のみ」では42.8%となっている。

保護者票問 25. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(単数回答)  
 「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で答えてください。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では70.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では47.9%、「中央値の2分の1未満」では32.8%となっている。

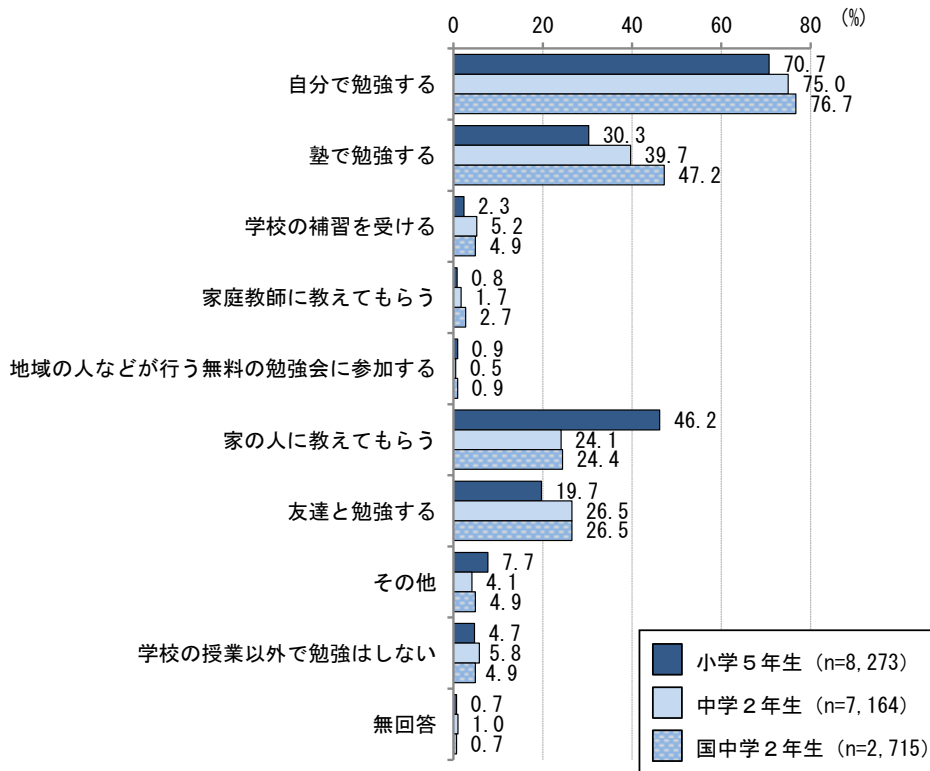
世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では61.4%、「ひとり親世帯全体」では38.1%、「母子世帯のみ」では38.6%となっている。

2 子供の生活状況

(1) 学習の状況

子供票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(複数回答)  
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。

【全体】

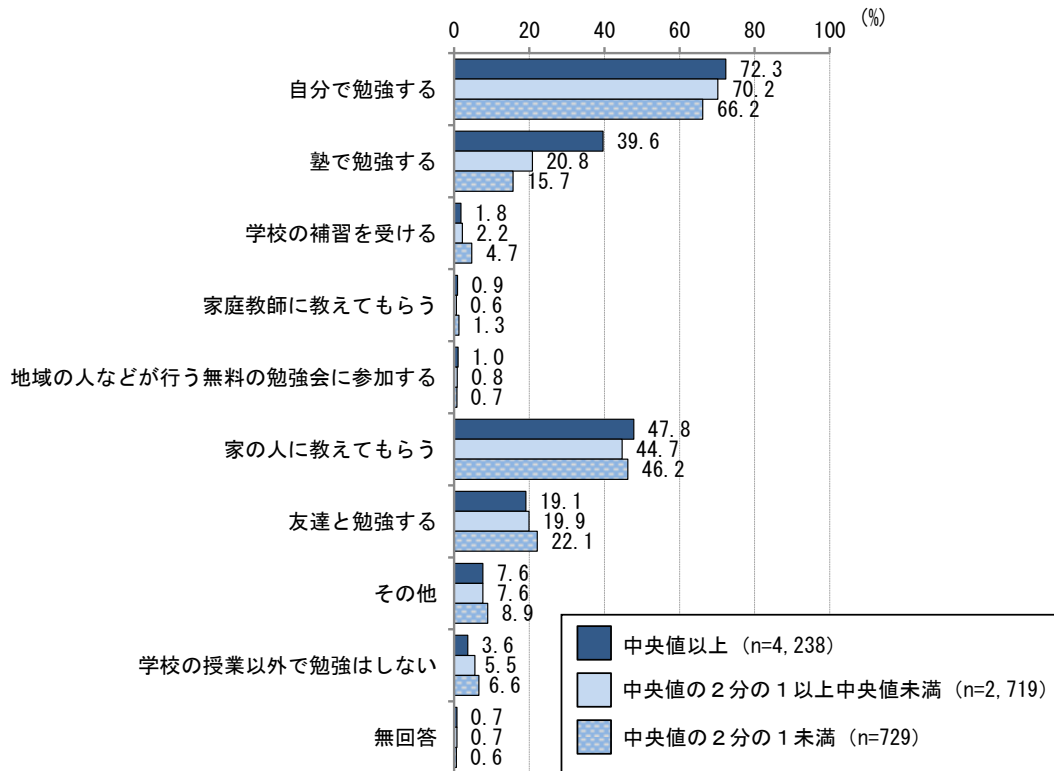


ふだんの勉強の仕方について、小学5年生では、「自分で勉強する」が70.7%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が46.2%、「塾で勉強する」が30.3%などの順となっている。

中学2年生では、「自分で勉強する」が75.0%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が39.7%、「友達と勉強する」が26.5%などの順となっている。国と比較すると、「塾で勉強する」は広島県(39.7%)が国(47.2%)を7.5ポイント下回っている。

子供票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(複数回答)  
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。

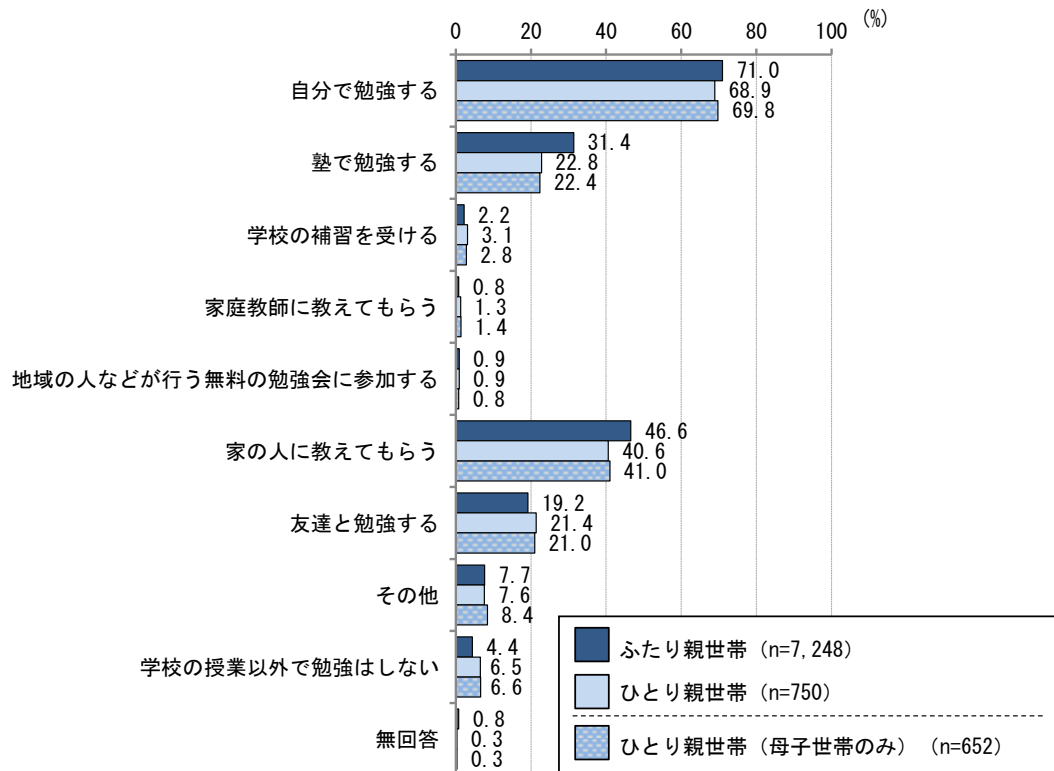
【等価世帯収入の水準別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「塾で勉強する」が15.7%と他の世帯と比べて低くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「家庭教師に教えてもらう」、「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」、「友達と勉強する」、「その他」の4項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

【世帯の状況別\_小学5年生】

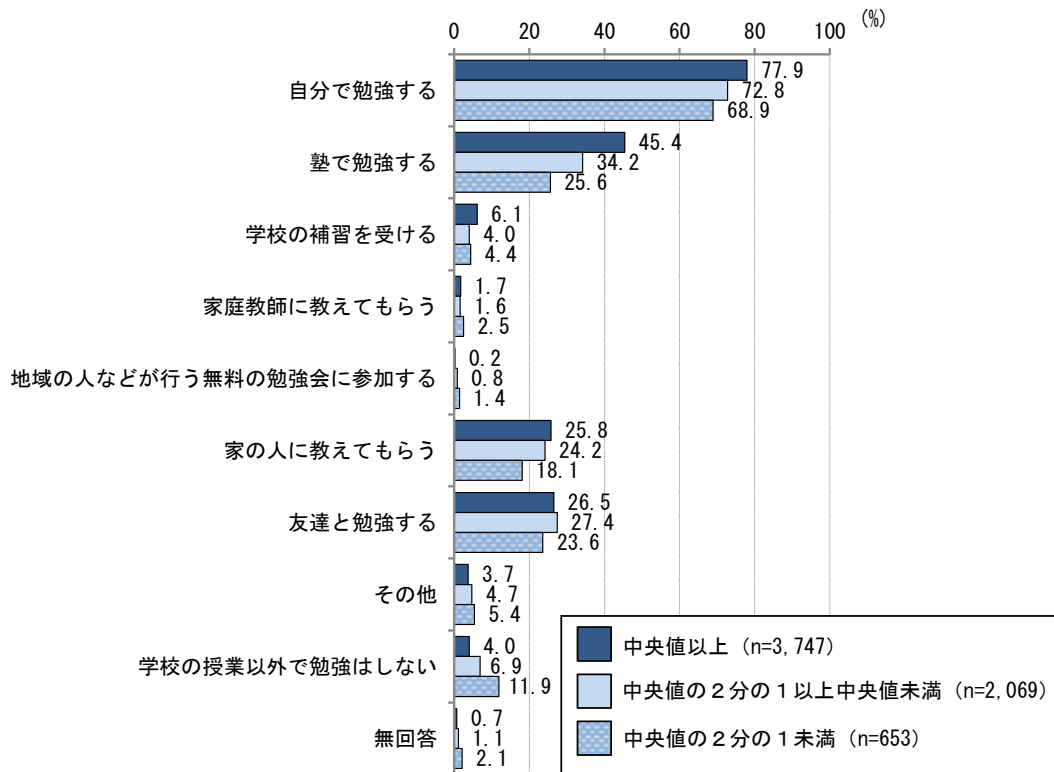


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「塾で勉強する」が22.8%、「家の人に教えてもらう」が40.6%と低くなっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「自分で勉強する」、「学校の補習を受ける」、「家庭教師に教えてもらう」、「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」、「友達と勉強する」、「その他」の6項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(複数回答)  
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。

【等価世帯収入の水準別\_中学2年生】

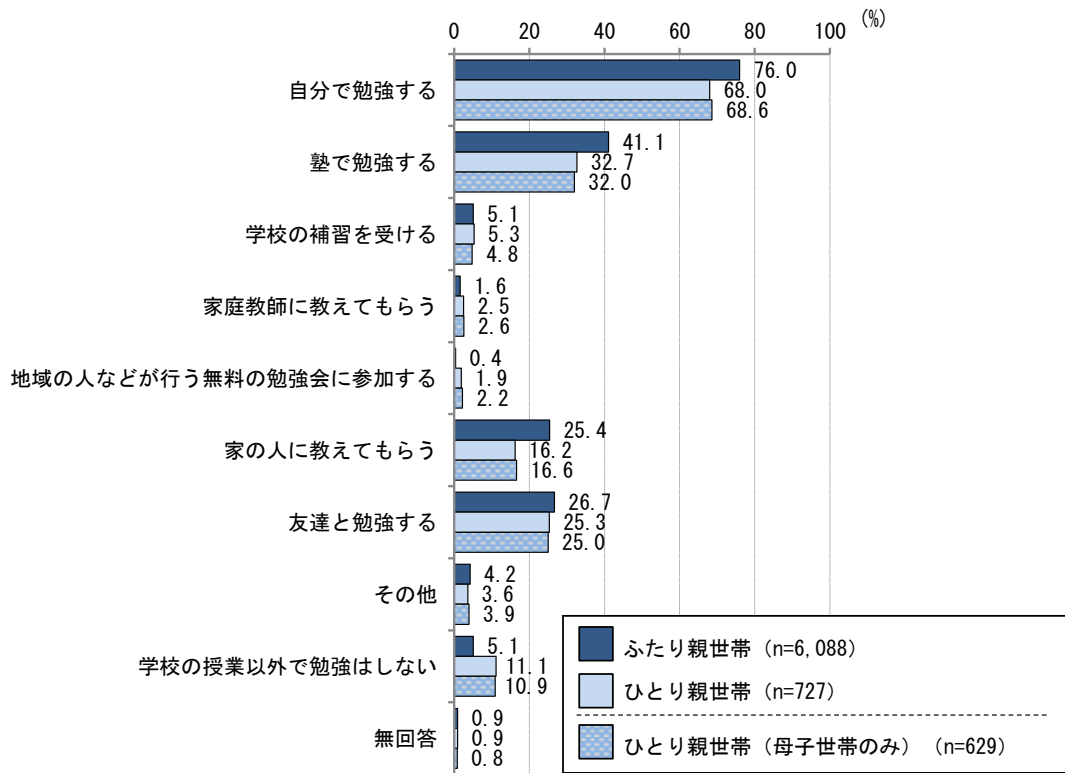


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自分で勉強する」が68.9%、「塾で勉強する」が25.6%、「家の人に教えてもらう」が18.1%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は11.9%と高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「家庭教師に教えてもらう」、「友達と勉強する」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(複数回答)  
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。

【世帯の状況別\_中学2年生】



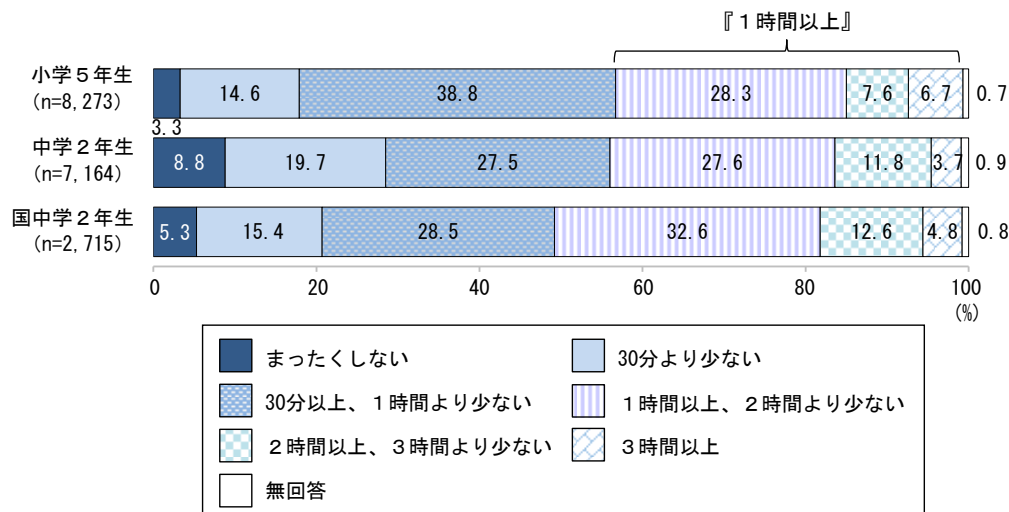
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分で勉強する」が68.0%、「塾で勉強する」が32.7%、「家の人に教えてもらう」が16.2%と低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は11.1%と高くなっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「学校の補習を受ける」、「家庭教師に教えてもらう」、「友達と勉強する」、「その他」の4項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 (単数回答)  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= 学校がある日 (月～金曜日) =

【全体】



1日あたりの勉強時間(学校がある日)について、小学5年生では、「30分以上、1時間より少ない」が38.8%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が28.3%、「30分より少ない」が14.6%などの順となっている。また、「まったくしない」は3.3%となっている。

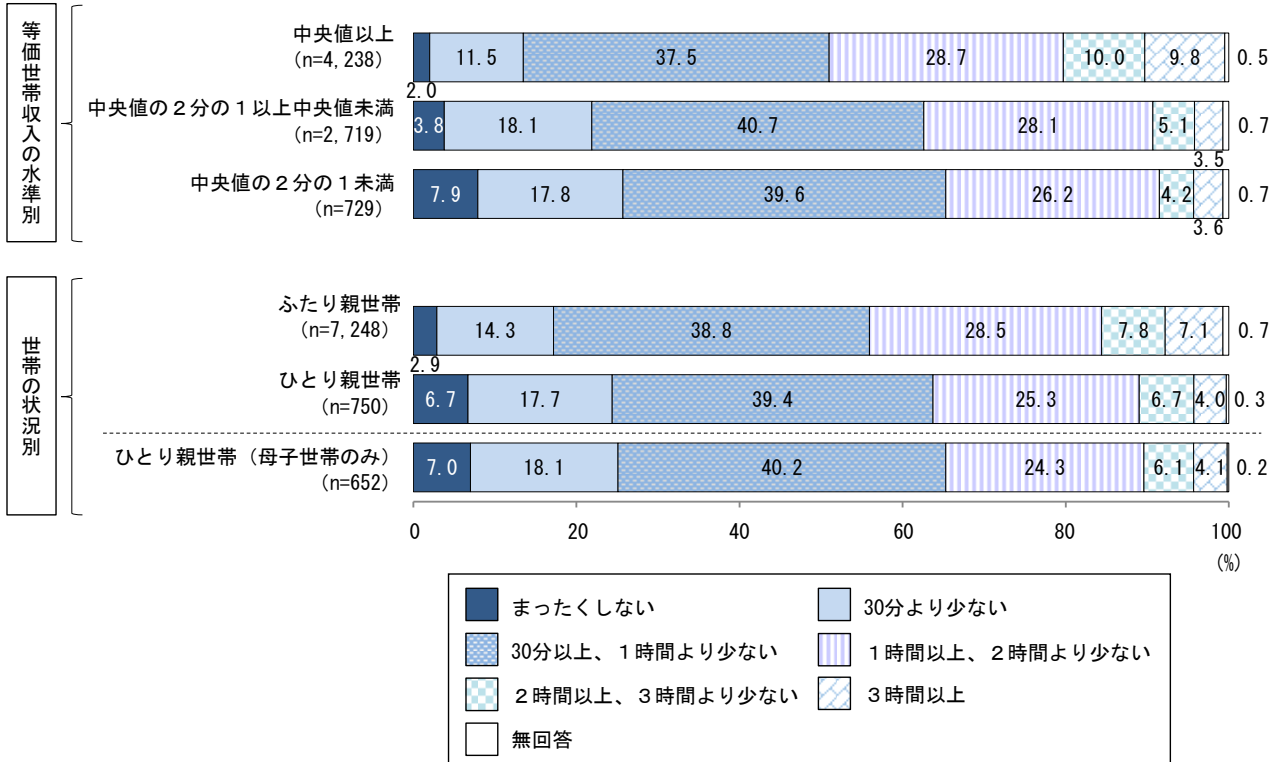
中学2年生では、「1時間以上、2時間より少ない」が27.6%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が27.5%、「30分より少ない」が19.7%などの順となっている。また、「まったくしない」は8.8%となっている。国と比較すると、『1時間以上(「1時間以上、2時間より少ない」と「2時間以上、3時間より少ない」と「3時間以上」を合わせた割合)』は広島県(43.1%)が国(50.0%)を6.9ポイント下回っている。



子供票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 (単数回答)  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= 学校がある日 (月～金曜日) =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



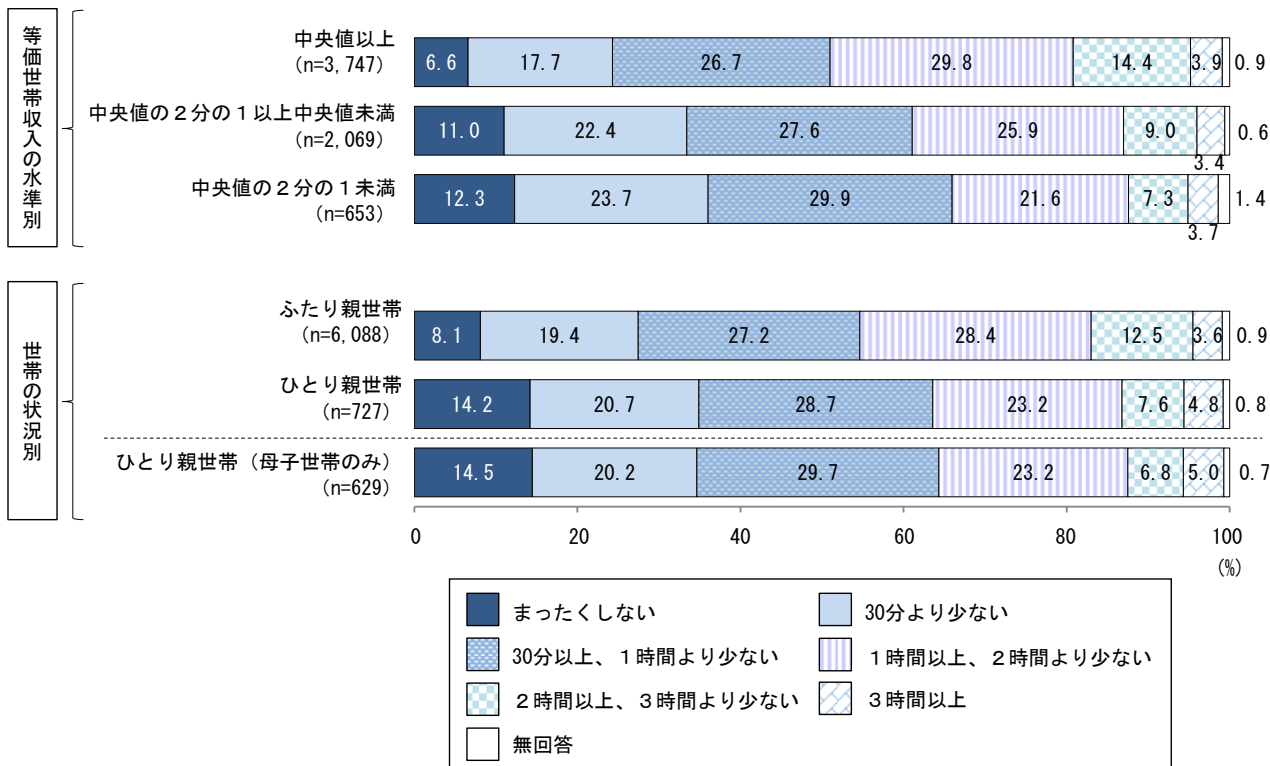
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「まったくしない」が7.9%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では2.9%、「ひとり親世帯全体」では6.7%、「母子世帯のみ」では7.0%となっている。

子供票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 (単数回答)  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= 学校がある日 (月～金曜日) =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



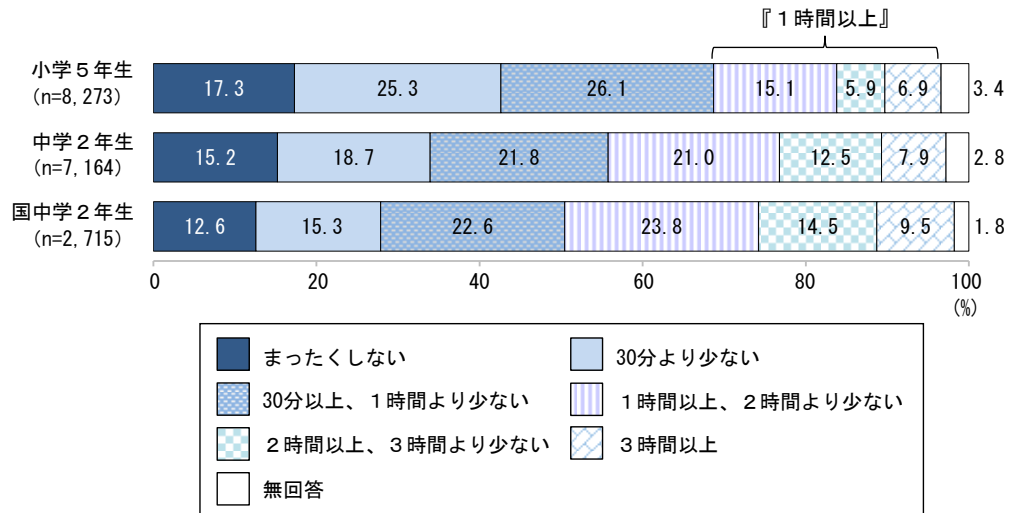
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「まったくしない」が12.3%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が14.2%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

子供票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 (単数回答)  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= 学校がない日(土・日曜日・祝日) =

【全体】



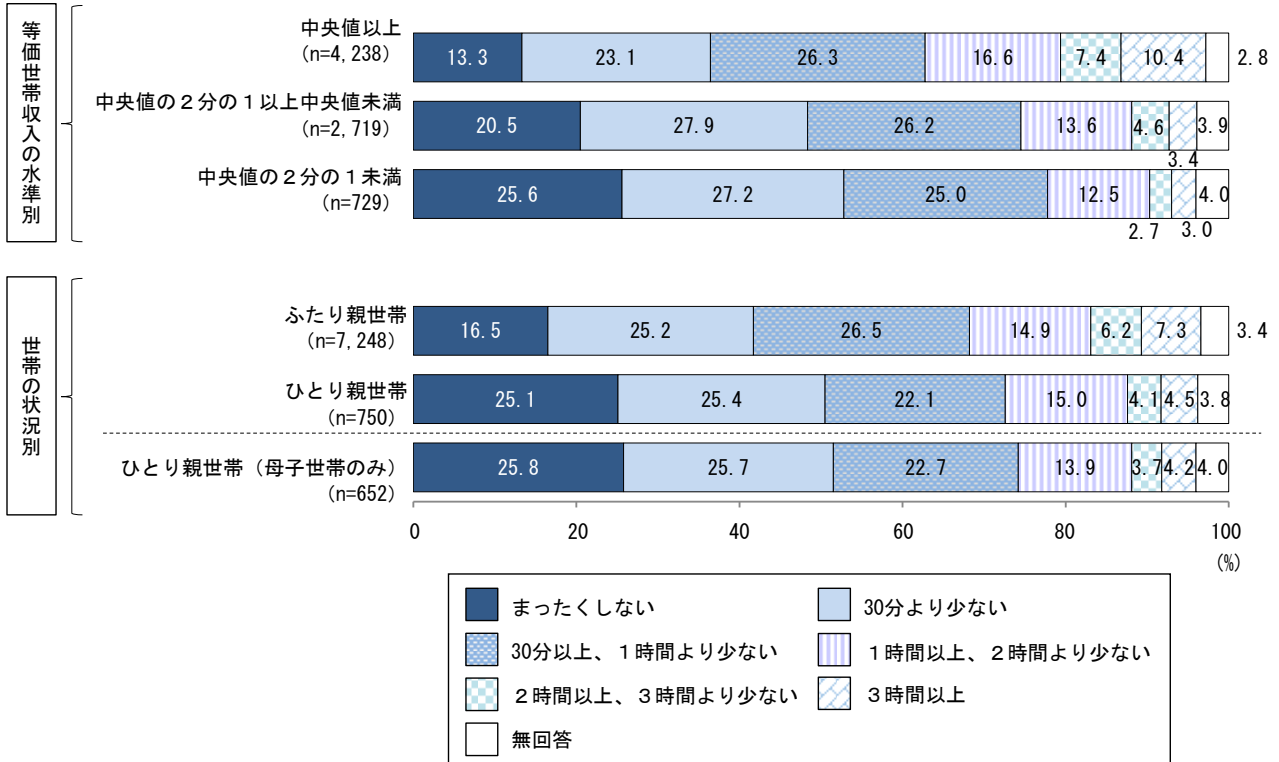
1日あたりの勉強時間(学校がない日)について、小学5年生では、「30分以上、1時間より少ない」が26.1%と最も高く、次いで「30分より少ない」が25.3%、「まったくしない」が17.3%などの順となっている。

中学2年生では、「30分以上、1時間より少ない」が21.8%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が21.0%、「30分より少ない」が18.7%などの順となっている。また、「まったくしない」は15.2%となっている。国と比較すると、『1時間以上』は広島県(41.4%)が国(47.8%)を6.4ポイント下回っている。

子供票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 (単数回答)  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= 学校がない日(土・日曜日・祝日) =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



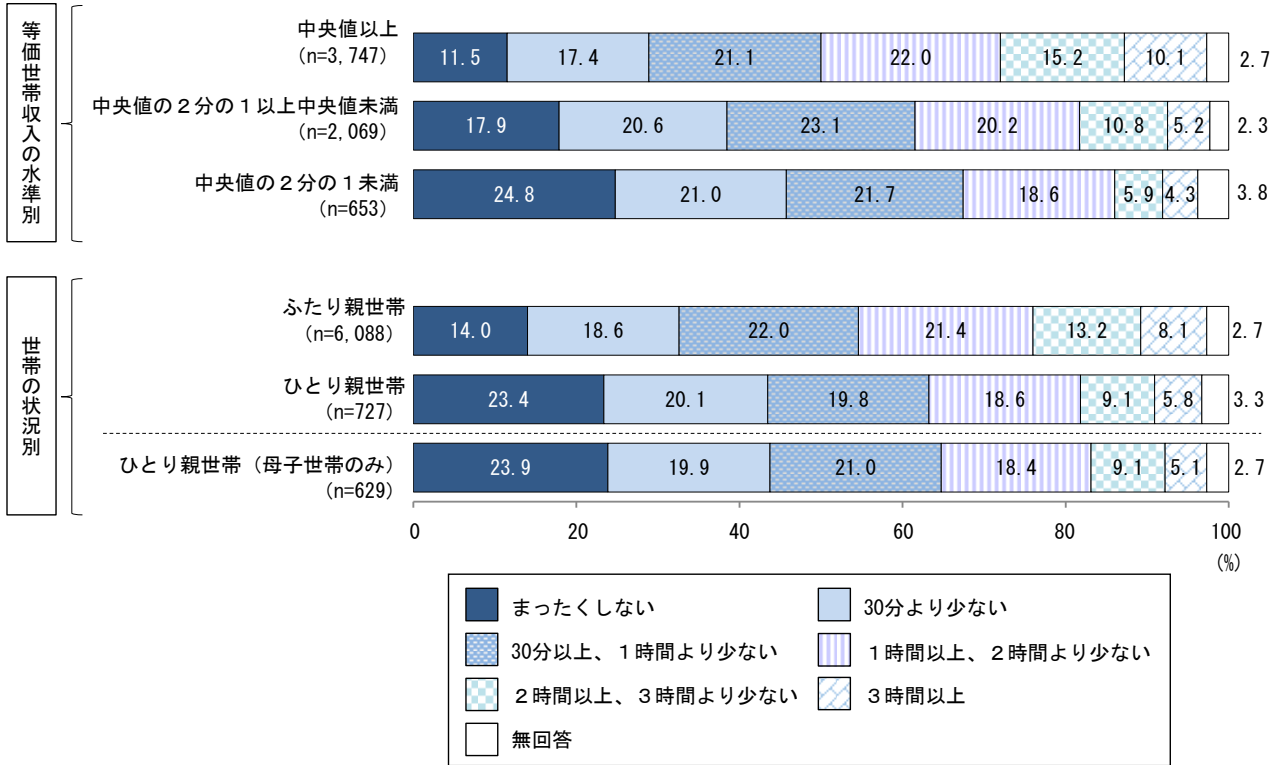
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「まったくしない」が25.6%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が25.1%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

子供票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 (単数回答)  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= 学校がない日(土・日曜日・祝日) =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】

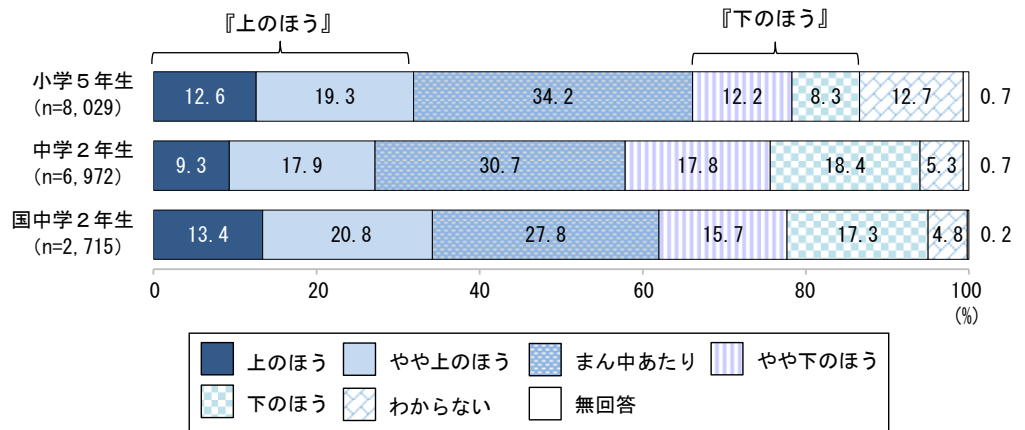


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「まったくしない」が24.8%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が23.4%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

子供票問4. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(単数回答)

【全体】

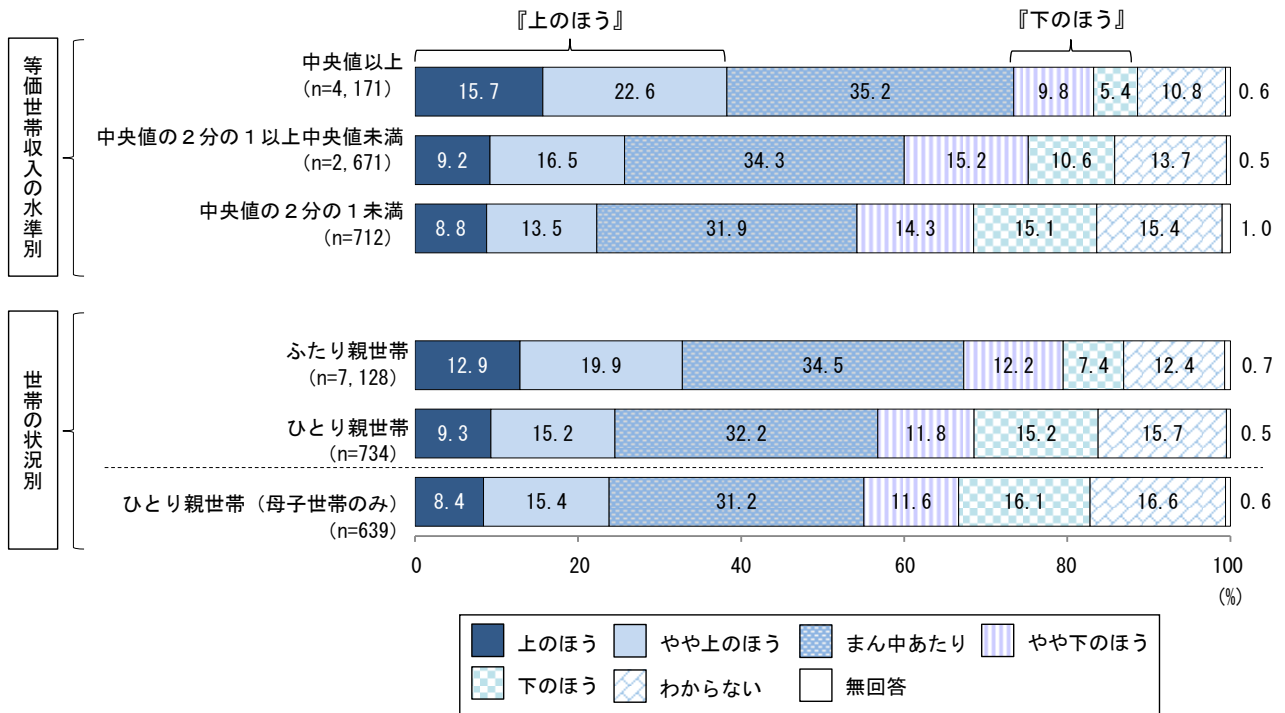


クラスの中での成績について、小学5年生では、『上のほう（「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合）』が 31.9%、「まん中あたり」が 34.2%、『下のほう（「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合）』が 20.5%となっている。

中学2年生では、『上のほう』が 27.2%、「まん中あたり」が 30.7%、『下のほう』が 36.2%となっている。国と比較すると、『上のほう』は広島県（27.2%）が国（34.2%）を 7.0 ポイント下回っている。

子供票問4. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】

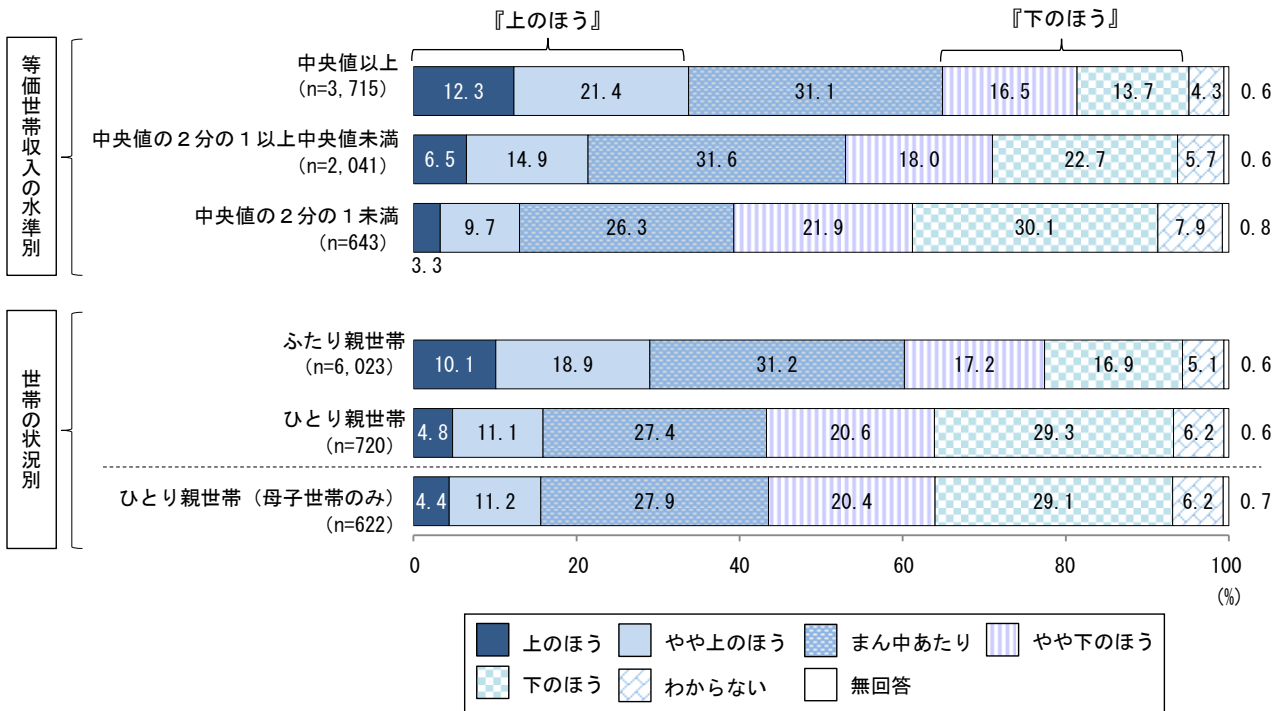


等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では15.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.8%、「中央値の2分の1未満」では29.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では19.6%、「ひとり親世帯全体」では27.0%、「母子世帯のみ」では27.7%となっている。

子供票問4. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



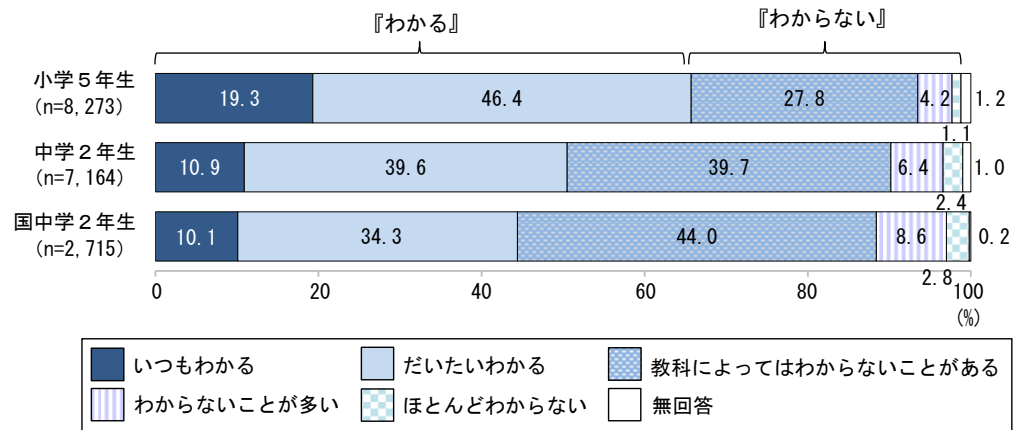
等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では30.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では40.7%、「中央値の2分の1未満」では52.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では34.1%、「ひとり親世帯全体」では49.9%、「母子世帯のみ」では49.5%となっている。



子供票問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単数回答)

【全体】

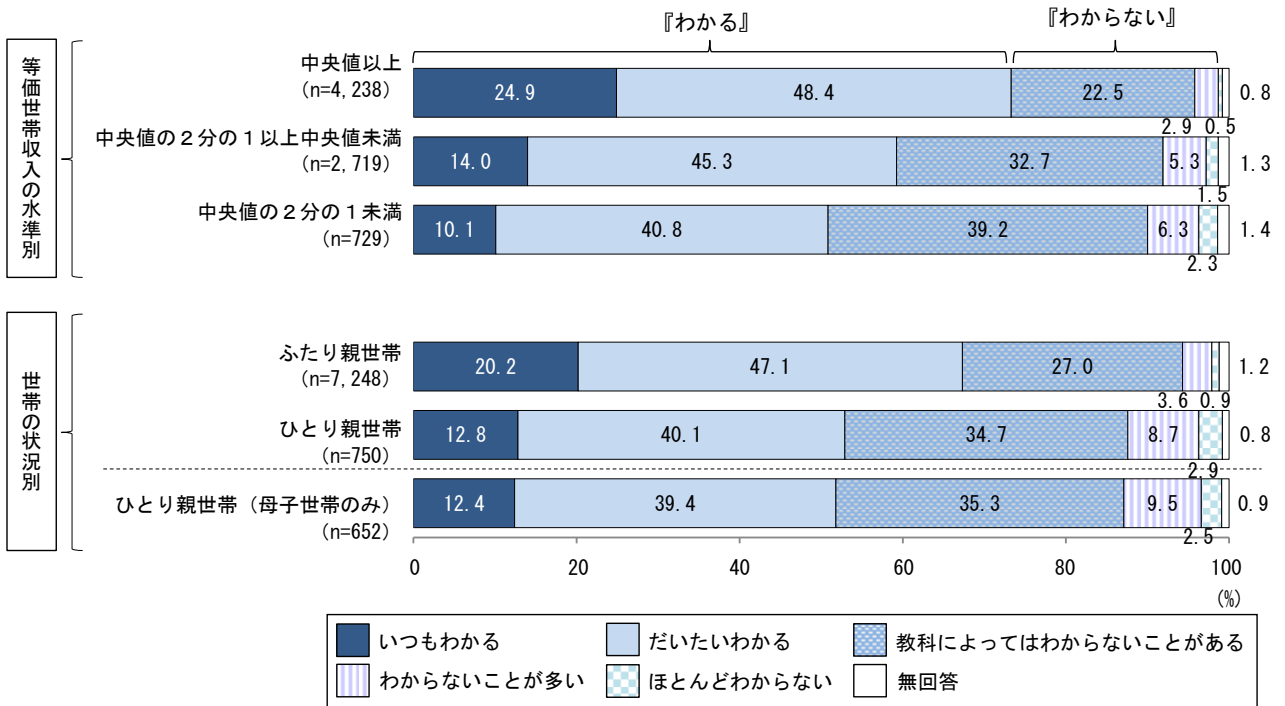


授業の理解状況について、小学5年生では、『わかる（「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合）』が65.7%、『わからない（「教科によってはわからないことがある」と「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合）』が33.1%となっている。

中学2年生では、『わかる』が50.5%、『わからない』が48.5%となっている。国と比較すると、『わからない』は広島県（48.5%）が国（55.4%）を6.9ポイント下回っている。

子供票問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】

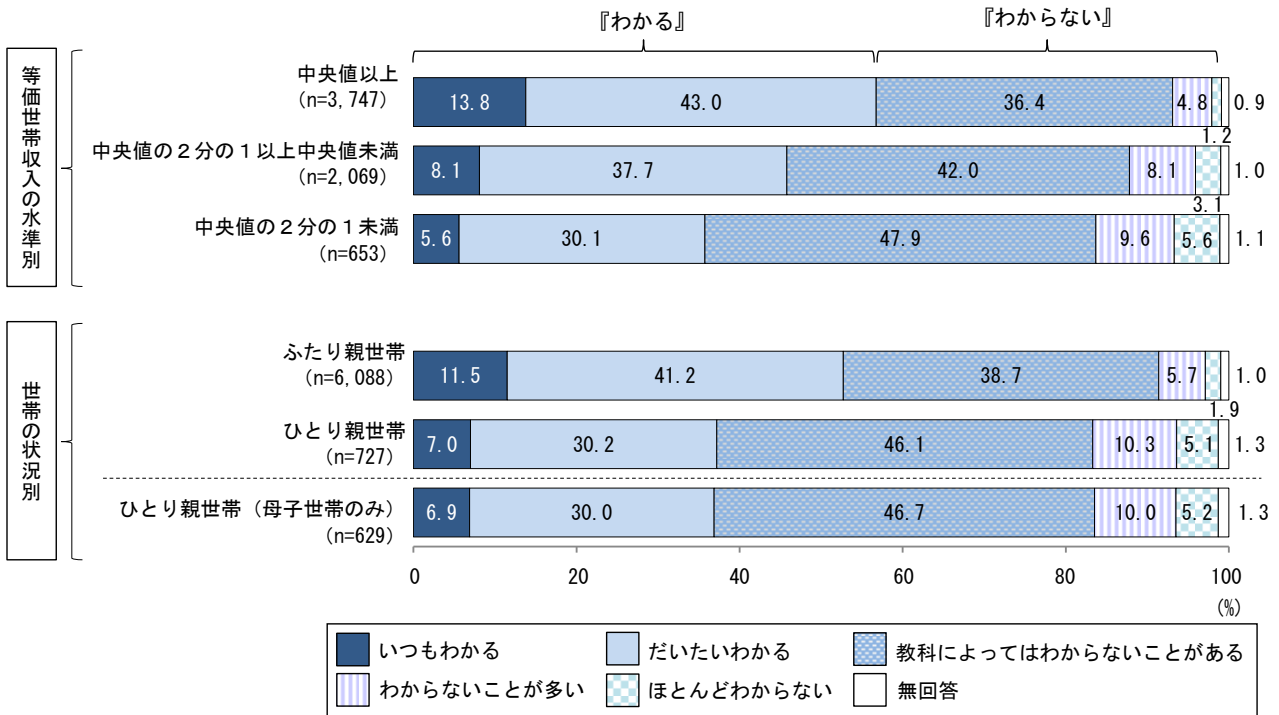


等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では25.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.5%、「中央値の2分の1未満」では47.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では31.5%、「ひとり親世帯全体」では46.3%、「母子世帯のみ」では47.3%となっている。

子供票問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



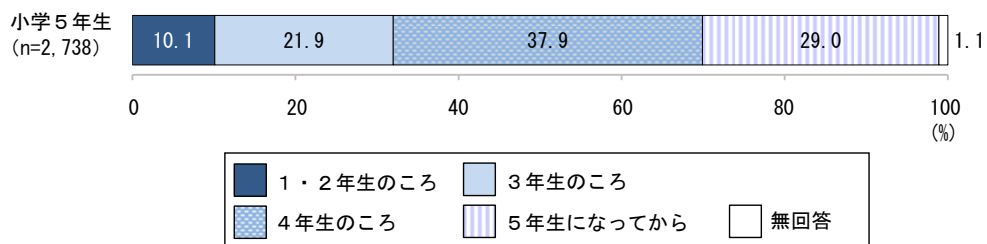
等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では42.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では53.2%、「中央値の2分の1未満」では63.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では46.3%、「ひとり親世帯全体」では61.5%、「母子世帯のみ」では61.9%となっている。

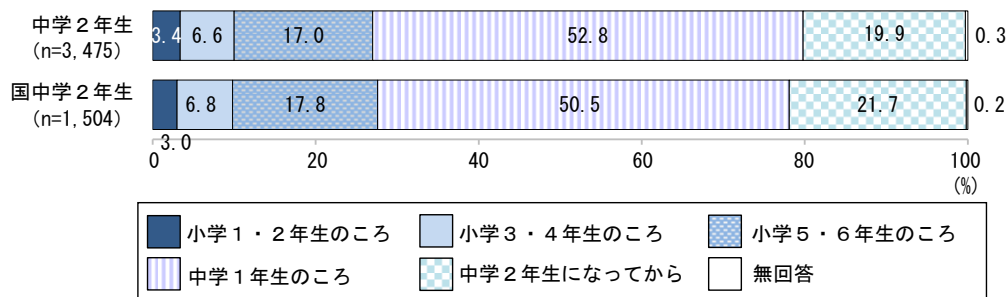
※問5で「3～5」と答えた方に

子供票問6. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(単数回答)

【全体】



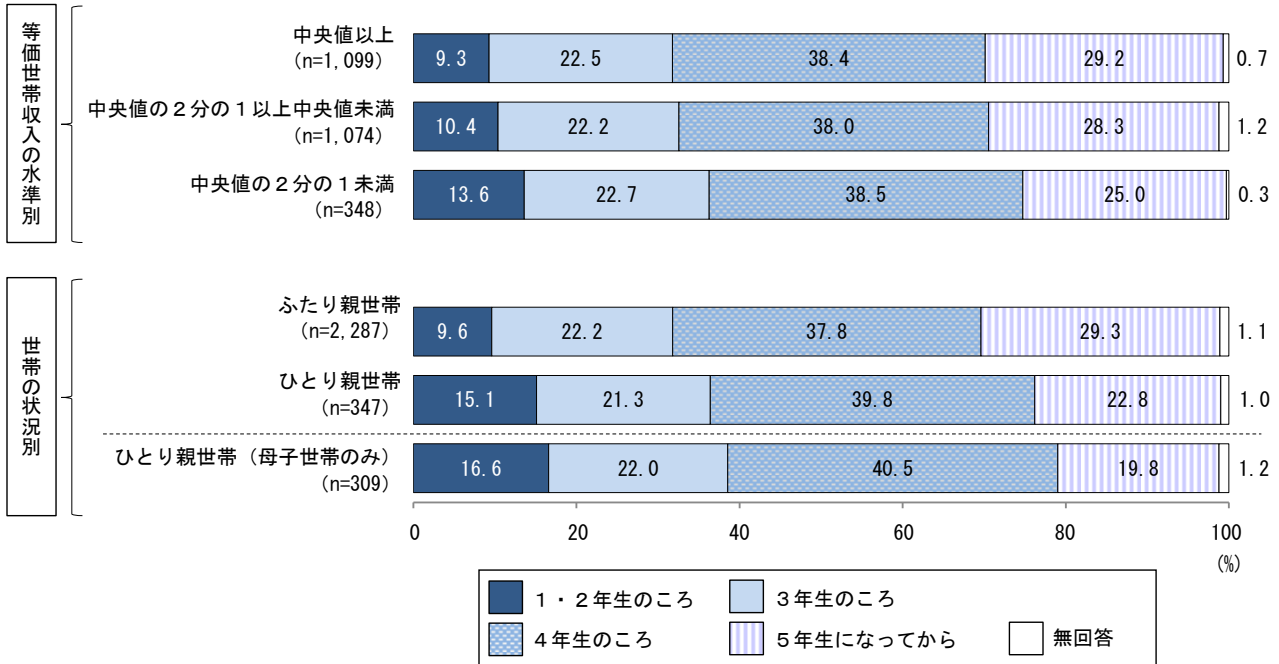
授業がわからなくなった時期について、小学5年生では、「4年生のころ」が37.9%と最も高く、次いで「5年生になってから」が29.0%、「3年生のころ」が21.9%などの順となっている。



中学2年生では、「中学1年生のころ」が52.8%と最も高く、次いで「中学2年生になってから」が19.9%、「小学5・6年生のころ」が17.0%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

子供票問6. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】

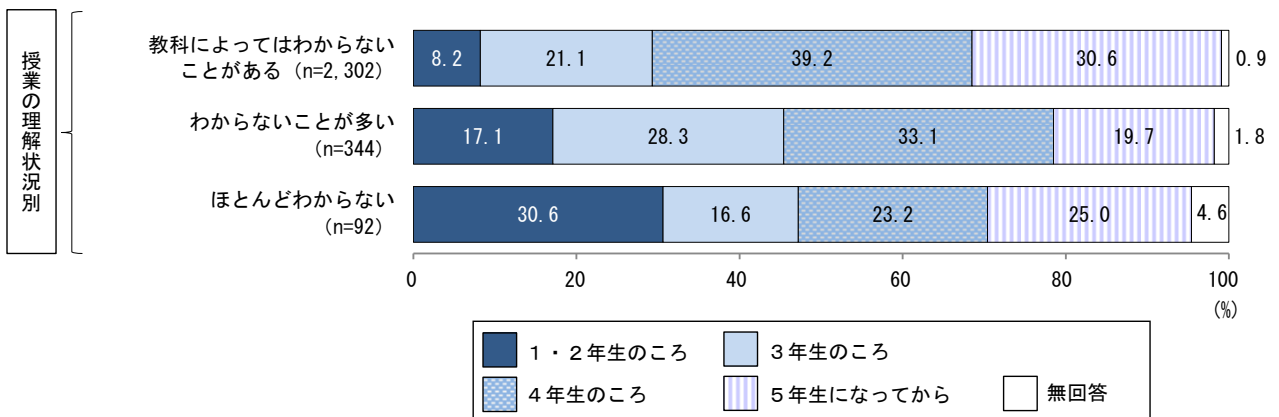


等価世帯収入の水準別にみると、「1・2年生のころ」は、「中央値以上」では9.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.4%、「中央値の2分の1未満」では13.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「1・2年生のころ」が15.1%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果については、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

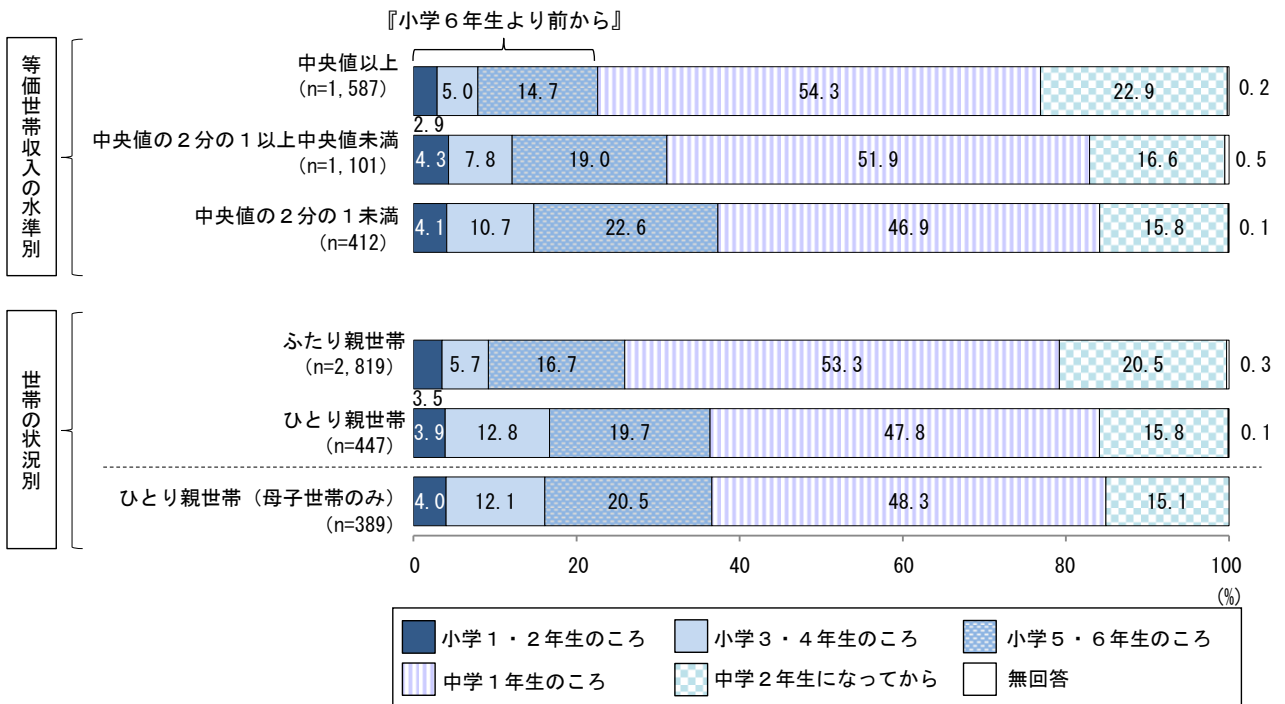
【授業の理解状況別\_小学5年生】



授業の理解状況別にみると、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」では、「1・2年生のころ」が「教科によってはわからないことがある」に比べて高くなっている。

子供票問6. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(単数回答)

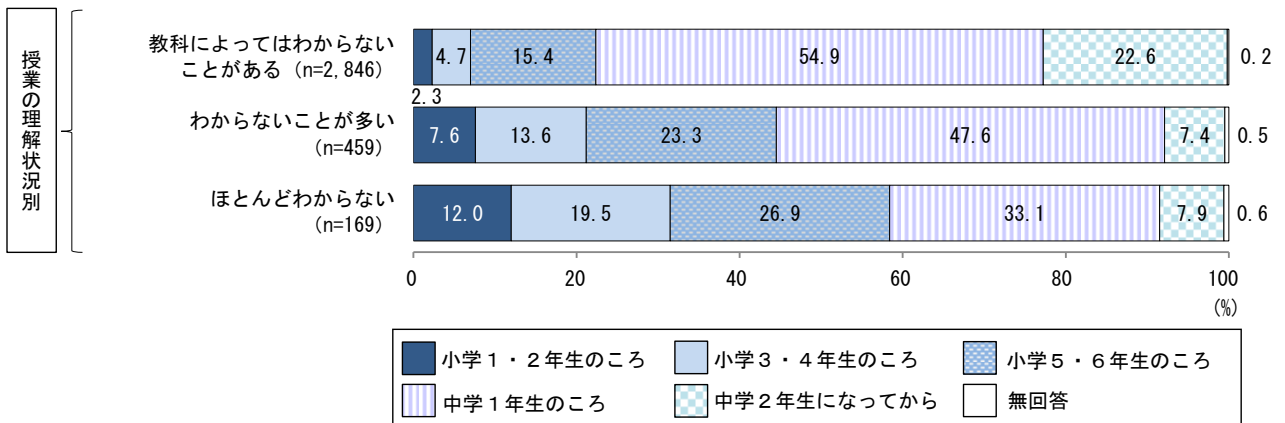
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、『小学6年生より前から（「小学1・2年生のころ」と「小学3・4年生のころ」と「小学5・6年生のころ」を合わせた割合）』が37.4%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では『小学6年生より前から』が36.4%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

【授業の理解状況別\_中学2年生】

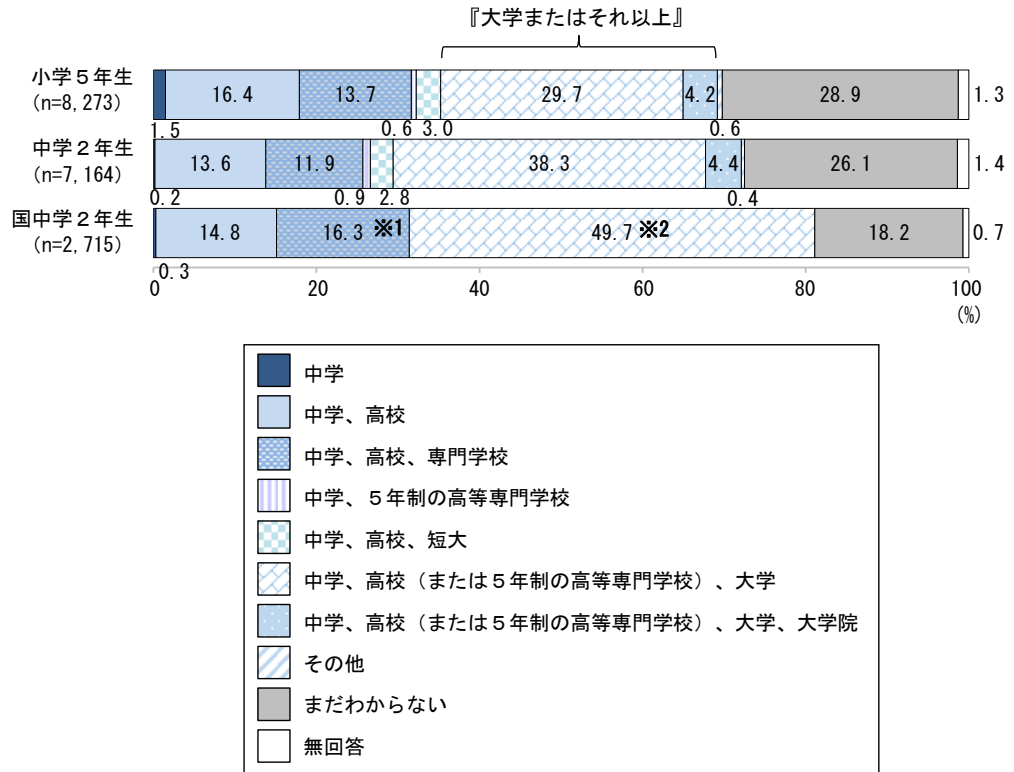


授業の理解状況別にみると、いずれの場合も「中学1年生のころ」が最も高いが、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」では、「教科によってはわからないことがある」に比べて早い段階の回答が高くなっている。

(2) 進学希望

子供票問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(単数回答)

【全体】



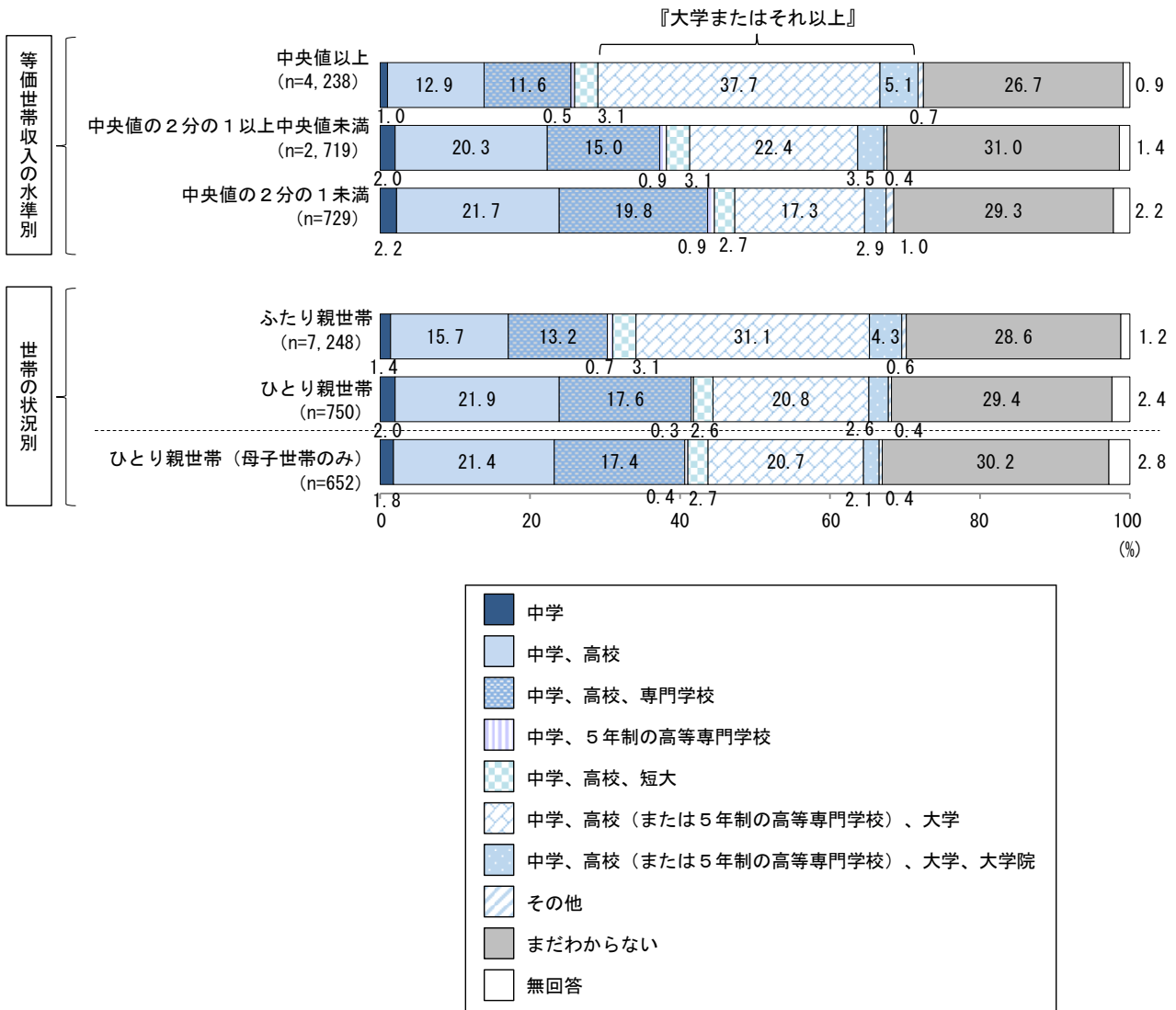
※1：国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている  
 ※2：国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

進学希望について、小学5年生では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が29.7%と最も高く、次いで、「まだわからない」が28.9%、「中学、高校」が16.4%などの順となっている。

中学2年生では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が38.3%と最も高く、次いで、「まだわからない」が26.1%、「中学、高校」が13.6%などの順となっている。国と比較すると、『大学またはそれ以上』は広島県（42.7%）が国（49.7%）を7.0ポイント下回っており、『まだわからない』は広島県（26.1%）が国（18.2%）を7.9ポイント上回っている。

子供票問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



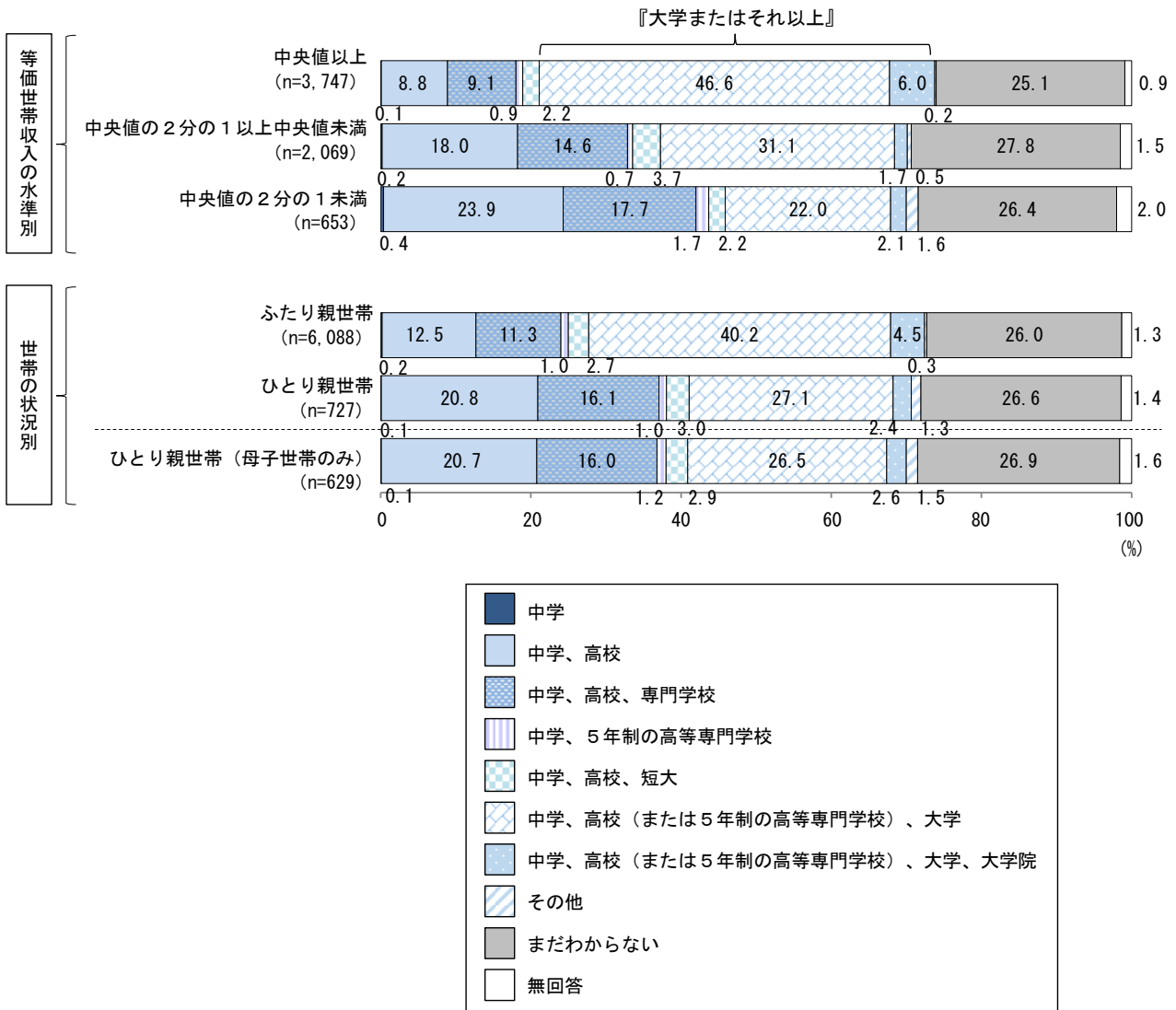
等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では42.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.9%、「中央値の2分の1未満」では20.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では35.4%、「ひとり親世帯全体」では23.4%、「母子世帯のみ」では22.8%となっている。



子供票問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】

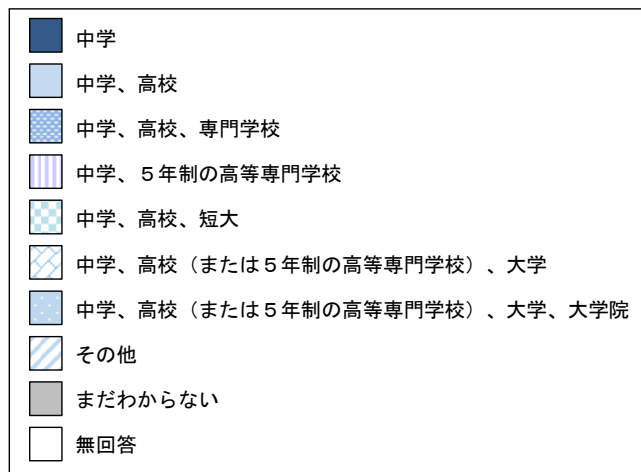
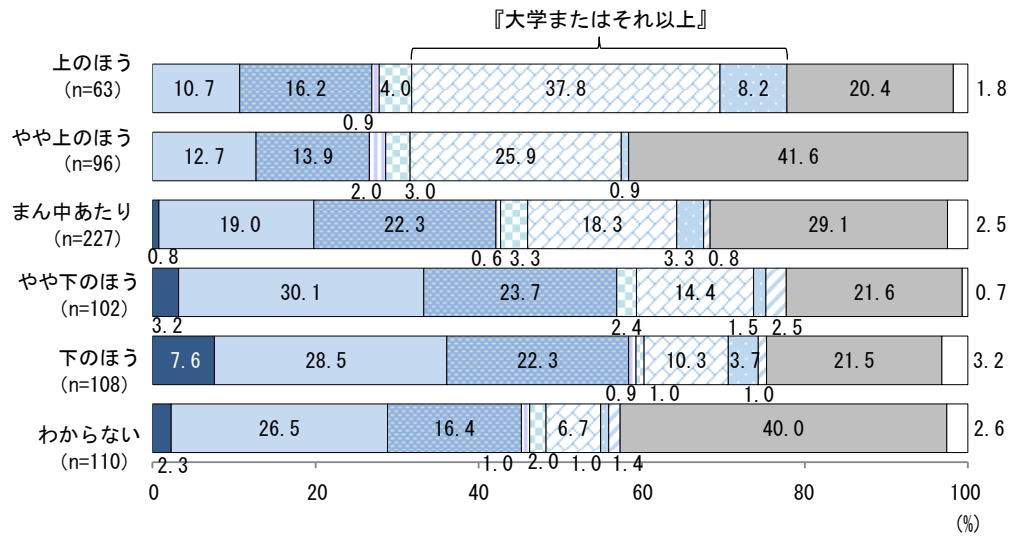


等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では52.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では32.8%、「中央値の2分の1未満」では24.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では44.7%、「ひとり親世帯全体」では29.5%、「母子世帯のみ」では29.1%となっている。

子供票問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(単数回答)

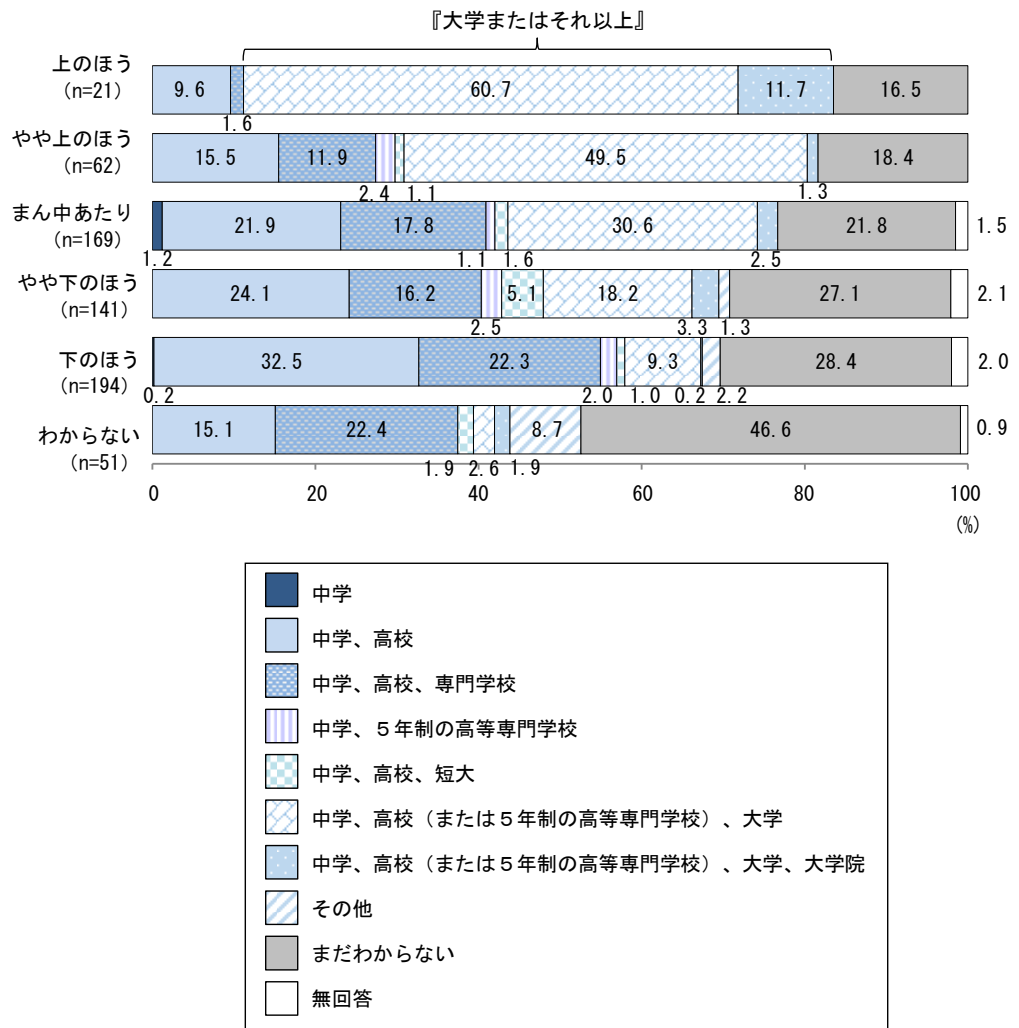
【クラスの中での成績別 (等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合) \_小学5年生】



クラスの中での成績別にみると、収入が低い場合であっても、成績が「上のほう」の場合には、『大学またはそれ以上』を希望する割合が46.0%と高くなっている。

子供票問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(単数回答)

【クラスの中での成績別 (等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合) \_中学2年生】



クラスの中での成績別にみると、収入が低い場合であっても、成績が「上のほう」の場合には、『大学またはそれ以上』を希望する割合が72.4%と高くなっている。

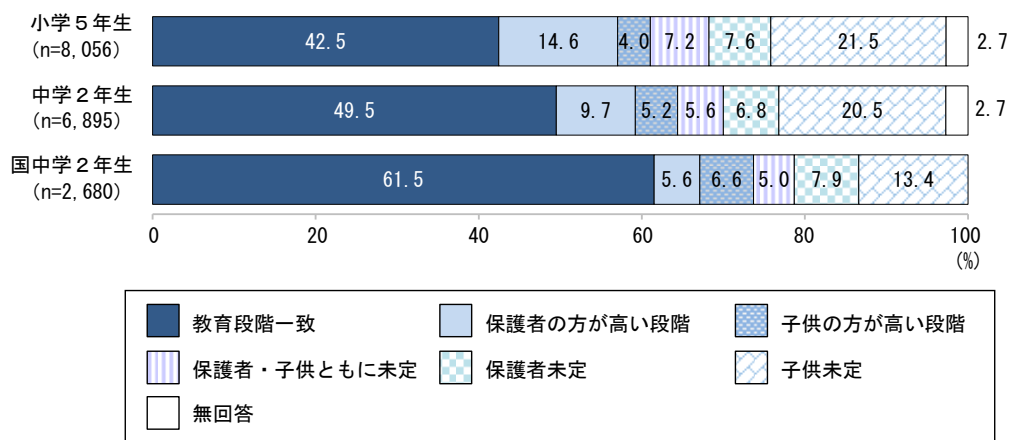
＝ 保護者と子供の考えの一致・不一致の状況 ＝

保護者が考える子供の進学段階に関する希望・展望の回答 (P. 64 参照) と、子供自身が進学したいと思う教育段階 (P. 123 参照) の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子供の方が高い段階」、「保護者・子供ともに未定」、「保護者未定」、「子供未定」の6分類で集計した。

※短大・高専・専門学校、大学・大学院はそれぞれ同じ段階として集計した。

※保護者・子供のいずれかまたは両方が「8 その他」や「不明・無回答」の場合は「無回答」として集計した。

【全体】

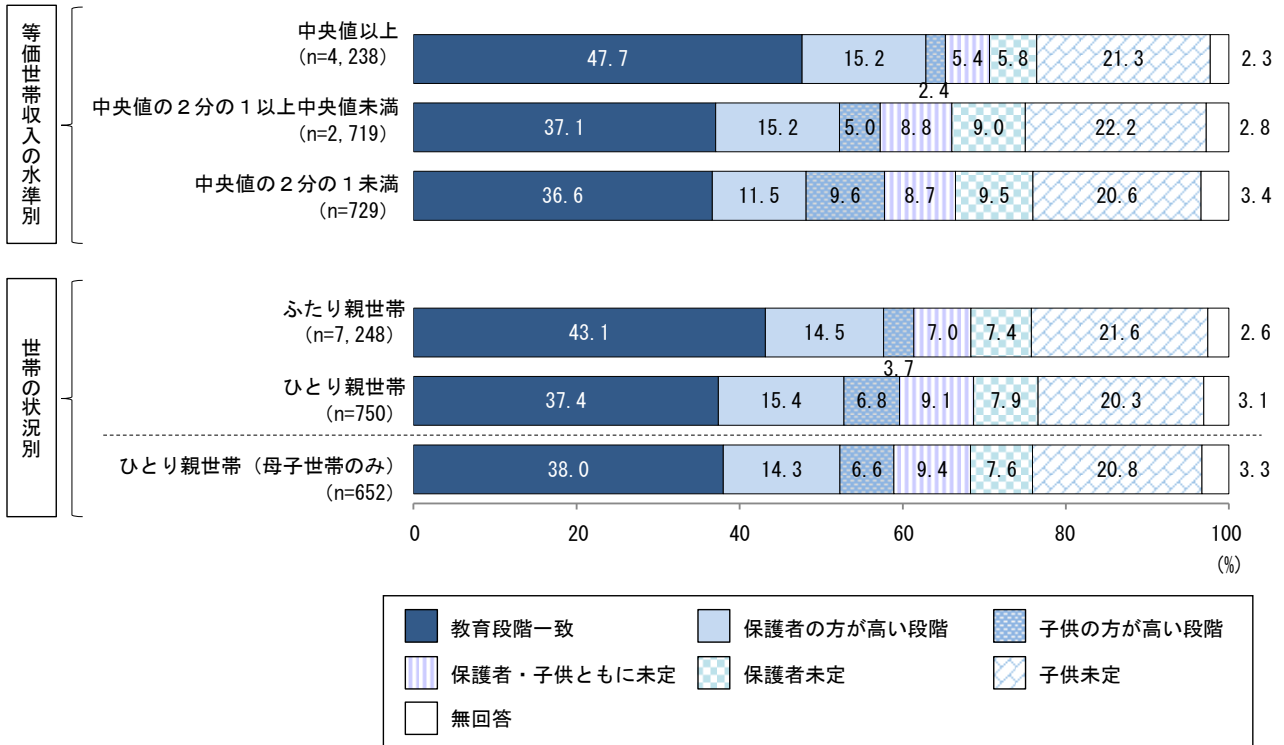


保護者と子供の考えの一致・不一致の状況について、小学5年生では、「教育段階一致」は42.5%となっている。

中学2年生では、「教育段階一致」は49.5%となっている。国と比較すると、「教育段階一致」は広島県(49.5%)が国(61.5%)を12.0ポイント下回っている。

= 保護者と子供の考えの一致・不一致の状況 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】

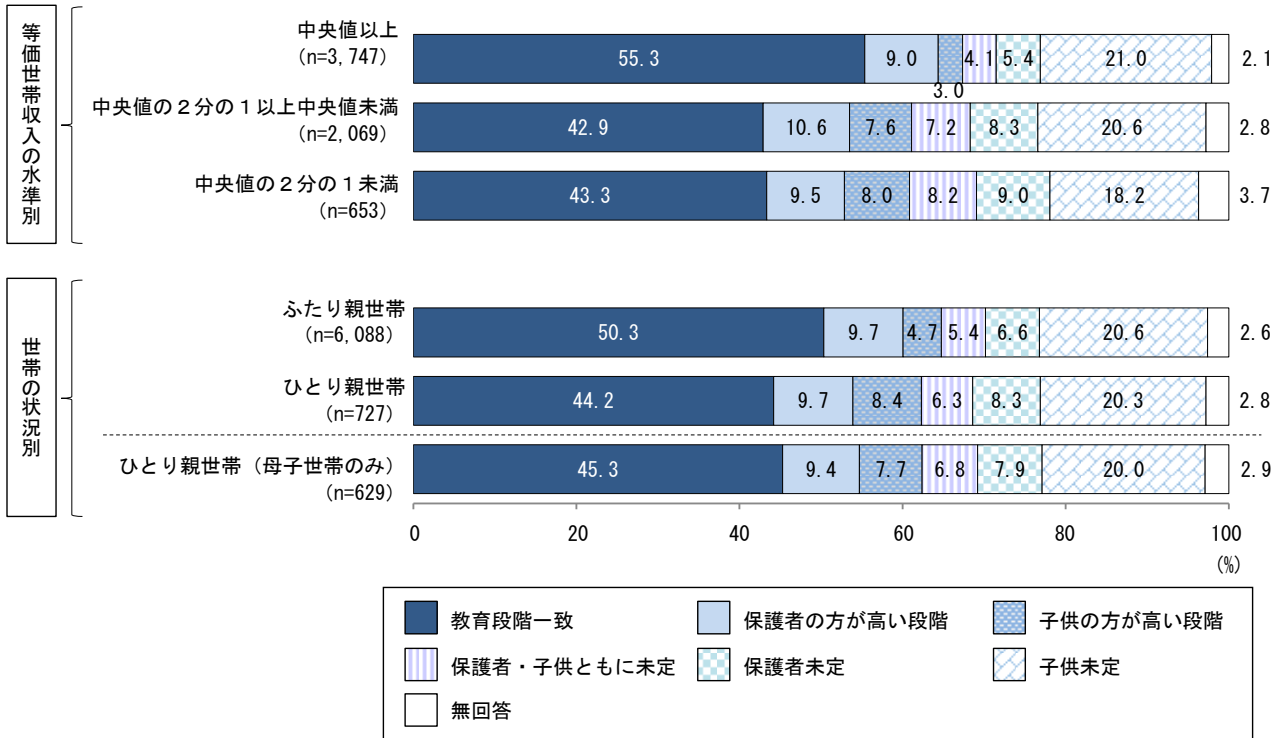


等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では47.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では37.1%、「中央値の2分の1未満」では36.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では43.1%、「ひとり親世帯全体」では37.4%、「母子世帯のみ」では38.0%となっている。

= 保護者と子供の考えの一致・不一致の状況 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



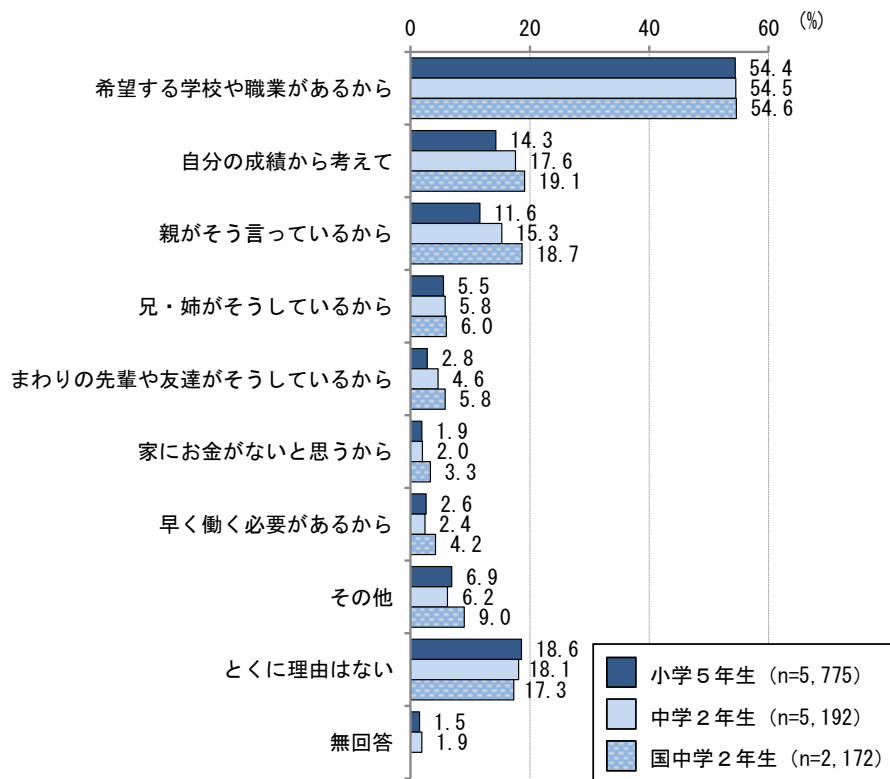
等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では55.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では42.9%、「中央値の2分の1未満」では43.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では50.3%、「ひとり親世帯全体」では44.2%、「母子世帯のみ」では45.3%となっている。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【全体】



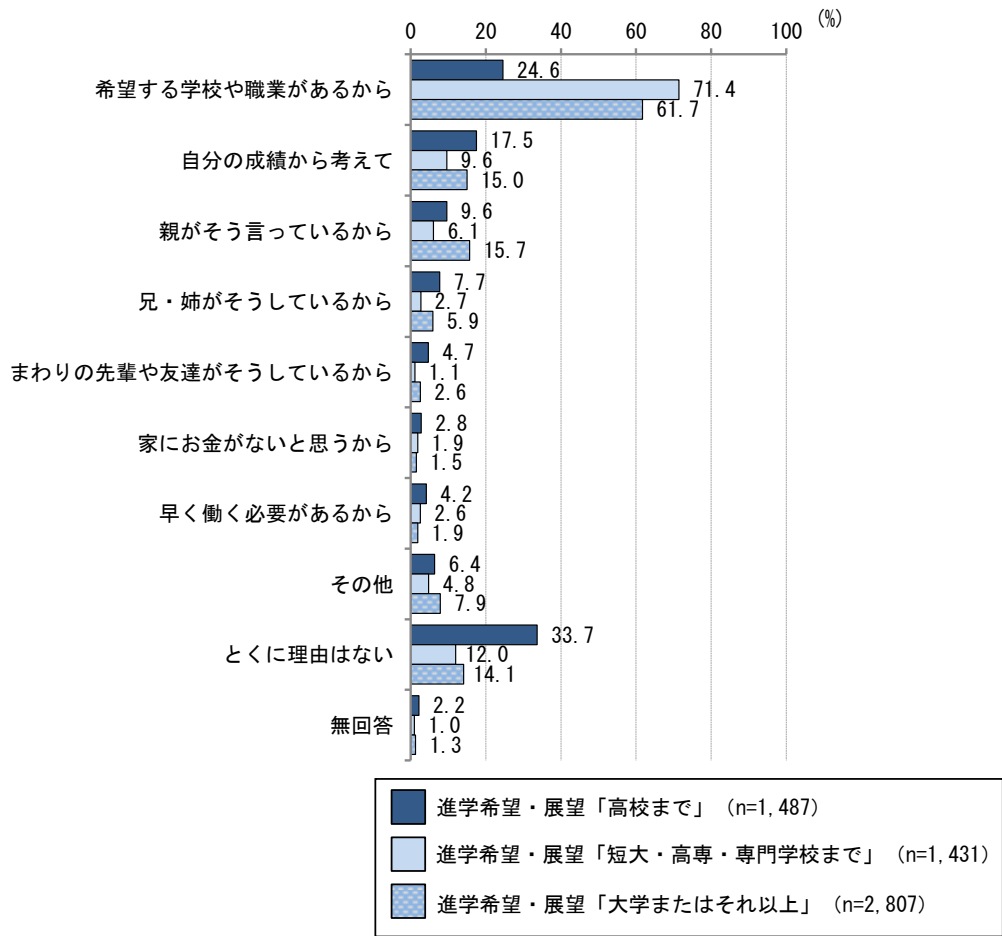
進学希望の理由について、小学5年生では、「希望する学校や職業があるから」が54.4%と最も高くなっている。

中学2年生では、「希望する学校や職業があるから」が54.5%と最も高くなっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【進学したいと思う教育段階別\_小学5年生】



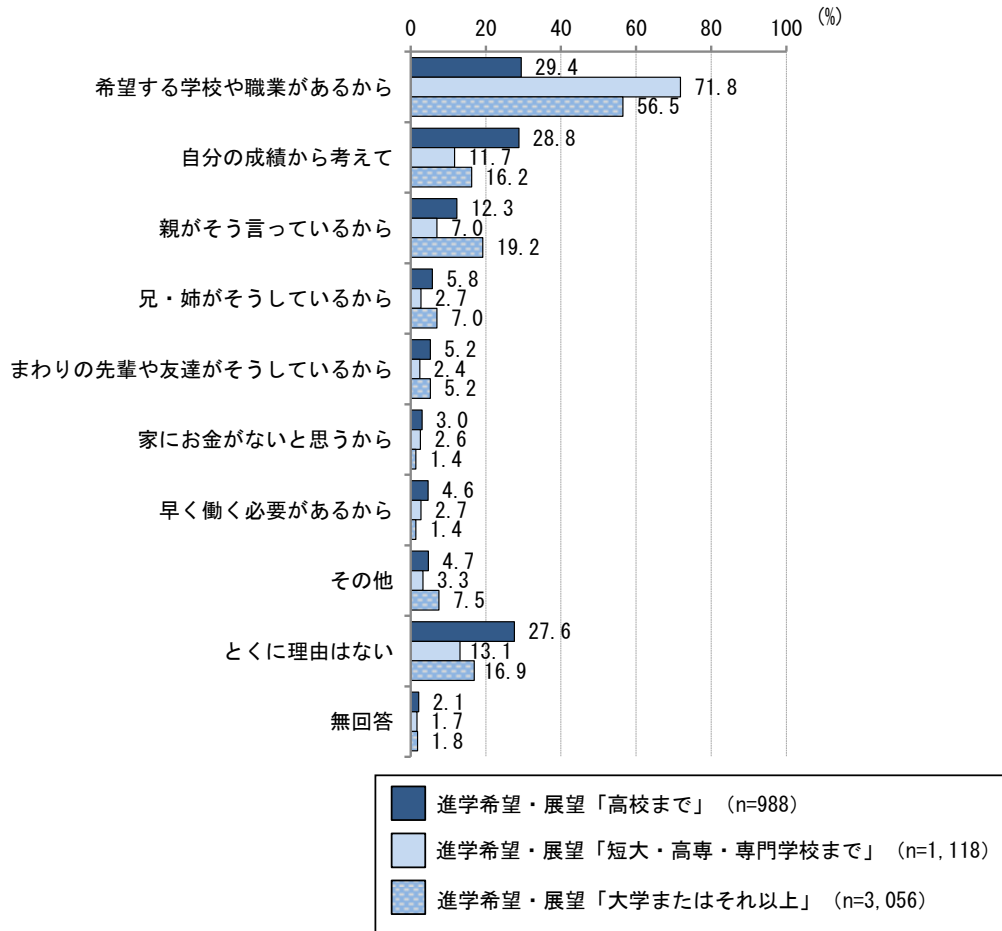
進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「希望する学校や職業があるから」が24.6%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。一方で、「とくに理由はない」は33.7%と高くなっている。



※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【進学したいと思う教育段階別\_中学2年生】

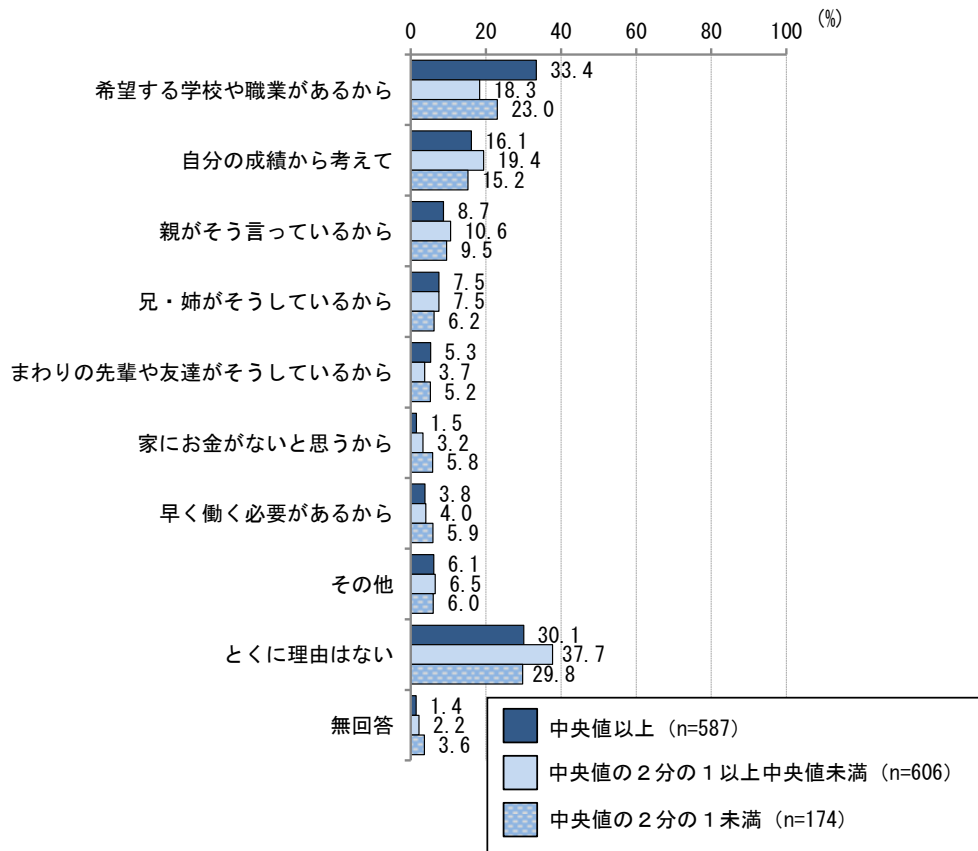


進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「希望する学校や職業があるから」が29.4%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。一方で、「自分の成績から考えて」は28.8%、「特に理由はない」は27.6%と高くなっている。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別 (高校までを希望している場合) \_小学5年生】



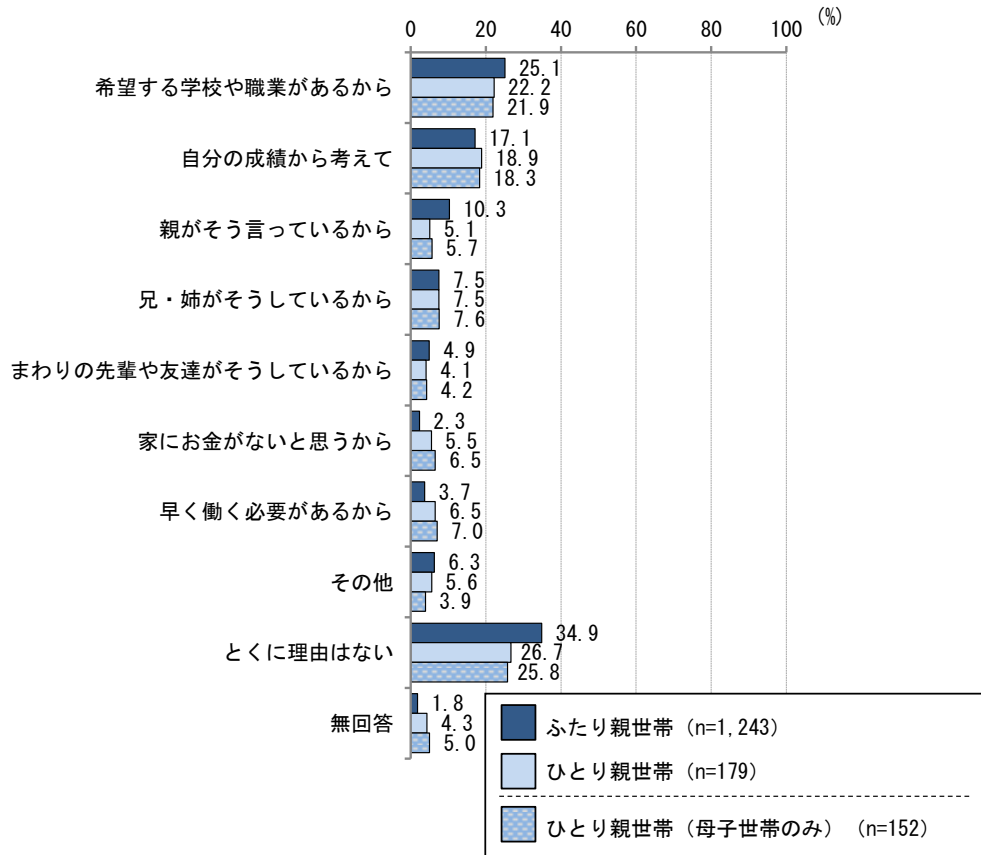
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」では33.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では18.3%、「中央値の2分の1未満」では23.0%となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「早く働く必要があるから」、「その他」の6項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【世帯の状況別 (高校までを希望している場合) \_小学5年生】



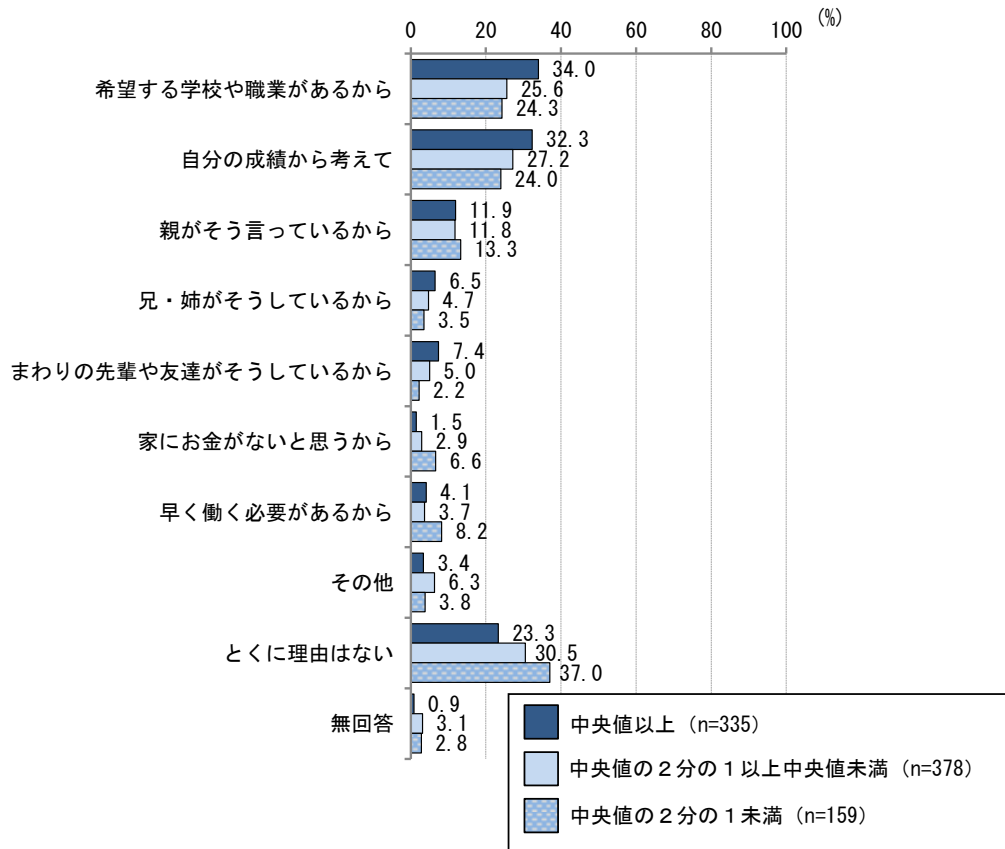
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「早く働く必要があるから」は、「ふたり親世帯」では3.7%、「ひとり親世帯全体」では6.5%、「母子世帯のみ」では7.0%となっている。

※世帯の状況 (ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか) 別の集計結果について、「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「早く働く必要があるから」、「その他」、「とくに理由はない」の7項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別(高校までを希望している場合) \_ 中学2年生】



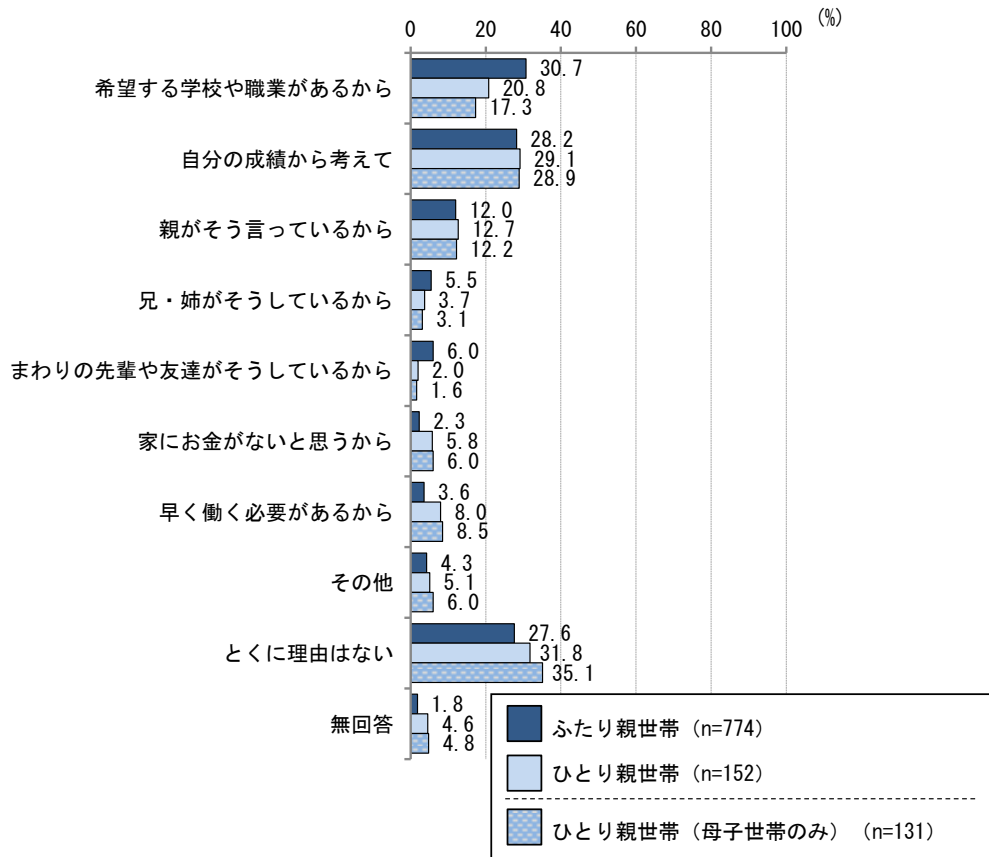
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「希望する学校や職業があるから」が24.3%、「自分の成績から考えて」が24.0%と他の世帯と比べて低くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「早く働く必要があるから」、「その他」の6項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【世帯の状況別 (高校までを希望している場合) \_ 中学2年生】



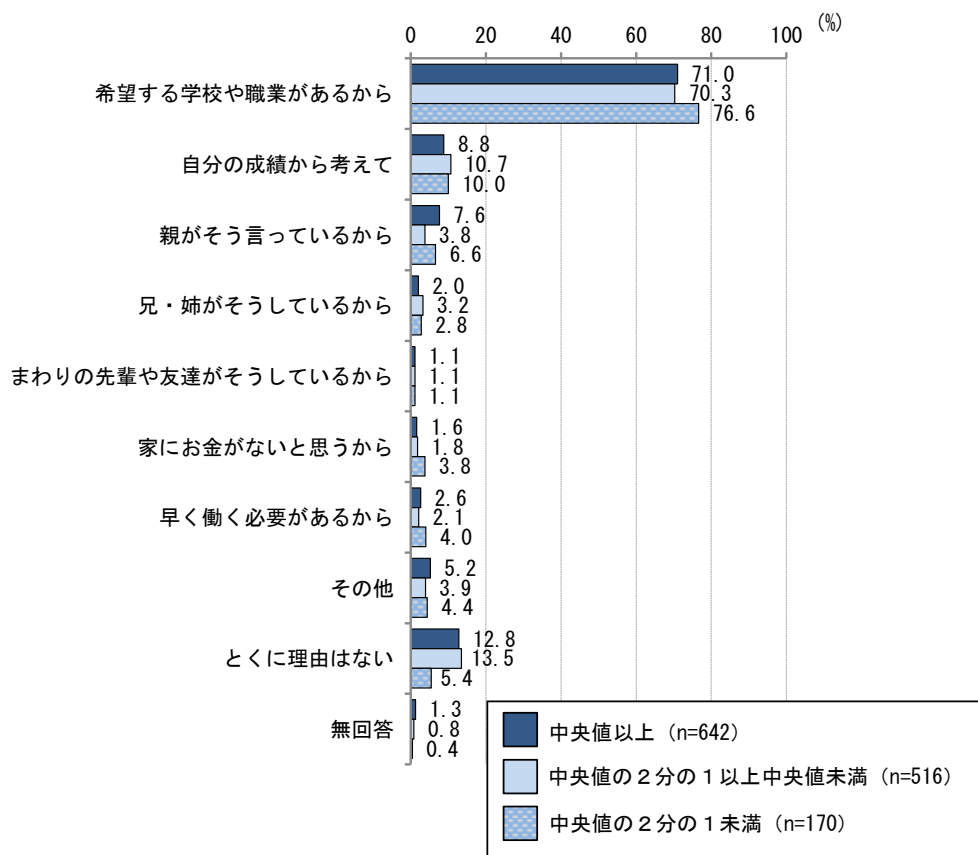
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「ふたり親世帯」では30.7%、「ひとり親世帯全体」では20.8%、「母子世帯のみ」では17.3%となっている。

※世帯の状況 (ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか) 別の集計結果について、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「その他」、「とくに理由はない」の5項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別 (短大・高専・専門学校までを希望している場合) \_小学5年生】



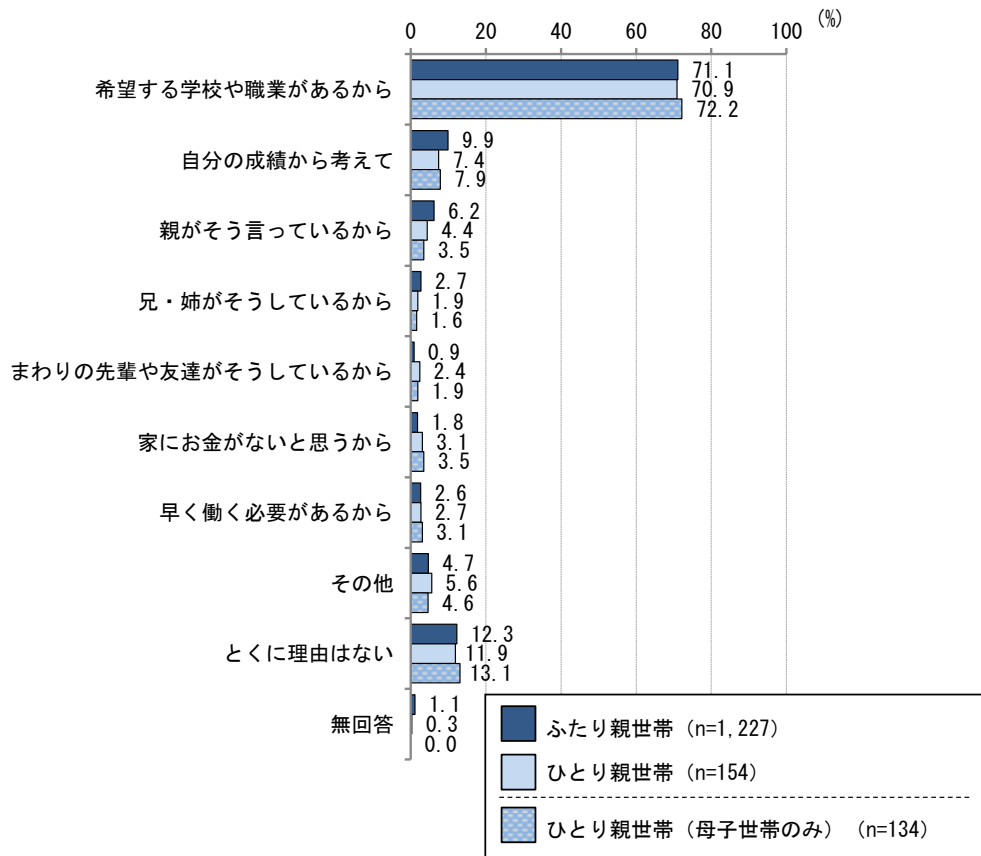
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」では71.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では70.3%、「中央値の2分の1未満」では76.6%となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」、「その他」の7項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【世帯の状況別（短大・高専・専門学校までを希望している場合）\_小学5年生】



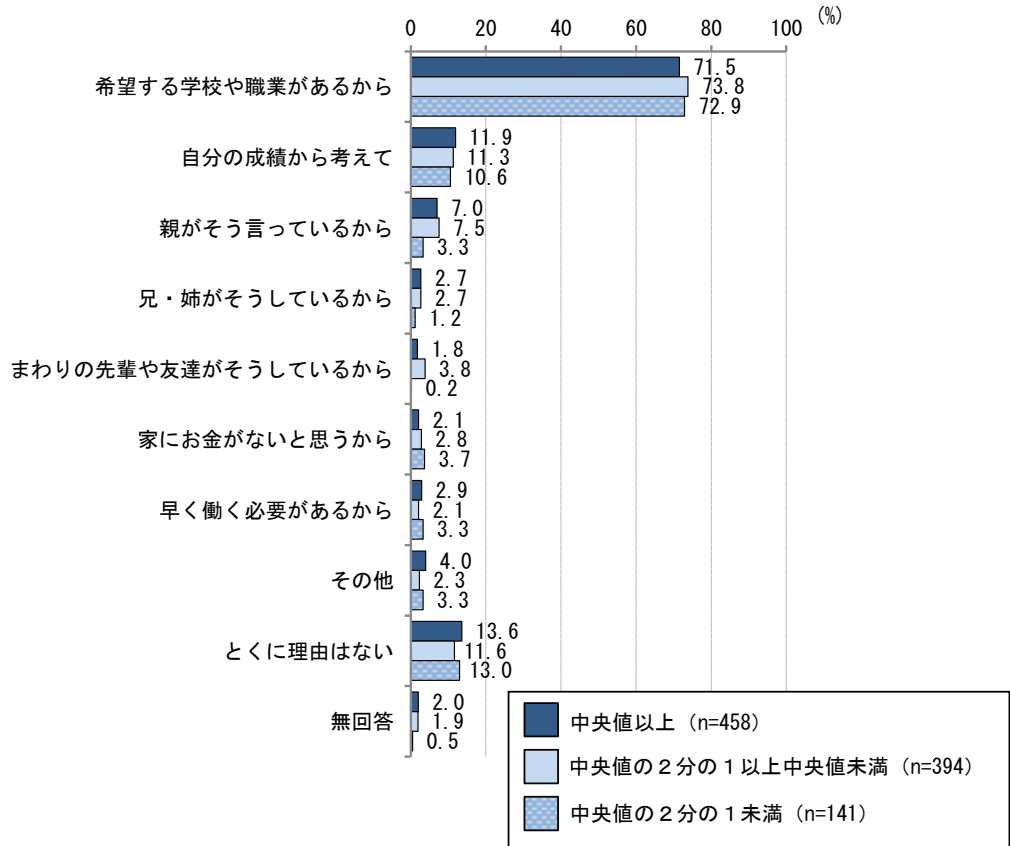
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「ふたり親世帯」では71.1%、「ひとり親世帯全体」では70.9%、「母子世帯のみ」では72.2%となっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」、「その他」、「とくに理由はない」の9項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別 (短大・高専・専門学校までを希望している場合) \_ 中学2年生】



『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」では71.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では73.8%、「中央値の2分の1未満」では72.9%となっている。

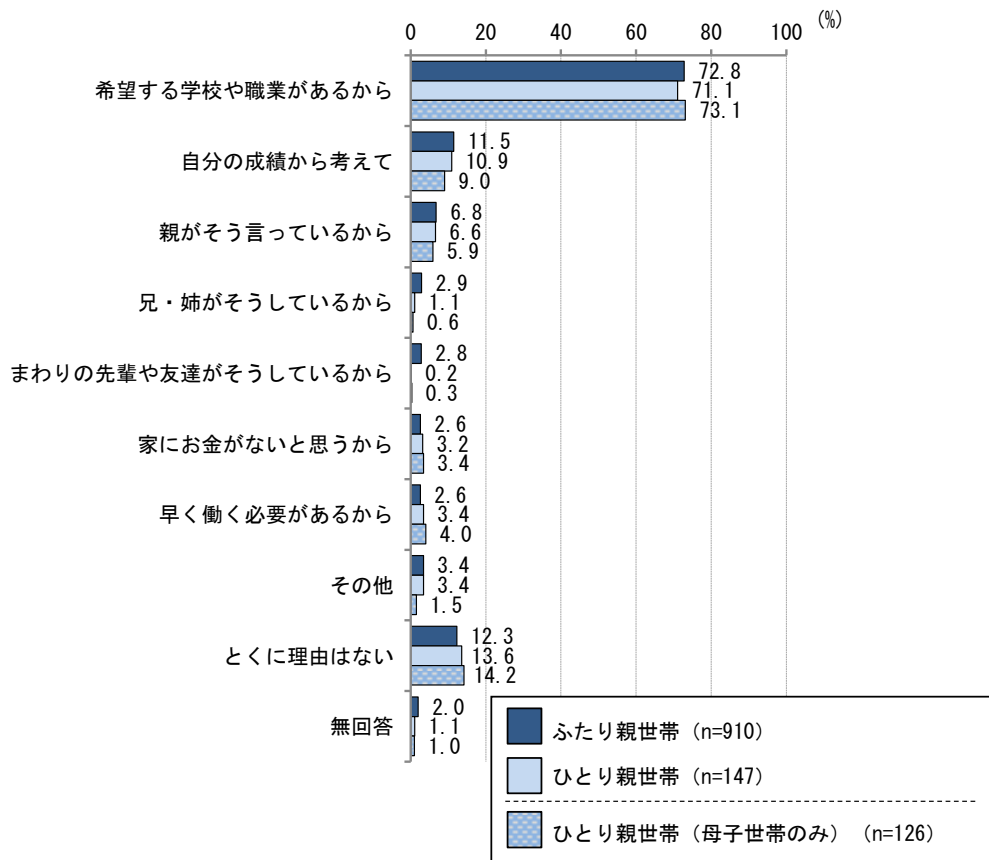
※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」、「その他」、「とくに理由はない」の8項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。



※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【世帯の状況別（短大・高専・専門学校までを希望している場合）\_中学2年生】



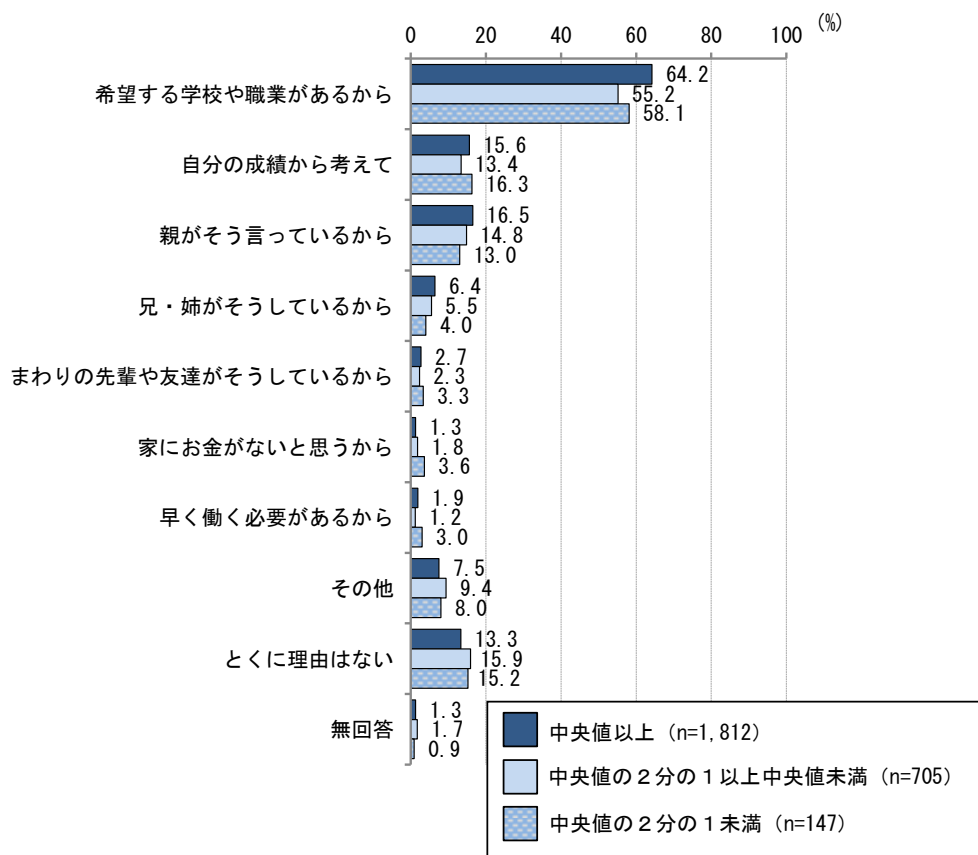
『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「ふたり親世帯」では72.8%、「ひとり親世帯全体」では71.1%、「母子世帯のみ」では73.1%となっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」、「その他」、「とくに理由はない」の8項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別 (大学またはそれ以上を希望している場合) \_小学5年生】



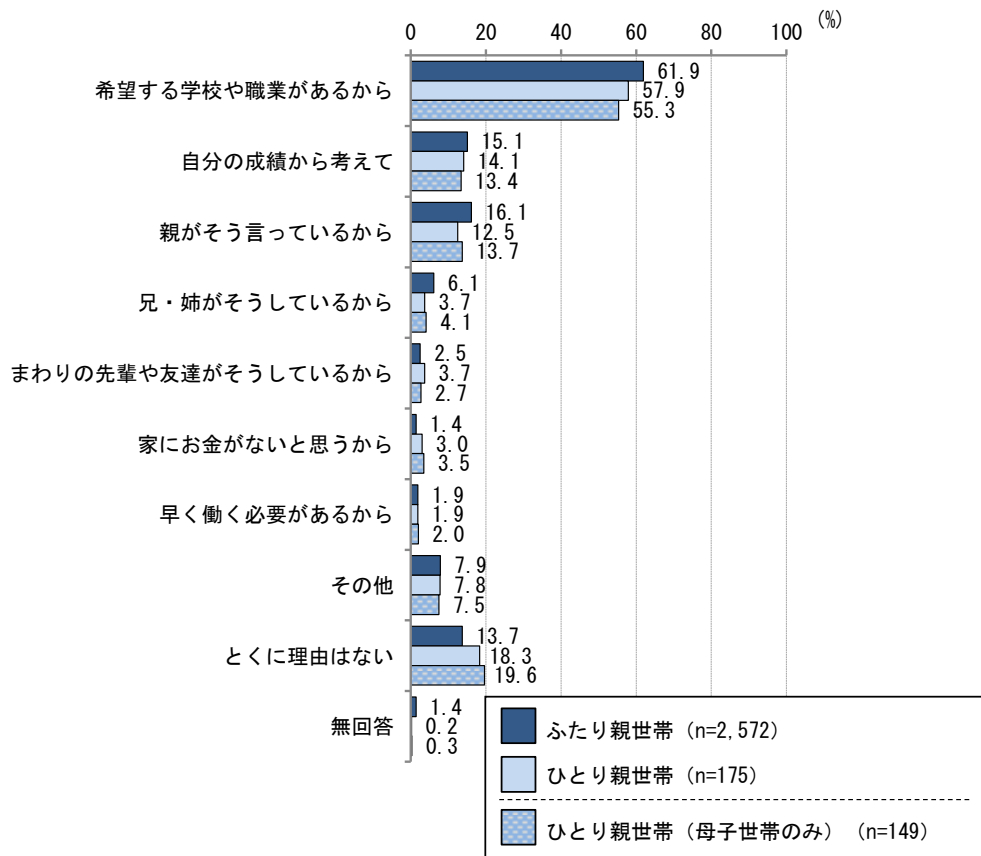
『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」では64.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では55.2%、「中央値の2分の1未満」では58.1%となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」、「その他」、「とくに理由はない」の8項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【世帯の状況別 (大学またはそれ以上を希望している場合) \_小学5年生】



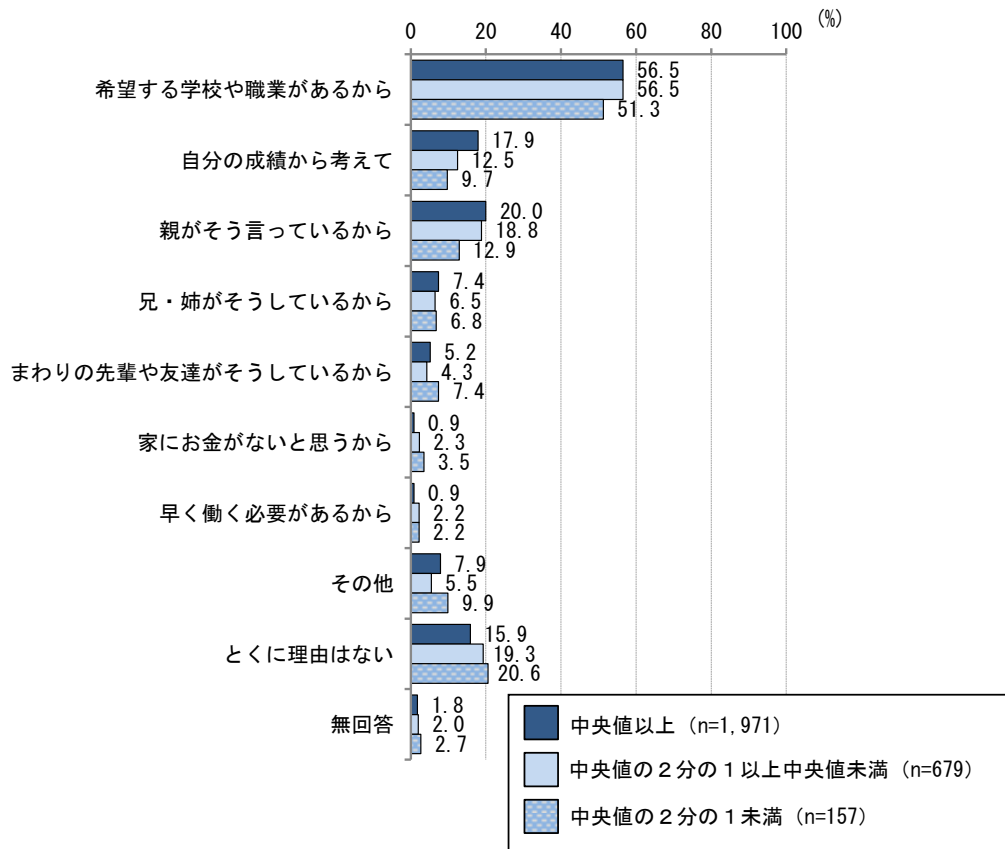
『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「ふたり親世帯」では61.9%、「ひとり親世帯全体」では57.9%、「母子世帯のみ」では55.3%となっている。

※世帯の状況 (ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか) 別の集計結果について、「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」、「その他」、「とくに理由はない」の9項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別(大学またはそれ以上を希望している場合) \_ 中学2年生】



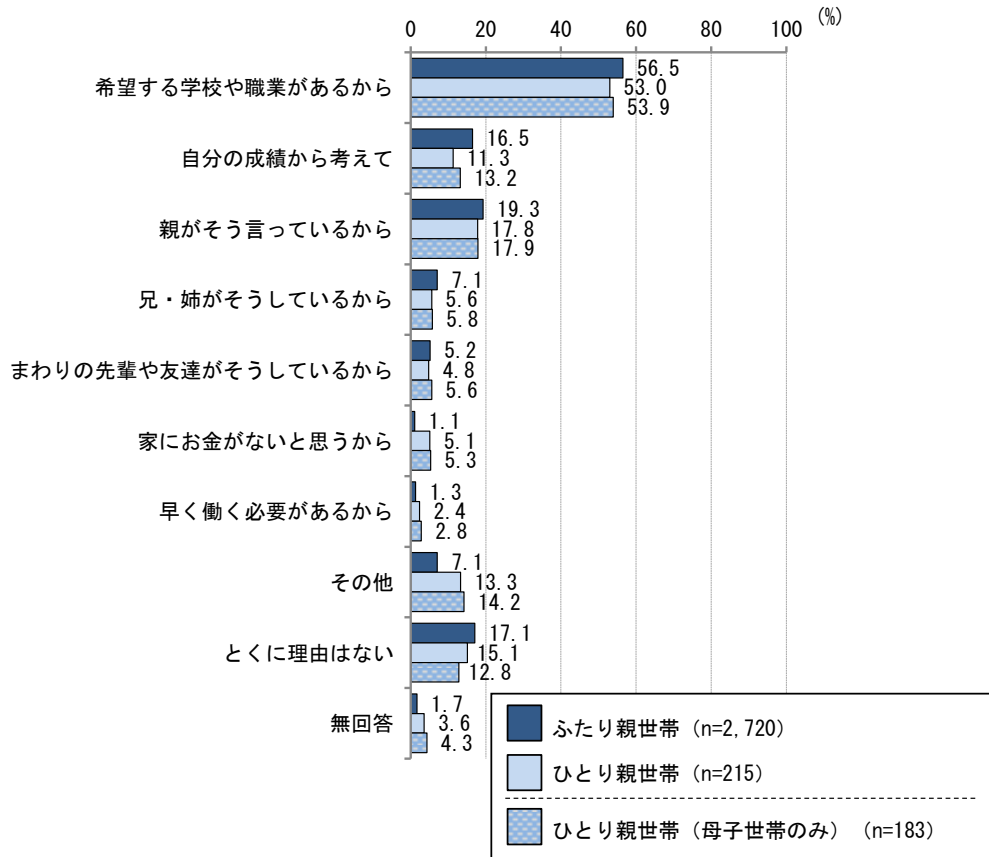
『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」では56.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では56.5%、「中央値の2分の1未満」では51.3%となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「希望する学校や職業があるから」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「とくに理由はない」の5項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問7で「1～8」と答えた方に

子供票問8. その理由を教えてください。(複数回答)

【世帯の状況別 (大学またはそれ以上を希望している場合) \_中学2年生】



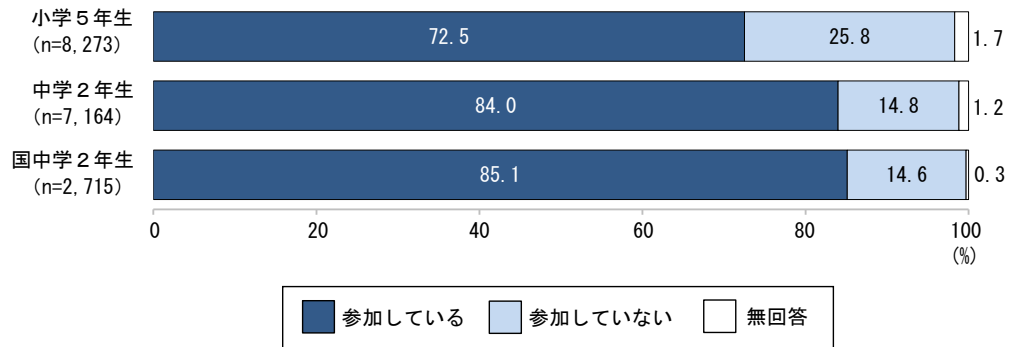
『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「ふたり親世帯」では56.5%、「ひとり親世帯全体」では53.0%、「母子世帯のみ」では53.9%となっている。

※世帯の状況 (ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか) 別の集計結果について、「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「まわりの先輩や友達がそうしているから」、「早く働く必要があるから」、「その他」、「とくに理由はない」の7項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

(3) 部活動等への参加状況

子供票問9. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。  
(単数回答)

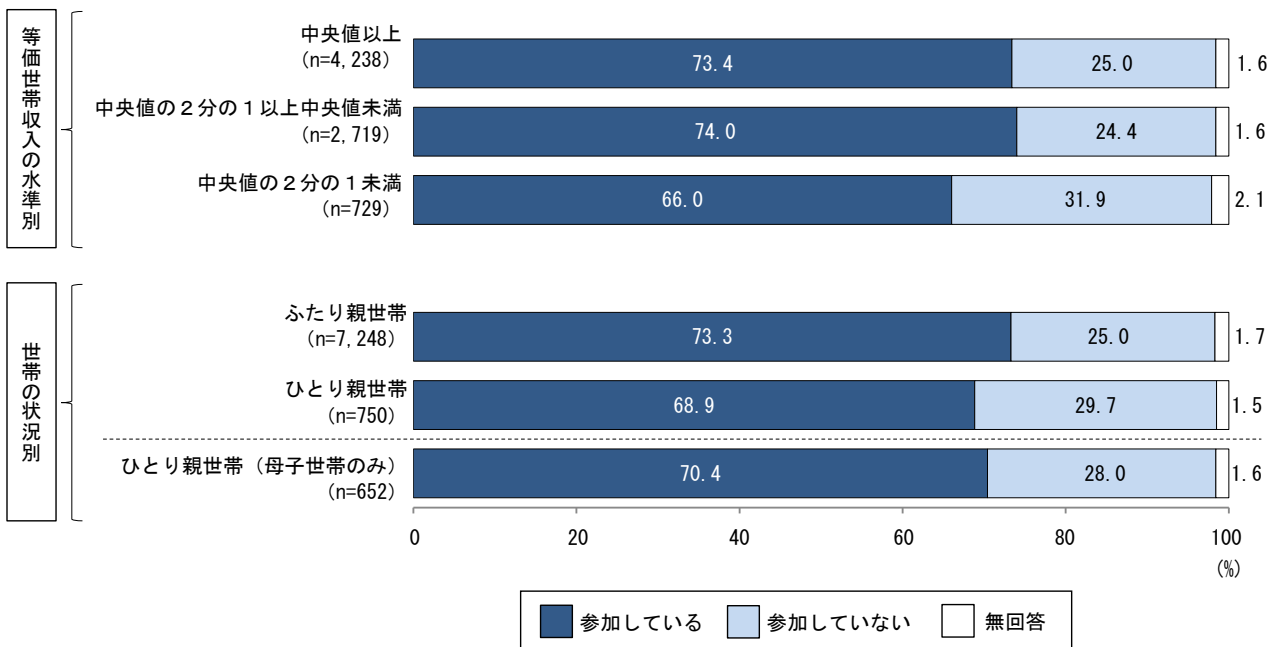
【全体】



部活動等への参加状況について、小学5年生では、「参加している」が72.5%、「参加していない」が25.8%となっている。

中学2年生では、「参加している」が84.0%、「参加していない」が14.8%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】

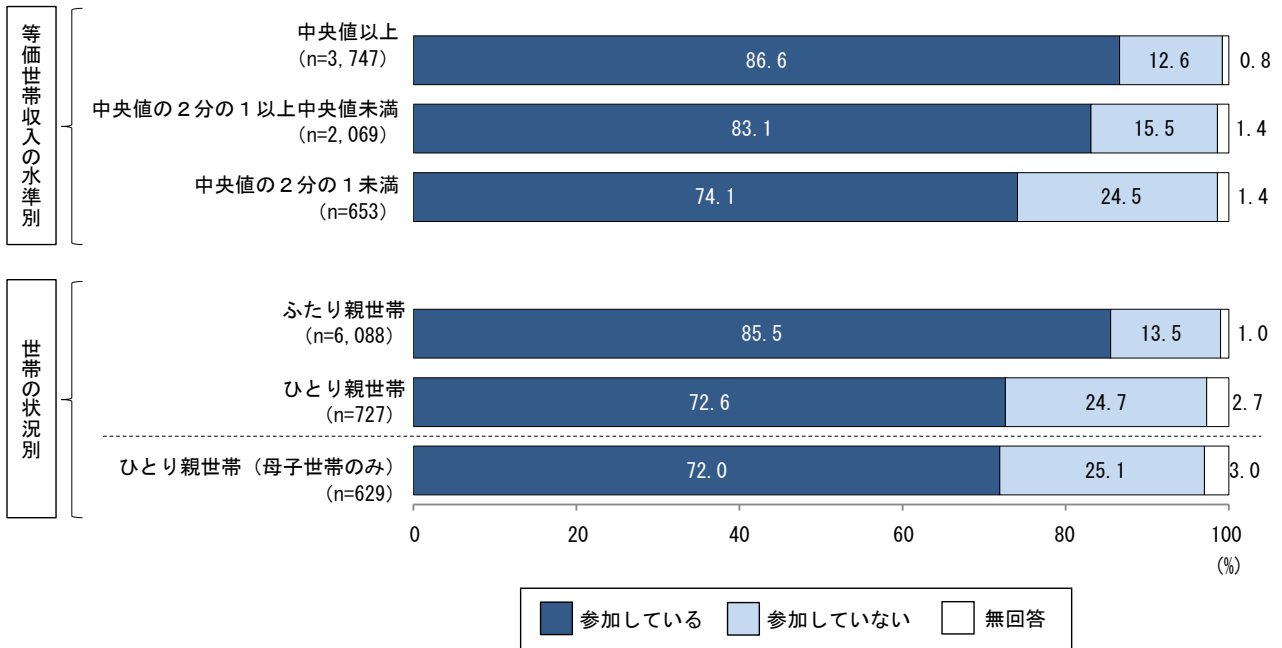


等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では25.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では24.4%、「中央値の2分の1未満」では31.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では25.0%、「ひとり親世帯全体」では29.7%、「母子世帯のみ」では28.0%となっている。

子供票問9. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。  
(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



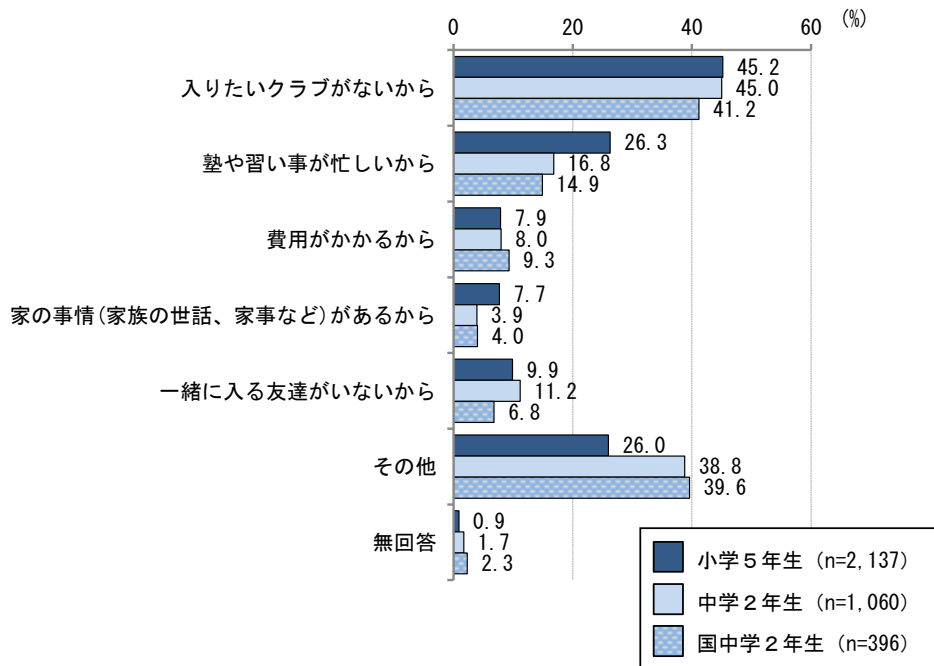
等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では12.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では15.5%、「中央値の2分の1未満」では24.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では13.5%、「ひとり親世帯全体」では24.7%、「母子世帯のみ」では25.1%となっている。

※問9で「2 参加していない」と答えた方に

子供票問 10. 参加していない理由は何ですか。(複数回答)

【全体】



部活動等に参加していない理由について、小学5年生では、「入りたいクラブがないから」が45.2%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が26.3%、「一緒にいる友達がないから」が9.9%などの順となっている。

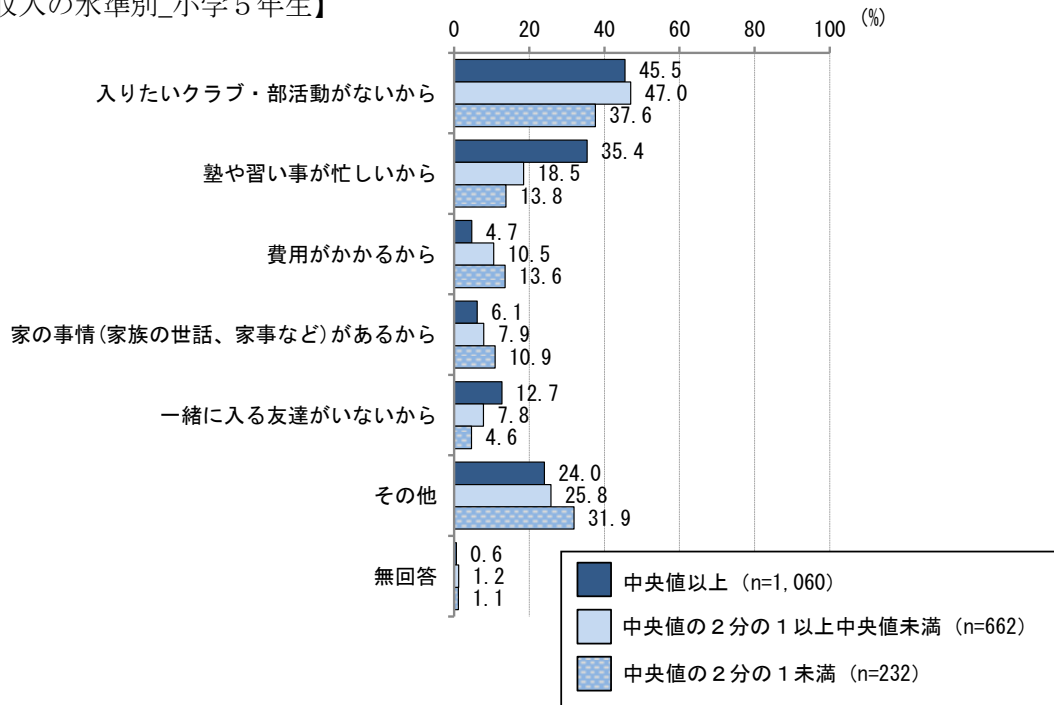
中学2年生では、「入りたいクラブがないから」が45.0%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が16.8%、「一緒にいる友達がないから」が11.2%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。



※問9で「2 参加していない」と答えた方に

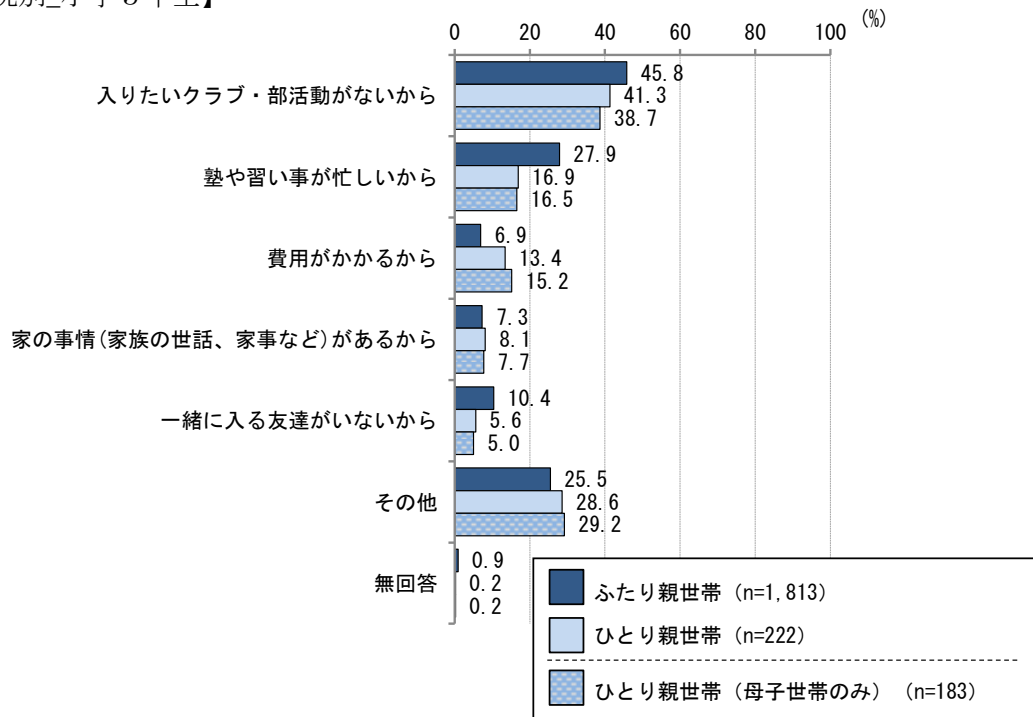
子供票問 10. 参加していない理由は何ですか。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「費用がかかるから」が13.6%と他の世帯と比べて高くなっている。一方で、「塾や習い事が忙しいから」は13.8%と低くなっている。

【世帯の状況別\_小学5年生】



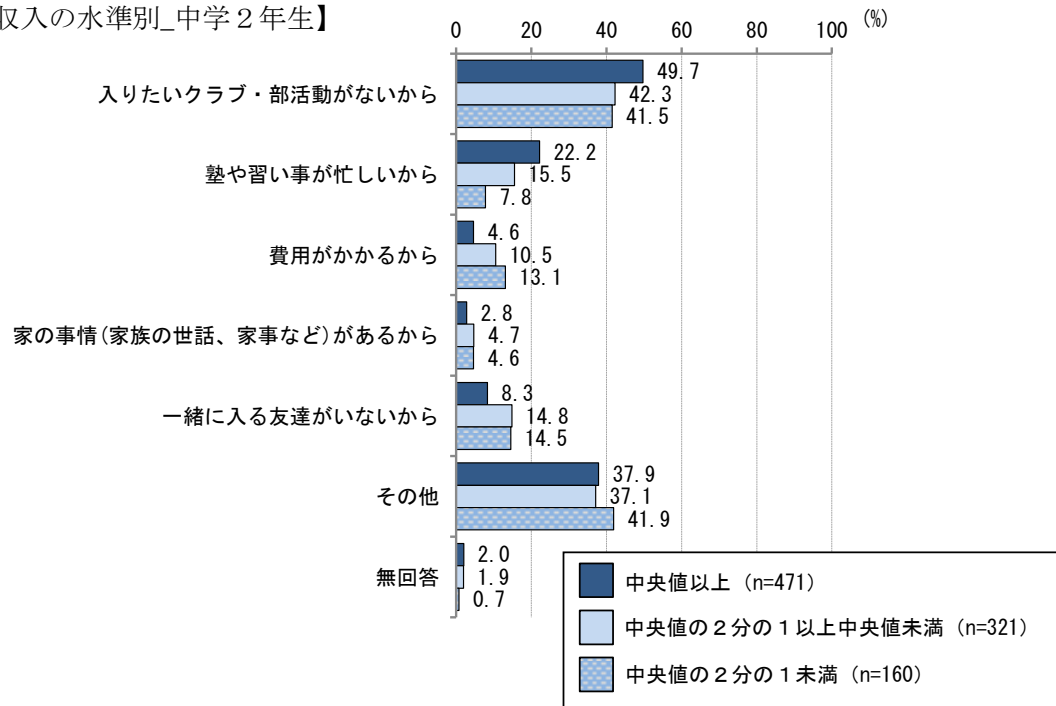
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「費用がかかるから」が13.4%と高くなっている。一方で、「塾や習い事が忙しいから」は16.9%と低くなっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「入りたいクラブ・部活動がないから」、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」、「その他」の3項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問9で「2 参加していない」と答えた方に

子供票問 10. 参加していない理由は何ですか。(複数回答)

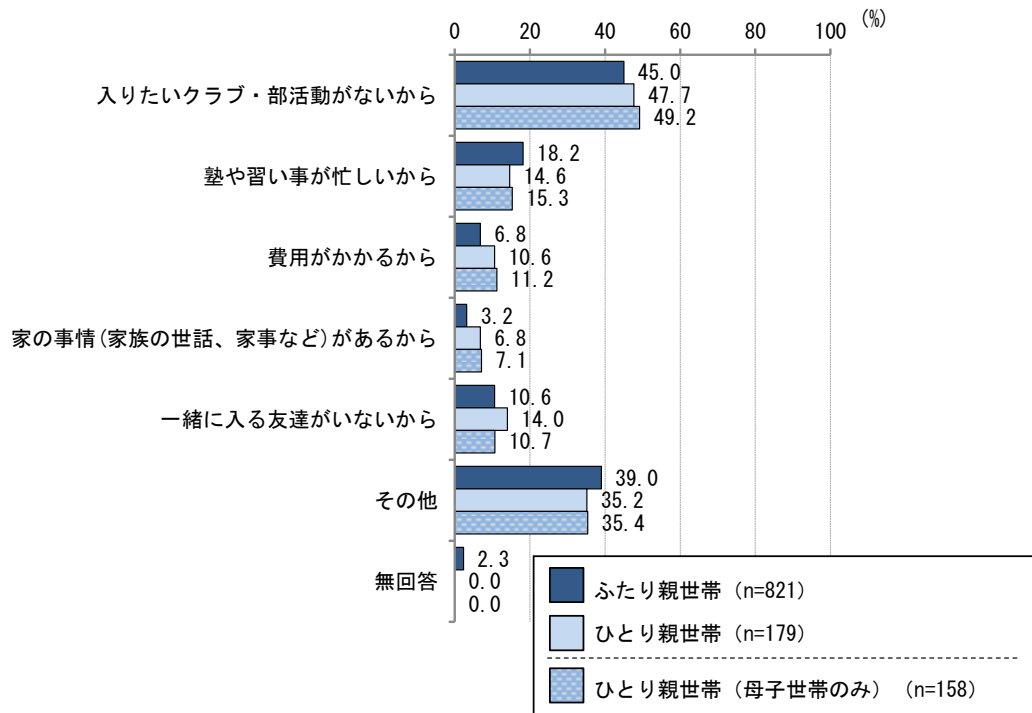
【等価世帯収入の水準別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「費用がかかるから」が13.1%と他の世帯と比べて高くなっている。一方で、「塾や習い事が忙しいから」は7.8%と低くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」、「その他」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

【世帯の状況別\_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「費用がかかるから」は、「ふたり親世帯」では6.8%、「ひとり親世帯全体」では10.6%、「母子世帯のみ」では11.2%となっている。

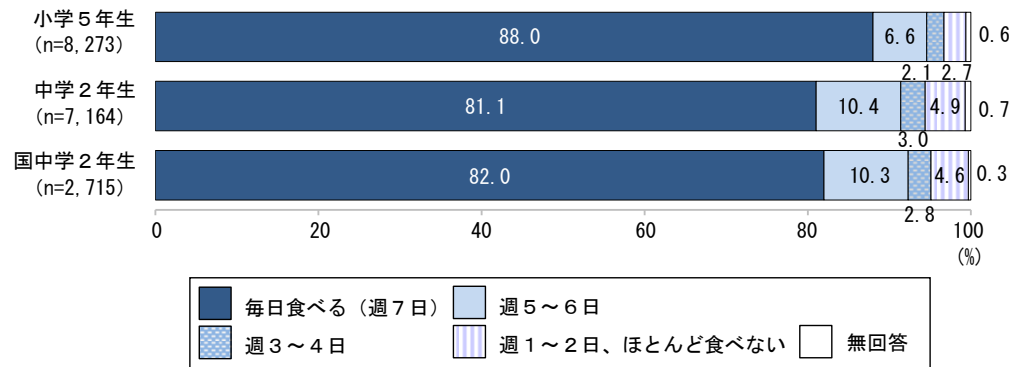
※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「入りたいクラブ・部活動がないから」、「塾や習い事が忙しいから」、「費用がかかるから」、「一緒にいる友達がいないから」、「その他」の5項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

## (4) 日常的な生活の状況

子供票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

= 朝食 =

【全体】



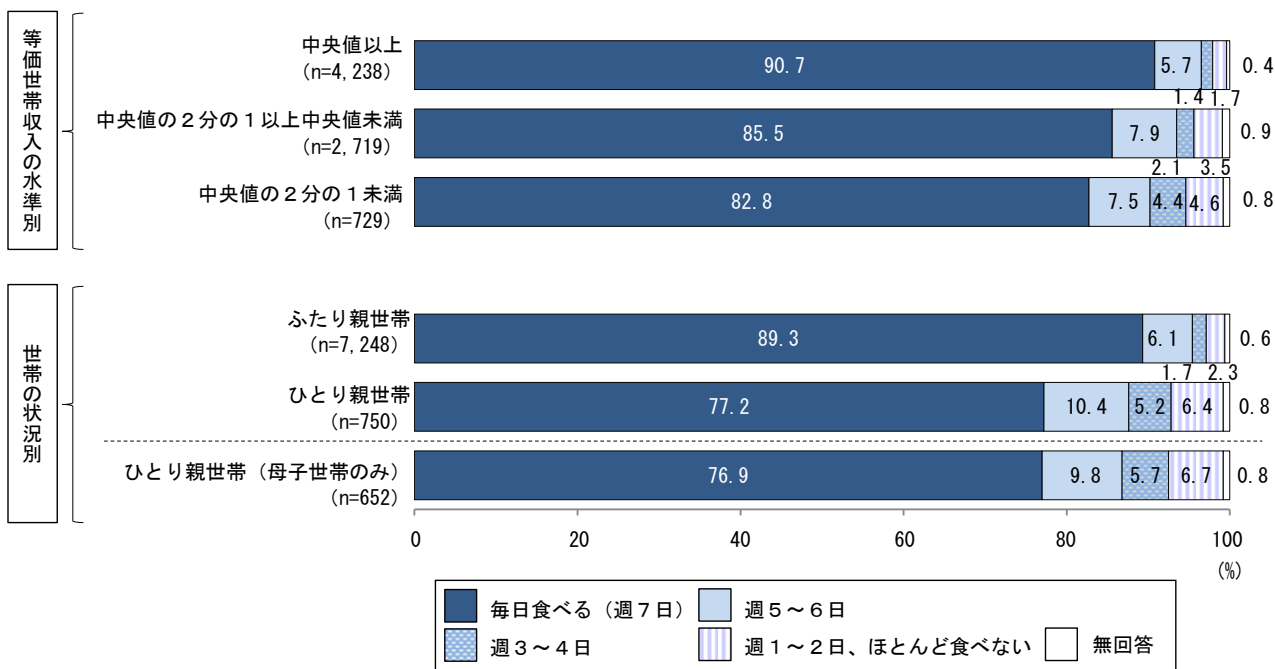
朝食について、小学5年生では、「毎日食べる (週7日)」が88.0%、「週5~6日」が6.6%、「週3~4日」が2.1%、「週1~2日、ほとんど食べない」が2.7%となっている。

中学2年生では、「毎日食べる (週7日)」が81.1%、「週5~6日」が10.4%、「週3~4日」が3.0%、「週1~2日、ほとんど食べない」が4.9%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

子供票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

= 朝食 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



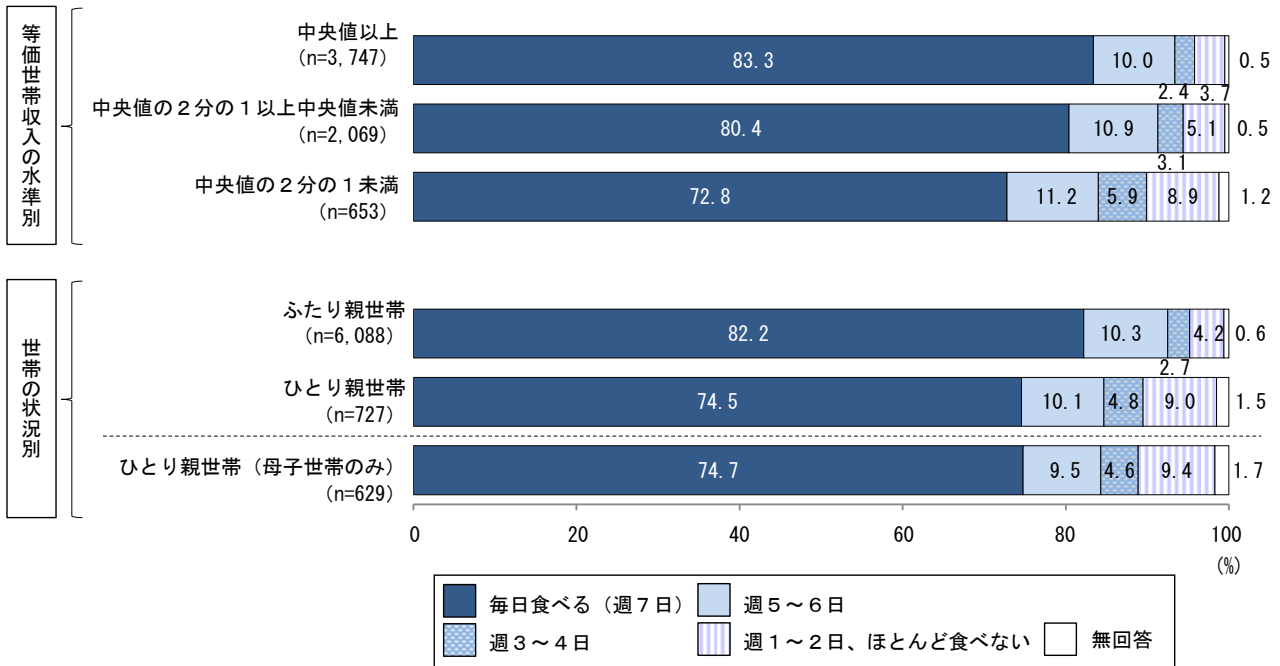
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 90.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 85.5%、「中央値の2分の1未満」では 82.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 89.3%、「ひとり親世帯全体」では 77.2%、「母子世帯のみ」では 76.9%となっている。

子供票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

= 朝食 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



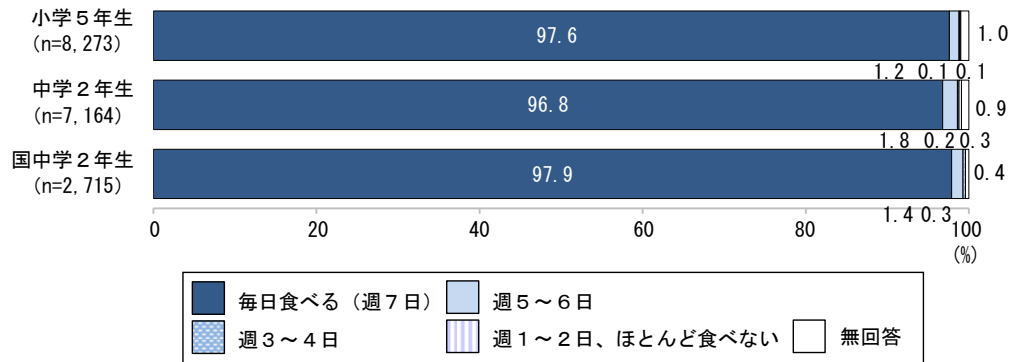
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 83.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 80.4%、「中央値の2分の1未満」では 72.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 82.2%、「ひとり親世帯全体」では 74.5%、「母子世帯のみ」では 74.7%となっている。

子供票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

= 夕食 =

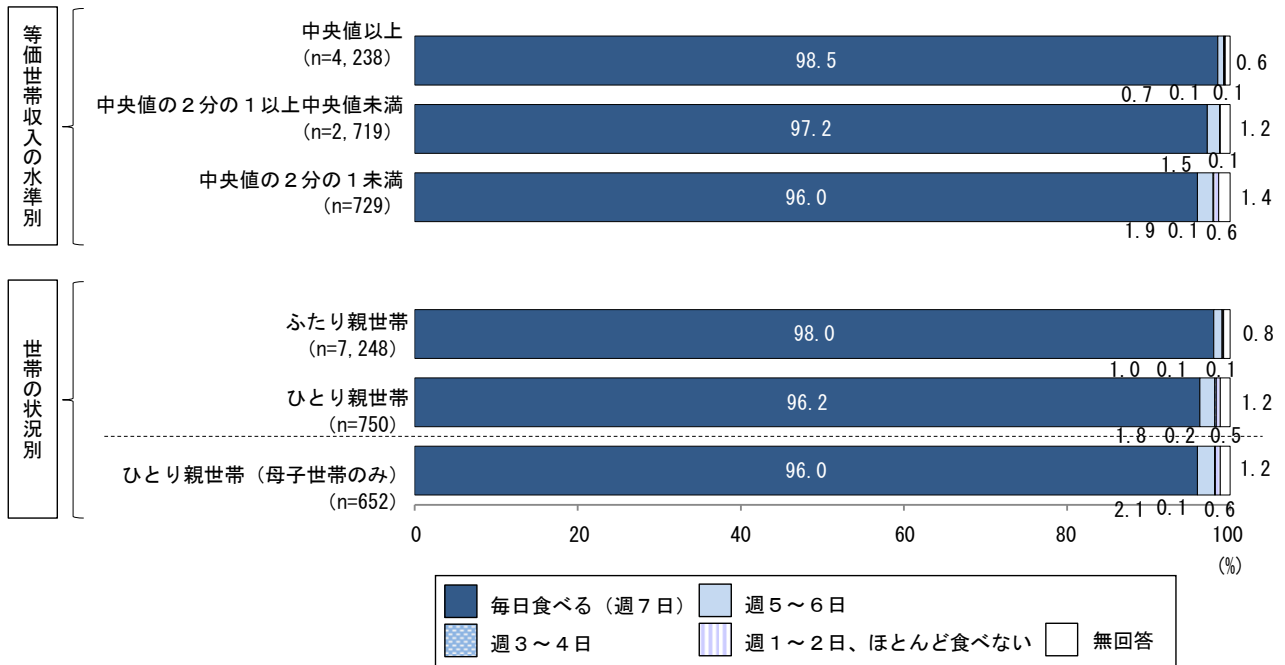
【全体】



夕食について、小学5年生では、「毎日食べる (週7日)」が97.6%、「週5～6日」が1.2%、「週3～4日」が0.1%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.1%となっている。

中学2年生では、「毎日食べる (週7日)」が96.8%、「週5～6日」が1.8%、「週3～4日」が0.2%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.3%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では98.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では97.2%、「中央値の2分の1未満」では96.0%となっている。

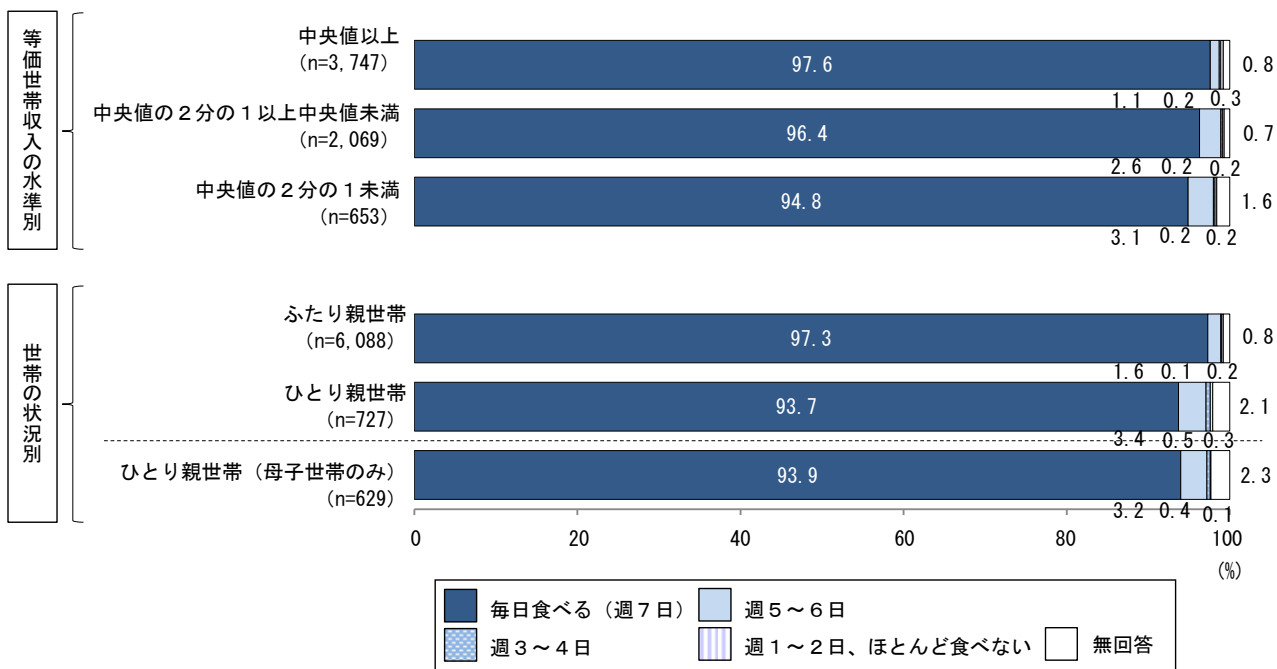
世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では98.0%、「ひとり親世帯全体」では96.2%、「母子世帯のみ」では96.0%となっている。



子供票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

= 夕食 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



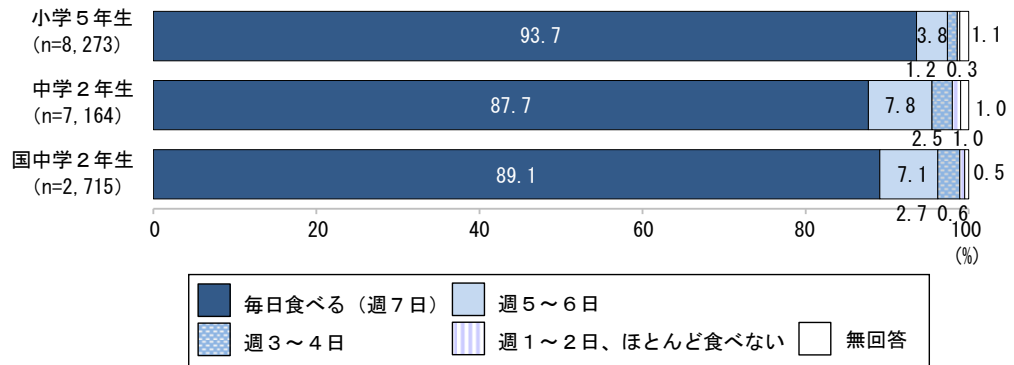
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 97.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 96.4%、「中央値の2分の1未満」では 94.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 97.3%、「ひとり親世帯全体」では 93.7%、「母子世帯のみ」では 93.9%となっている。

子供票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

= 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 =

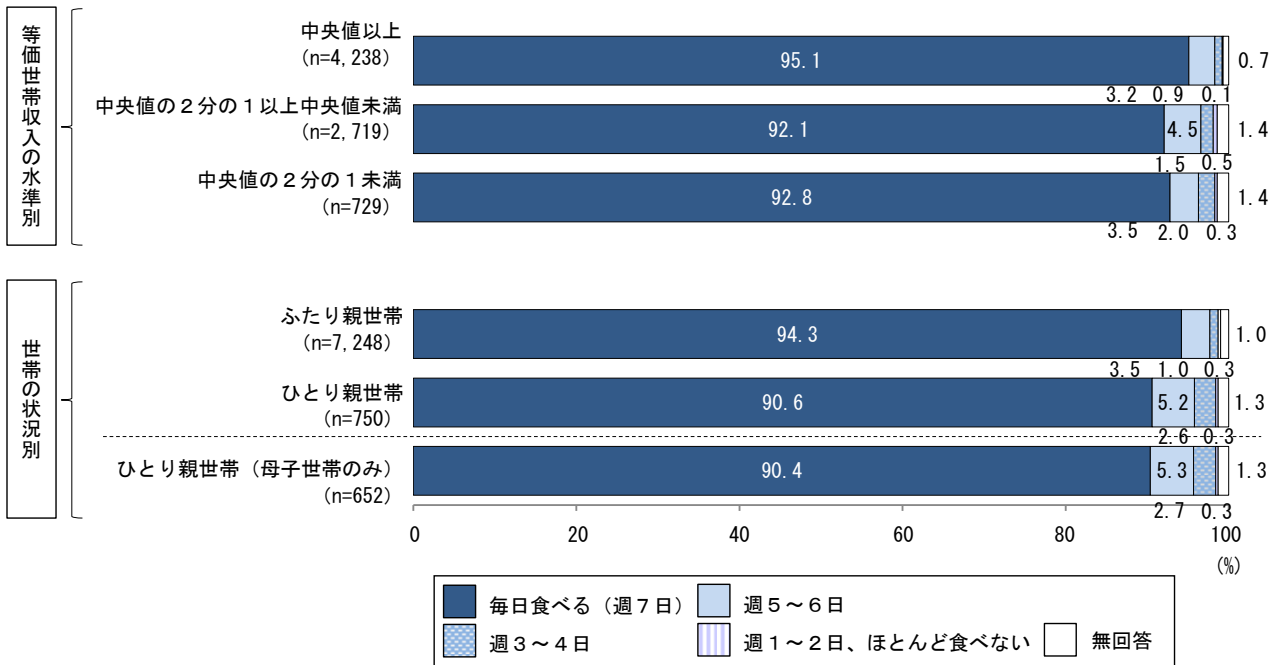
【全体】



夏休みや冬休みなどの期間の昼食について、小学5年生では、「毎日食べる(週7日)」が93.7%、「週5~6日」が3.8%、「週3~4日」が1.2%、「週1~2日、ほとんど食べない」が0.3%となっている。

中学2年生では、「毎日食べる(週7日)」が87.7%、「週5~6日」が7.8%、「週3~4日」が2.5%、「週1~2日、ほとんど食べない」が1.0%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



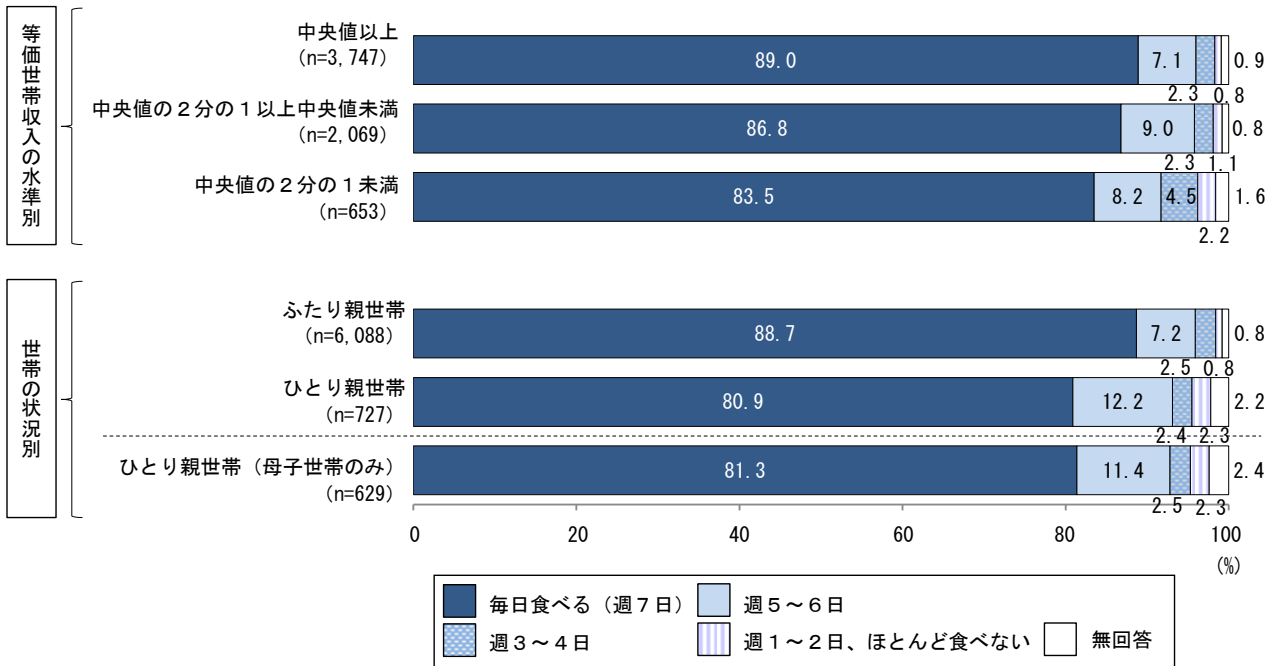
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では95.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では92.1%、「中央値の2分の1未満」では92.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では94.3%、「ひとり親世帯全体」では90.6%、「母子世帯のみ」では90.4%となっている。

子供票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

= 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】

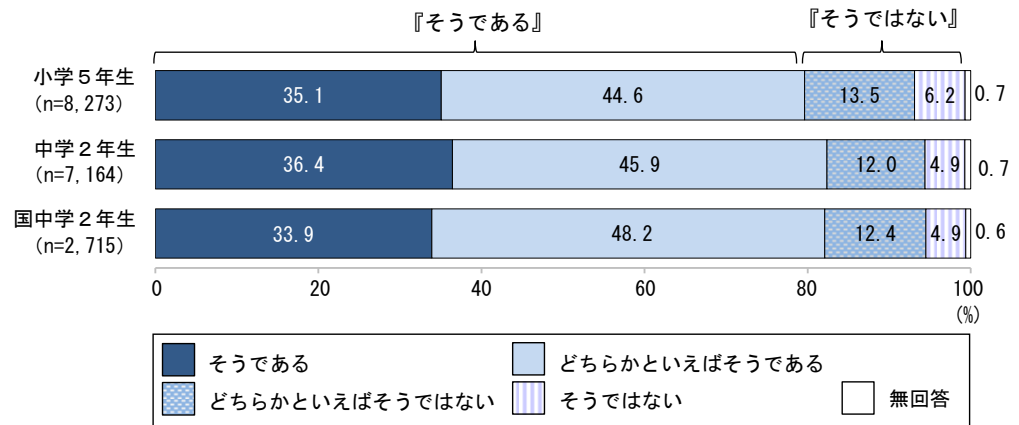


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「中央値以上」では 89.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 86.8%、「中央値の2分の1未満」では 83.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる (週7日)」は、「ふたり親世帯」では 88.7%、「ひとり親世帯全体」では 80.9%、「母子世帯のみ」では 81.3%となっている。

子供票問 12. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(単数回答)

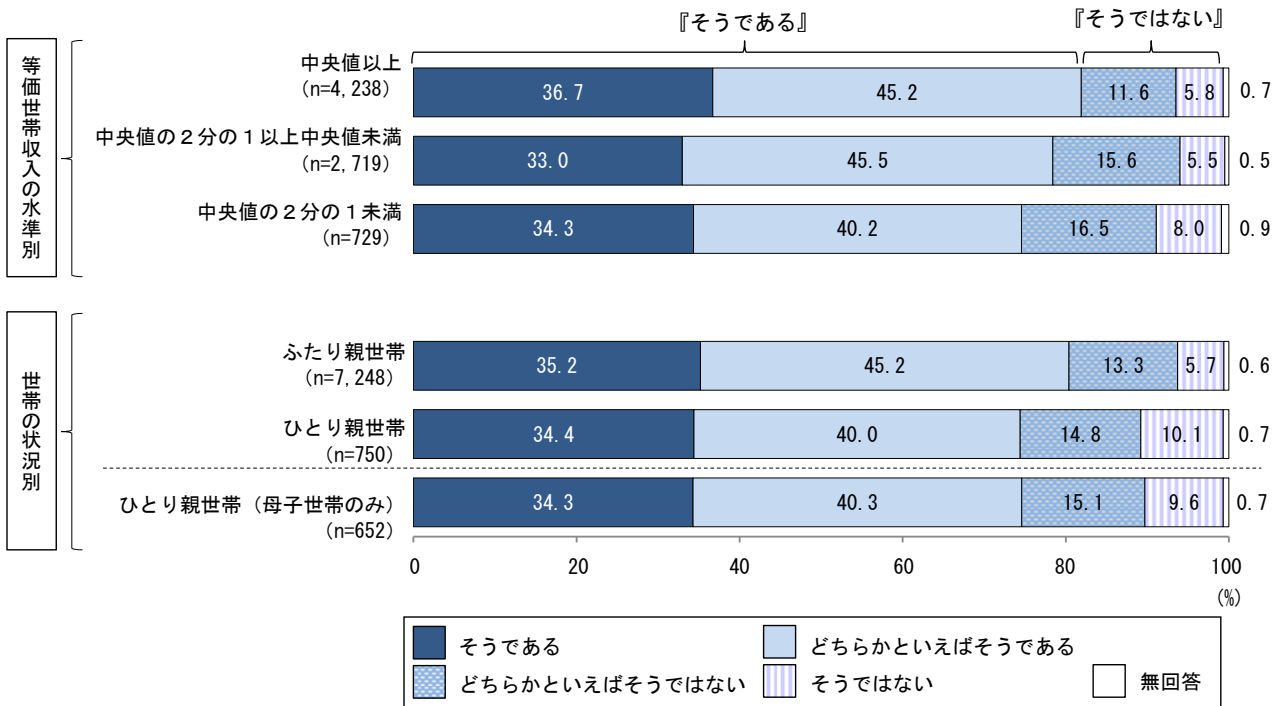
【全体】



就寝時間に関してほぼ同じ時間に寝ているかについて、小学5年生では、『そうである（「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合）』が79.7%、『そうではない（「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた割合）』が19.7%となっている。

中学2年生では、『そうである』が82.3%、『そうではない』が16.9%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】

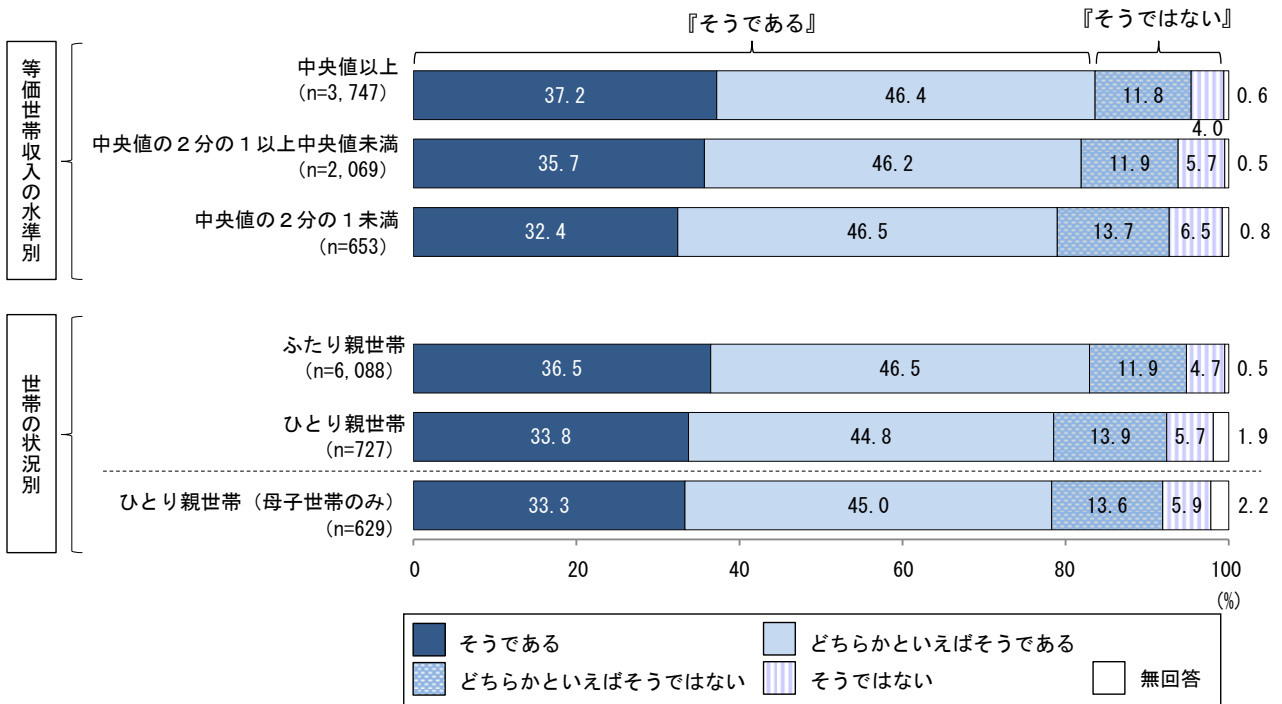


等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では81.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では78.5%、「中央値の2分の1未満」では74.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では80.4%、「ひとり親世帯全体」では74.4%、「母子世帯のみ」では74.6%となっている。

子供票問 12. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



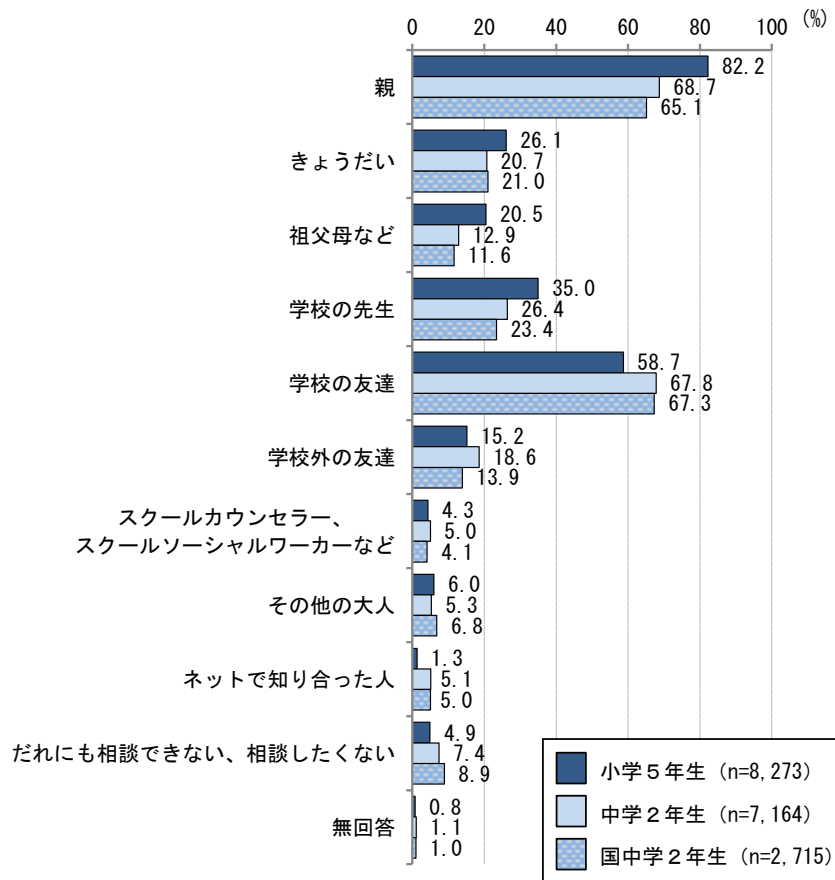
等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では83.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では81.9%、「中央値の2分の1未満」では78.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では83.0%、「ひとり親世帯全体」では78.6%、「母子世帯のみ」では78.3%となっている。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

【全体】

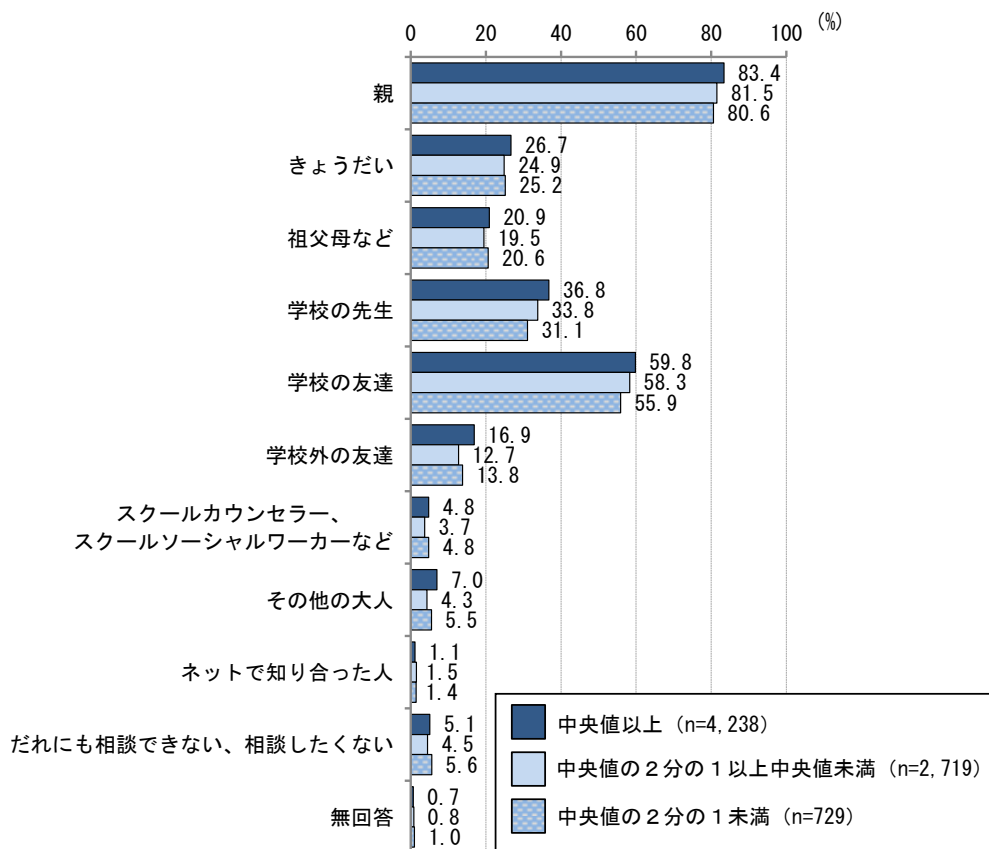


困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人について、小学5年生では、「親」が82.2%と最も高く、次いで「学校の友達」が58.7%、「学校の先生」が35.0%などの順となっている。

中学2年生では、「親」が68.7%と最も高く、次いで「学校の友達」が67.8%、「学校の先生」が26.4%などの順となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

子供票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別\_小学5年生】

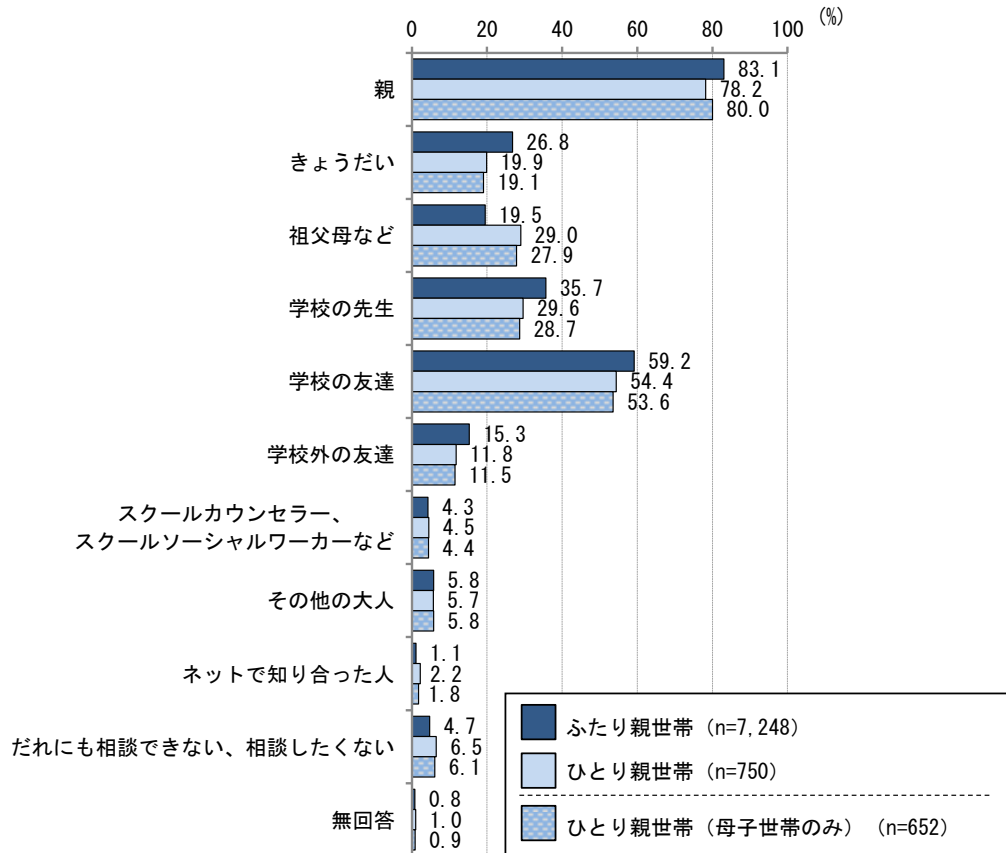


等価世帯収入の水準別にみると、「だれにも相談できない、相談したくない」は、「中央値以上」では5.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.5%、「中央値の2分の1未満」では5.6%となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「親」、「きょうだい」、「祖父母など」、「学校の友達」、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」、「ネットで知り合った人」、「だれにも相談できない、相談したくない」の7項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

【世帯の状況別\_小学5年生】



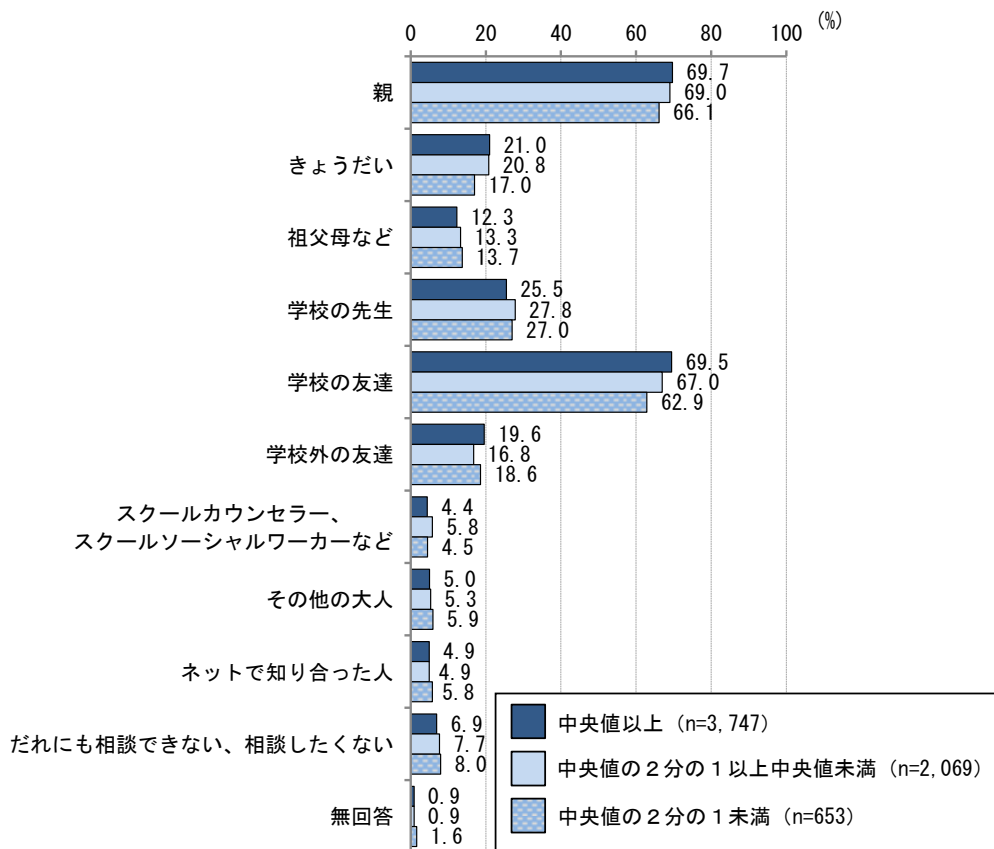
世帯の状況別にみると、「だれにも相談できない、相談したくない」は、「ふたり親世帯」では4.7%、「ひとり親世帯全体」では6.5%、「母子世帯のみ」では6.1%となっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」、「その他の大人」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。



子供票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別\_中学2年生】

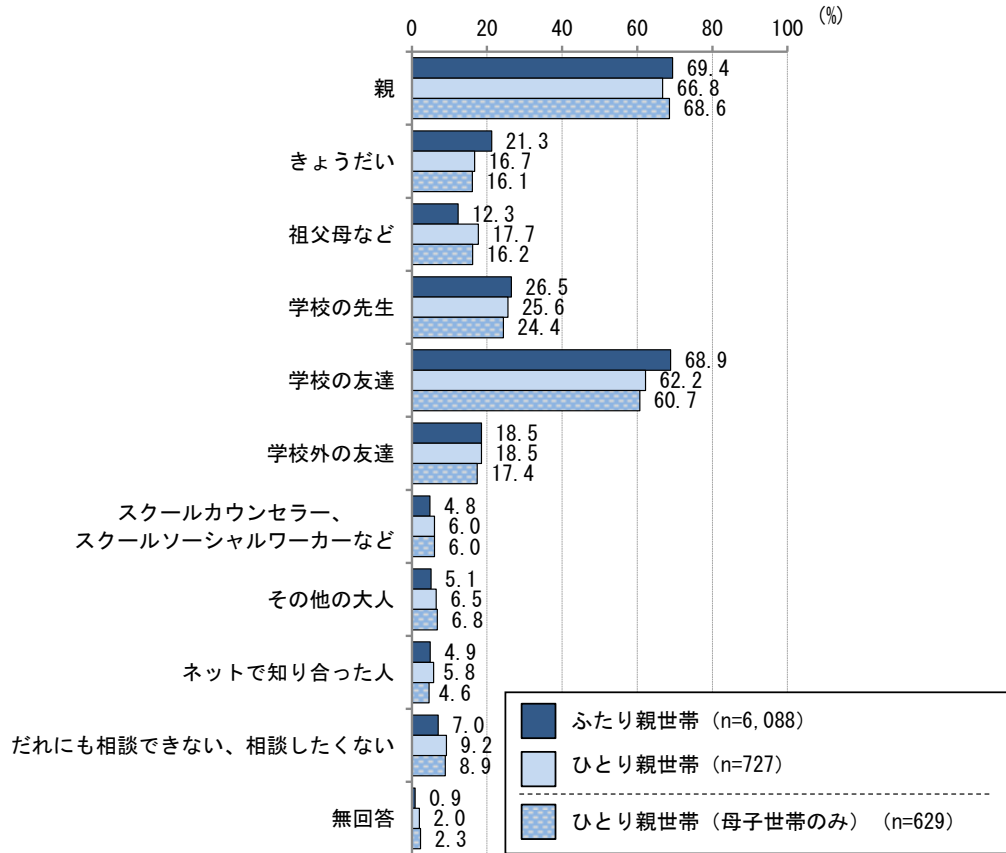


等価世帯収入の水準別にみると、「学校の友達」は、「中央値以上」では69.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では67.0%、「中央値の2分の1未満」では62.9%となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「親」、「きょうだい」、「祖父母など」、「学校の先生」、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」、「その他の大人」、「ネットで知り合った人」、「だれにも相談できない、相談したくない」の8項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

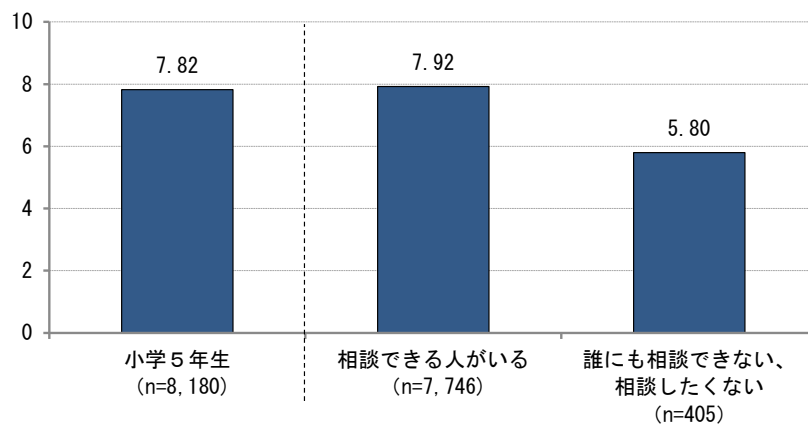
【世帯の状況別\_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「学校の友達」は、「ふたり親世帯」では68.9%、「ひとり親世帯全体」では62.2%、「母子世帯のみ」では60.7%となっている。

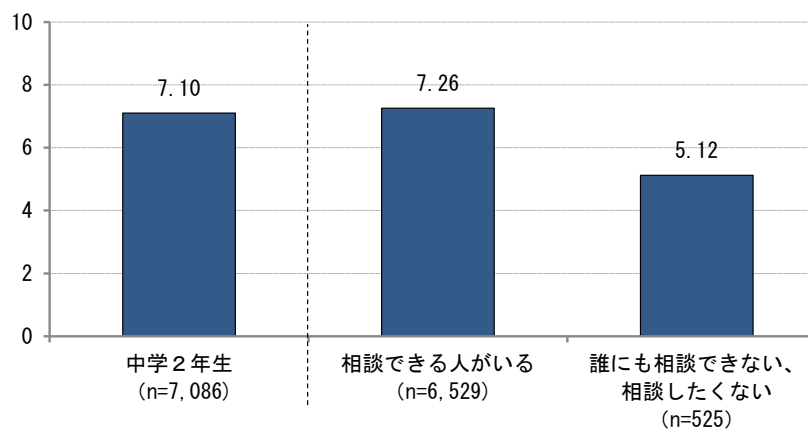
※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「親」、「学校の先生」、「学校外の友達」、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」、「その他の大人」、「ネットで知り合った人」の6項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

## 【相談できる人の有無別 生活満足度\_小学5年生】



相談できる人の有無別に、子供の最近の生活満足度（子供票問 14 への回答）をみると、子供の生活満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」（5.80）が「相談できる人がいる」（7.92）を 2.12 点下回っている。

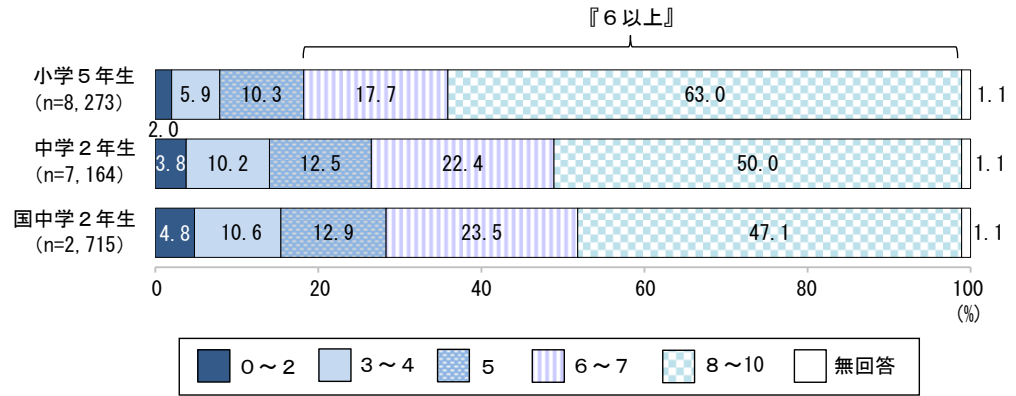
## 【相談できる人の有無別 生活満足度\_中学2年生】



相談できる人の有無別に、子供の最近の生活満足度（子供票問 14 への回答）をみると、子供の生活満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」（5.12）が「相談できる人がいる」（7.26）を 2.14 点下回っている。

子供票問 14. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(単数回答)  
 「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。

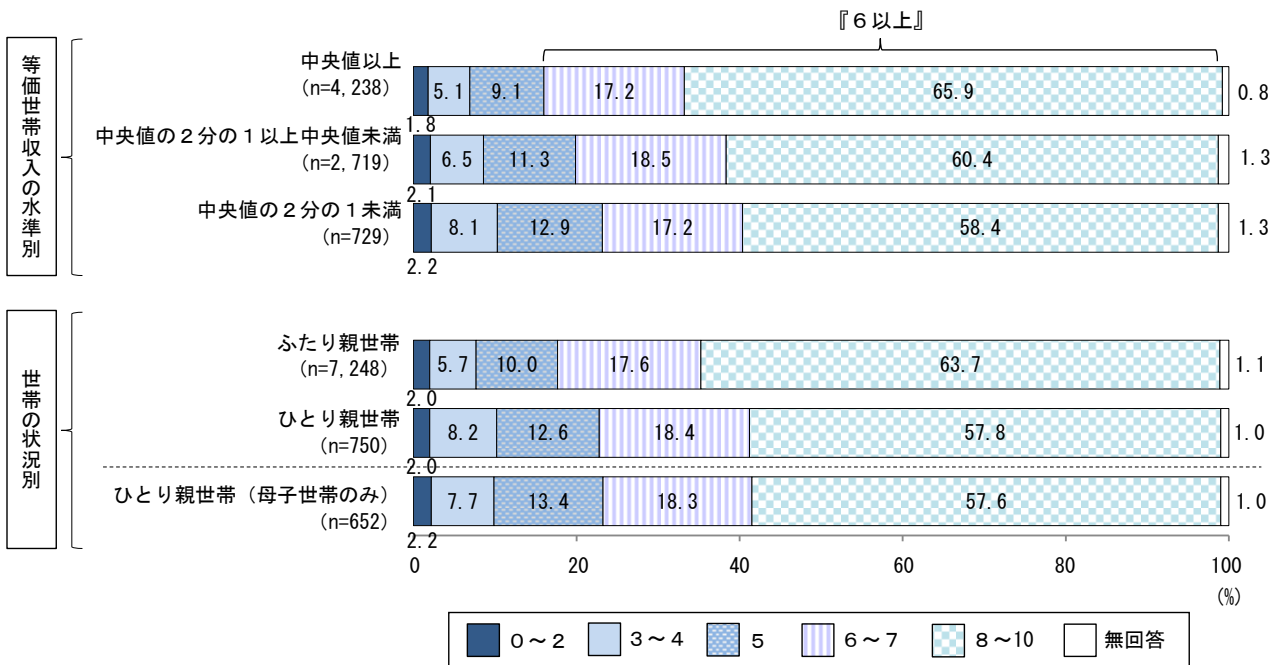
【全体】



最近の生活満足度について、小学5年生では、「0~2」が2.0%、「3~4」が5.9%、「5」が10.3%、「6~7」が17.7%、「8~10」が63.0%となっている。

中学2年生では、「0~2」が3.8%、「3~4」が10.2%、「5」が12.5%、「6~7」が22.4%、「8~10」が50.0%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】

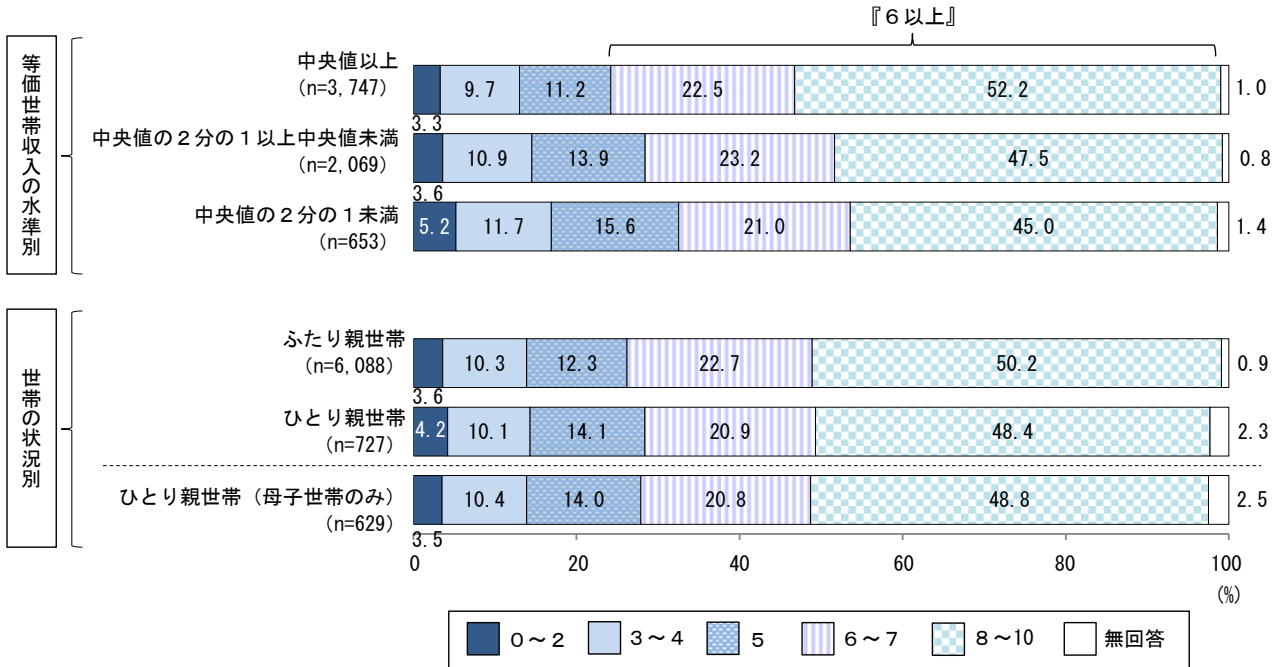


等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では83.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では78.9%、「中央値の2分の1未満」では75.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では81.3%、「ひとり親世帯全体」では76.2%、「母子世帯のみ」では75.9%となっている。

子供票問 14. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(単数回答)  
 「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では74.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では70.7%、「中央値の2分の1未満」では66.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では72.9%、「ひとり親世帯全体」では69.3%、「母子世帯のみ」では69.6%となっている。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

## (5) 子供の心理的な状態

「子供の心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート (SDQ : Strength and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定した。

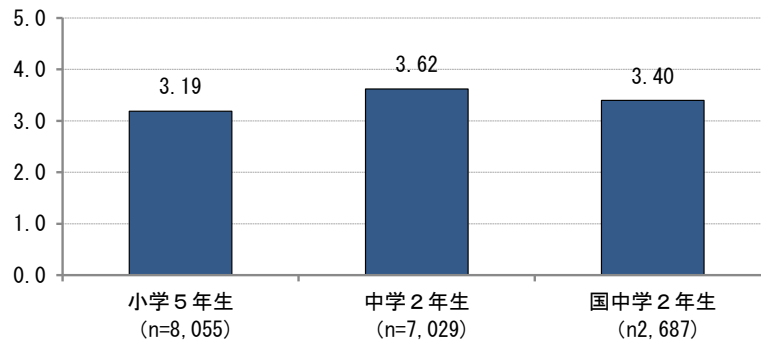
子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

= 情緒の問題 =

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した(0~10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。

## 【全体】



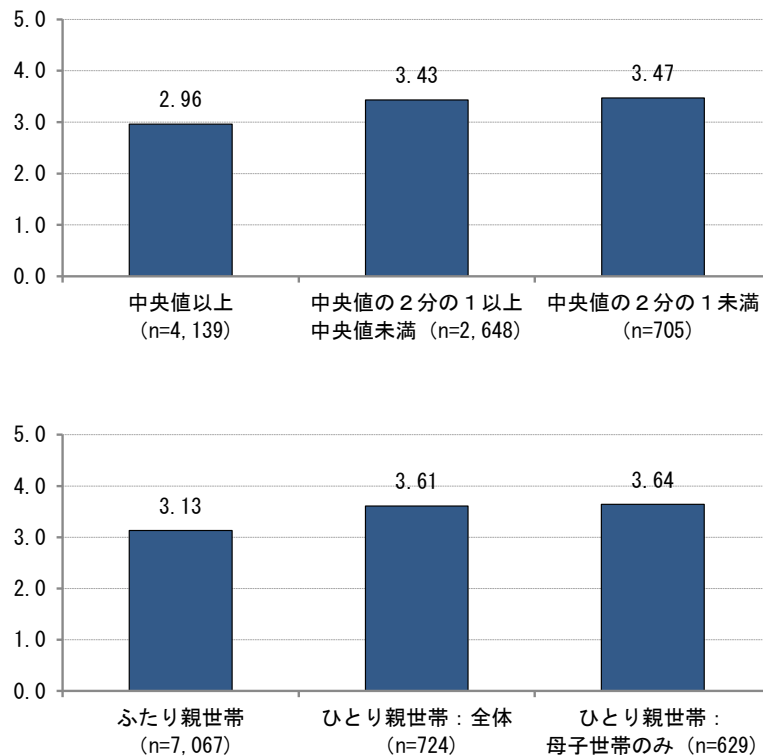
「情緒の問題」について、小学5年生全体の平均値は3.19となっている。中学2年生全体の平均値は3.62となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

= 情緒の問題 =

(※選択肢の内容、算出方法についてはP.170を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では2.96、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.43、「中央値の2分の1未満」では3.47となっている。

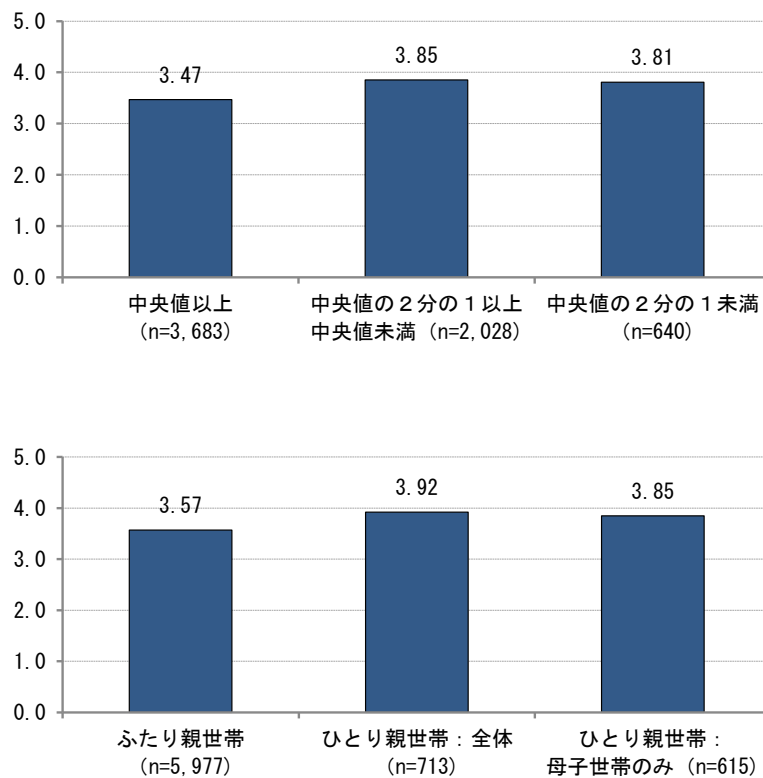
世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では3.13、「ひとり親世帯全体」では3.61、「母子世帯のみ」では3.64となっている。

子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

= 情緒の問題 =

(※選択肢の内容、算出方法についてはP.170を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では3.47、「中央値の2分の1以上中央値未満」では3.85、「中央値の2分の1未満」では3.81となっている。

世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では3.57、「ひとり親世帯全体」では3.92、「母子世帯のみ」では3.85となっている。



子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

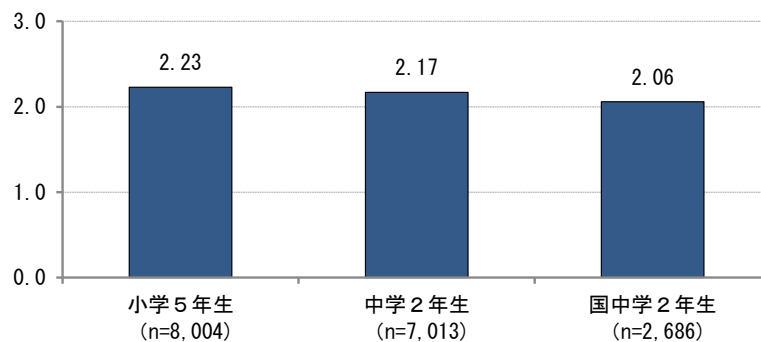
= 仲間関係の問題 =

- d. 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。
- l. 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
- n. 私は、他の子供たちより、大人といる方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した(0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。

※「g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」と「i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。」の項目は逆転項目としてスコアを算出した。

【全体】



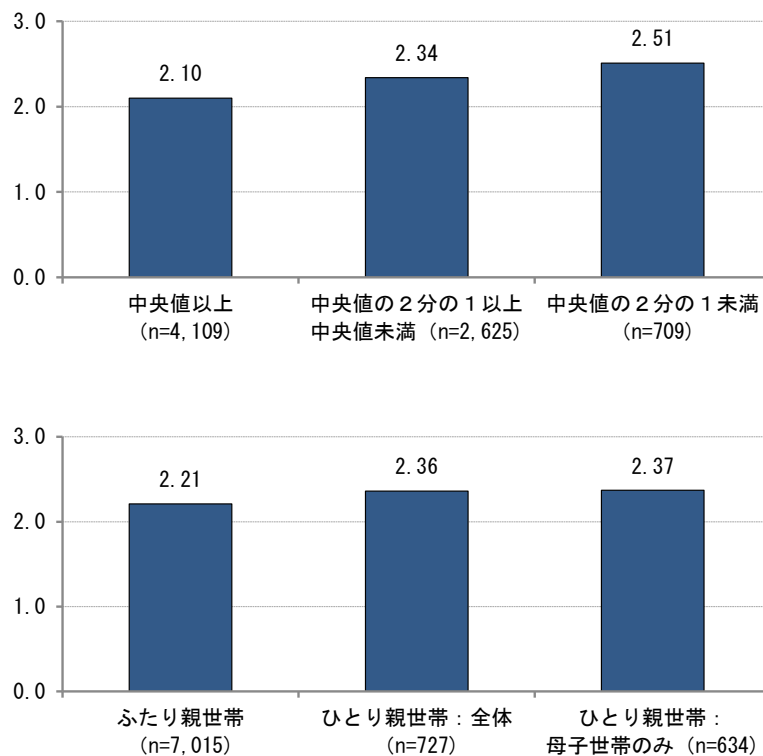
「仲間関係の問題」について、小学5年生全体の平均値は2.23となっている。中学2年生全体の平均値は2.17となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

= 仲間関係の問題 =

(※選択肢の内容、算出方法についてはP.173を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では2.10、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.34、「中央値の2分の1未満」では2.51となっている。

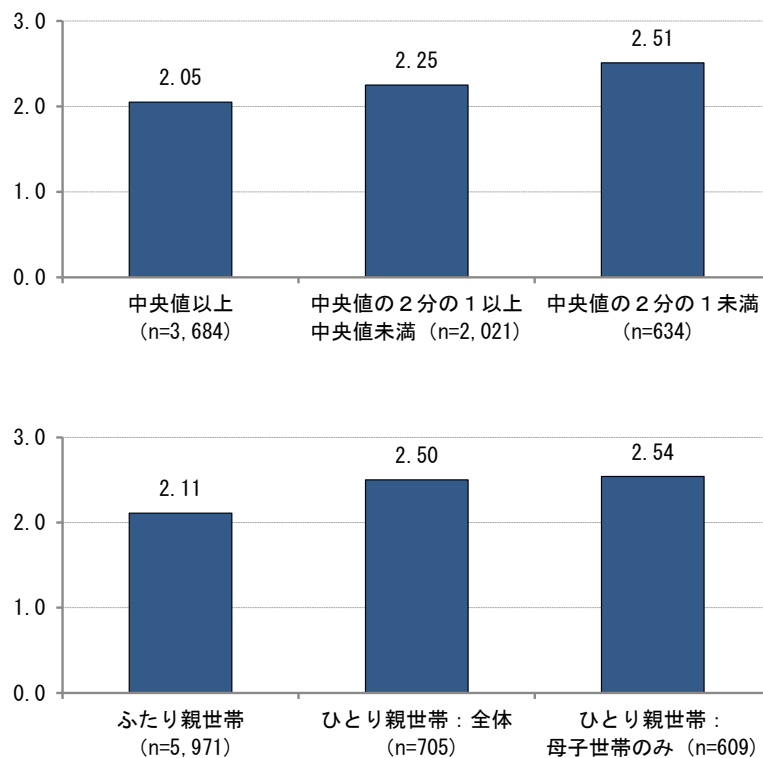
世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では2.21、「ひとり親世帯全体」では2.36、「母子世帯のみ」では2.37となっている。

子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

= 仲間関係の問題 =

(※選択肢の内容、算出方法についてはP.173を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では2.05、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.25、「中央値の2分の1未満」では2.51となっている。

世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では2.11、「ひとり親世帯全体」では2.50、「母子世帯のみ」では2.54となっている。

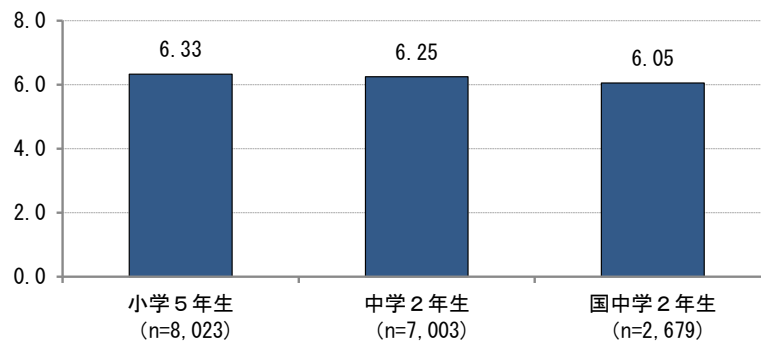
子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

= 向社会性 =

- a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c. 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k. 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
- m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子供たちなど）。

「向社会性」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。

【全体】



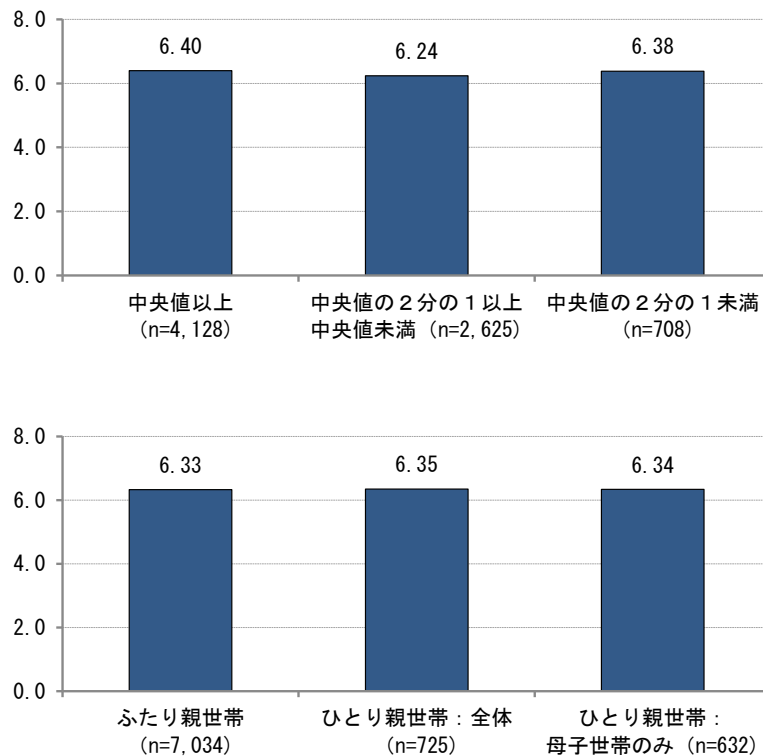
「向社会性」について、小学5年生全体の平均値は6.33となっている。  
 中学2年生全体の平均値は6.25となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

= 向社会性 =

(※選択肢の内容、算出方法についてはP.176を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では6.40、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.24、「中央値の2分の1未満」では6.38となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では6.33、「ひとり親世帯全体」では6.35、「母子世帯のみ」では6.34となっている。

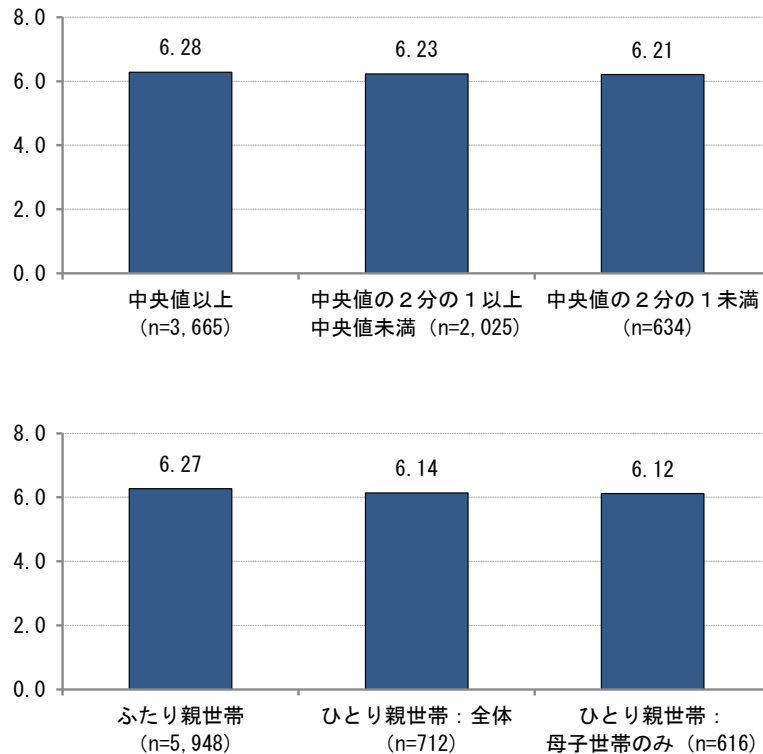
※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(単数回答)

= 向社会性 =

(※選択肢の内容、算出方法についてはP.176を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では6.28、「中央値の2分の1以上中央値未満」では6.23、「中央値の2分の1未満」では6.21となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では6.27、「ひとり親世帯全体」では6.14、「母子世帯のみ」では6.12となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

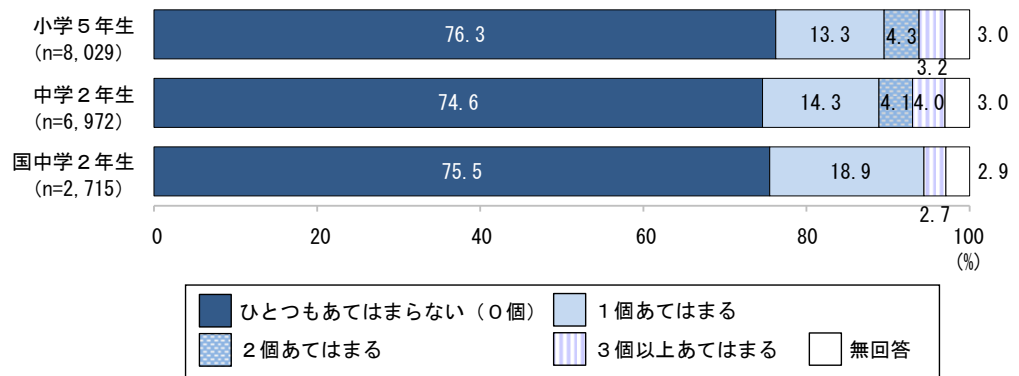
(6) 逆境体験

子供票問 18. あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(単数回答)

- a. 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b. 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c. 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d. 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f. 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g. 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h. 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

「逆境体験」について、8つの項目を基に状況把握を行った。

【全体】



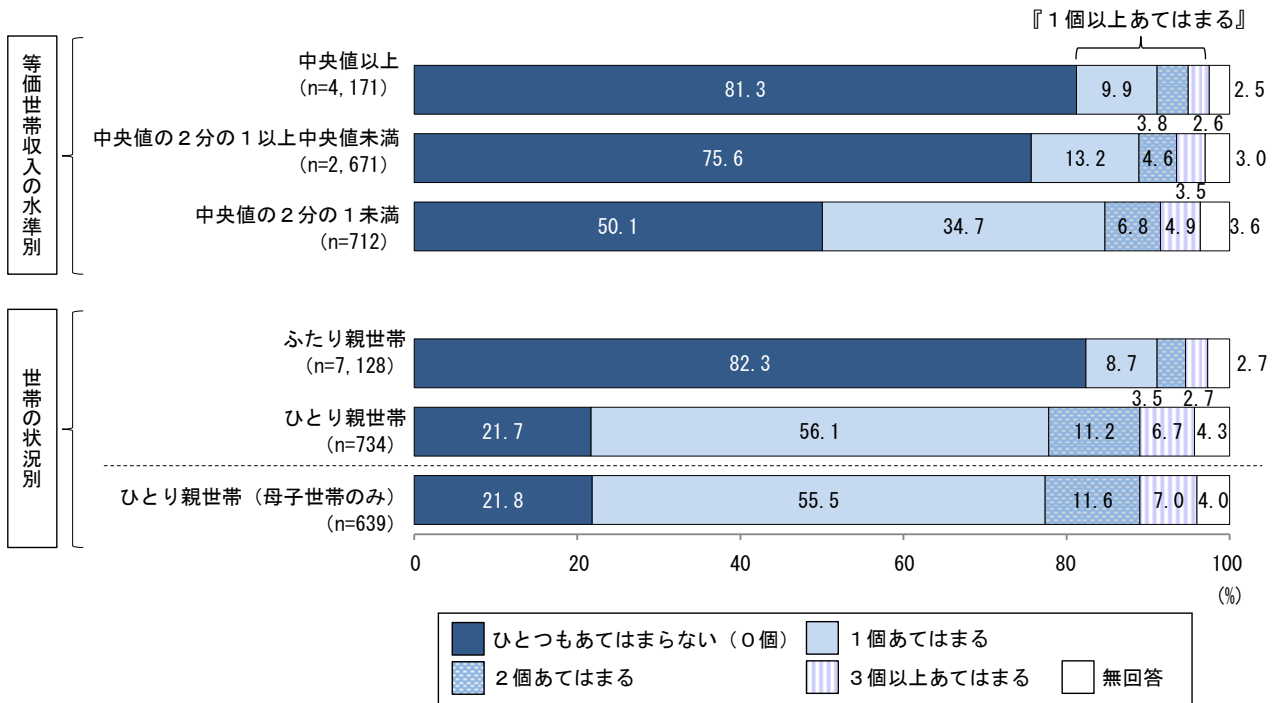
※国調査では「1~2個あてはまる」という選択肢になっている

「逆境体験」について、小学5年生では、「ひとつもあてはまらない (0個)」が76.3%、「1個あてはまる」が13.3%、「2個あてはまる」が4.3%、「3個以上あてはまる」が3.2%となっている。

中学2年生では、「ひとつもあてはまらない (0個)」が74.6%、「1個あてはまる」が14.3%、「2個あてはまる」が4.1%、「3個以上あてはまる」が4.0%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

子供票問 18. あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(単数回答)  
 (※選択肢の内容については P. 179 を参照)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



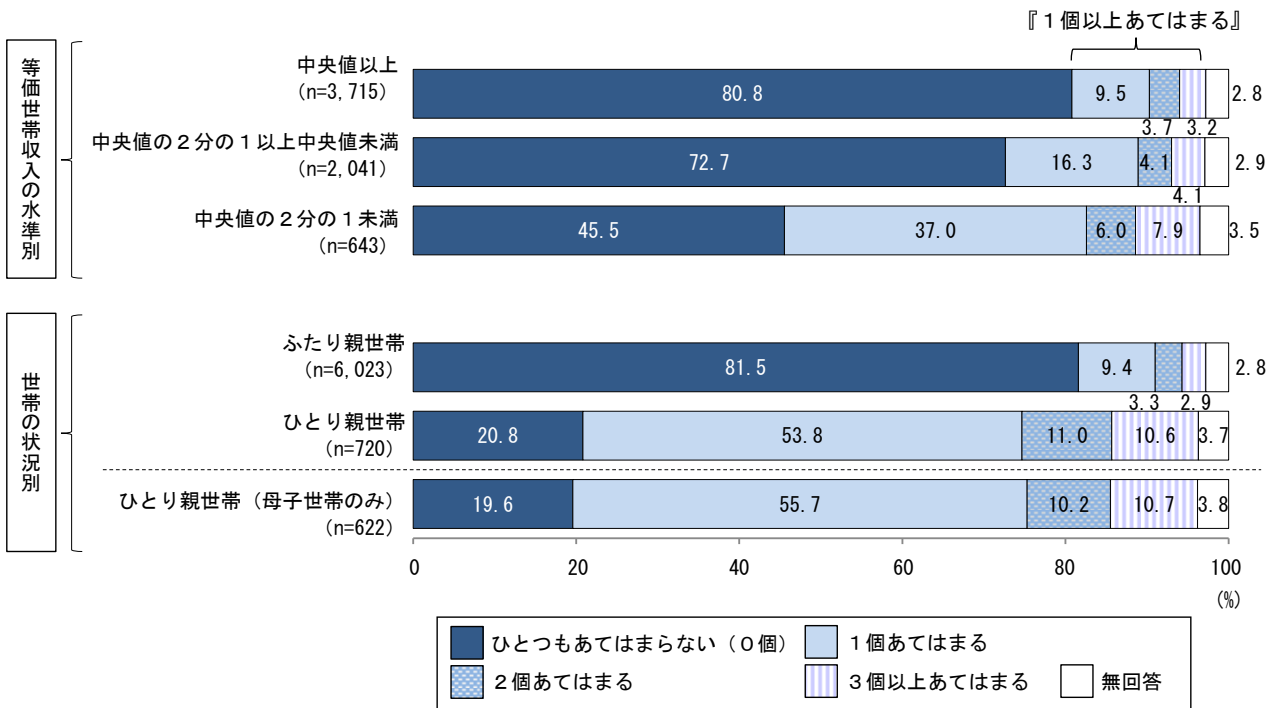
等価世帯収入の水準別にみると、『1個以上あてはまる（「1～2個あてはまる」と「3個以上あてはまる」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では16.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では21.3%、「中央値の2分の1未満」では46.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『1個以上あてはまる』は、「ふたり親世帯」では14.9%、「ひとり親世帯全体」では74.0%、「母子世帯のみ」では74.1%となっている。なお、ひとり親世帯において『1個以上あてはまる割合』が高い理由は、「e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の選択割合が高いためと考えられる。



子供票問 18. あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(単数回答)  
 (※選択肢の内容については P. 179 を参照)

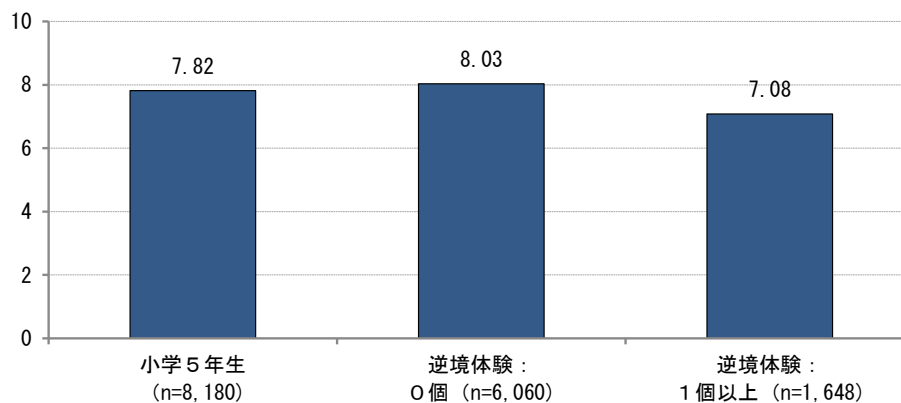
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、『1 個以上あてはまる』は、「中央値以上」では 16.5%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」では 24.4%、「中央値の 2 分の 1 未満」では 50.9%となっている。

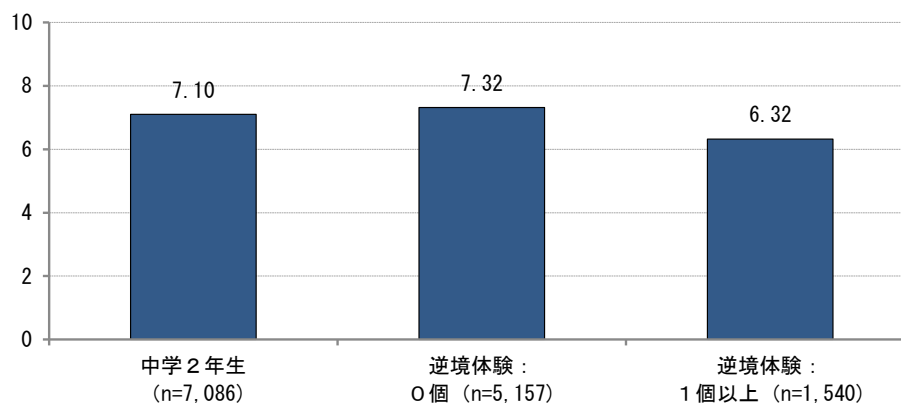
世帯の状況別にみると、『1 個以上あてはまる』は、「ふたり親世帯」では 15.6%、「ひとり親世帯全体」では 75.4%、「母子世帯のみ」では 76.6%となっている。なお、ひとり親世帯において『1 個以上あてはまる割合』が高い理由は、「e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の選択割合が高いためと考えられる。

## 【逆境体験の有無別 生活満足度\_小学5年生】



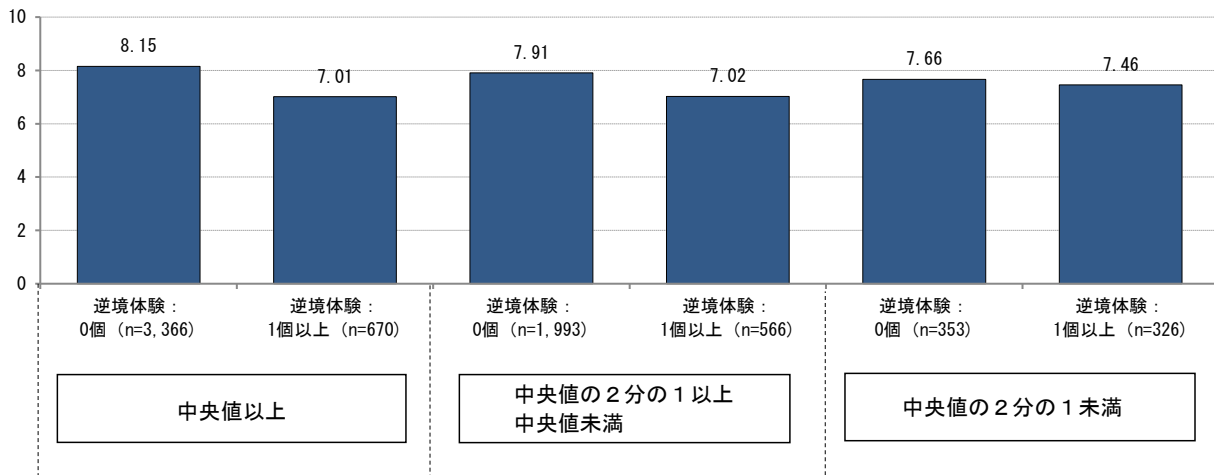
逆境体験の有無別に子供の最近の生活満足度（子供票問14への回答）をみると、子供の生活満足度の平均値は、「ひとつもあてはまらない（0個）」（8.03点）が『1個以上あてはまる』（7.08）を0.95点上回っている。

## 【逆境体験の有無別 生活満足度\_中学2年生】



逆境体験の有無別に子供の最近の生活満足度（子供票問14への回答）をみると、子供の生活満足度の平均値は、「ひとつもあてはまらない（0個）」（7.32）が『1個以上あてはまる』（6.32）を1.00点上回っている。

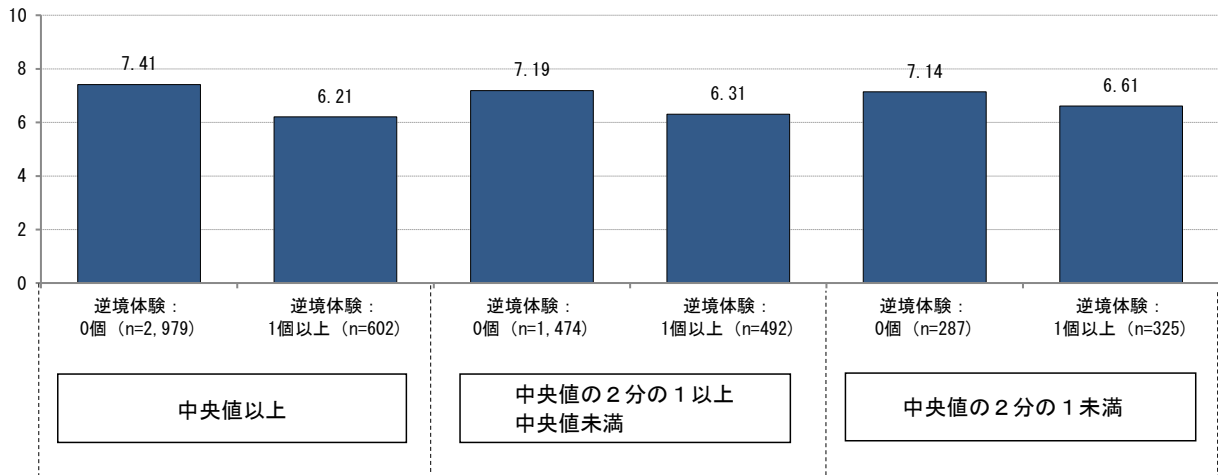
【逆境体験の有無別×世帯収入の水準別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準で分類した上で、逆境体験の有無別に子供の生活満足度をみると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「中央値の2分の1未満」では5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

【逆境体験の有無別×等価世帯収入の水準別\_中学2年生】



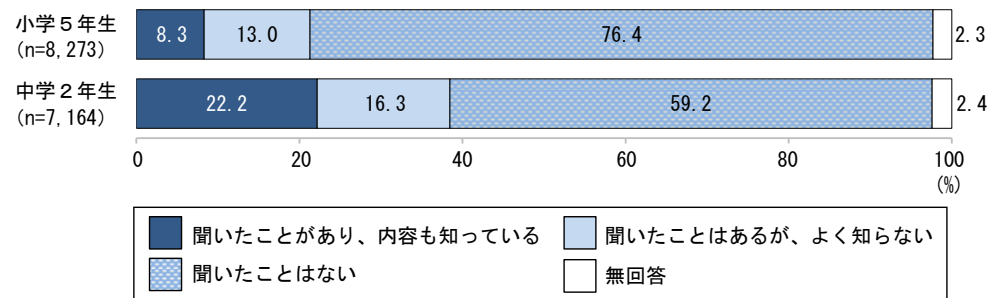
等価世帯収入の水準で分類した上で、逆境体験の有無別に子供の生活満足度をみると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

## (7) ヤングケアラーの実態

子供票問 21. あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(単数回答)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる18歳未満の子どもをいいます。

【全体】



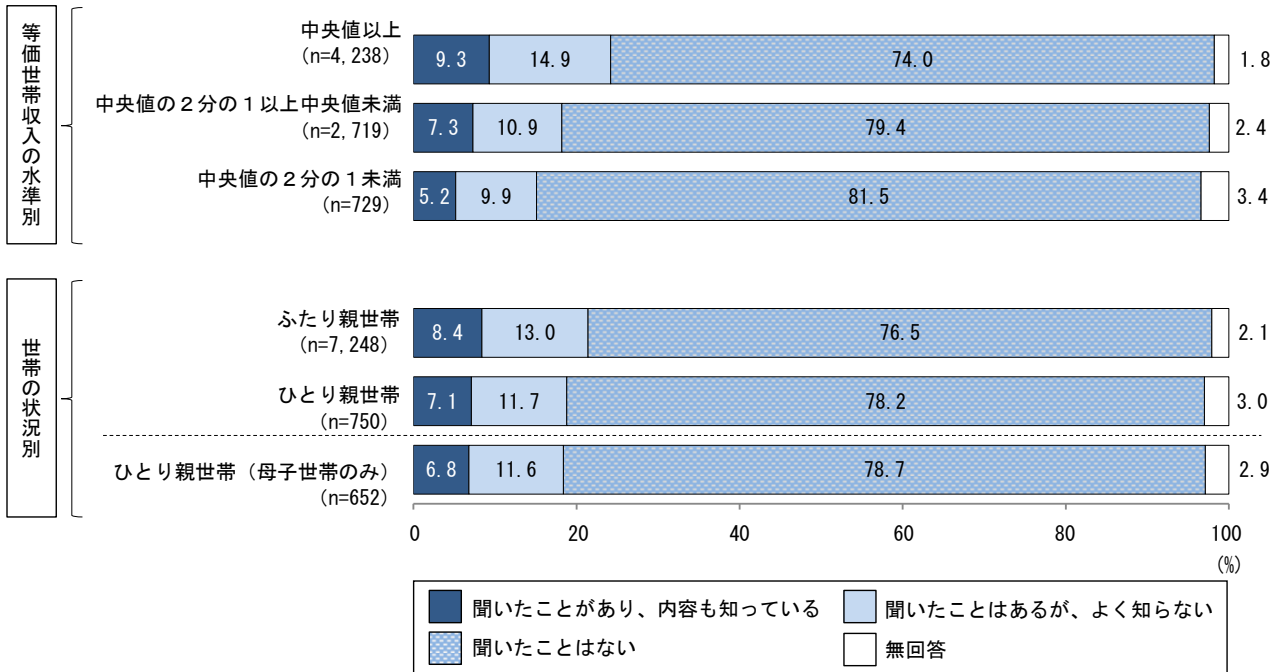
ヤングケアラーの言葉の認知について、小学5年生では、「聞いたことがあります、内容も知っている」が8.3%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が13.0%、「聞いたことはない」が76.4%となっている。

中学2年生では、「聞いたことがあります、内容も知っている」が22.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.3%、「聞いたことはない」が59.2%となっている。

子供票問 21. あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(単数回答)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる 18 歳未満の子どもをいいます。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



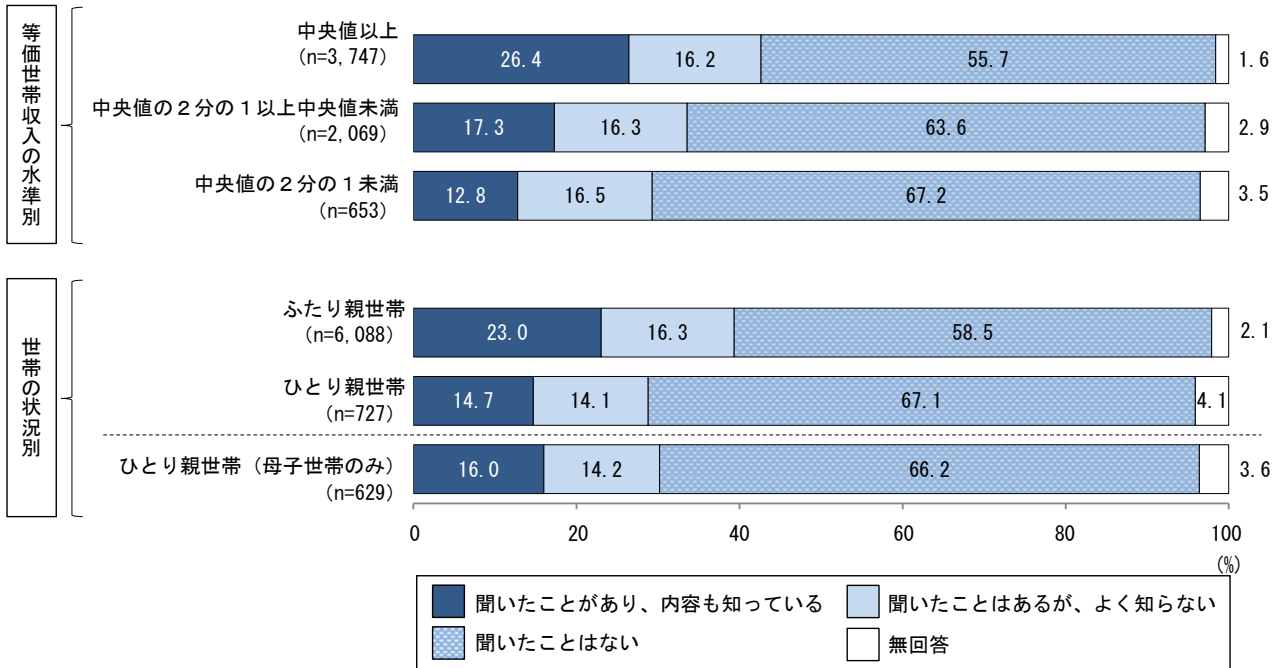
等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことはない」は、「中央値以上」では74.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では79.4%、「中央値の2分の1未満」では81.5%となっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 21. あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(単数回答)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる 18 歳未満の子どもをいいます。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学 2 年生】

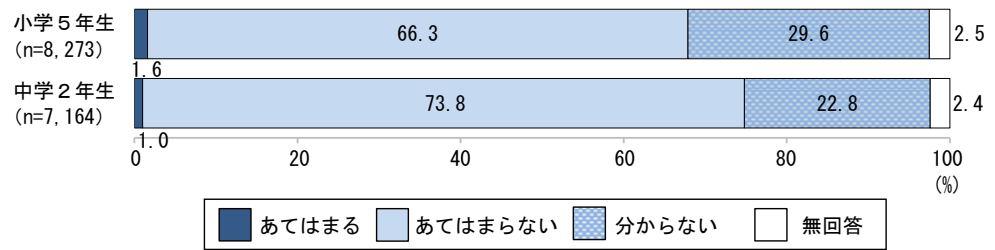


等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことはない」は、「中央値以上」では 55.7%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」では 63.6%、「中央値の 2 分の 1 未満」では 67.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「聞いたことはない」は、「ふたり親世帯」では 58.5%、「ひとり親世帯全体」では 67.1%、「母子世帯のみ」では 66.2%となっている。

子供票問 22. あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(単数回答)

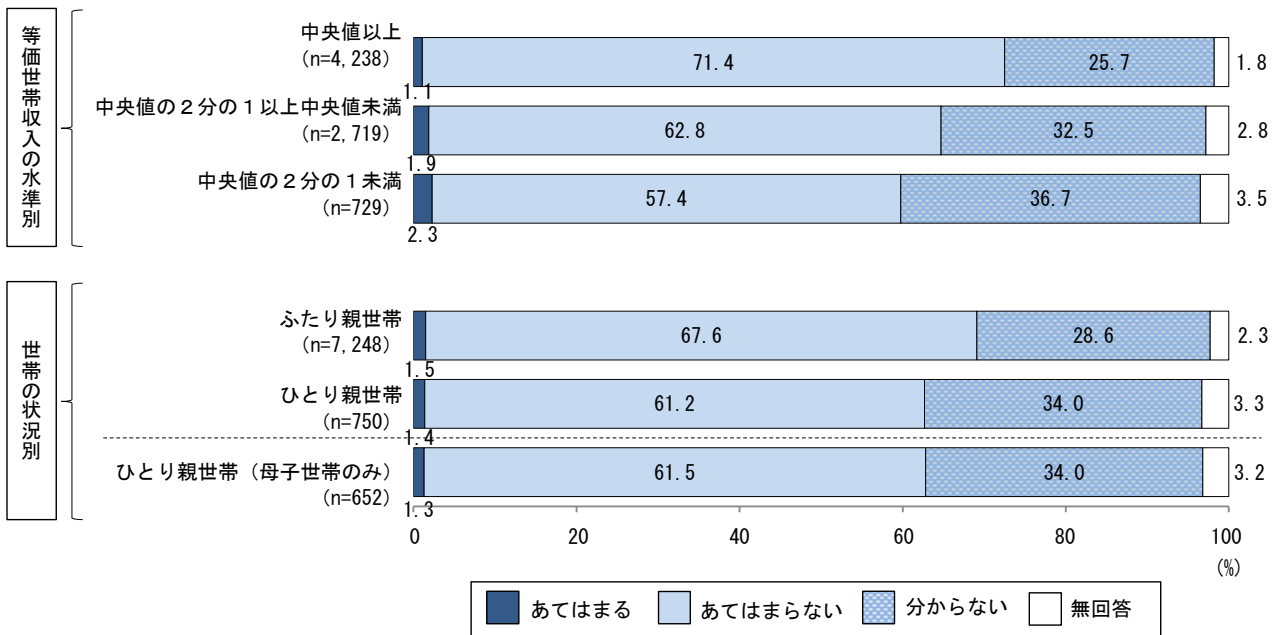
【全体】



ヤングケアラーにあてはまると感じるかについて、小学5年生では、「あてはまる」が1.6%、「あてはまらない」が66.3%、「分からない」が29.6%となっている。

中学2年生では、「あてはまる」が1.0%、「あてはまらない」が73.8%、「分からない」が22.8%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】

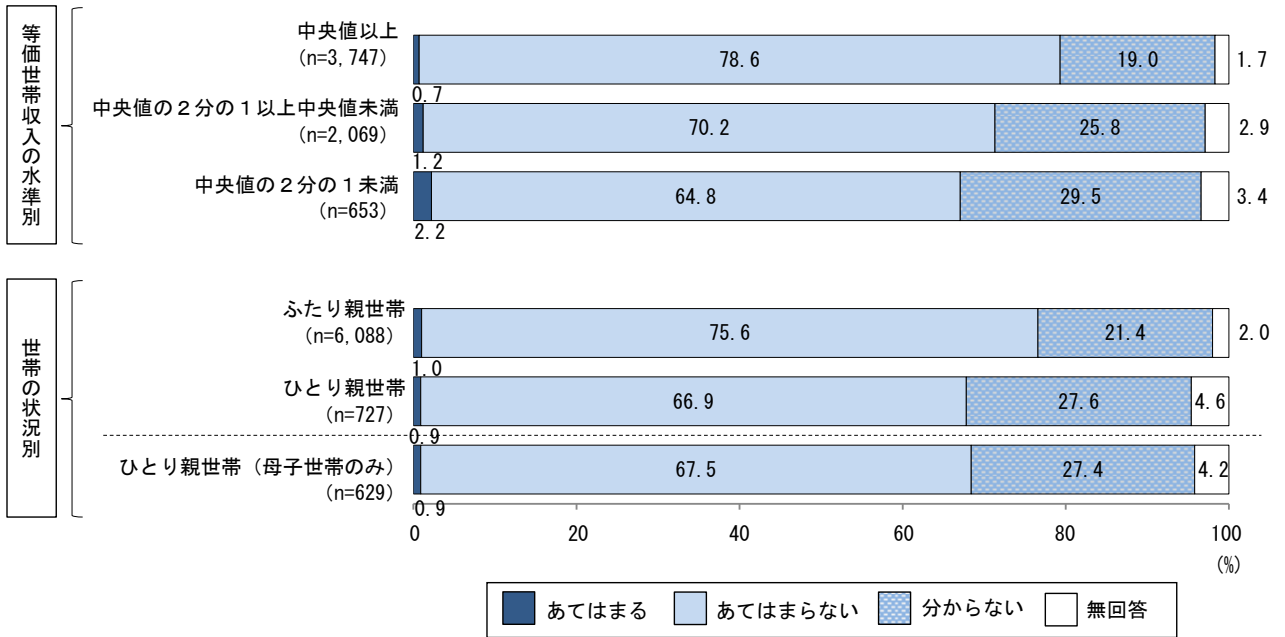


等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまる」は、「中央値以上」では1.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.9%、「中央値の2分の1未満」では2.3%となっている。また、「分からない」は、「中央値以上」では25.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では32.5%、「中央値の2分の1未満」では36.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」は、「ふたり親世帯」では1.5%、「ひとり親世帯全体」では1.4%、「母子世帯のみ」では1.3%となっている。「分からない」は、「ふたり親世帯」では28.6%、「ひとり親世帯全体」では34.0%、「母子世帯のみ」では34.0%となっている。

子供票問 22. あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(単数回答)

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまる」は、「中央値以上」では0.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.2%、「中央値の2分の1未満」では2.2%となっている。また、「分からない」は、「中央値以上」では19.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.8%、「中央値の2分の1未満」では29.5%となっている。

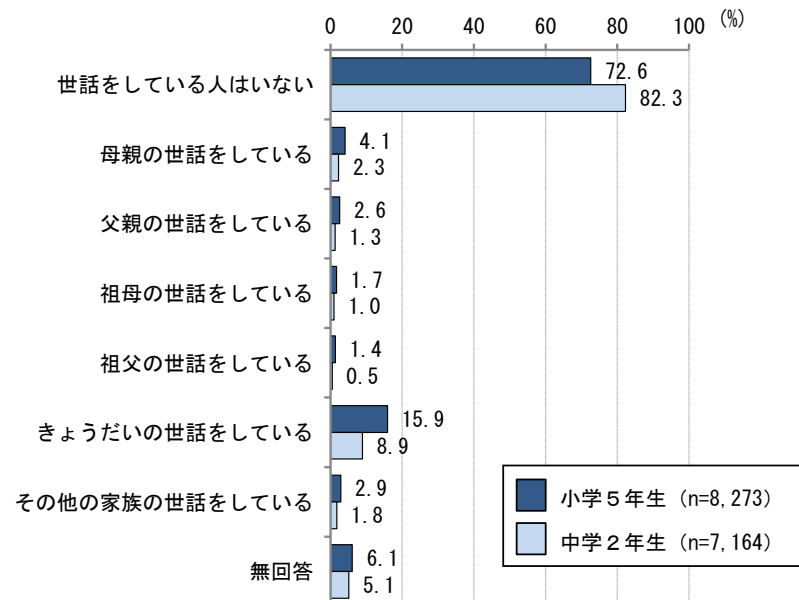
世帯の状況別にみると、「あてはまる」は、「ふたり親世帯」では1.0%、「ひとり親世帯全体」では0.9%、「母子世帯のみ」では0.9%となっている。「分からない」は、「ふたり親世帯」では21.4%、「ひとり親世帯全体」では27.6%、「母子世帯のみ」では27.4%となっている。



子供票問 23. 家族の中にあなたが世話（※）をしている人はいますか。（複数回答）

※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話を指します。

【全体】



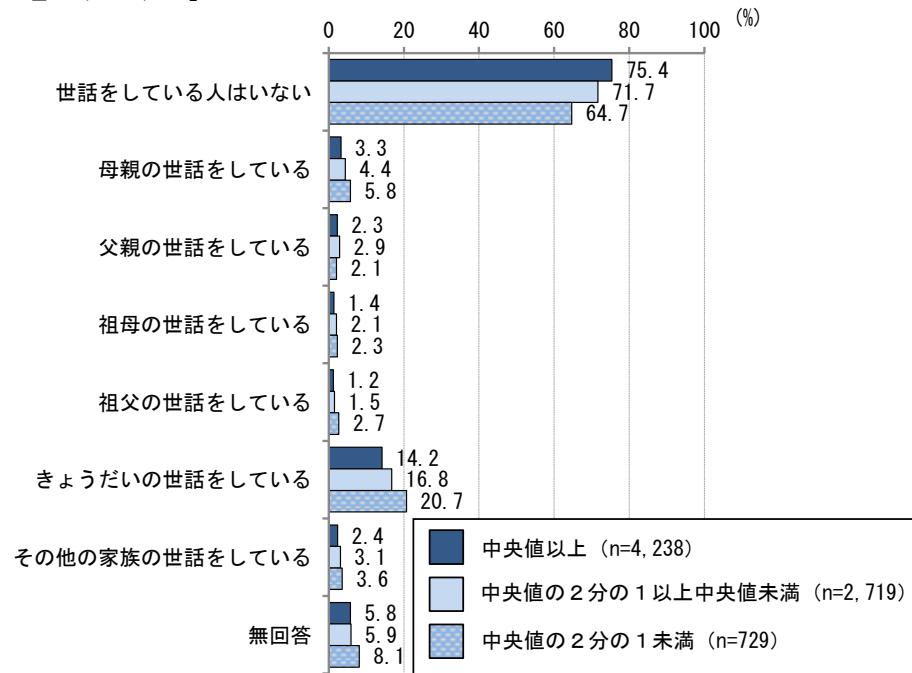
家族の世話について、小学5年生では、「世話をしている人はいない」が72.6%と最も高く、次いで「きょうだいの世話をしている」が15.9%などの順となっている。

中学2年生では、「世話をしている人はいない」が82.3%と最も高く、次いで「きょうだいの世話をしている」が8.9%などの順となっている。

子供票問 23. 家族の中にあなたが世話（※）をしている人はいますか。（複数回答）

※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話のことを指します。

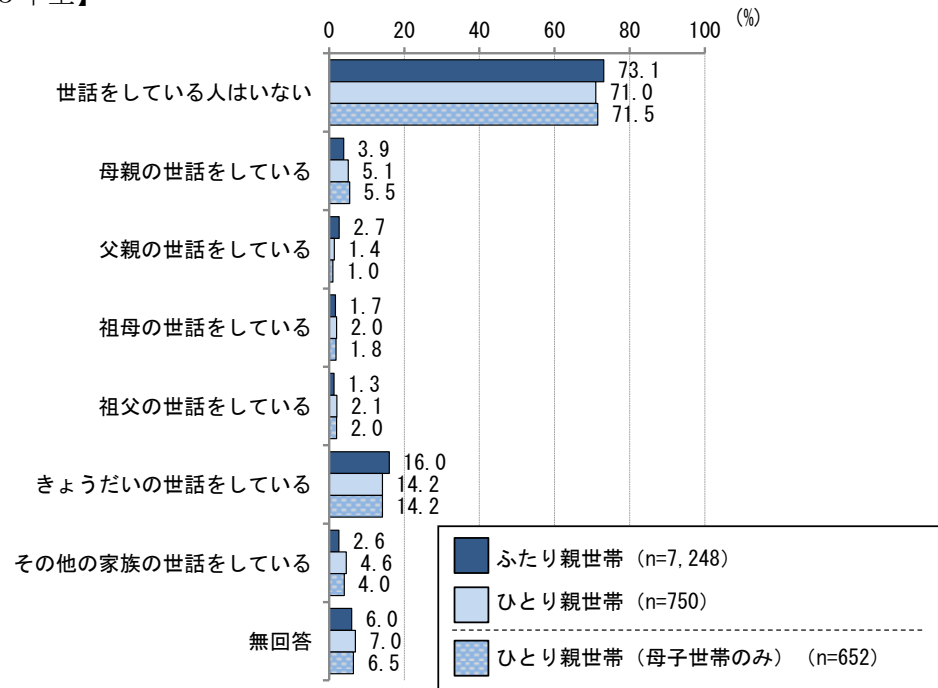
【等価世帯収入の水準別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「世話をしている人はいない」は、「中央値以上」では75.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では71.7%、「中央値の2分の1未満」では64.7%となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「父親の世話をしている」、「その他の家族の世話をしている」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

【世帯の状況別\_小学5年生】



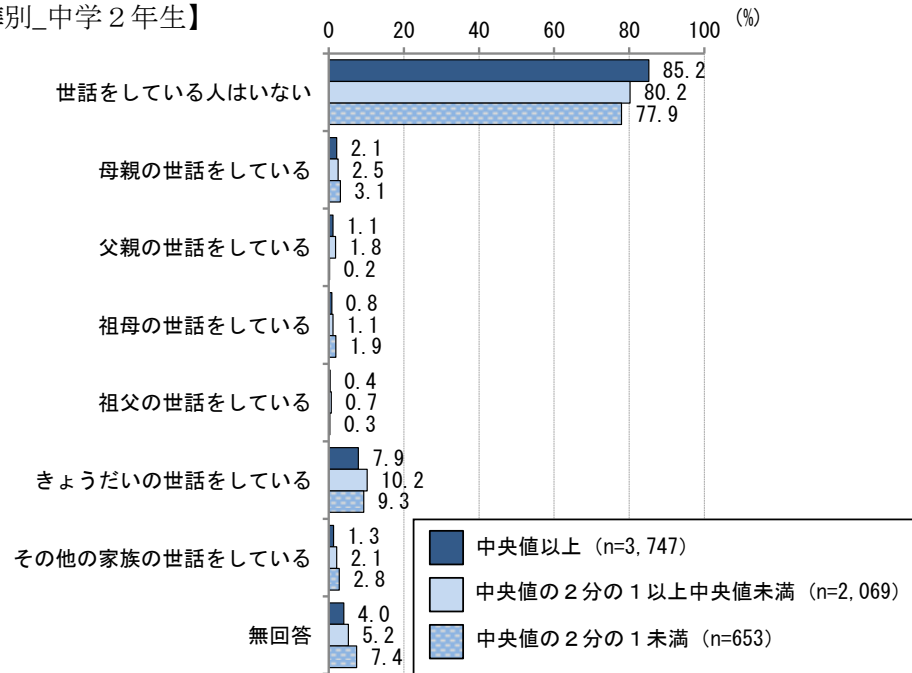
世帯の状況別にみると、「世話をしている人はいない」は、「ふたり親世帯」では73.1%、「ひとり親世帯全体」では71.0%、「母子世帯のみ」では71.5%となっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「世話をしている人はいない」、「母親の世話をしている」、「祖母の世話をしている」、「祖父の世話をしている」、「きょうだいの世話をしている」の5項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 23. 家族の中にあなたが世話（※）をしている人はいますか。（複数回答）

※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話を指します。

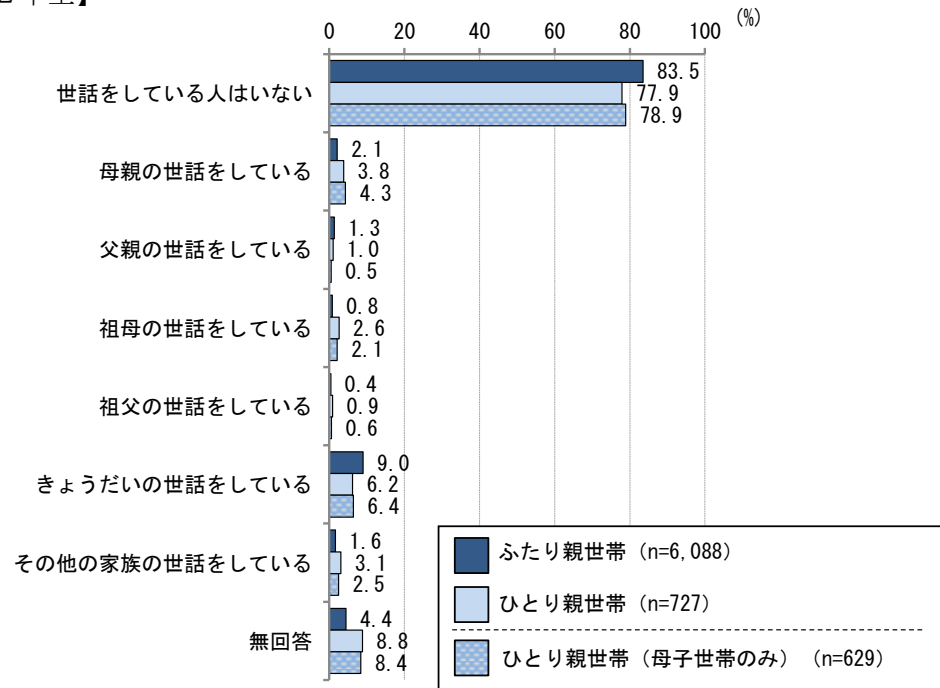
【等価世帯収入の水準別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「世話をしている人はいない」は、「中央値以上」では85.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では80.2%、「中央値の2分の1未満」では77.9%となっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「母親の世話をしている」、「祖父の世話をしている」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

【世帯の状況別\_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「世話をしている人はいない」は、「ふたり親世帯」では83.5%、「ひとり親世帯全体」では77.9%、「母子世帯のみ」では78.9%となっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「世話をしている人はいない」、「父親の世話をしている」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

3 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 保護者の状況

保護者票問 26. あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。（単数回答）

保護者票問 27. あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べてどのように変わりましたか。（単数回答）

【小学5年生の保護者】

n=8, 222 (%)

		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a)世帯全体の収入の変化					
問26	増えた	5.6	0.3	1.2	0.0
	減った	2.7	13.8	6.4	0.2
	変わらない	2.3	1.7	63.4	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.2	1.8
b)生活に必要な支出の変化					
問26	増えた	44.3	0.9	7.1	0.4
	減った	2.6	1.6	1.3	0.1
	変わらない	5.0	0.3	34.4	0.2
	無回答	0.2	-	0.1	1.7
c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと					
問26	増えた	9.7	0.5	2.3	0.1
	減った	0.2	1.2	0.7	0.0
	変わらない	1.0	0.4	81.2	0.4
	無回答	0.0	0.0	0.3	2.1

n=8, 222

(%)

		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
d)お子さんと話をすること					
問26	増えた	12.6	0.9	7.1	0.1
	減った	0.5	2.4	0.7	0.0
	変わらない	1.7	0.5	71.2	0.4
	無回答	0.1	0.0	0.1	1.7
e)家庭内で、もめごとが起こること					
問26	増えた	9.8	2.3	4.0	0.1
	減った	0.2	1.9	1.0	0.1
	変わらない	1.1	0.8	76.2	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.2	1.9
f)自身がイライラを感じたり、 気分が沈むこと					
問26	増えた	22.5	4.8	8.7	0.2
	減った	0.2	1.4	0.7	0.0
	変わらない	1.5	0.7	57.1	0.2
	無回答	0.1	-	0.2	1.8

新型コロナウイルス感染症による変化について、小学5年生の保護者では、感染拡大前後において、「生活に必要な支出の変化」で『増えた』が最も高く、それ以外の項目では『変わらない』が最も高くなっている。

なお、一部の項目を除き、感染拡大前と拡大期での変化と、拡大期と現在での変化が同じである割合（例えば、問26で「増えた」と回答した者のうち、問27で「増えた」と回答した者の割合）が高い傾向がみられた。

保護者票問 26. あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。（単数回答）

保護者票問 27. あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べてどのように変わりましたか。（単数回答）

【中学 2 年生の保護者】

n=7,061		(%)			
a)世帯全体の収入の変化		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	5.8	0.4	1.5	0.0
	減った	2.5	13.5	6.0	0.3
	変わらない	2.4	1.7	61.3	0.2
	無回答	0.0	-	0.1	4.2
b)生活に必要な支出の変化		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	44.6	0.5	7.2	0.3
	減った	2.1	1.6	1.2	0.1
	変わらない	5.2	0.2	32.4	0.1
	無回答	0.1	0.0	0.1	4.2
c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	10.4	0.4	2.3	0.1
	減った	0.1	0.9	0.8	0.0
	変わらない	1.2	0.4	78.2	0.3
	無回答	0.0	-	0.1	4.7



n=7,061 (%)

		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
d)お子さんと話をすること					
問26	増えた	10.3	1.0	5.0	0.1
	減った	0.4	3.5	1.1	0.0
	変わらない	1.7	0.8	71.2	0.3
	無回答	0.1	-	0.1	4.3
e)家庭内で、もめごとが起こること					
問26	増えた	9.4	2.0	3.5	0.0
	減った	0.1	2.1	1.0	-
	変わらない	1.1	0.6	75.3	0.3
	無回答	0.1	-	0.1	4.5
f)自身がイライラを感じたり、 気分が沈むこと					
問26	増えた	21.2	3.9	8.3	0.1
	減った	0.2	1.1	0.9	0.0
	変わらない	1.2	0.7	57.7	0.2
	無回答	0.0	-	0.1	4.4

中学2年生の保護者では、感染拡大前後において、「生活に必要な支出の変化」で『増えた』が最も高く、それ以外の項目では『変わらない』が最も高くなっている。

なお、一部の項目を除き、感染拡大前と拡大期での変化と、拡大期と現在での変化が同じである割合（例えば、問26で「増えた」と回答した者のうち、問27で「増えた」と回答した者の割合）が高い傾向がみられた。

(2) 子供の状況

子供票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。(単数回答)

子供票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。(単数回答)

【小学5年生】

		問17				(%)
		増えた	減った	変わらない	無回答	
a) 学校の授業以外で勉強する時間						
問16	増えた	16.5	2.4	6.0	0.2	
	減った	3.9	3.3	3.1	0.1	
	変わらない	7.7	2.7	52.3	0.5	
	無回答	0.2	0.0	0.3	0.8	
b) 学校の授業がわからないと感じること						
問16	増えた	11.3	2.6	3.7	0.3	
	減った	1.1	12.6	5.4	0.2	
	変わらない	2.9	5.2	52.9	0.5	
	無回答	0.1	0.2	0.4	0.8	
c) 地域のクラブ活動や学校の部(クラブ)活動で活動する回数						
問16	増えた	11.7	1.1	3.3	0.2	
	減った	14.9	8.6	6.7	0.4	
	変わらない	5.2	2.1	43.5	0.5	
	無回答	0.2	0.1	0.5	1.0	
d) 食事を抜く回数						
問16	増えた	2.1	0.7	1.1	0.0	
	減った	0.4	4.3	2.0	0.1	
	変わらない	1.1	3.3	82.4	0.9	
	無回答	0.0	0.2	0.6	0.8	

n=8, 273

(%)

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e) 夜遅くまで起きている回数					
問16	増えた	20.7	2.4	5.9	0.4
	減った	1.0	6.0	2.7	0.2
	変わらない	4.0	1.8	52.7	0.6
	無回答	0.2	0.1	0.4	0.8
f) 親以外の大人や友達と話をすること					
問16	増えた	22.5	2.1	6.2	0.5
	減った	11.8	4.8	4.0	0.2
	変わらない	8.4	1.8	35.5	0.3
	無回答	0.5	0.1	0.3	0.9
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること					
問16	増えた	15.0	1.8	2.9	0.3
	減った	24.1	10.2	6.0	0.4
	変わらない	5.1	2.4	29.6	0.4
	無回答	0.3	0.2	0.4	0.8
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					
問16	増えた	13.2	5.1	5.5	0.3
	減った	1.0	10.1	4.8	0.2
	変わらない	2.6	4.9	50.0	0.6
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.9
i) 家族で外食する回数					
問16	増えた	10.3	1.3	2.4	0.3
	減った	23.3	16.2	9.6	0.4
	変わらない	5.0	2.9	26.6	0.4
	無回答	0.2	0.1	0.2	0.8

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
j) 家族で旅行する回数					
問16	増えた	6.6	0.8	1.2	0.1
	減った	15.7	19.0	14.8	0.5
	変わらない	3.2	2.6	33.6	0.4
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.9
k) 野外レジャーに行く回数					
問16	増えた	7.9	1.3	2.4	0.2
	減った	12.0	15.6	12.2	0.3
	変わらない	4.4	2.9	38.9	0.5
	無回答	0.1	0.0	0.3	1.0
l) 屋内施設に行く回数					
問16	増えた	9.9	1.1	2.4	0.2
	減った	16.2	15.2	9.8	0.5
	変わらない	4.5	2.6	35.6	0.4
	無回答	0.2	0.1	0.3	0.9
m) 家族で家で過ごす時間					
問16	増えた	27.6	10.8	17.2	0.5
	減った	1.1	4.0	1.4	0.1
	変わらない	3.6	1.5	30.4	0.3
	無回答	0.3	0.1	0.4	0.8

新型コロナウイルス感染症による変化について、小学5年生では、いずれの項目でも感染拡大前後を通じて「変わらない」と回答した割合が最も高くなっている。「家族で外食する回数」については、感染拡大前と拡大期での変化で「減った」と回答した割合が高く、このうち拡大期と現在での変化では「増えた」と回答した割合が最も高いが、「減った」「変わらない」との回答も一定程度あった。「家族で家で過ごす時間」については、感染拡大前後の変化のいずれも「増えた」と回答した割合が高くなっている。

なお、「地域のクラブ活動や学校の部（クラブ）活動で活動する回数」「親以外の大人や友達と話をすること」「親以外の大人や友達の素顔を見ること」「家族で外食する回数」「屋内施設に行く回数」については、感染拡大前と拡大期での変化で「減った」と回答した者のうち、拡大期と現在での変化では「増えた」と回答した者の割合が高く、その他の項目では、感染拡大前と拡大期での変化と、拡大期と現在での変化が同じである割合（例えば、問16で「増えた」と回答した者のうち、問17で「増えた」と回答した者の割合）が高い傾向がみられた。

子供票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。(単数回答)

子供票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。(単数回答)

【中学2年生】

n=7,164 (%)

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
a) 学校の授業以外で勉強する時間					
問16	増えた	18.7	2.9	7.5	0.3
	減った	2.6	4.5	3.2	0.1
	変わらない	8.9	2.7	46.2	0.5
	無回答	0.2	0.1	0.4	1.2
b) 学校の授業がわからないと感じること					
問16	増えた	19.4	2.9	5.7	0.5
	減った	1.1	4.7	2.4	0.1
	変わらない	4.7	2.9	53.2	0.4
	無回答	0.3	0.1	0.4	1.3
c) 地域のクラブ活動や学校の部(クラブ)活動で活動する回数					
問16	増えた	17.0	1.2	3.7	0.2
	減った	16.1	10.4	6.9	0.3
	変わらない	6.7	1.6	33.3	0.4
	無回答	0.3	0.3	0.3	1.3
d) 食事を抜く回数					
問16	増えた	3.9	0.9	1.3	0.1
	減った	0.5	2.6	1.7	0.1
	変わらない	1.4	2.2	82.5	0.9
	無回答	0.1	0.0	0.5	1.3

n=7,164

(%)

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
e) 夜遅くまで起きている回数					
問16	増えた	28.2	2.9	10.3	0.5
	減った	0.6	2.5	1.4	0.2
	変わらない	4.3	1.0	45.8	0.4
	無回答	0.3	0.1	0.3	1.2
f) 親以外の大人や友達と話をすること					
問16	増えた	20.1	1.2	6.0	0.4
	減った	11.0	5.3	4.7	0.3
	変わらない	7.5	1.9	39.1	0.5
	無回答	0.4	0.2	0.4	1.3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること					
問16	増えた	11.3	1.0	2.6	0.3
	減った	24.7	14.7	9.5	0.5
	変わらない	4.0	1.5	27.7	0.3
	無回答	0.5	0.2	0.3	1.2
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					
問16	増えた	18.7	3.3	8.3	0.4
	減った	0.9	4.2	3.0	0.2
	変わらない	2.6	3.1	53.0	0.5
	無回答	0.3	0.1	0.3	1.3
i) 家族で外食する回数					
問16	増えた	5.5	0.6	1.5	0.2
	減った	20.1	18.5	13.9	0.4
	変わらない	4.4	2.2	30.3	0.4
	無回答	0.2	0.3	0.3	1.2

n=7,164 (%)

		問17			
		増えた	減った	変わらない	無回答
j) 家族で旅行する回数					
問16	増えた	3.2	0.5	1.0	0.1
	減った	13.3	21.4	19.9	0.5
	変わらない	2.3	1.8	33.6	0.4
	無回答	0.1	0.3	0.3	1.2
k) 野外レジャーに行く回数					
問16	増えた	4.6	0.6	1.4	0.1
	減った	10.2	18.5	17.8	0.5
	変わらない	2.9	2.0	38.9	0.4
	無回答	0.1	0.3	0.3	1.3
l) 屋内施設に行く回数					
問16	増えた	9.1	0.9	2.4	0.1
	減った	14.3	16.1	11.9	0.4
	変わらない	4.3	2.2	35.9	0.4
	無回答	0.2	0.2	0.4	1.3
m) 家族で家で過ごす時間					
問16	増えた	24.0	10.4	20.4	0.3
	減った	0.9	5.2	1.6	0.1
	変わらない	2.4	1.8	30.3	0.5
	無回答	0.3	0.2	0.3	1.2

新型コロナウイルス感染症による変化について、小学5年生では、いずれの項目でも感染拡大前後を通じて「変わらない」と回答した割合が最も高くなっている。「家族で外食する回数」については、感染拡大前と拡大期での変化で「減った」と回答した割合が高く、このうち拡大期と現在での変化では「増えた」と回答した割合が最も高いが、「減った」「変わらない」との回答も一定程度あった。「家族で家で過ごす時間」については、感染拡大前後の変化のいずれも「増えた」と回答した割合が高くなっている。

なお、「地域のクラブ活動や学校の部（クラブ）活動で活動する回数」「親以外の大人や友達と話をすること」「親以外の大人や友達の素顔を見ること」「家族で外食する回数」については、感染拡大前と拡大期での変化で「減った」と回答した者のうち、拡大期と現在での変化では「増えた」と回答した者の割合が高く、その他の項目では、感染拡大前と拡大期での変化と、拡大期と現在での変化が同じである割合（例えば、問16で「増えた」と回答した者のうち、問17で「増えた」と回答した者の割合）が高い傾向がみられた。

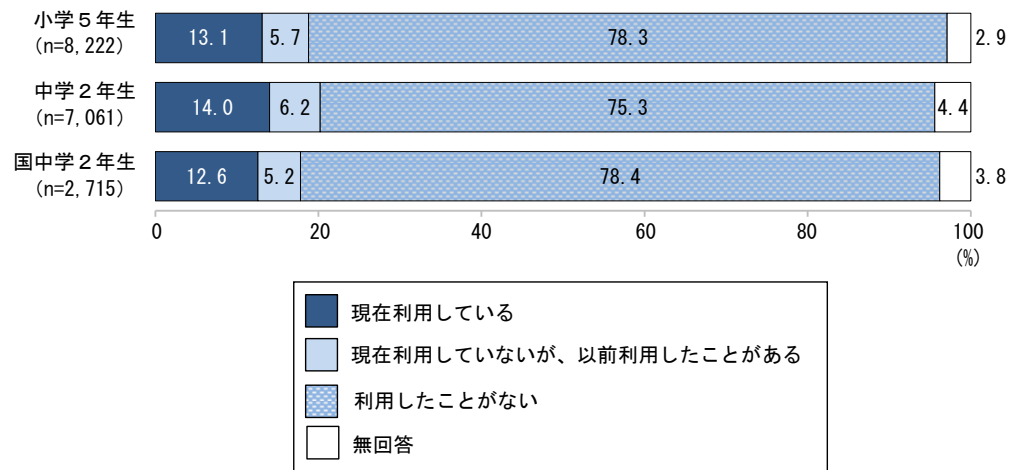
## 4 支援の利用状況や効果等

## (1) 保護者の状況

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
 (単数回答)  
 また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(単数回答)

= 就学援助の利用状況 =

## 【全体】



就学援助の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が13.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.7%、「利用したことがない」が78.3%となっている。

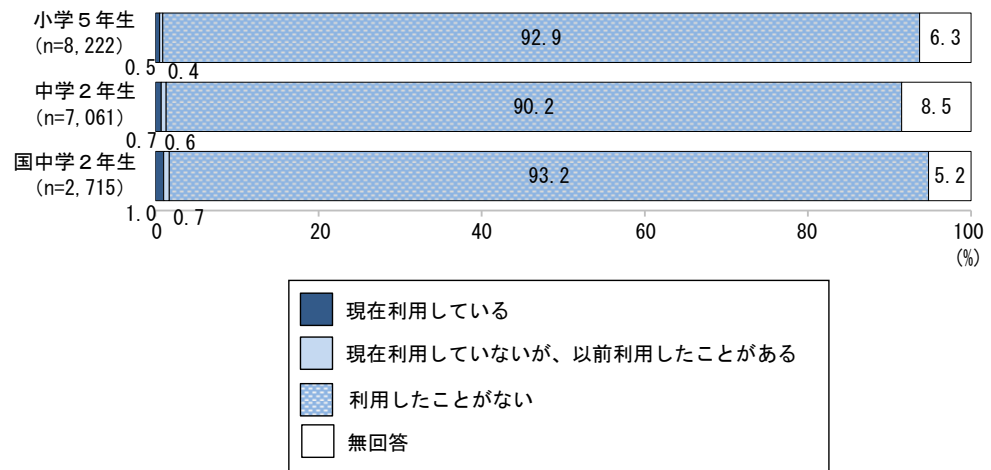
中学2年生の保護者では、「現在利用している」が14.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.2%、「利用したことがない」が75.3%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。



保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
(単数回答)

= 生活保護の利用状況 =

【全体】

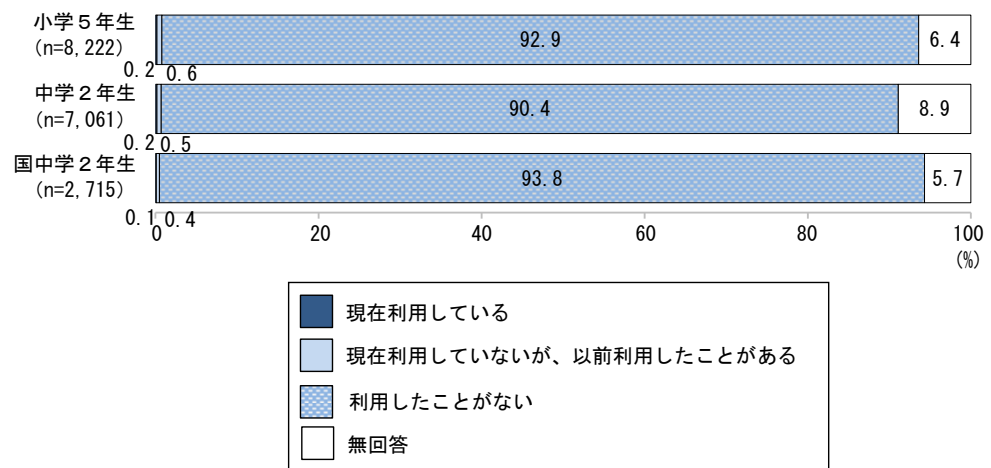


生活保護の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.4%、「利用したことがない」が92.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.6%、「利用したことがない」が90.2%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

= 生活困窮者自立支援相談窓口の利用状況 =

【全体】



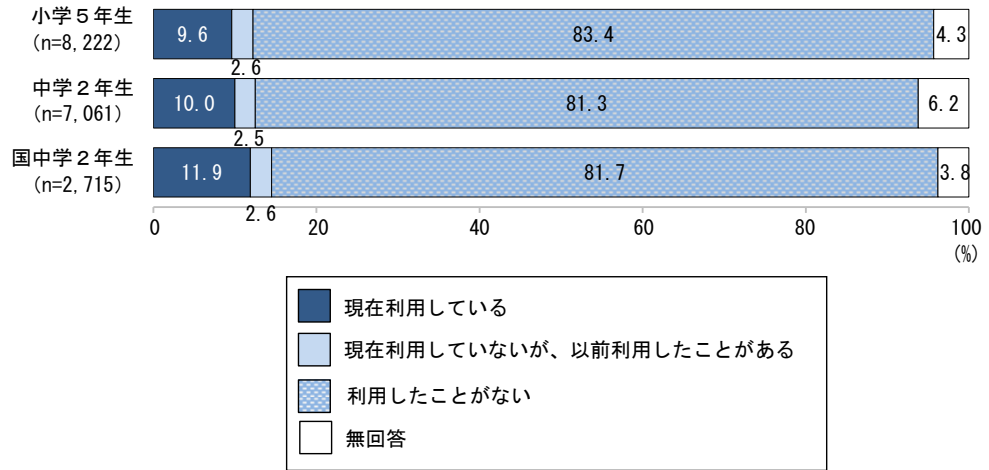
生活困窮者自立支援相談窓口の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.6%、「利用したことがない」が92.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、「利用したことがない」が90.4%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
(単数回答)

= 児童扶養手当の利用状況 =

【全体】

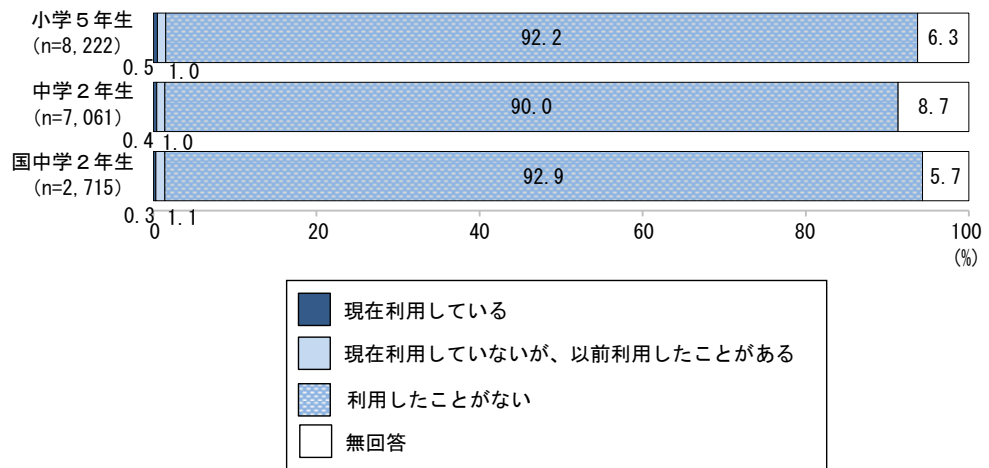


児童扶養手当の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が9.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.6%、「利用したことがない」が83.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が10.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.5%、「利用したことがない」が81.3%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

= 母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 =

【全体】

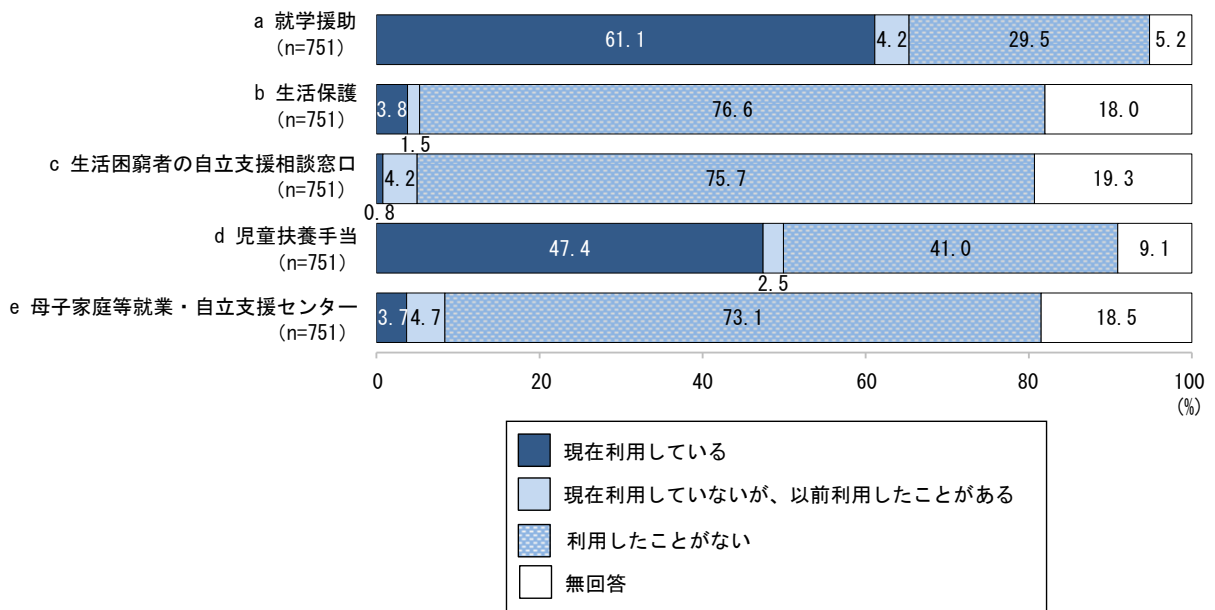


母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%、「利用したことがない」が92.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%、「利用したことがない」が90.0%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

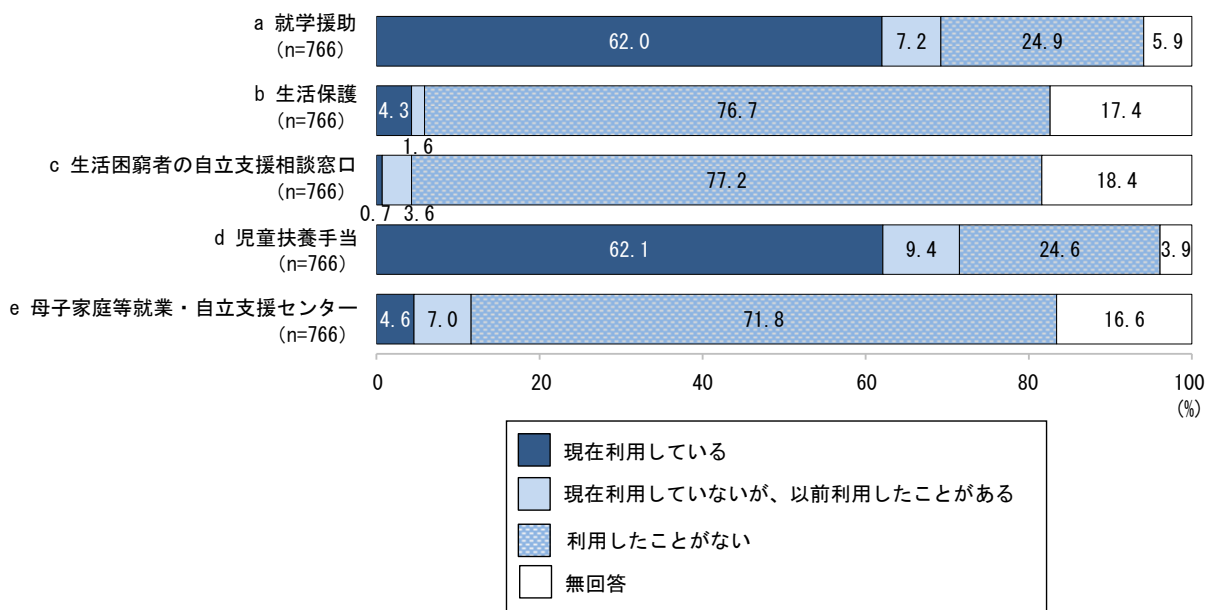
保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
(単数回答)

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合\_小学5年生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で61.1%、「児童扶養手当」で47.4%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

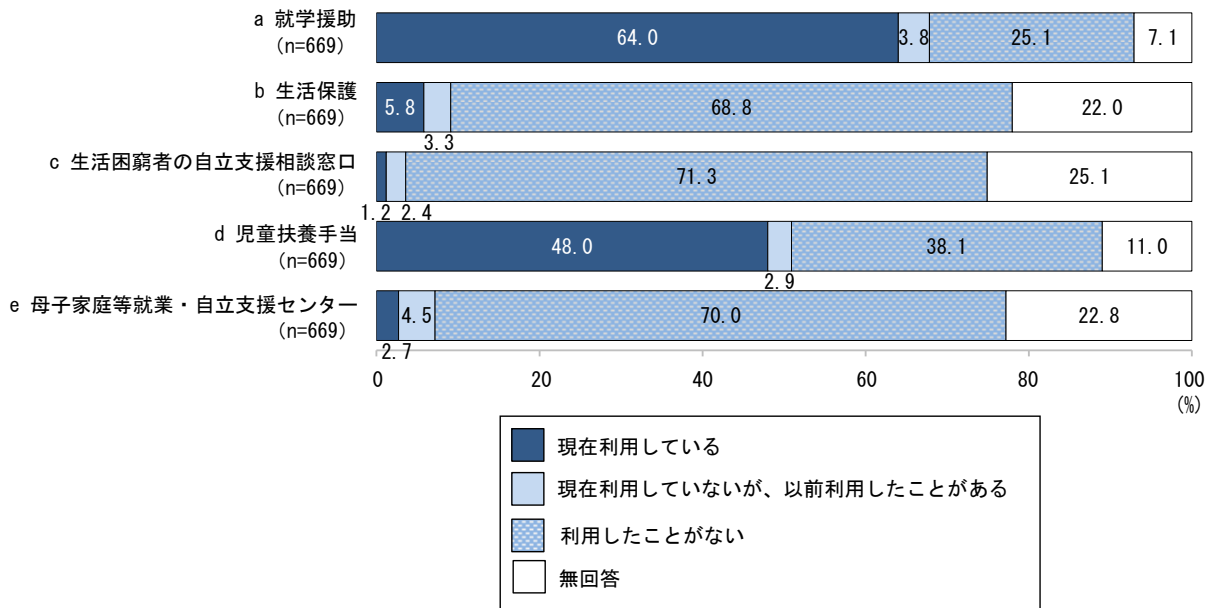
【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合\_小学5年生の保護者】



「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で62.0%、「児童扶養手当」で62.1%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

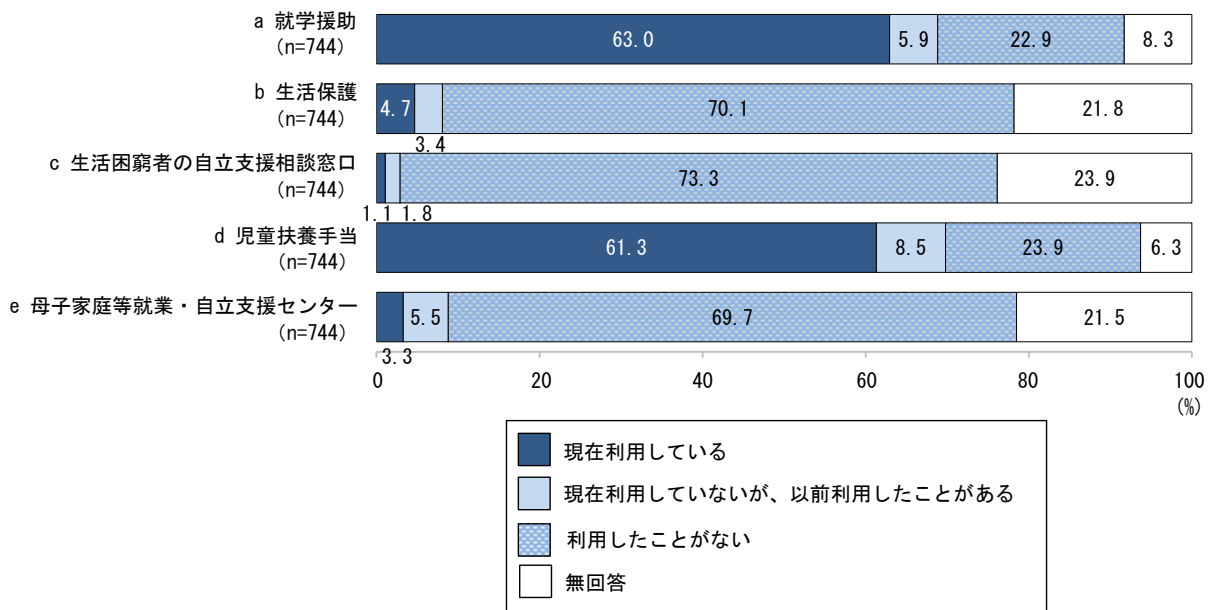
保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
(単数回答)

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で64.0%、「児童扶養手当」で48.0%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合\_中学2年生の保護者】

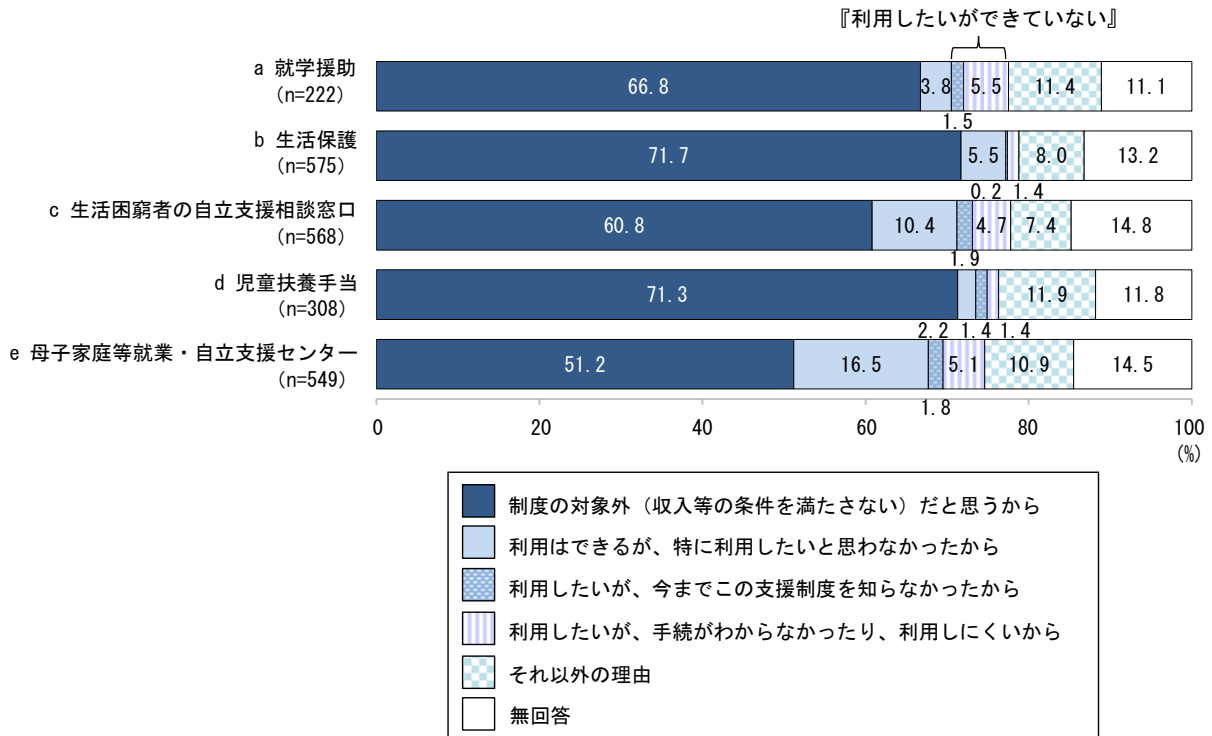


「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で63.0%、「児童扶養手当」で61.3%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
 (単数回答)  
 また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(単数回答)

= 支援制度を利用していない理由 =

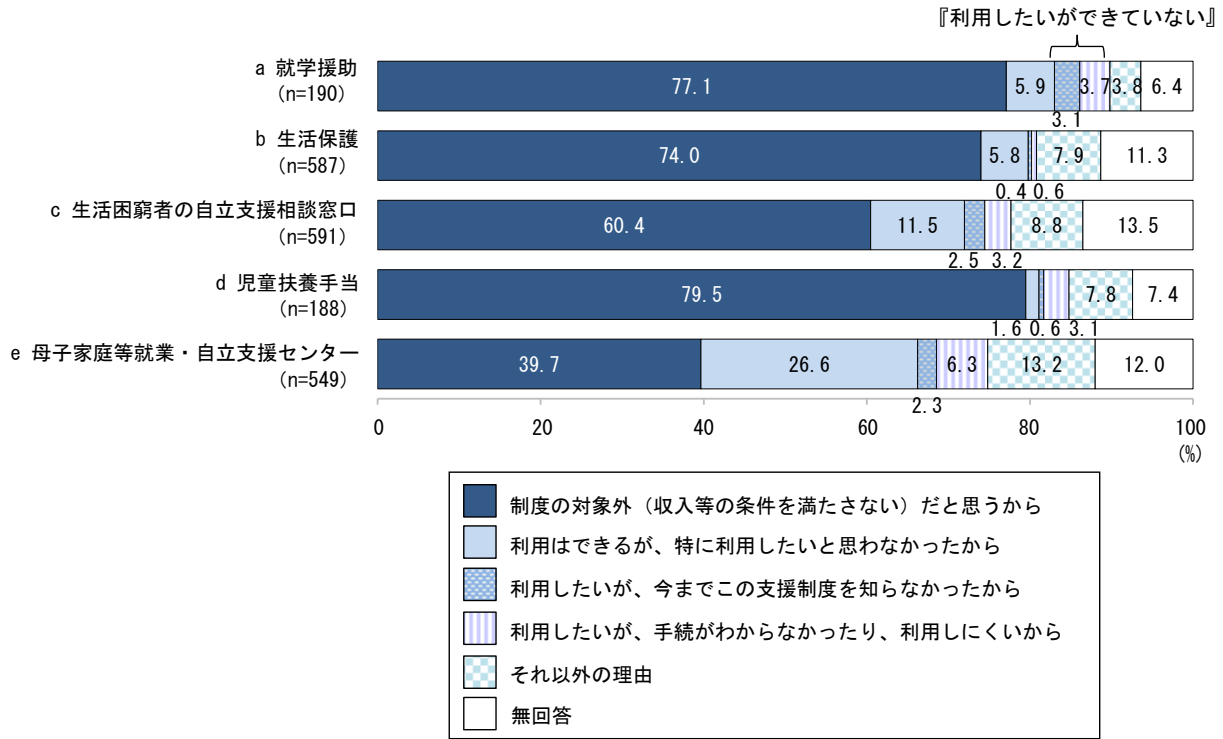
【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合\_小学5年生の保護者】



各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、小学5年生では、いずれの制度に関しても「制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない (利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから) と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合』は、「就学援助」が7.0%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」が6.6%、「母子家庭等就業・自立支援センター」が6.9%となっている。

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
 (単数回答)  
 また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(単数回答)

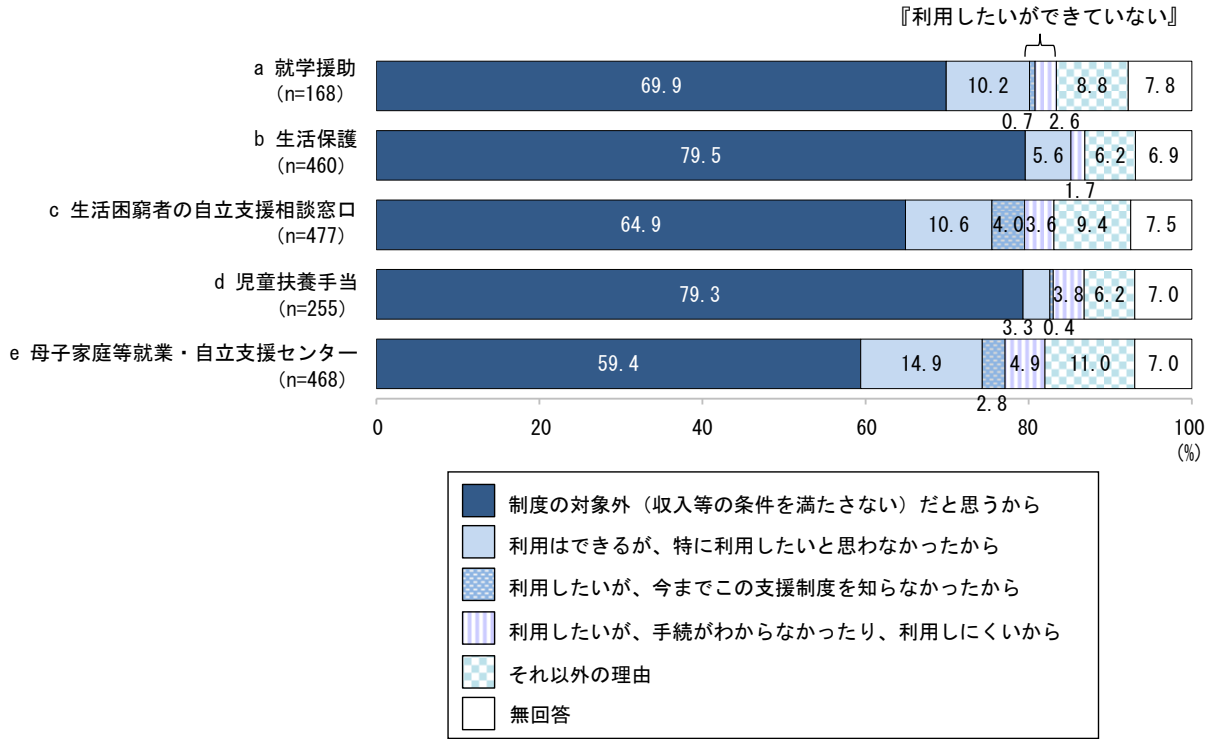
【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合\_小学5年生の保護者】



「ひとり親世帯」に限って集計すると、小学5年生では、いずれの制度に関しても「制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「就学援助」が6.8%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」が5.7%、「母子家庭等就業・自立支援センター」が8.6%となっている。

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
 (単数回答)  
 また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(単数回答)

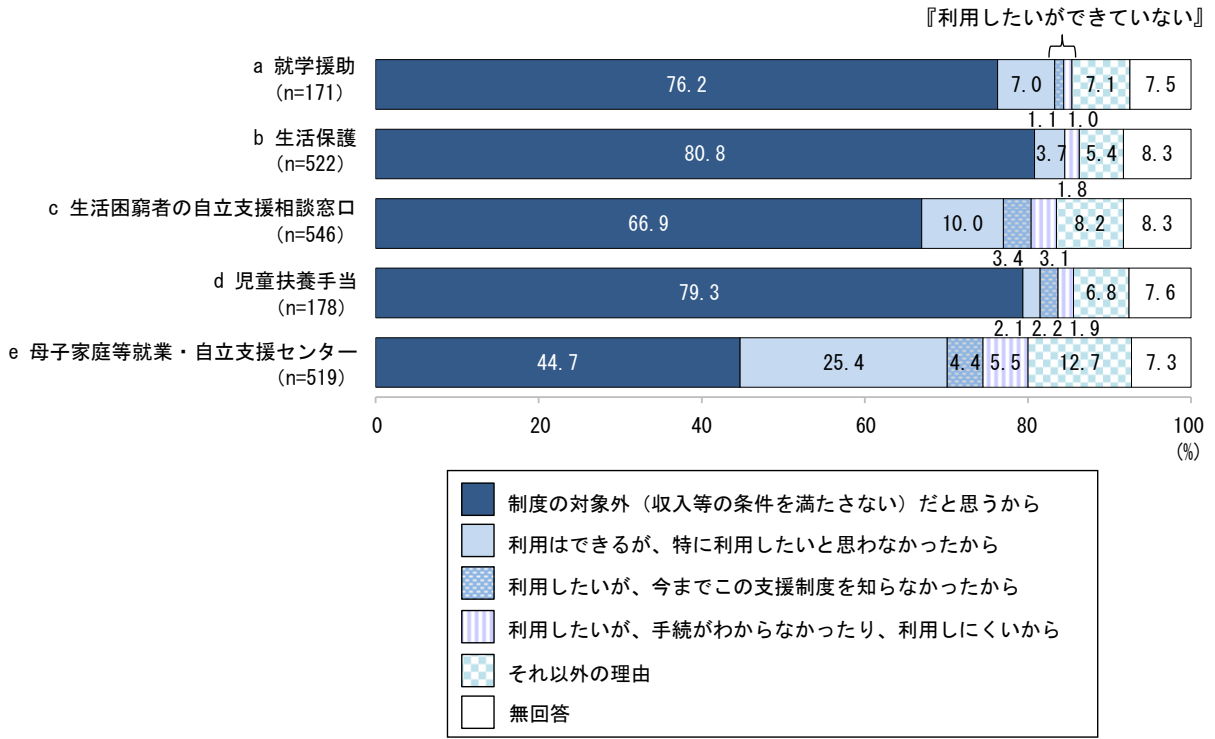
【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、中学2年生では、いずれの制度に関しても「制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「生活困窮者の自立支援相談窓口」が7.6%、「母子家庭等就業・自立支援センター」が7.7%となっている。

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。  
 (単数回答)  
 また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(単数回答)

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合\_中学2年生の保護者】



「ひとり親世帯」に限って集計すると、中学2年生では、いずれの制度に関しても「制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「生活困窮者の自立支援相談窓口」が6.5%、「母子家庭等就業・自立支援センター」が9.9%となっている。

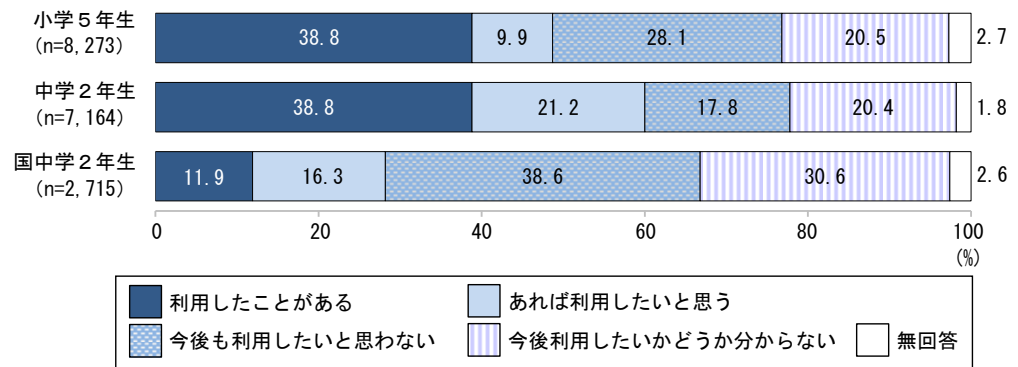


## (2) 子供の状況

子供票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

＝ (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 ＝

## 【全体】



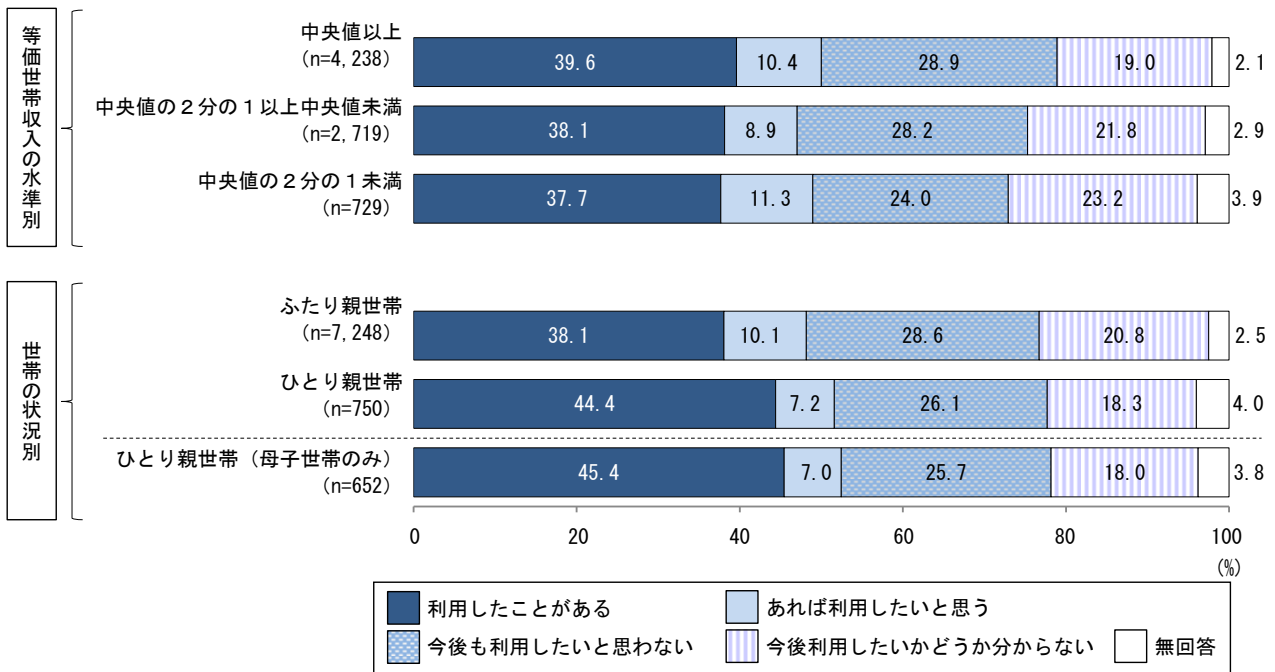
平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況について、小学5年生では、「利用したことがある」が38.8%、「あれば利用したいと思う」が9.9%、「今後も利用したいと思わない」が28.1%、「今後も利用したいかどうか分からない」が20.5%となっている。

中学2年生では、「利用したことがある」が38.8%、「あれば利用したいと思う」が21.2%、「今後も利用したいと思わない」が17.8%、「今後も利用したいかどうか分からない」が20.4%となっている。国と比較すると、「利用したことがある」は広島県(38.8%)が国(11.9%)を26.9ポイント上回っている。一方で、「今後も利用したいと思わない」は広島県(17.8%)が国(38.6%)を20.8ポイント下回っている。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



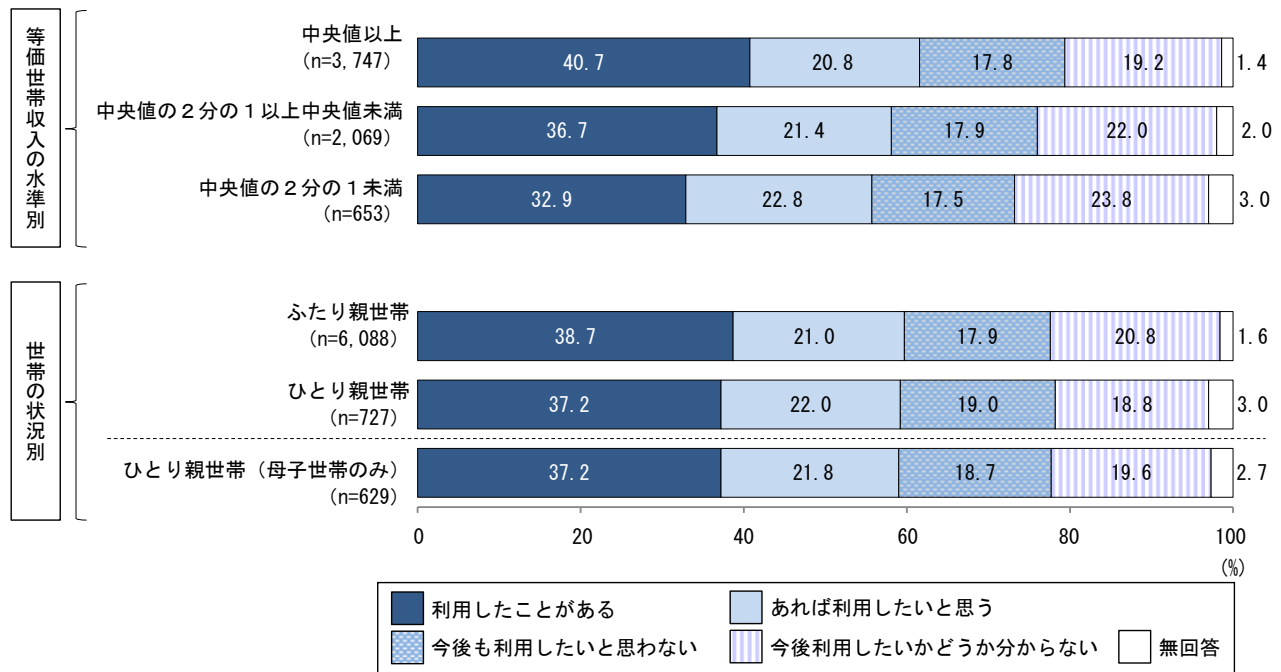
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では10.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では8.9%、「中央値の2分の1未満」では11.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では10.1%、「ひとり親世帯全体」では7.2%、「母子世帯のみ」では7.0%となっている。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では20.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では21.4%、「中央値の2分の1未満」では22.8%となっている。

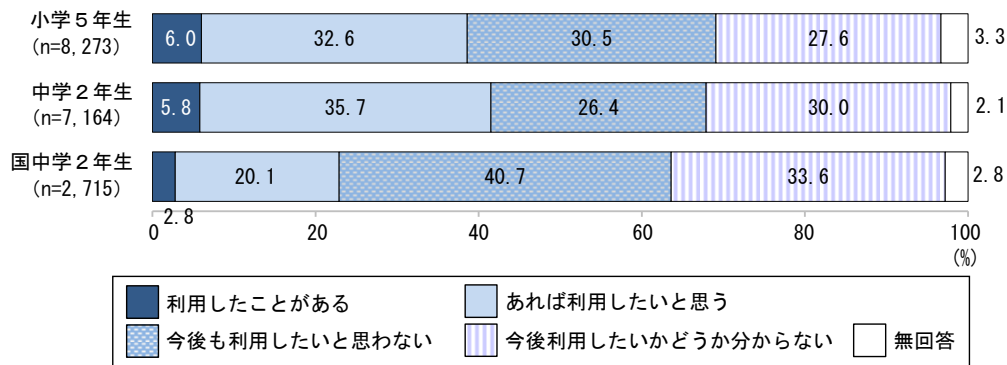
世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では21.0%、「ひとり親世帯全体」では22.0%、「母子世帯のみ」では21.8%となっている。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など) =

【全体】



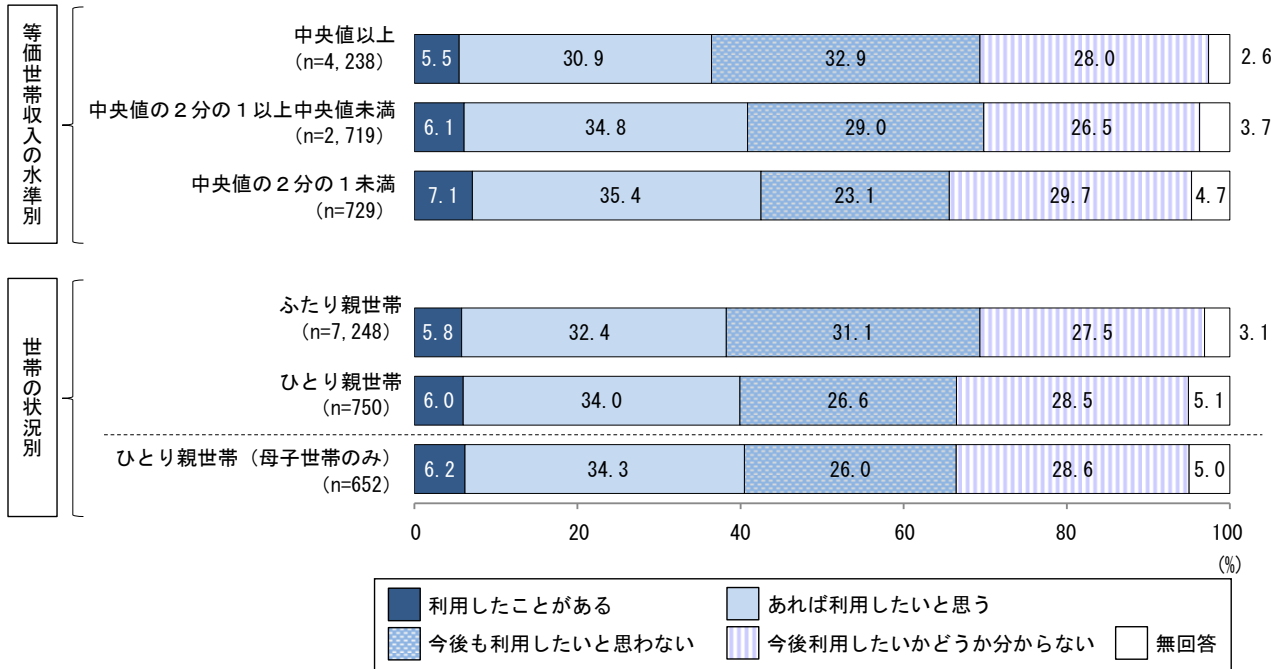
夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況について、小学5年生では、「利用したことがある」が6.0%、「あれば利用したいと思う」が32.6%、「今後も利用したいと思わない」が30.5%、「今後も利用したいかどうか分からない」が27.6%となっている。

中学2年生では、「利用したことがある」が5.8%、「あれば利用したいと思う」が35.7%、「今後も利用したいと思わない」が26.4%、「今後も利用したいかどうか分からない」が30.0%となっている。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は広島県(35.7%)が国(20.1%)を15.6ポイント上回っている。一方で、「今後も利用したいと思わない」は広島県(26.4%)が国(40.7%)を14.3ポイント上回っている。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など) =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では30.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では34.8%、「中央値の2分の1未満」では35.4%となっている。

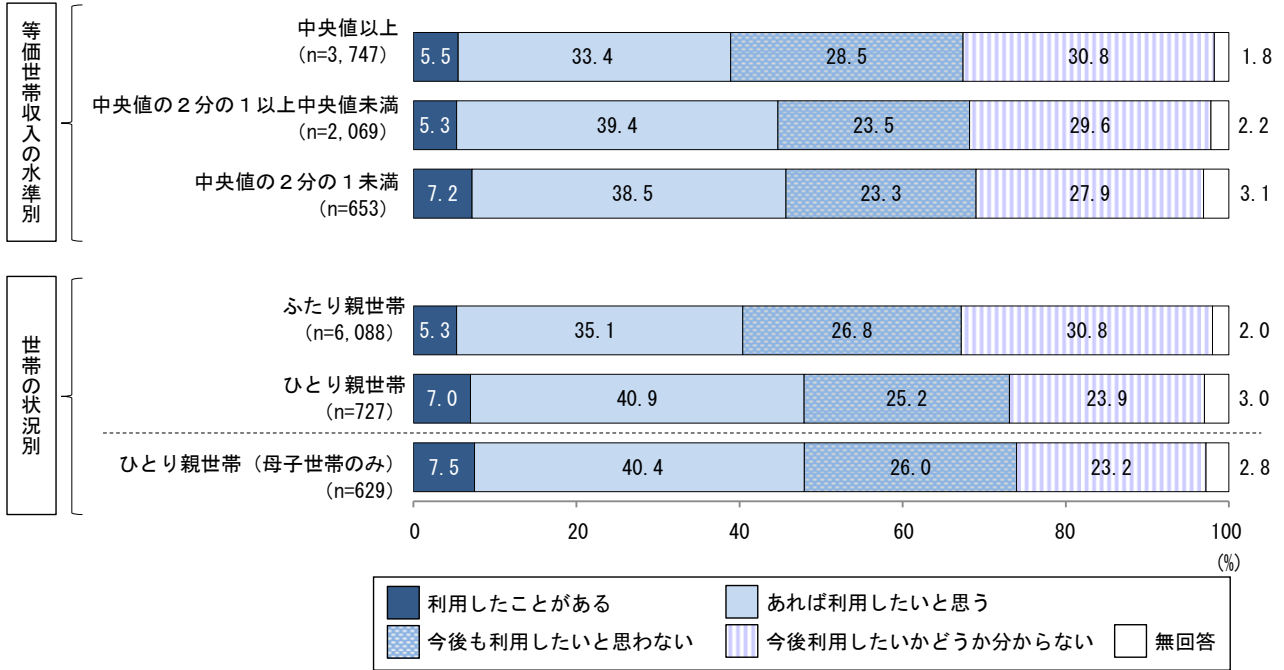
世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では32.4%、「ひとり親世帯全体」では34.0%、「母子世帯のみ」では34.3%となっている。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など) =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



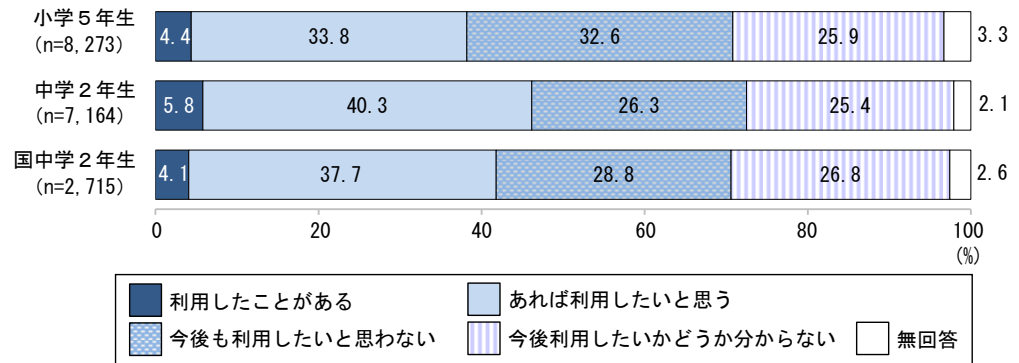
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では33.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.4%、「中央値の2分の1未満」では38.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では35.1%、「ひとり親世帯全体」では40.9%、「母子世帯のみ」では40.4%となっている。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= 勉強を無料でみてくれる場所 =

【全体】



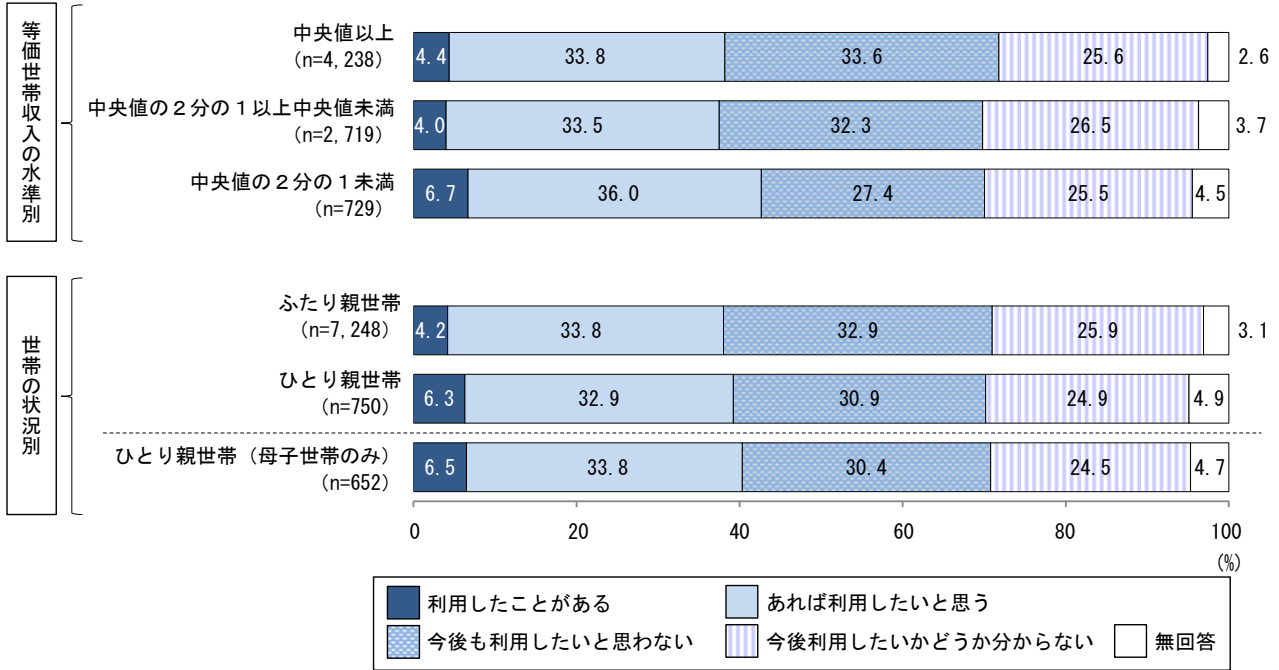
勉強を無料でみてくれる場所について、小学5年生では、「利用したことがある」が4.4%、「あれば利用したいと思う」が33.8%、「今後も利用したいと思わない」が32.6%、「今後も利用したいかどうか分からない」が25.9%となっている。

中学2年生では、「利用したことがある」が5.8%、「あれば利用したいと思う」が40.3%、「今後も利用したいと思わない」が26.3%、「今後も利用したいかどうか分からない」が25.4%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= 勉強を無料でみてる場所 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では33.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では33.5%、「中央値の2分の1未満」では36.0%となっている。

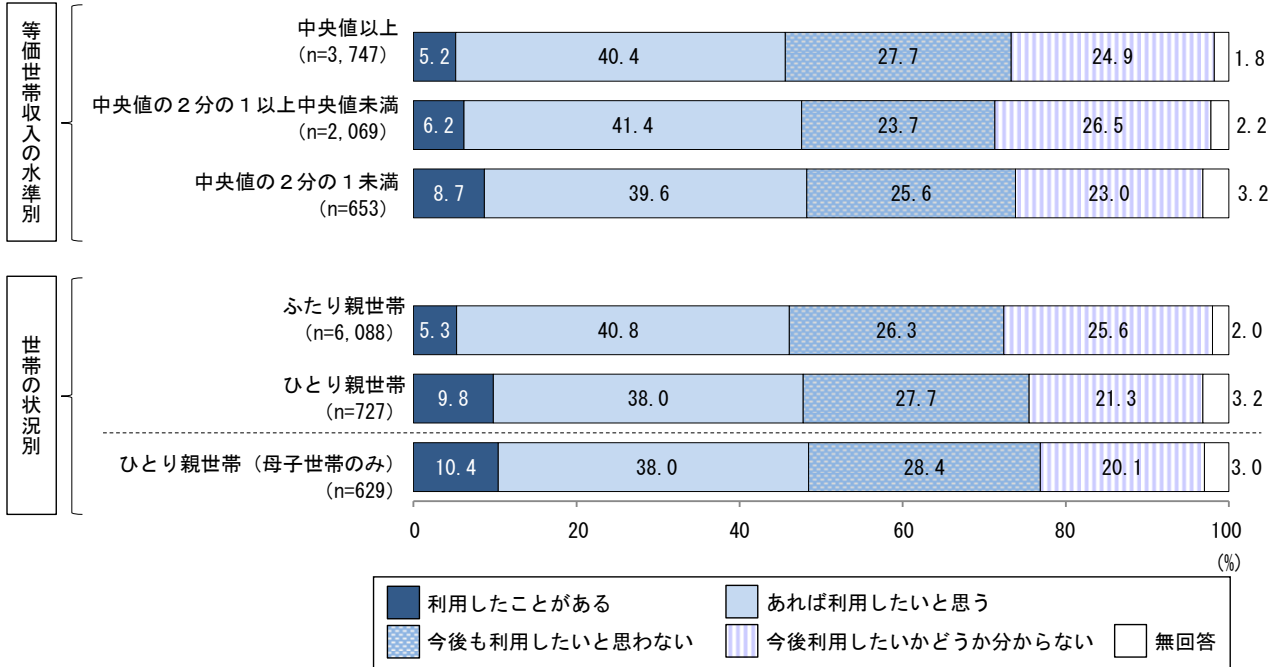
世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では33.8%、「ひとり親世帯全体」では32.9%、「母子世帯のみ」では33.8%となっている。



子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= 勉強を無料でみってくれる場所 =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



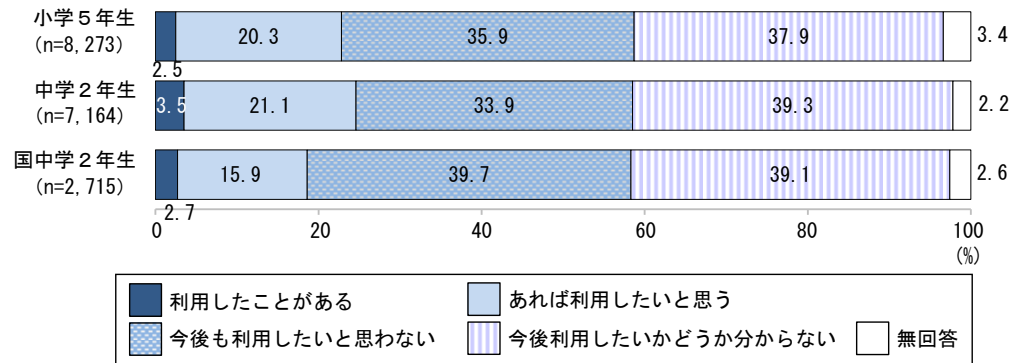
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では40.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では41.4%、「中央値の2分の1未満」では39.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では40.8%、「ひとり親世帯全体」では38.0%、「母子世帯のみ」では38.0%となっている。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) =

【全体】



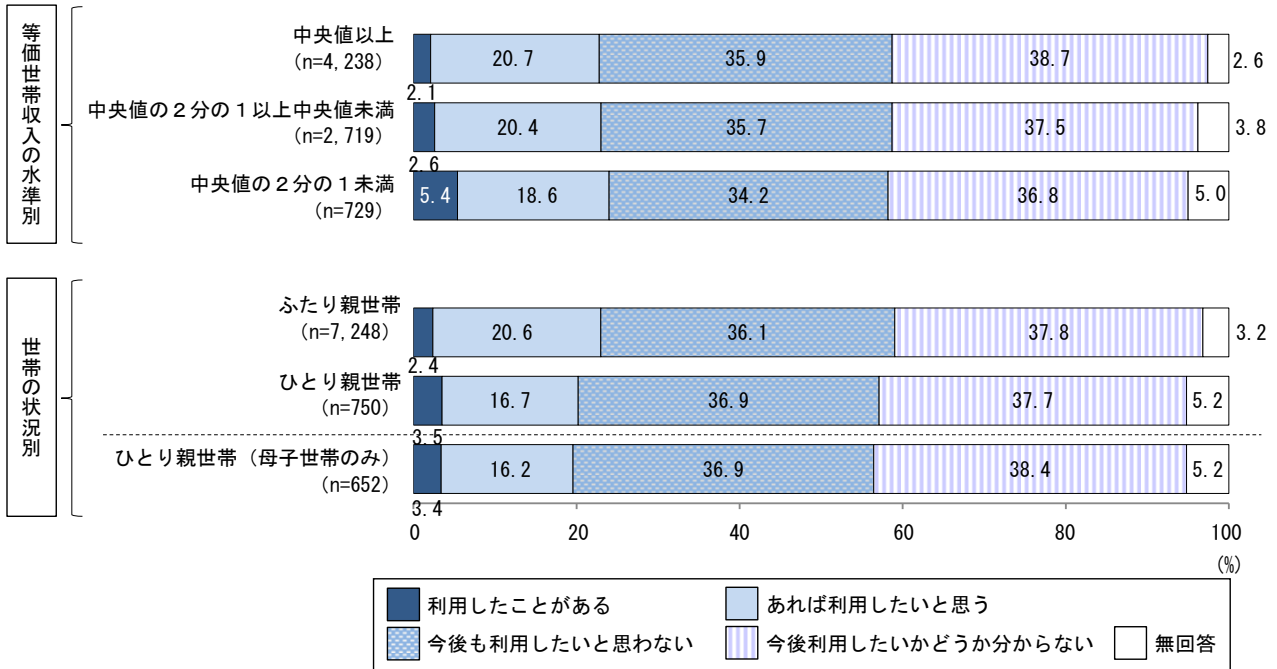
何でも相談できる場所について、小学5年生では、「利用したことがある」が2.5%、「あれば利用したいと思う」が20.3%、「今後も利用したいと思わない」が35.9%、「今後も利用したいかどうか分からない」が37.9%となっている。

中学2年生では、「利用したことがある」が3.5%、「あれば利用したいと思う」が21.1%、「今後も利用したいと思わない」が33.9%、「今後も利用したいかどうか分からない」が39.3%となっている。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は広島県(21.1%)が国(15.9%)を5.2ポイント上回っている。一方で、「今後も利用したいと思わない」は広島県(33.9%)が国(39.7%)を5.8ポイント下回っている。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学5年生】



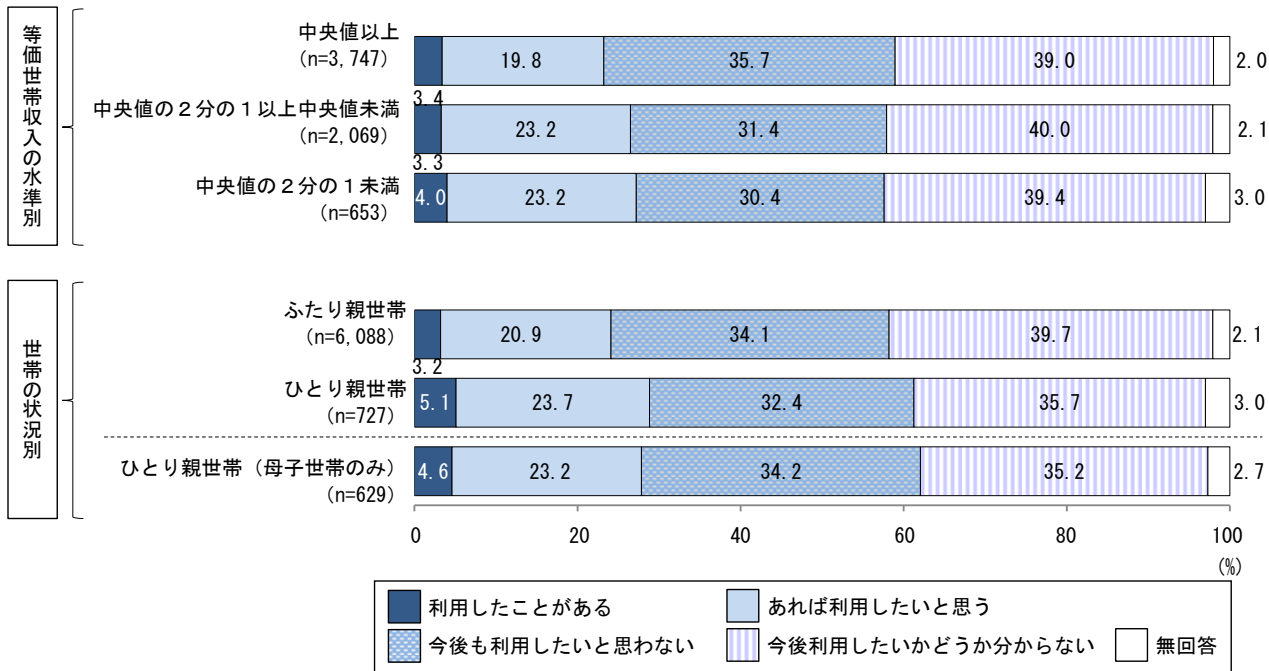
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では20.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では20.4%、「中央値の2分の1未満」では18.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では20.6%、「ひとり親世帯全体」では16.7%、「母子世帯のみ」では16.2%となっている。

子供票問 19. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

= (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) =

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学2年生】



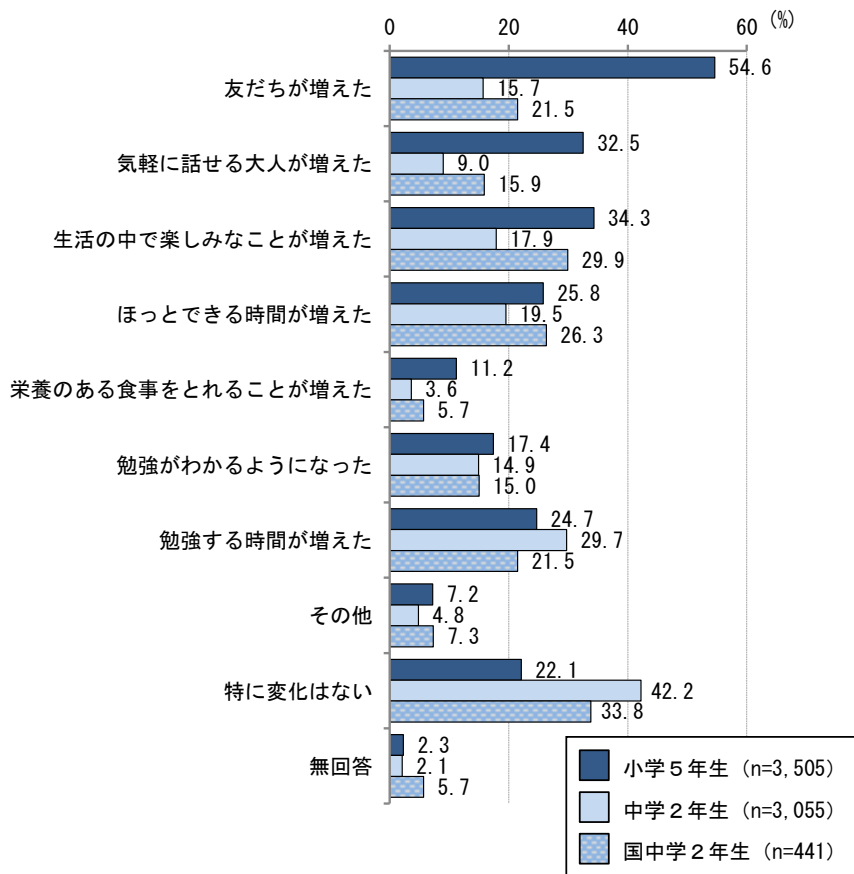
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では19.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では23.2%、「中央値の2分の1未満」では23.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では20.9%、「ひとり親世帯全体」では23.7%、「母子世帯のみ」では23.2%となっている。

※問 19 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

子供票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

【全体】



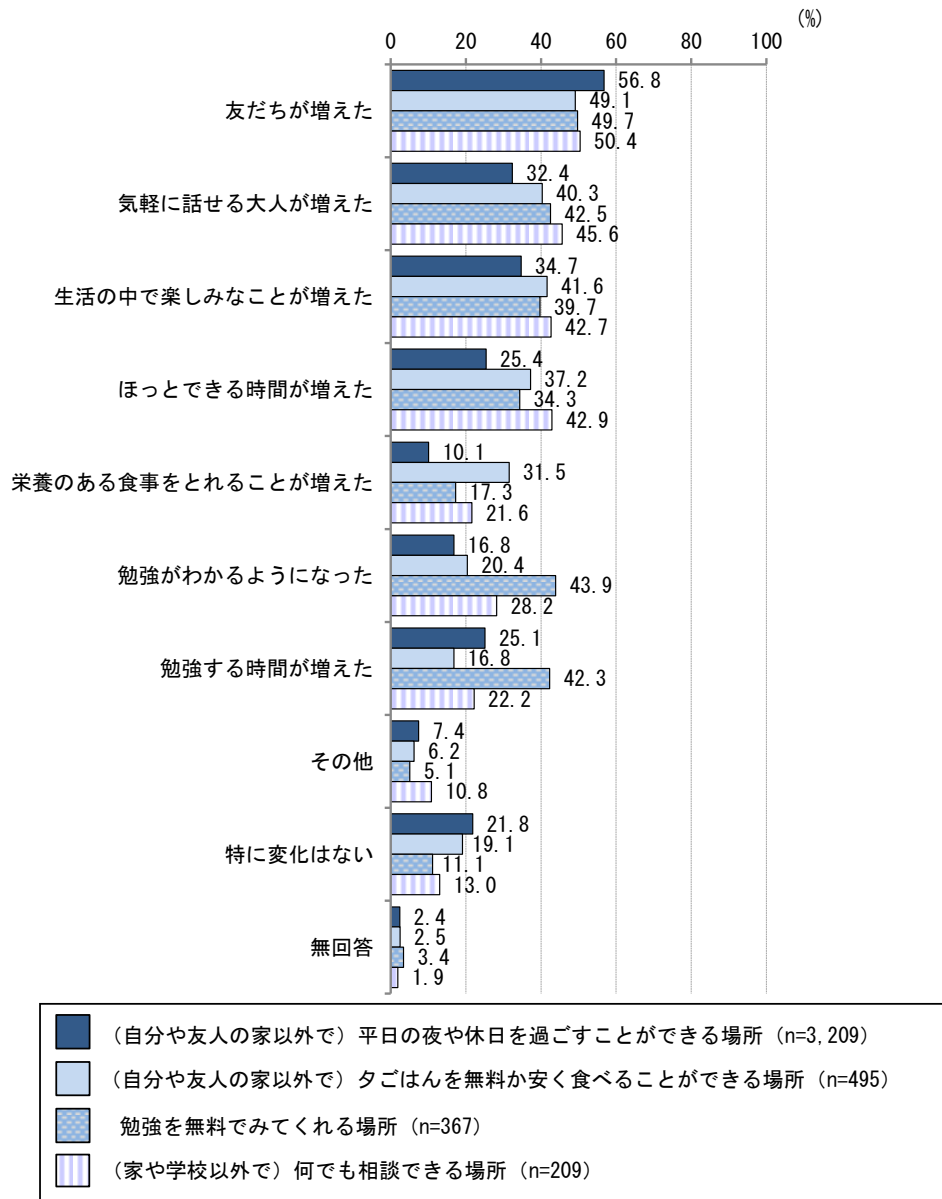
利用による変化について、小学5年生では、「友だちが増えた」が54.6%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が34.3%、「気軽に話せる大人が増えた」が32.5%などの順となっている。

中学2年生では、「勉強する時間が増えた」が29.7%、「ほっとできる時間が増えた」が19.5%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が17.9%などの順となっており、「特に変化はない」が42.2%と最も高くなっている。また、国と比較すると、「勉強する時間が増えた」は広島県(29.7%)が国(21.5%)を8.2ポイント上回っている。一方で、「生活の中で楽しみなことが増えた」は広島県(17.9%)が国(29.9%)を12.0ポイント下回っている。

※問 19 で1つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

子供票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

【利用した支援制度・利用場所の内容別\_小学5年生】

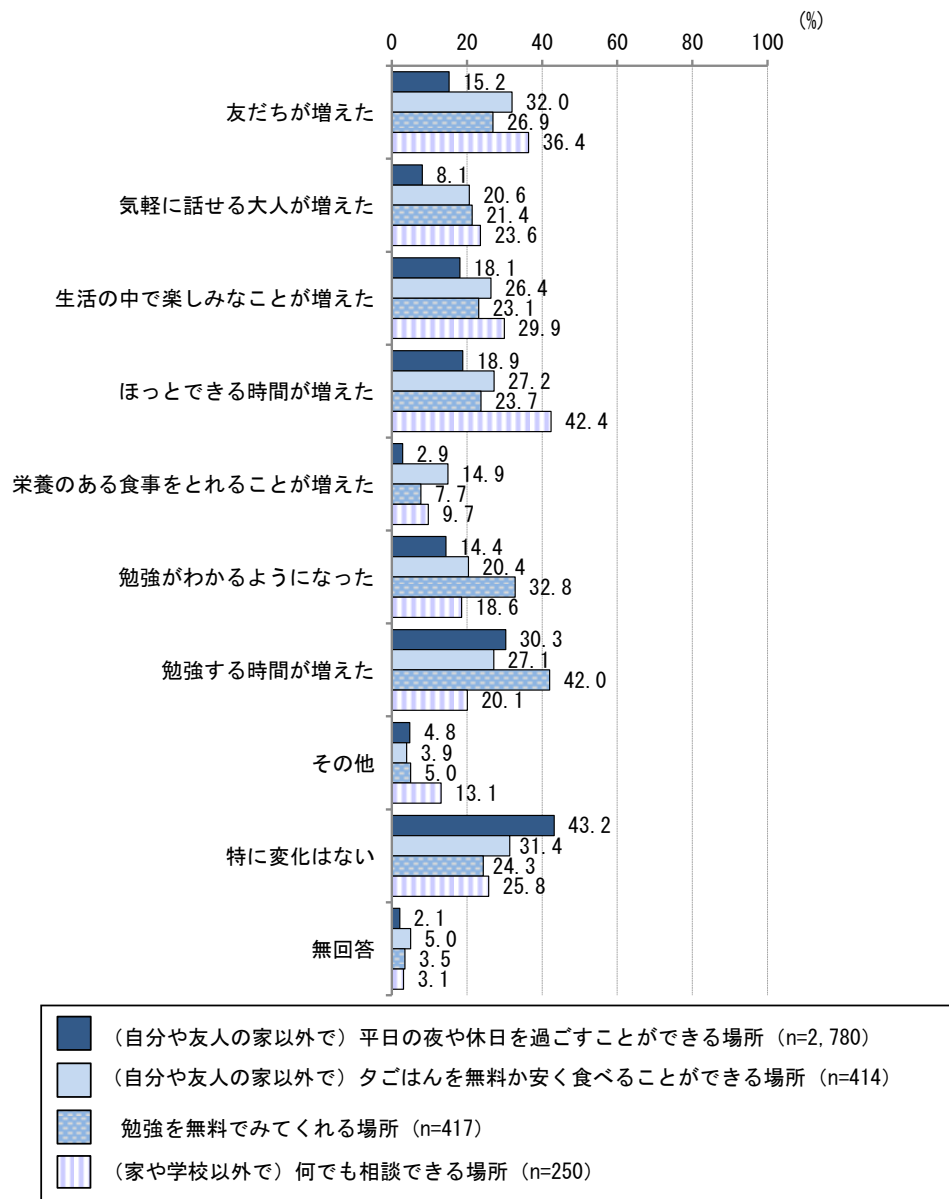


利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「(自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所」では、「友だちが増えた」が 56.8%となっている。また、「(家や学校以外で) 何でも相談できる場所」では、「気軽に話せる大人が増えた」が 45.6%、「ほっとできる時間が増えた」が 42.9%となっている。

※問 19 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

子供票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

【利用した支援制度・利用場所の内容別\_中学 2 年生】

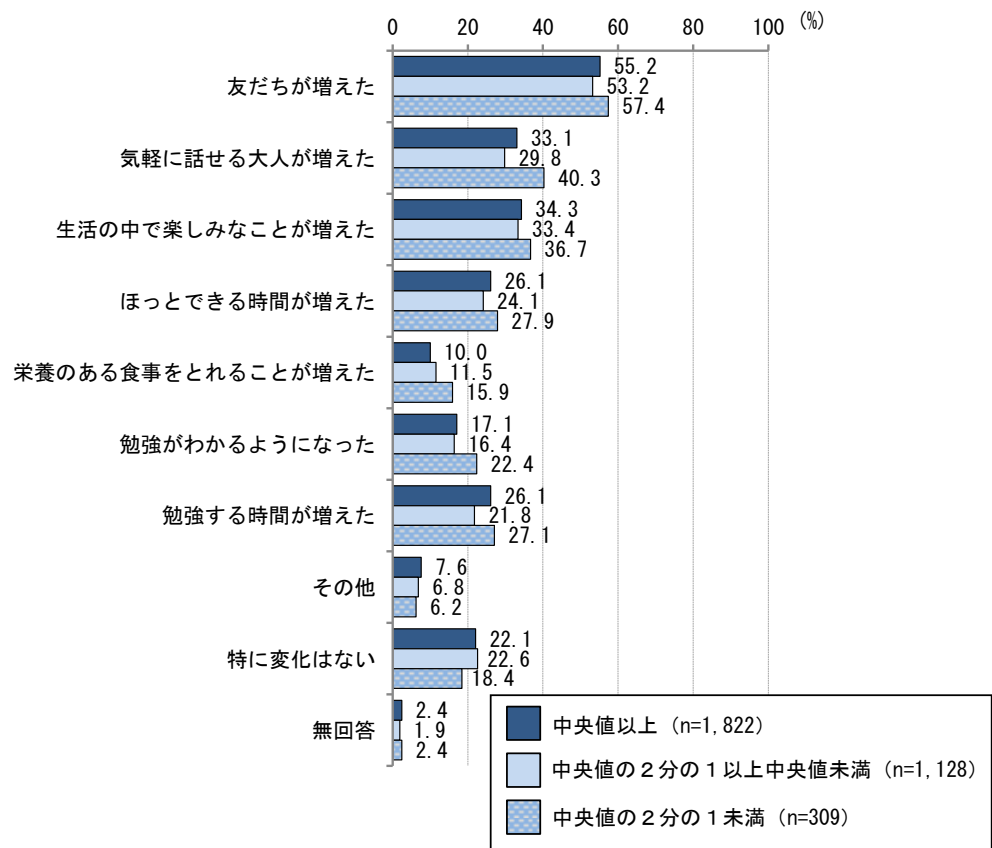


利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「(家や学校以外で)何でも相談できる場所」では、「ほっとできる時間が増えた」が 42.4%となっている。

※問 19 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

子供票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別\_小学 5 年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」では、「気軽に話せる大人が増えた」が 40.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

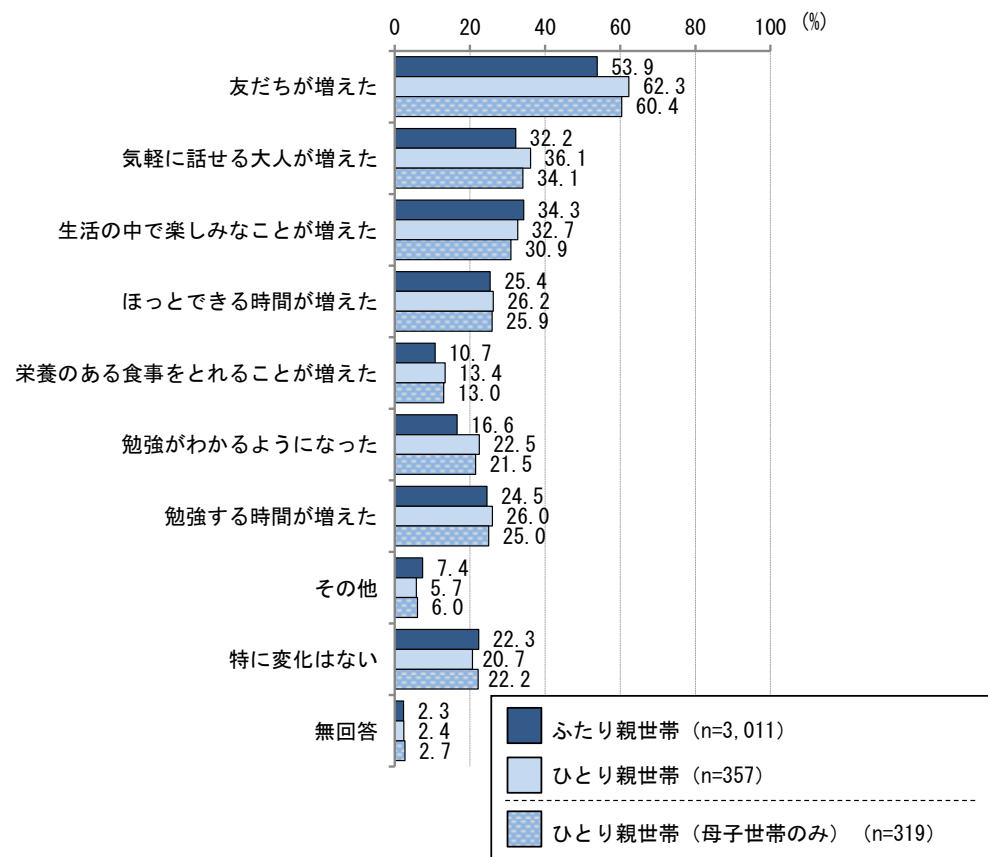
※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「友だちが増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「その他」、「特に変化はない」の 5 項目については 5%水準で統計的に有意な差ではなかった。



※問 19 で1つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

子供票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

【世帯の状況別\_小学5年生】



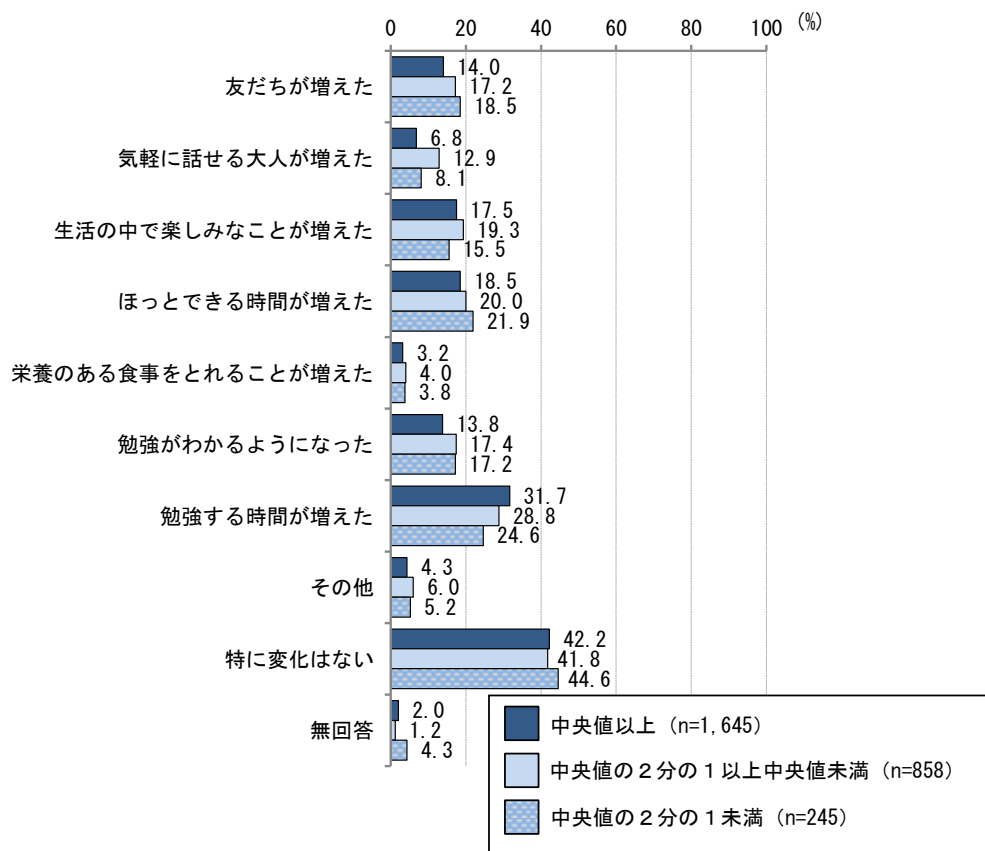
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「友だちが増えた」が62.3%と高くなっている。

※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「気軽に話せる大人が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「栄養のある食事をとれることが増えた」、「勉強する時間が増えた」、「その他」、「特に変化はない」の7項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問 19 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

子供票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

【等価世帯収入の水準別\_中学 2 年生】



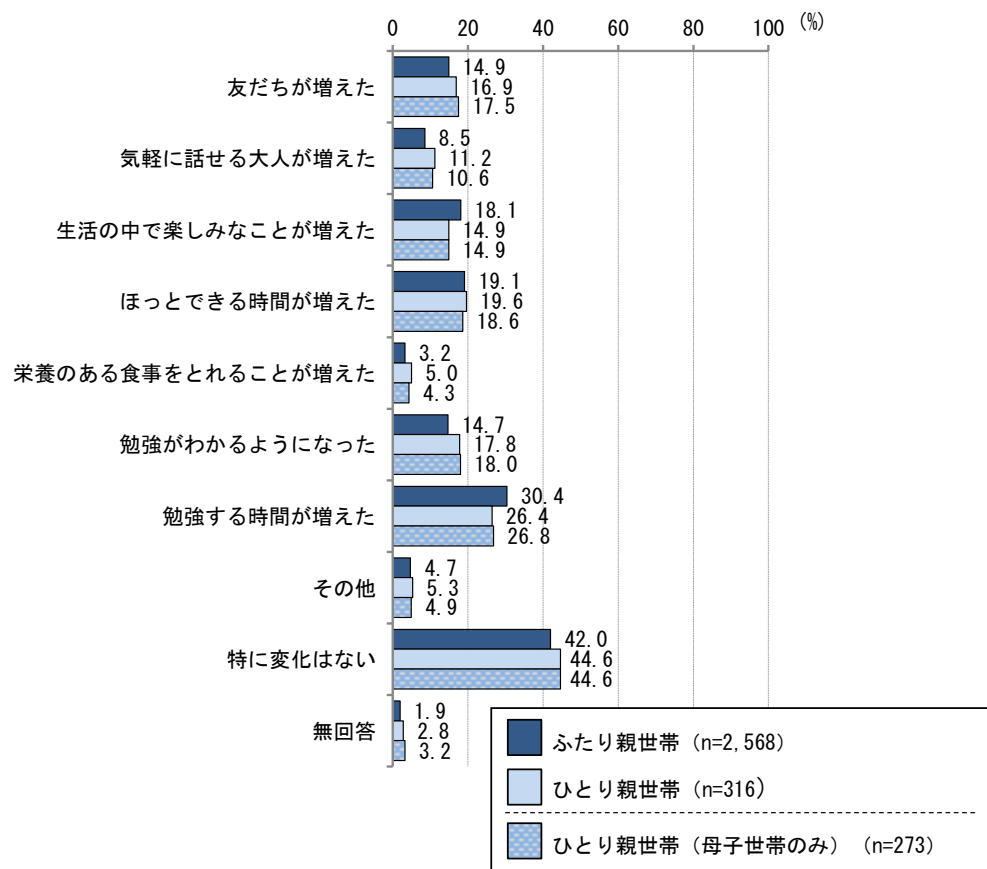
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」では、「勉強する時間が増えた」が 24.6% と他の世帯と比べて低くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「栄養のある食事をとれることが増えた」、「勉強する時間が増えた」、「その他」、「特に変化はない」の 6 項目については 5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

※問 19 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

子供票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

【世帯の状況別\_中学 2 年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」と比べて、大きな差はみられない。

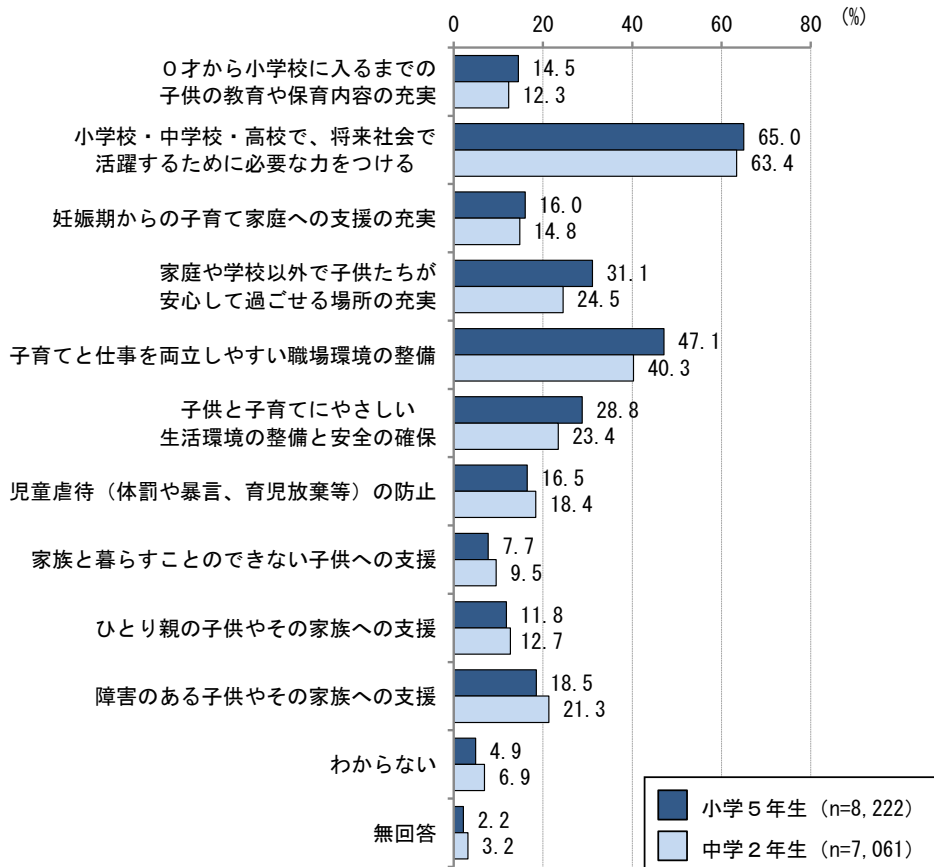
※世帯の状況（ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか）別の集計結果について、「友だちが増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「栄養のある食事をとれることが増えた」、「勉強がわかるようになった」、「勉強する時間が増えた」、「その他」、「特に変化はない」の9項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

5 広島県の子供政策への希望

(1) 保護者の状況

保護者票問 29. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【全体】

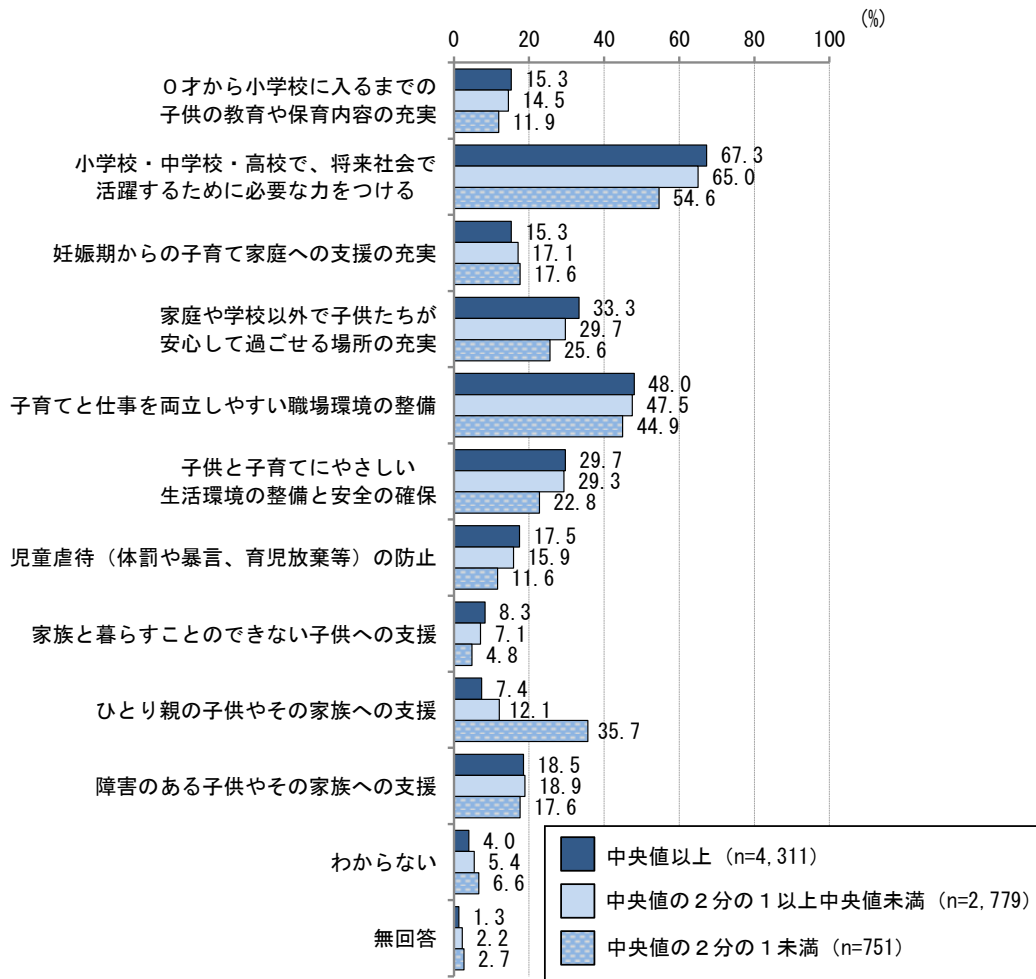


力を入れてほしい子供に関する取組について、小学5年生の保護者では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が65.0%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が47.1%、「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」が31.1%などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が63.4%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が40.3%、「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」が24.5%などの順となっている。

保護者票問 29. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【等価世帯収入の水準別\_小学5年生の保護者】

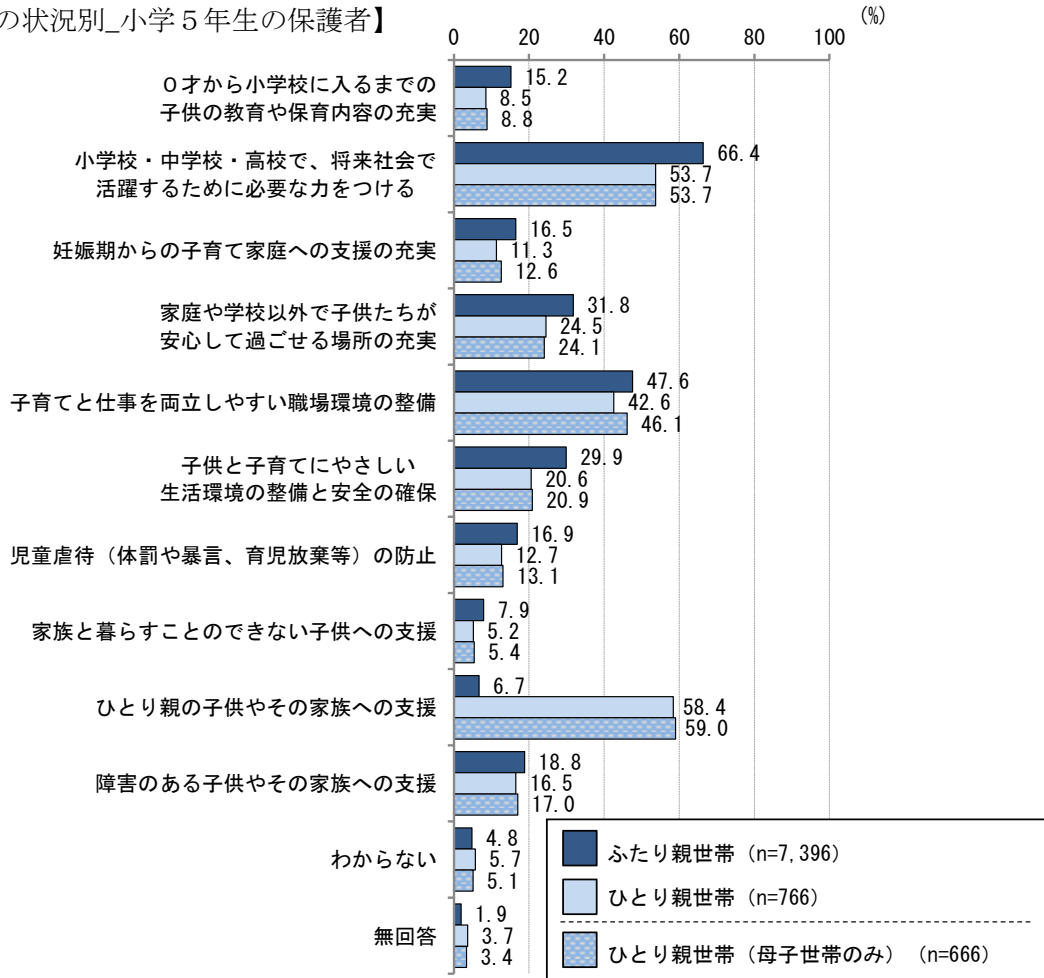


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「ひとり親の子供やその家族への支援」が35.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」、「障害のある子供やその家族への支援」の3項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 29. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【世帯の状況別\_小学5年生の保護者】

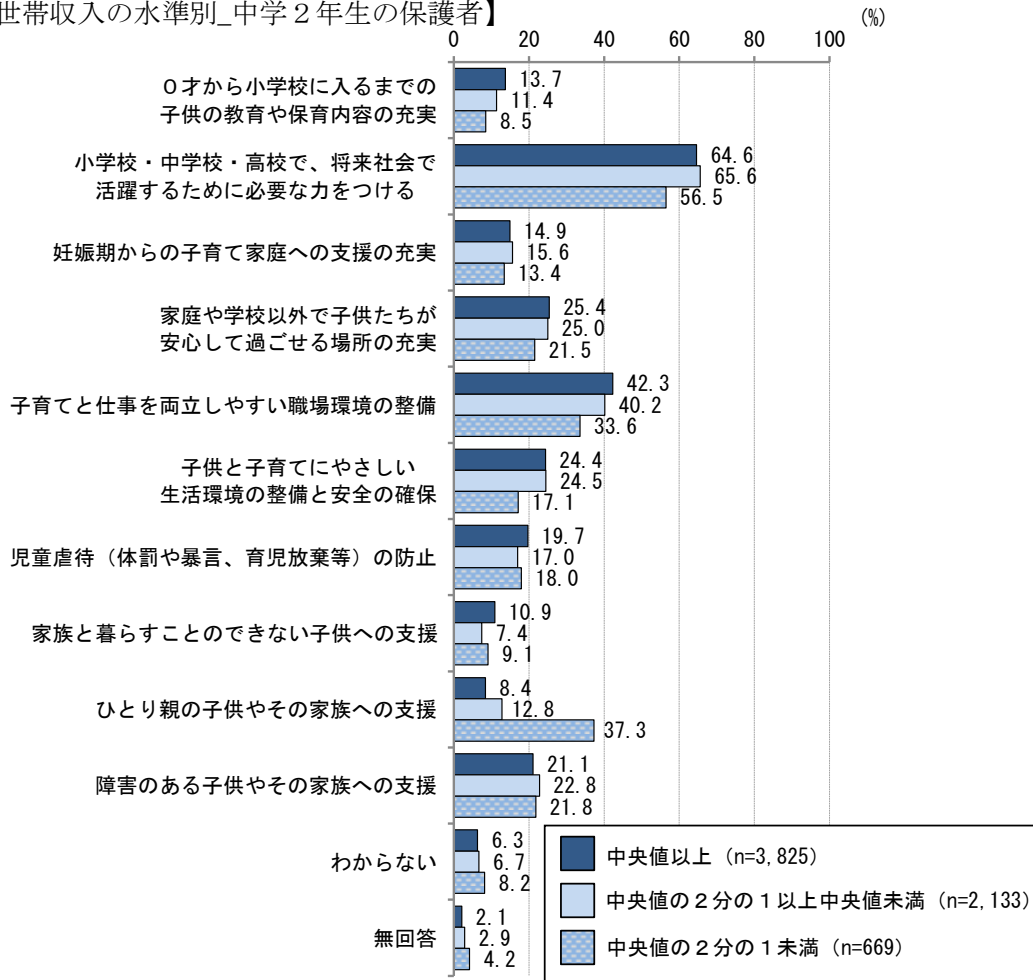


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子供やその家族への支援」が58.4%と高くなっている。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、「障害のある子供やその家族への支援」、「わからない」の2項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

保護者票問 29. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

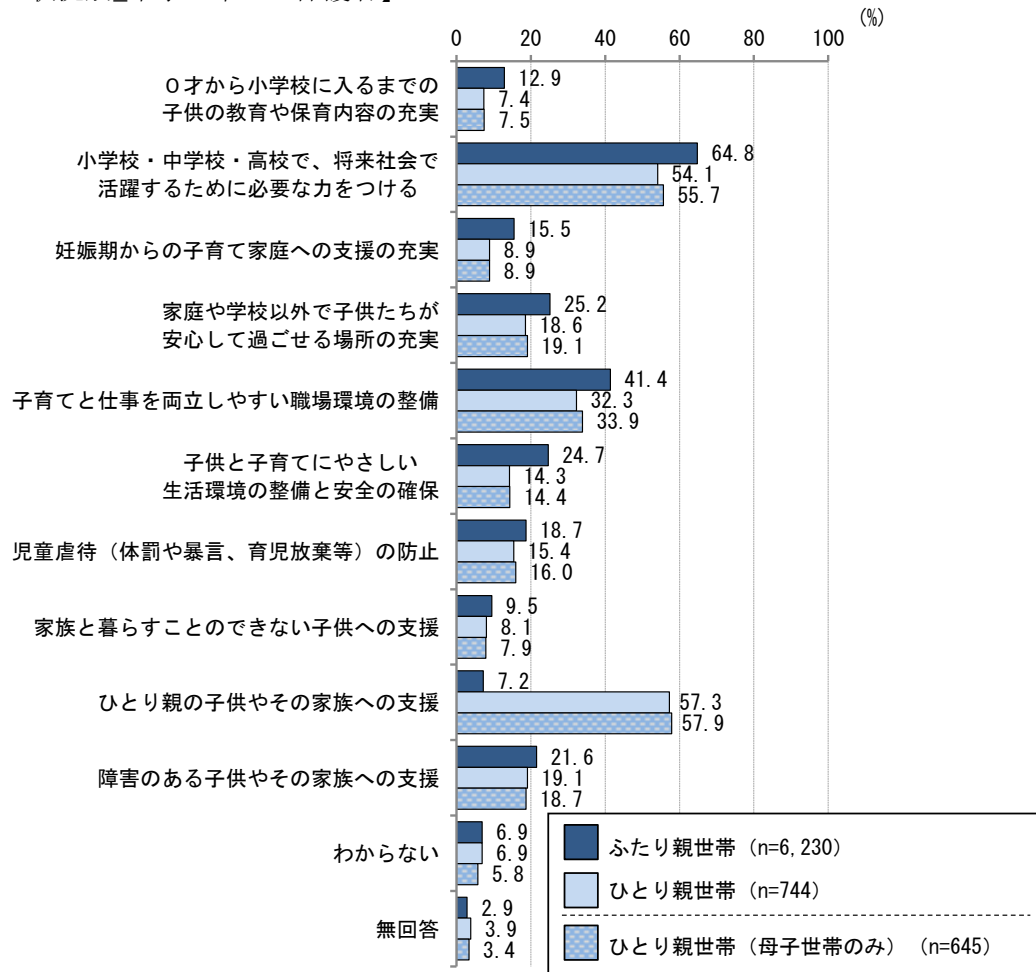
【等価世帯収入の水準別\_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「ひとり親の子供やその家族への支援」が37.3%と比べて高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」、「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」、「障害のある子供やその家族への支援」、「わからない」の4項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

【世帯の状況別\_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子供やその家族への支援」が57.3%と高くなっている。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、「家族と暮らすことのできない子供への支援」、「障害のある子供やその家族への支援」、「わからない」の3項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。



## ※問 29 で「1～10」と答えた方に

## 保護者票問 30. 理由があれば教えてください。(自由回答)

※以下は、主な意見を抜粋して掲載

＝ 「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」の理由 (397件) ＝

「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」の理由について、保育所を探すのが大変だった・選べるほどないといった保育所不足という意見のほか、保育所の種類や先生の違いにより子供の教育に差がある・保育士の待遇改善をして質を高めてほしいといった意見、保育料の負担が大きいといった意見がみられる。

1	高校までの学費を減らすもしくは無料。学費にかかる出費が多い上、その他生活していく上で必要な出費も多いので子どもに関わる出費は(学費)無料にすべきだと思う。そうすれば子どもたちが平等に学ぶことができる。家庭の生活も少しは楽になるのではないかと思います。
2	保育所の給料を上げてあげてほしい。なんでもかんでも保育所のせいにするモンスターペアレントのせいで大変な思いをしてくれているのに安すぎる。保育の質をあげるなら、それなりの給料にしてあげてほしい。じゃないと保育士不足はずっとつづくと思います。
3	小学校までに学習することを幼稚園と保育園でもう少し同じくらいのレベルにしてほしい。差が出すぎて子どもがかわいそう。卒園までに学習する内容を統一した方がいいと思う。
4	”質の高い教育”とは「〇〇ができるようになる」を求める教育ではなく、子どもの心に寄り添った、心の成長を支えていけるような教育だと思います。今の教育は大人が「〇〇できるようになって欲しい」を子どもに求める教育になりがちになっていると思うので、改めて考え直すべきだと思います。
5	大変なのは1～2歳なのにその時期の支援が薄い。親の健康的な精神状態を保つ為に、一時保育の無償利用等、子どもと離れる時間がとれるサービスや助成をしてほしい。
6	仕事に就いていない、義親と同居ということで、保育園の預り保育やベビーシッターをおねがい出来ませんでした。母親の体調も配慮して柔軟な対応をお願いしたい。
7	0才児の保育料が高すぎる。育休取得者は前年度の収入(正社員)で保育料が決まるので高額になる。正社員で復帰しても給与の半分が保育料だった。
8	預けたい人が待機なく預けることのできる施設数の充実を求めます。また保育士は命を預ける仕事なので相応の給与を出す必要があると考えます。
9	小学1年生になった時に、1日中楽しく遊んでいた保育園から急に1日中授業でイスに座っておく生活の変化に差がありすぎるので就学前に少し準備して行けると保育園から小学校へスムーズに移行できると思います。
10	上が小学生になっても下の子の保育料半額はやって欲しい。年齢の間隔が空いてしまう人は沢山いる。～3歳の保育料を満額で払うと働く意味がなくなる。
11	働いていなくても、息抜きや用事で子供を安心して預けられる施設が欲しかった。あったとしても費用が高い、遠い、不便など預けたくても預ける先がなく辛かった。
12	保育園の子どもに対する保育士の人数をふやしてあげてほしい。親子が園に子育てを依存せず、親自身の保育力を育てるようになる方がよい。
13	家庭にいる親が孤独感を感じないような気軽に訪問できる場所がもっとふえるといい

＝ 「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由 (1,814 件) ＝

「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由について、塾に行かなくても学校で必要な学力を身につけられるような指導をしてほしいといった意見のほか、学力以外の社会に出た時に役に立つコミュニケーション能力や思考力等を鍛えるための指導をしてほしい、個々の能力に合わせた教育や時代に合った教育を行ってほしいといった意見がみられる。

1	公立の小中学校に行っても実際こちらの地域では、塾に行かないと志望校に行くことができないのは少し疑問に思う。
2	社会に出たときに学力以外の思考力や、コミュニケーション能力といったものは必ず必要になる能力だと思うので、そういったものが学べる教育環境はあってもいいと思う。
3	コロナの影響もあり、低学年の間学校で学べていない分、基礎学力がついていないため。またコミュニケーション能力もコロナの影響下で低いと感じるため。
4	AIの急速な進化が現実となり、今までの詰め込み教育では対応できないと感じます。先生が教え、生徒が学ぶ「勉強」以外に、生徒同士での学び合い、協働して何かを作り上げるような、体験型の授業が増えるといいなと思います(例えば自由研究の様な・・・自分達でテーマを決め、協力して研究、発表・・・のような・・・)。
5	クロムブックが導入されたが、まだ定着はしておらず、これからだろうと感じる為。親世代が子供の頃の学校ルールと現代ルールが入り交じっていて、現代の子は窮屈そう。
6	最近の学校は教師が昔に比べ優しすぎでは?と思うくらい。将来のことを考えると学力も必要だが忍耐力も身につけられる指導をして欲しい。
7	勉強以外に将来に役立つことをもっと学べたらと思います。海外に出て活躍も出来るように。経済の事、コミュニケーション、自己表現、英会話など。
8	山間部などへき地に当たる自治体の小中学は児童生徒数の減少により複式学級や統合の課題が付きまっています。ソフト面、ハード面双方とも都市部との格差を感じずにいられません。少ない人数であっても手厚いサポート(質の高い教職員の確保など)を期待します。
9	学力の面では塾で補えるが、学力以外の、社会に出て必要な、思考力、表現力、コミュニケーション能力は、学校や体験する事柄でつちかっているとと思うので、学校で力を入れて取り組んでもらいたい。
10	公立中学に通っているが、学力の低下、学校による教育の差があると感じる。また不登校の児童が多いにもかかわらず、不登校の児童への教育は放置されていると感じる。
11	銀行での口座開設や仕組み、社会保険や税金のことなど、社会に出た時のお金に関することを学校でももっと教えた方がよいと思います。
12	公立の学校でも、学力に応じてのクラス分けなどをしてほしい。できる子を伸ばしてほしい。
13	英語教育に力を入れて欲しい。基本的にも中・高計六年間も習っているのにしゃべれない・使えない人がほとんどなのは大問題。小学生の内からネイティブな英語・会話に触れるべき。文法は後からで良いのでは?
14	将来なりたい職業を早くから見つけられる様にいろんな職を考える内容を教えてほしい。高校に入って急に早く決めろと言われてもなかなか決められないので、選択肢をいろいろみせてあげてほしい。
15	もっと身近に国際交流や留学制度があってほしい。

16	タブレットを配っているが、使うことがあまりない。教科書を持っていくのならタブレットは家でいいと思う。おもたいです。使っている時がほとんどないです。基礎的な、使い方、先生もわかっていないと思います。
17	学校の授業だけでは学力が定着しておらず、親が分からない所を教えたいが時間がなく、塾へ行く経済的なゆとりは無く、焦りを感じている。学習障害では？と思うがどこへ相談して良いか分からない。
18	海外でつかえるような英語、プログラミングなど将来使えるような、力をもう少し学んでほしい。
19	タブレット授業により学力の低下を感じる。タブレット内にあるゲーム等の使用についてもっと制限し、学力を上げて欲しい為。
20	一斉型の授業に疑問を感じている。個別最適化の授業、自らが考えて自立的に取り組む授業などを子供達には受けさせたい。今後グローバル視点での協力がますます必要となったり、時代の変化スピードが速い中、今の日本の教育に非常に危機感を感じている。
21	型にはめた横並びの方針ではなく、理系、文系など大まかでも分けて、得意な方面を伸ばしてあげる教育方針を小さい間からして欲しい。
22	全国の学力水準や同じ県内との比較でも受験などで差が出るのではいつも思う(特に私学との進み具合の差は凄い)ので、宿題の量を増やしたり小テストなどの機会を頻繁にして、全国やよその市町村との差を縮める様にして欲しい。
23	テキスト上の問題が解けるだけでは社会に出た時に困るのでコミュニケーションや困難に出会った時の対処法などもしっかり体験させたい。
24	各家庭の経済状況に学力、その他能力が比例しているので、もう少し底上げできればと思う。子どもひとりひとりを見ると、ポテンシャルはありそうだが親の質や経済力にひっぱられすぎているケースをよく見る。
25	少人数制にして個別性を時間をかけ対応できる教育を希望したい。クラス人数が多く、先生の負担が大きすぎると感じる。
26	勉強以外で、もっと学ぶことの方が多い。将来の為、障害のあるこども達への関わり方、昔とちがいで、周りの理解も必要。先生の最近の情報が少なすぎて、昔の知識しかない。
27	自分で考え主張できる力を育てる学校現場になって欲しい。子供が学びの主体になるサポート体制を作ってほしい。
28	力を入れてほしいが、教員不足による負担が増えるのならそこから改善するべきだと思う
29	塾に通えない家庭との学力の差(塾に行かないと受験はほぼ不可能)小さい子のいる家庭よりも、高校、大学がお金がかかるのでそちらを支援して欲しい。
30	家庭の事情に関係なく、すべての子どもにより多くの学びの場を増やして欲しい。たくさんの経験をして大きくなって欲しい。
31	保育料無料など最近小さい子ども向けへの支援は充実していますが、本当にお金がかかる中高生向けへの支援が少ないように思います。特に受験に向けて塾の費用が高いため、学校で必要な力がつく質の高い教育があればと思います。
32	子供の社会が学校だけでなく、他のコミュニティでも交流があると、たとえ学校で何かあったとしても(今は無いが)居場所を感じやすいと考えるから。

= 「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由 (539 件) =

「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由について、地域に小児科・産婦人科がないので増やしてほしい、出産や健診の費用も含めて医療費の負担が大きい等の意見がみられる。

1	主に金銭面。相談できる場所は今は色々あるけど子育てが一番お金がかかる。今の支援では全然足りなく苦しい。
2	母親一人での育児になりがちな現状で、気軽に相談や手助けを依頼できる機会があると助かると思うから。
3	県北では出産できる医療機関が選べず少なすぎるのもっと増えればいいと感じる。
4	ワンオペ育児でメンタルボロボロでした。相談の場は利用していましたが、解決にならない。家に来ていっしょに手伝ってくれるほうがありがたい。
5	地域に具合が悪い時に診てもらえる病院がない。午前のみでは病院にかかれない。
6	乳幼児医りょうの所得制限をなくしてほしい。子育てをしていると所得制限上限を少しこえたくらいの収入では、そこまで裕福な生活ではない事をわかってほしい。
7	産婦人科が少ない。小児科の待ち時間も長いと子供が待てないのでネット予約や空き状況など確認できるといい。小児科に限らず電話やネットで予約できる医療機関が増えてほしい。
8	妊娠中～出産、子育て中と女性は心と身体の変化が大きい。コミュニティーなど相談しやすい場所の支援や医療までではなくても何か身体について知れる環境があると良いと思う。
9	他の自治体では、高校卒業まで医療費無料などあるが、小学校（外来）、中学（入院）までしかなく、所得制限もあり、何の恩恵も受けられない。
10	子供の医療費を高校生まで無料にして欲しい。
11	妊娠は病気じゃないので、体調不良（気分、感情）が多かった時誰にもどこでも気軽に相談できなかつたりとどまる場所（家以外）が無かった。産婦人科でアンケートを取って自然にケアできる流れにする。または施設を作る。妊娠、子育ての女性、1人親専用の施設。（理想です）
12	医療費の補助が18才まで拡大される事も確かに助かりますが、それよりも病児保育を増やして欲しい。仕事をしている私たちからすれば、病気の子供を預かって頂ける場所があると本当に助かります。でも今現在、病児保育は1ヶ所だけ。しかも預かれる子どもの定員数は非常に少なく、万が一、預かってもらえず、仕事を休まないといけないということも。受診料をなしにすることも大切ですが、病児保育の施設が充実していなければ、働くことができないので、子育てしながら、働きやすい環境をしっかりと整えてほしい。
13	幼稚園に入れる前、親子で遊びに行ける場所（幼稚園や保育所の園庭開放）があるのが、とてもありがたかった。親だけでは経験させきれない体験の機会を沢山与えてもらえた気がするので、それがより充実すると嬉しいなと思う。
14	所得制限を理由に乳児医療や児童手当を受けられなくなるのは疑問。父、母がそれなりの年齢なら所得が多くて当然。退年を迎える頃に一番お金が必要になるので、今のうちに蓄えたい。高齢で出産しても手当はもらえない。今はそれなりの収入があっても将来が不安です。
15	子育ての仕方、兄弟がいる場合の子育ての仕方、3人兄弟がいる場合の子育ての仕方など、子育ての仕方を勉強する会などがあれば、虐待や不登校など減ると思う。今は赤ちゃんの時の育て方の会しかないように思うので。小さい時から子育ての仕方を学んでおけば、大きくなってから、あの時ああいうふうにしておけば良かった、と親の後悔がなくなると思います。

16	娘が精神的な落ち込みから家でひきこもっていた時、子育て相談ダイヤルに相談したけど、「わかりません。病院に行ってください」の返事だけだった。
17	妊娠したらまず父親がさまざまな手続きやセミナーに来ることを義務付けするべき。
18	病院が少なく、2～3時間待ちは当たり前です。ほとんどの医院が予約制で病院まで予約を取りに行くか、ネットで予約を取ります。病気の子を置いて取りに行くか病気の子を連れて取りに行くかとても迷います。また、ネットの場合、予約開始時間に即ボタンをクリックしても午後の予約になってしまうほど。病院が増えたら良いと思う。
19	転勤などで他県から移って来た場合など、近くにたよれる人もなく不安なので、安心できる場所を提供して欲しい。その場所にいる人が優しいと尚良い。
20	今の母親の子育ては孤独だと感じます。役所のような相談できる場所は、ハードルが高い上に、人によっては説教のように聞こえる場合もあります。もう少しリラックスして話を聞いてもらえるような（例えばカフェのような）感じの場所があるといいですね。
21	妊娠中のサポート（買い物・配食サービス）があるとうれしい。
22	子どもについて研究している人はたくさんいるのにそのことを子育てする人は知らなすぎる。いきなり子供が生まれて、はい今日からお母さんねって言われても何もわからないから。
23	出産後睡眠不足になることが一年もつづくことが想像以上に大変だった。そのことがわかったのは出産後でした。近くに頼れる親戚がいなくて慢性疲労状態だった。出産後頼れるサービスが欲しかった。
24	特に小児科は地域によって充実度に格差があるように思う。急を要している際に遠方のかかりつけ医まで行くのは大変なので、小児科医が高齢化している地域など、スマホアプリでの診療などがもっと手軽に普及してほしいと思う。病院に連れていくべきかどうか悩む程度の症状でも、気軽にかかる事ができると思うので。

= 「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」の理由 (833 件) =

「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」の理由について、放課後児童クラブ等の子供を預かってくれる場所の拡充や時間延長、警報や学級閉鎖時等の急な休校時に預かってくれる場所を求める意見のほか、子供が安全に自由に遊べる場所を求める意見が多くみられる。

1	放課後こども教室に携わる人員を増やしてほしい。学校によっては利用人数が多く、環境が狭すぎるため、施設増も必要。
2	不登校の生徒、児童の学習を支援できる体制に全くなっていない(一部地域のみ)ため、不登校の自分の子にサポートが足りないと思っているから。
3	24 時間子どもの居場所の充実。職場環境の改善も必要だと思うが仕事のしわよせもあるし、キャリアをつみたい人もいるので、子どもをあずけてもあたりまえという社会のほうがすごしやすいと考えます。社会で子どもを育てる的な。
4	今はだいぶ充実しているが、子どもが小学校通学の頃こまった。台風など警報が出た時学級閉鎖のおこった時などあずけられる所があるとよかった。
5	1 番下の子供が病気で入退院を繰り返しています。身近に頼れる人がいなくて、旦那が仕事を休み子供達の世話をしていますが、その分、収入が減ります。前に、旦那も仕事があるし収入も減るしで、何か手はないかと市にこの事を相談した時、児相しかないと言われました。児相に預ける事は親としてできず、このような場合などに気軽に預けられる場所が欲しいです。
6	うるさい、危ないなど、子供を外で遊ばせると、地域から学校へ通報が行くため、子供をのびのびと外で遊ばせることができないから。
7	公園で遊ぶ際、小さい子の遊具は整備が進んでいるが、高学年になれば遊具で遊べなくなる事を考えてくれている。昔のようにボールを使ってのびのび遊べる場を整備してほしい。遊べないからゲームに没頭してしまう。
8	放課後児童クラブでは外遊びができず、また、職員や設備不足に感じた。子供が行きたがらなくなってしまう、十分に活用できず、仕事との両立が大変です。
9	学童保育について、夏休みなどの長期休暇中は、利用開始時間が、親の就業時間より遅くなり負担が大きい(遅刻していくなど)。お弁当作りも季節柄、気を遣うし、親は仕事には変わらないのに負担が増え大変だった。
10	長期休み(特に夏休み)暑すぎて公園にも行けず、共働きだと1人で子供が家で過ごす時間が増える。児童クラブに行くほどではない(高学年)場合、体育館等、開放される施設が増えると助かります。
11	保育所や放課後児童クラブの充実と手続きの簡易化。子育てしながら仕事しながら大量の手書き書類を用意するのは困難。
12	下の子(小2)の放課後児童クラブが今年度より有料化され、月5千円支払いとなり家計を圧迫している。姉は高校生で今から大学に向け貯金したい時なのに…中2の子も今後の為にお金を貯めたいから必死で働いているのに、どうして幼い子(小2)を預ける児童クラブが今年より有料になったのか、理解できない。
13	小1の壁といわれているもの。あずける親などいない場合、働き方を変えるしかない。実際に正社員からパートに変わり自身の収入はかなり減った。ファミサポは、地域によってはサポートしていただける人がいなかったり、遠方から来てもらう事しかできなく、交通費など考えると現実的ではなく、利用をあきらめました。

14	親がいつでも家に居られることもなく、親にもリフレッシュが必要。学童に行けない（親の就労が週3日とか）など、預かってくれる所がなくて困る。
15	教室での学習に適応できない子が安心して日中すごせる場所が、各学区1ヵ所以上あって、それで出席とみとめられるような施策を早急に作ってあげてほしい。それで授業が進まず、学校側や同じクラスの子も迷惑しているだろうけど、多分適応できない本人もつらいだろうと思うので…。
16	近隣の公園で遊ばせると、近所の人かどうか分からないが、ボールは使うな、大きな声を出すなどという注意が来る。今の子供達に遊ぶ場所は、少なすぎる。中高年の方々は、自由にホールやグラウンドゴルフなどを使用するのが、当たり前かのようにしている。
17	学校に行かない、行けなくなった子どもたちが自由に行き来して良い場所。その親も気軽に出入りして相談できる専門の人がいる施設があると良いと思う。予約して・・・とか一つ壁があると難しい。オープンにして誰でも認知してると良い。学校説明会でしおりなどに紹介文があると頭の片隅に残っていて、いざという時に頼れる。
18	ボランティアでお金を集めてこのような場所を作っているのでもっと県や町がやるべきだと思う。
19	家でゲームばかりで人との関りが少なくコミュニケーションが心配。児童館など、土日利用できて、ゲームなど自由に楽しく集まれる居場所作りをぜひお願いします。
20	いきいきクラブ、地域で分けてくれているのだから、集団登下校できるようにしてほしい。長期休みは特に。仕事しながら送り迎えが大変。宿題や学校の勉強をおしえてくれる場所がほしい。塾ではなく。
21	特に不登校の子どもが学校ではない居場所を選べるようにしてほしい。フリースクールが高くて行けない。そこをどこに行っても無償にしてほしい。
22	近所の小さな公園では限られた遊びしかできないので、小学校の校庭を放課後開放してほしい。放課後の校庭は先生方の管理ではなく、公園と同じ扱いにして、何かあれば親や近くの大人に助けを求めるでも良い気がする。
23	いつでも子どもを預けられる場所が欲しい。1時間1,000円までなら、有料でもかまわない。ファミサポなどは事前登録やマッチングなど、手続きが多いと思う。
24	放課後児童クラブは人数が多すぎると感じる。また、1～6年まで同じクラスは無理があり、4年生頃から子供が利用したくないと言い、とても困る。仕方なく、家で1人留守番となっているので、すごしやすい環境作りをしてほしい。
25	子供が自主勉強出来る様に無料の学習スペースを増やしてほしいです。図書館や支所、公民館などの会議室を使用していない時には開放してほしいです。
26	市の放課後児童クラブが4月から有料化され、外遊びや学習面でのサポートなどサービスの質が向上されると聞いていたが、今のところ全く変化なし。費用が上がった分への対価が必要と思う。また、長期休暇期間に1回習い事へ外出しても、定時内であれば戻れる仕組みにならないか。夏休みの放課後児童クラブで、途中習い事をしに外出した後に戻れる場所が現在なく、より安全な生活を送れるシステムになれば有難い。

= 「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由 (1,260件) =

「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由について、子供の病気等で休む必要があっても休みが取りづらい風潮がある、休みが取れても有給だけでは足りないため休んだ分収入が減る、正社員になりたくても休みの取りやすさを考えると非正規社員にならざるを得ない、といった意見のほか、リモートワークも当たり前を選択できる環境が欲しいといった意見が多くみられる。

1	勤務先で時短制度はあるが3才の年度末までとなっているので小学校入学時まで、時短制度を利用したい。帰宅時間が早い事と、慣れるまで心配なので、小学校1年に入る時に仕事と育児の両立が難しくなるポイントだと思うから。
2	子ども（何才でもOK）がいる家庭では仕事（正社員）に就社する時間を遅くしてほしい。
3	残業が多く、多忙すぎて家庭との両立ができません。収入があれば困っていないという考え方が誤りです。共働きでも家庭で子供と過ごす時間が作れるよう、まずは働く子育て世代への時間的支援を望みます。
4	家事や育児で平日昼間2～3時間ぐらいであれば働けると思うが、働き先を見つけるのが困難。パソコンで家で仕事できるととても助かる。
5	晩婚のため子育てと介護問題（老親の）が並行してきている。母親としては子育てを最優先に考えたいが、思うようにいかないことがあり、悩ましい。女性の社会復帰がスムーズにできるような世の中になって欲しい。
6	子どものことを考えたらなかなかフルタイムの仕事につけない。ブランクができると子供が大きくなってからの就職が難しい。
7	子供は病気や熱になりやすい。保育料は高いのに5日しかない看病休暇じゃ足りないと思う。
8	テレワークや休暇も1つの手段として重要ですが、子育て世代は時間に追われていることが多いと思います。PTA、学校行事、ボランティア、消防団など親の時間をしばるものから解放することも考えて頂ければと思います。
9	子育て中にも、資格を取りやすい環境があれば嬉しい。仕事にできる資格がオンラインなどでとれれば、やってみたい。
10	育休が終わると同時に、待ちかまえた様に大量の仕事任せられ、子どもを朝7:00～夜20:00まで保育園に預ってもらう日々が続き、子どもも私もつぶれてしまいました。せめて、時短制度が小学校の間は有効になっていたら、仕事を辞めることなかったと思います。
11	仕事と家事の両立はしたいが、その分の負担は若い子達にもいくので、育児や子育てしやすい環境は必要だが、その負担をになう人達にも配慮が必要。働く時間をその日で開始時間を変えたりできるとライフスタイルにあった働き方もできる。例えば母は朝早めから働いて、父は朝遅めから働くなど…。親が安心して働けるように、子供の安全の確保（通学路の不審者対策、地域での見守り等）。
12	保育士の働く環境（給料、人数（0歳児3対1、1～2歳児6対1は厳しい）など）を整えてもらわないと、成り手不足。育児が辛い、自分の時間（リフレッシュタイム）をとりたから…と思っている方が預ける場所を確保する為にも、国に頑張ってほしい。発達障害児も昔に比べかなり増えた。昔のように年長児30人越えを一人でみることはもう難しい。だが、親が認めないと手帳も加配もつかない。もっと質のいい保育を提供したいが、ゆとりある人数の保育士がいないと、心にゆとりをもって関わることは難しい。保育士をしたい！！保育士の仕事に又戻りたい！と思える環境を…。これは子育て支援にも、虐待防止にもつながると思います。



13	仕事をしながらでも学校と連絡をとる方法に工夫してほしい。メールやLINEなどの電話が5:00までだと仕事終わりに一切連絡できないし、予定表が紙だと子供が出さないのだから全くわからないまま。スマホで確認できるようにしてほしい。1ヶ月前のおしらせでは休暇が取れないのもっと早くしらせてほしい。
14	職場環境は、自営業なので、関係ない。仕事休めないのだから、子供と過ごす時間がない。自営業者にも優遇される制度がほしい。
15	一番困るのは、子どもの急な体調不良や警報などによる休校。職場でシッターの契約があると安心して働けると思う。
16	育休など男親はまだまだ取りにくい社会だから。
17	子どもを理由にするのはダメな風潮がある。子どものいない人も働きやすくないと子どものいる人はいいいねと言われがち。
18	子供が小さい間は発熱や体調不良で急に休むことが多いので「休む」と言いやすいように、又、小さい子にとって親と過ごすことはその後の人生にとっても重要なので、小さい子の世帯の親が残業せず早く家に帰れるようにしてほしい。疲れて帰ってイライラして子供にあたるようでは…子供によくない。
19	子どもの体調不良時、欠勤になり、何も給与補償がない。有休を使うしかなく、有休が年間で足りなくなる。
20	ぜひ週休3日制の導入（又はリモートの充実）を進めて欲しい。子どもが健全に成長するためには、学校・地域といろいろな力が必要だけれど、1番は家庭であると思う。週休2日、フルタイムで働いていると子どもとかかわる時間が本当に短い。
21	子供の学校行事や子供の体調不良など休まなければならないことが多く、このような休みはパートならまだ許されるが、正社員だと許されない。現状、正社員になりたいが、パート勤務をしています。
22	母親は仕事、子育てだけでなく、学校等の役員を掛け持ちしたり、とにかく負担が多いので、それに見合う働き方の仕組みを整えてもらいたい。
23	法定労働時間内しか働いていなくても、通勤にも時間がかかるし、拘束時間が長い。リモートやフレックスがあたり前になってほしい。
24	子供や自分がコロナやインフルで長期休まないといけなくて、有給がすぐなくなるので、子供の看病休暇などを有給以外に10日ほどつけてほしい。
25	感染症や大雨等のため学校が休校になるとき、仕事は全く休めず、留守番をさせていた。必要な時に親は近くにいることができない。
26	人員不足による長時間残業や休日が減る等、子が大きいと（小学高学年）大丈夫と認識されるが、10、12才でもまだまだ親と過ごす時間が必要
27	家事や子育ては女性に片寄りがち。職場では女性の管理職は少なく男性の意見・考えが中心となり、会社としては働きやすくするための制度があるにも関わらず、使いにくい空気があるため。
28	男性の長時間労働により女性に育児、家事負担が大きくなり離職の原因にもなると考えます。休暇だけでなく、日々の育児時間を男性も十分とれうような社会になってほしい。
29	父親ももっと育児にかかわれるようになればいいと思う。一人親でも両立できるよう整備してほしい

= 「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由 (626 件) =

「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由について、特に公園に関する意見が多く、数が足りていない、あったとしてもボール遊びができない、遊具がない、うるさいと周囲から苦情が来る等が多くみられる。また、雨天や猛暑日に遊べる室内の施設や防災・防犯の教育の実施等を求める意見もみられる。

1	放課後、学校の校庭を開放して欲しい。公園では、ボール遊びが禁止で、子供が遊べる場所がない。
2	公園があるのにそこにはボール遊びを禁止の文字や、うるさいと怒鳴る大人がいる。子ども図書館なのに、一言も喋るなど圧をかけてくる職員。本当に子どもが遊んだり学ぶ場が少なく、子どもは萎縮する一方、学校でも無意味な校則ばかりを理由も説明できない大人が強要。だからみんな右向け右。乱れを許さない。なのに教育は自己主張や協調性をと言う。本当に矛盾した世の中。
3	小学生が1人で自転車で乗る時、ヘルメットをつけていない子が多いです。学校でも指導してほしいです。
4	公園があっても「ボール遊び禁止」などのルールがあり、あまり使えない公園が多い。
5	病院へ行くため、バスに乗ろうとした際「ベビーカーをたたんで下さいと」アナウンスされ、バスに乗るのをあきらめた事がある。
6	家の庭や近所の公園で遊んでいても、周辺の住民から苦情がきて、遊ぶ場所がない為（ボールの音や声がうるさいと言われる）。
7	JR やバスを利用し、そこから家に帰るまでに迎えを待つスペース(勉強できる空間)があるといい。
8	防犯カメラをもっと設置して欲しい。不審者が犯罪を起こせない環境づくりをしてほしい。
9	子連れで行きやすいお店が少ない。公園があっても遊具など整備されてなかったり、草が伸び放題でマダニなどの心配もあり遊ばせられない。
10	交通安全教育は大人にこそ必要で、子どもの特性を理解して安全に努めるべき。マナーも良くない。ながらスマホは大人がやっている。
11	学校で防災センターに連れて行ってほしい。地震や大雨体験をしてほしい。
12	小さい子供については全て「お母さん」が原因のように言われる。子供によって個性も違う。白い目で見るとはではなく目をかけて欲しい。
13	公共交通機関でベビーカーを使用するママに対する暴言などのニュースも観る度、子連れのママ達が、気がねしたり、肩身の狭い思いをしたりする事がないようにしてあげて欲しいです。
14	アレルギー対応してくれるスーパーや食事場所があるとすごくたすかる。現在は、商品がなかなか1ヵ所で手に入る事が少なく、商品そのものが少ないのでこまっている。
15	通学路も含め、公園や道路の整備が出来ていないので防犯面や交通安全で不安を感じている。
16	中学生が家や学校以外で気軽に行ける施設があれば良いと思います。
17	バリアフリー化、子育てし易い環境、ボール遊びを出来る遊び場。フェンスの低い公園の前に住んでいて、基本的にボール遊び禁止となっていますが…子供は思い切り遊びたくて小、中学生、高校生が何度も家にボールをぶつけます。その度に注意しないといけないし、もっと遊んでほしいのでフェンスを高くして、子供は遊んでも良い事にして欲しいです。

= 「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由（512件） =

「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由について、児童虐待のニュースに心を痛めているからという理由が多くみられる。第三者がもっと介入できるようにすべきとの意見のほか、子供の保護だけでなく親へのケアも必要等の意見がみられる。

1	TV やネットニュースで虐待による子供の死を見るたびに、悲しく、つらくなる。少しでも早く、周りが気付いて、動けるような世界にしてほしい。
2	児童虐待される子の援助も大切だが、児童虐待する親の背景の苦しさを手助けできる仕組みと心を持った専門員が欲しい。親を助けると苦しんでいる子どもが少しでも減ると思うから。
3	親になるという自覚が乏しいままふさわしいとは言えない養育環境にある子どもを見ることがあるので、子どものための直接的な取り組みというよりは親向けの学びの場があったらいいと思ったから。
4	最近、児童虐待が本当に多い。ニュースになっていない、周りに気づかれていない（気づいてもらえない）子供達がたくさんいるのが現実。ほんの少しでも危険性があるきっかけがあったら「様子見」「観察」ではなく、即離す必要があると思う。定期訪問も、次行くまでの時間が長いと何があるか分からない。子供が親と一緒にいたいと望むのを優先する場合が多い（尊重される）が、命を守ることの方が重要。時には「強制力」も必要。
5	子どもと24時間一緒にいることは、どんなに子どもが好きな人でも心労がすごい。虐待までに追い詰められる前に、子どもと少し離れられる環境やサービスがあったらいいと思う。
6	相談・通報しやすい施設が必要と考える。警察では少し気が引ける。厳しい処分も必要。抑止力につながる。
7	子どもへの声がけは難しい。たとえば小学校の1年生初めの参観日などで、著名な子育てアドバイザーなどによるワークショップなどを開き、ロールプレイしながらの声がけ方法習得など、大人の硬い頭をほぐすような試みをしてみてはどうか。
8	自分のまわりでも虐待では？と思う家があります。しかるべきところへ連絡しても介入できていないのでは？また子供を強制保護できる（警察レベルで）力を法整備すべき。子供が未来の日本を支えるのだから1人の命も失って欲しくない。
9	子ども自身にも性的虐待という自覚が持てるように教育をしたり、チャイルドラインや人権110番などへ子どもからもっとアクセスしやすくなるよう周知をして欲しい。また、全ての学校にSSWを配置して、教師以外に子どもや家族の困りごとに対応できる制度をととのえて欲しい。
10	日々、何の罪もない子供達の命が奪われていくニュースは胸が痛む。核家族化しているので、地域や医療機関が連携して防止に努めて欲しい。
11	ネグレクトやヤングケアラーの子供たちを救えるような取り組みがあってほしい。手助けしたいが、何ができるかわからない。
12	子供からアクションを起こすのはなかなか難しいと思う。近所の人など少しでも気になったら相談できるところがあればいいと思う。
13	児童相談所が機能不全を起こしているように感じる。専門職、特に経験者を増やし、民間との協働を行うべき。
14	弱い子どもが声をあげられず（または無視され）犠牲になる事のない社会に変わってほしいから。母親の精神的サポートの必要性。父親の育児への積極的参加を促すプランがあればいい。

＝ 「家族と暮らすことのできない子供への支援」の理由（204件）＝

「家族と暮らすことのできない子供への支援」の理由について、施設や里親を増やすための取組が必要、施設を出た後のフォローが必要、そもそもこの支援に対する認知度が低い等の意見がみられる。

1	子供が欲しいのにできなくて、でも子供を養育したい人はいるのに、厳しすぎて里親になれない人がいる。もう少しハードルを下げるとか、今の時代に合った制度に見直した方が良いと感じる。
2	現在どのような形の支援を行っていらっしゃるかは知りませんが、それぞれ支援を受けた後の人生を考えて支援したらおしまいではなく、生きていく為の助けとして役に立っていく取組があればいいと思います。
3	受け入れ施設が少ない。施設退所後のアフターフォローを充実させる必要があると思います。
4	里親についての知識が広がっていないし、里親になるためのハードルが高くて浸透していかないと思う。
5	広島に限らず、日本全体として社会が障害者に対してまだまだ差別的だと思うので、里親手当がもう少し増えれば、私も里親になってみたい。物価の高騰などあるので時代によって手当が充実していれば、もっと制度が認知されればいいのにとと思う。
6	他県から移住してきたが、広島は特に、児童養護施設が多いという印象だから。ネグレクト、虐待も、親世代が教育できないというより、愛情の与え方や伝え方が未熟、又は親が愛情に飢えていて、子供に愛情を与えられていないように感じる。学力というより、人を愛情をもって育てるといことが後回しにされているように感じる。
7	入所中のケアはもちろんですが高校（私立）進学や専門、短大、大学と努力や頑張ろうとしている方に対してしっかり援助してほしい。学費は無利子で貸すなどバイトで学業がおろそかになるということは本末転倒。
8	施設で18才まで保護してその後は放っとくのではなく、社会や地域ぐるみで支援して家族の代わりのような存在になってほしいから。全てはこの国の将来を担う子供達にすくすくと育てて欲しいから。人に優しく接して、困ってる人を助けることのできる、経済的にも精神的にも自力した強い人間に育てて欲しいから。
9	施設を出た時のしばらくの免除やお金の仕送りなど。
10	児童虐待を防止する事はとても難しいとニュース等を見て感じるので、せめて子供達の受け皿になる施設の充実を。
11	県内で認知度の低い支援だと思う。
12	暮らせない理由は様々ですが、社会の中で居場所を実感出来る様に、個々に寄り添った支援が必要だと思います
13	虐待などを防ぐためにも親やその周辺の環境をととのえたり、逃げ場をつくってあげるといいと思う。教育も必要かと思う。
14	親と暮らせない事情のある子どもが、可能な限り、家庭的な環境（里親やファミリーホーム）で生活できる支援に力とお金を使ってほしい。

= 「ひとり親の子供やその家族への支援」の理由 (389 件) =

「ひとり親の子供やその家族への支援」の理由について、養育費を取り決めても支払われない、働くほど損になってしまうので手当の所得制限を見直してほしい、子供が中高生になってからがとくに厳しいといった金銭面での意見が多くみられるほか、申請手続きが煩雑等の意見もみられる。

1	祖父、祖母と生活していると児童扶養手当が支給されないというのはとても不便である。将来のことを考えたらとても不安です。
2	1人親になっても、収入の制限により援助を受けることができない。養育費など、弁護士をたずねなくても、相談し、アドバイスしてくれる場所やサービスを知りたい。
3	病気で仕事ができない時期、本当に困っている時に児童扶養手当などの支援が受けられなかったのが不安だった。前年度の収入を見るところで。現在の状況を見て対応していただけると助かると思う。
4	父子家庭の支援が何一つない。前年度の収入で判定されて、役場でも何も出来ないと言われた。1人親になって仕事と子育ての両立する事で、収入も下がる事は明らかで収入に関係なく、ある程度支援が必要。
5	ひとり親家庭はどうしても収入が少なく、生活費だけでギリギリの生活になってしまう。水道、電気、ガス等のライフラインをもう少し支援してもよい。
6	養育費を取り決めても、支払われず、行方も分からなくなって、生活が苦しくなる。弁護士に依頼しても支払われず、弁護士費用高くつくので、差し押さえまでできず、泣き寝入りの為、その対策を考えてほしい。
7	子供が大きくなるにつれ出費が増える。特に高校ではまとまった大きなお金が必要だったりする。正直修学旅行も経済的な理由で諦めてもらおうかと思う程。本人には申し訳ない。
8	ひとり親の収入制限(手当や乳幼児医療等)を撤廃してもらいたい。子供に不憫な思いをさせたくない一心で働いた結果、ふたり親世帯と同じ支出では結果生活が苦しい。
9	子どもは多くの大人がかかわって育てるべき。社会で育てるべきを一人で育てるのは大変。特に母親は金銭面が大変だろう。父親もPTAなどの母親メインの活動は大変。仕事を休んでPTA役員をさせることを求められている人を見たが、生活の糧を奪ってPTA活動をさせることの意味は何か。一人でできないことは社会で支援すればよい。
10	本当に困っている人にはしっかり税金つかって支援してください。私の周りの1人親は、共働き世帯より良い生活をしている。もっとしっかり1人親について調査してもらい、親からの支援、同居の家族について調査して欲しい。そこにも税金つかって欲しい。
11	ひとり親として3月まで生活していたが、市のひとり親申請等手続きがアナログすぎて、働きながら更新したり届いた手紙にむずかしく書かれた文面、全てがめんどろでした。市役所に行く時間の余裕がとれないことを理解してもらえていないことが残念でした。
12	教育格差をなくして欲しい。習い事や、塾等の金銭的な支援。私立中学・高校の授業料の支援。
13	中途半端に所得があるので補助金や、援助を受けられない。また税金も物価も高いのでゆとりある生活はできない。またいつ仕事なくなるのか分からないのでひとり親でも歓迎してくれる仕事の紹介などして欲しい。(相談所等)
14	手当でばかり出すのではなく、ちゃんと働いて(正規)、自立してもらうことに力を入れてほしい。

= 「障害のある子供やその家族への支援」の理由(724件) =

「障害のある子供やその家族への支援」の理由について、グレーゾーンの子供に対する支援の充実、卒業後の進路に対する支援や情報提供、悩みを相談できる場所、周囲の理解を求める意見等が多くみられる。

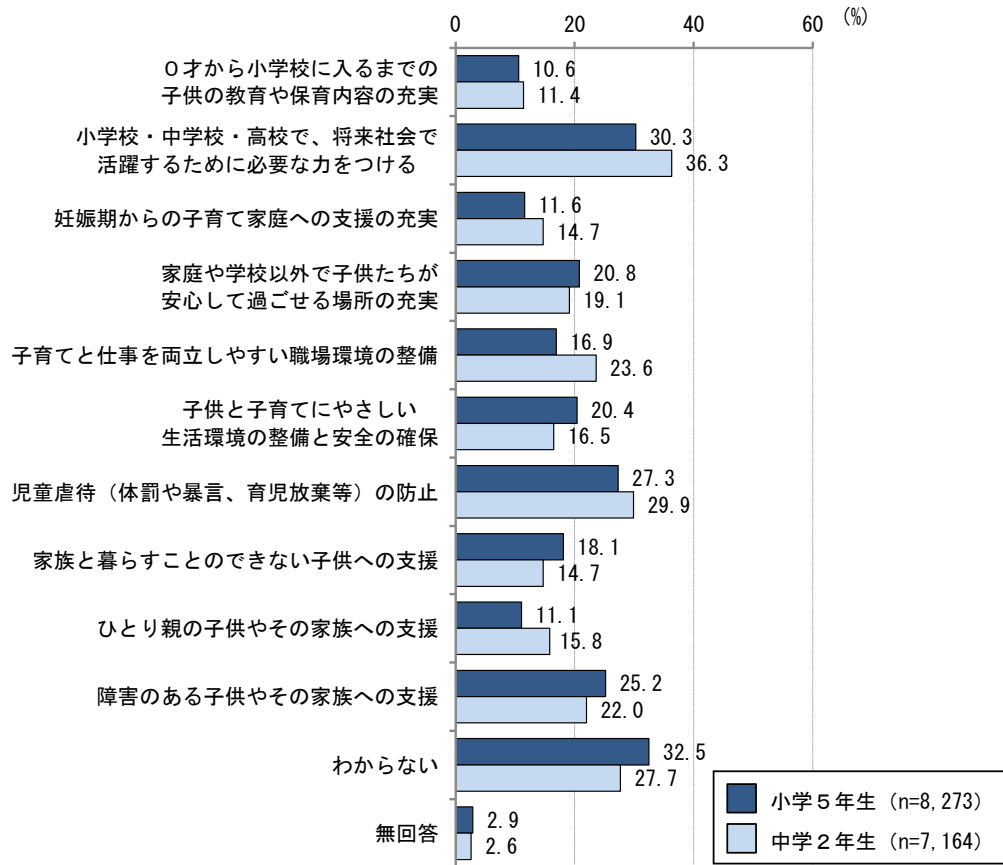
1	ネットだけでは情報収集がむずかしい。直接役所などに出向かないと話が聞けないのはしんどい。障害児を抱えて、話を聞くことじたい、むずかしいため。
2	息子と娘が障害を持っています。息子は現在、行ける高校があるのか…卒業出来るのか不安を抱えています。通信制高校へ相談に行きましたが、先生が「合理的配慮」を知りませんでした。別室試験や時間延長等にも対応されていないそうです。先生から、正直、卒業させられる自信が無いと言われました。通信制高校でも「合理的配慮」を実施してもらいたいです。そして、障害のある子が高校卒業出来る様行ける高校(特支クラスの設置)を希望します。
3	もっと親の会や先輩の話等の機会をいろいろな所で開催して参加しやすいようにしてほしい。
4	障害があるかと思った時、まずどこに相談していいのかわかりづらい。窓口を一つにしてほしい。
5	障害を持った子供が地域の小学校・中学校に入学するのに学校側と保護者が話しをする時間、お互いの支援と配慮に納得し、通学できるようにしてほしい。教育員委員会に相談しても「学校と保護者で話し合ってください」としか言われず結局、保護者が「わかりました」と言うしかない。
6	子供2人が発達障害ですが相談する場がほぼありません。療育の病院も車で1時間以上かかる所にしかありません。
7	グレーゾーンの子どもの環境が難しく、学校の先生は発達障害の勉強を大学で行っていないと先生に聞き、子供が学校に行けなくなったり、自己肯定感が低くなったことがあった。グレーゾーンへの理解等、学校にも周知して欲しい。
8	難病指定に入らない病気があり診察代、検査代が莫大にかかって困る。
9	療育を受けたくても予約が取れない、定員オーバーで入れない等、もやもやする。時間がかかりすぎる。親が動かないと何も情報を得られない。HPを見てもよくわからない。「詳しくは各区役所へ…」ってあるけど、仕事してるから行けない。行けないからHPで調べたのに。障がいの事だからなかなか人に相談できないし。もっと情報をオープンにしてほしい。そして、例えば「この障がいの人は、こういう支援が受けられます」「民間療育施設の紹介」「手帳を取得するとこういうサービスが受けられます」等、もっと簡単に情報を得られるHPの作り方、見せ方をしてほしい。また仕組みもよくわからない。育てにくい子は、ずっと育てにくい。年齢によって支援内容は変わるのに、低年齢児の支援、対応方法の情報ばかり。中学生以上の支援対応方法の情報もほしい。特に障がい度合いが軽いと特別な支援からはずれ、どうしたら良いのか分からなくなる。
10	下の子に障害があるが、所得制限で毎月数万円、放課後デイサービスにかかってしまう。しかし、学習支援をしている所は少なく、個人で家庭教師等利用することは経済的にも、共働きの環境的にも難しい。

11	障害児の日々を支えてほしい。通学にバスを使用しているが付添が必要で父母・祖父母が疲弊している。移動支援サービスを探したが、地域、時間帯的にどこも断られてしまった。支援学級は小学校では個人に合わせた対応をしてくれていたのが、中学校では担任と1対1であるにも関わらず、担任が教科を受け持っていること、支援スタッフが足りないことを理由に、1人で交流クラスでよくわからないまま過ごしていることがあるとのこと。担任はアフターフォローをしてくれているが、本人のストレスが強く、他にもいろんな面で限界を感じている。
12	子どもが2人とも発達障害であり、上の子はコロナ休校後の不登校等で困ったが、支援窓口が分かりにくかった為。また現在引きこもりになってしまった上の子の相談先がもっと早く分かっていたら現状が違ったのではないかと感じる為。
13	軽度発達障害への対応が学校の先生に理解がない。病院などから言ってもらっても、家庭が悪いので子どもがうまくできていないと思われ責められてしまう。医療費の助成があっても医療機関への交通費など出費がかさむ。
14	子供が中学生になってから発達障害があるとわかった。色々な面でサポートが必要だが、想像以上の費用がかかる。子供には将来元気に社会で生きてほしいが、親としては経済的に苦しい。重度の障害には手厚い支援が必要だが、軽度の障害には特に何も無い気がする。経済的理由からサポートを諦めている家庭も多いのではないと思う。現金支給ではなく、軽度の障害者たちが、学びや働きやすい環境をサポートしてほしい。
15	学校で特別支援学級に関わる先生の異動が多く子供が不安になっているので、寄りそって下さる先生を常時配置してほしい。
16	義務教育終了後の進路の支援、療育手帳非該当のため支援学校進学や学力がなく高校進学ができない子の自立に向けた公立の進学先を作ってもらいたい。
17	障害がある子どもがいるが、毎月の病院受診、薬代以外にも出費は多いが療育手帳をもらえるほどではない。しかし、知的障害・身体障害の方には福祉や支援が手厚く、精神障害グレーゾーンと言われる方への支援は不十分と感じる。又、子どもだけでなく親も病気になり両親がそろっていても実際はワンオペ状態の家庭は、精神的・経済的・将来も不安しかなく毎日がいっぱいいっぱいな状況を知ってほしい。
18	障害のある子を持つ親として、卒業後の進路が漠然としていて情報がほとんど入ってこないの、情報提供等の支援をしてほしい。
19	知的障がいの子どもがいるが、相談できる所がない。軽度なので支援も外されてしまった。社会に取り残され将来に不安を抱えている。
20	障害者の親の支援も必要だと思う。悩んでる人が多いと感じる。児童精神科への受診の待ちが半年とかで困る。
21	障害の子どもを遊ばせると白い目で見られたり目立ったり、トラブルがあったりで親は、安心して伸び伸び遊ばせられない！人目が気になったり気を使う！ストレス等で困っている人もいますので！安心して伸び伸び身体を使い将来の為の訓練場所があったらいい！特に保育所、学校等が休みの日に利用出来る所があったらいいと思います。
22	発達障害で支援学級にいたとき、放課後クラブから大人しくしていても、やめてくれてかまわない、と言われました。ほかの同じ境遇の親も言われた、と怒っていた。

## (2) 子供の状況

子供票問 24. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【全体】



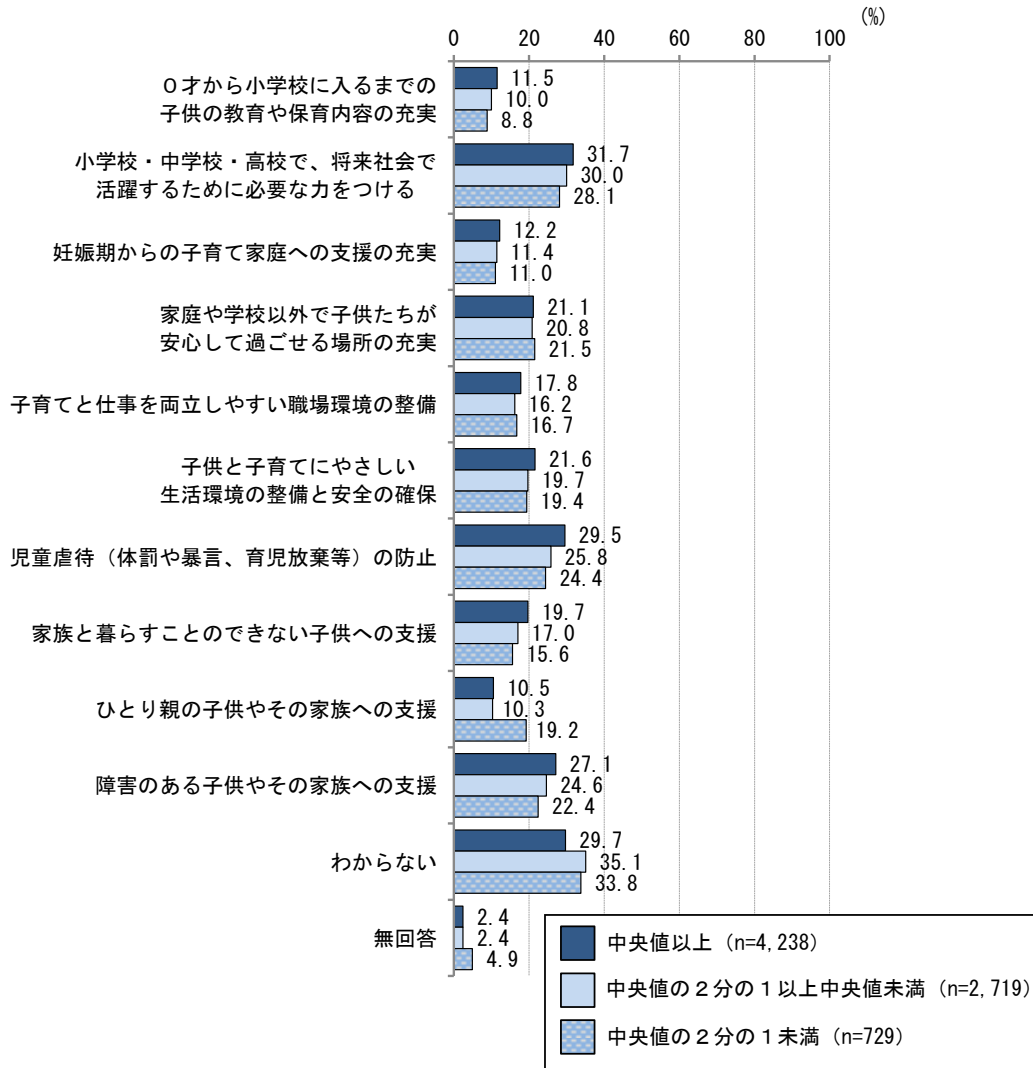
力を入れてほしい子供に関する取組について、小学5年生では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が30.3%、次いで「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」が27.3%、「障害のある子供やその家族への支援」が25.2%などの順となっている。

中学2年生では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が36.3%と最も高く、次いで「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」が29.9%、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が23.6%などの順となっている。



子供票問 24. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【等価世帯収入の水準別\_小学5年生】

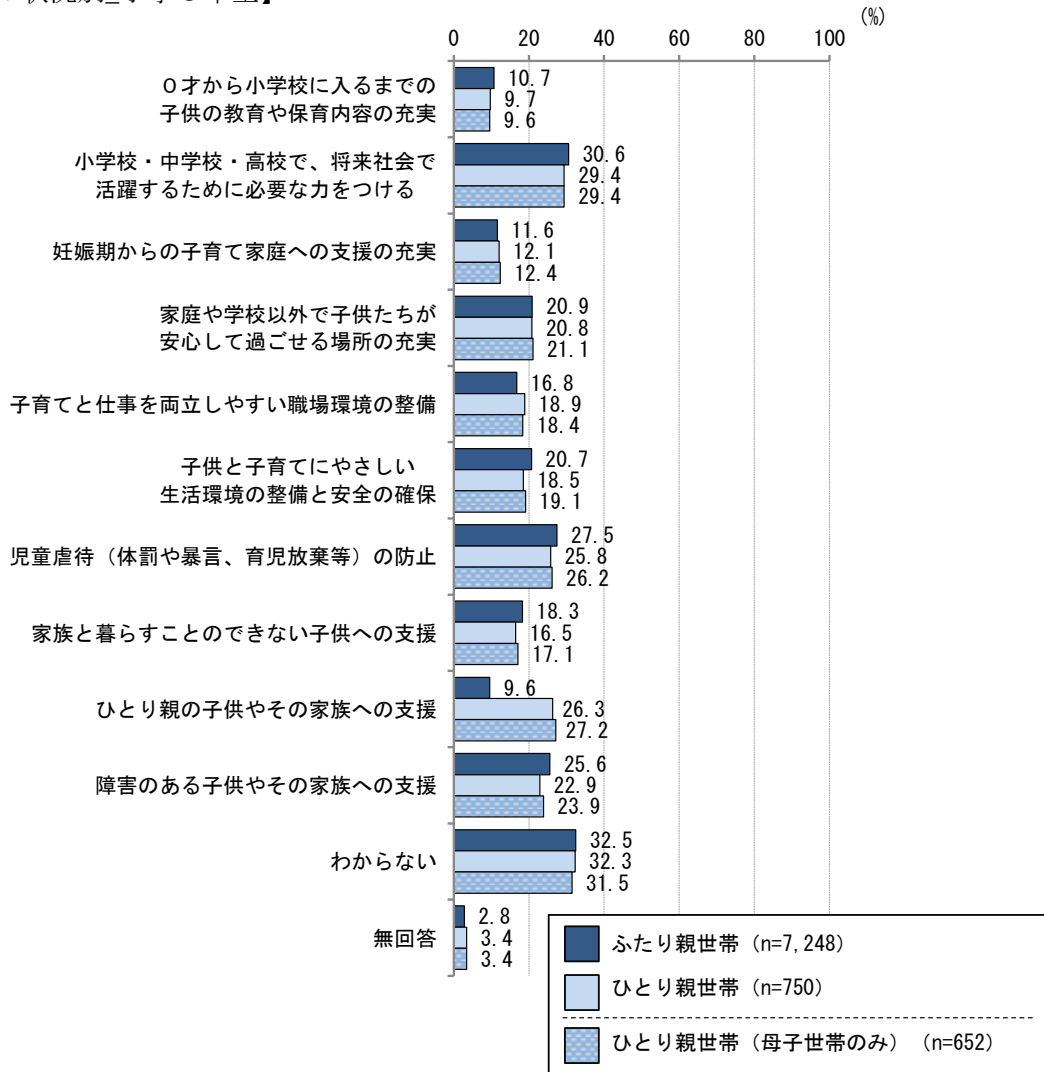


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「ひとり親の子供やその家族への支援」が19.2%と他の世帯と比べて高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」、「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」、「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」、「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の5項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 24. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【世帯の状況別\_小学5年生】

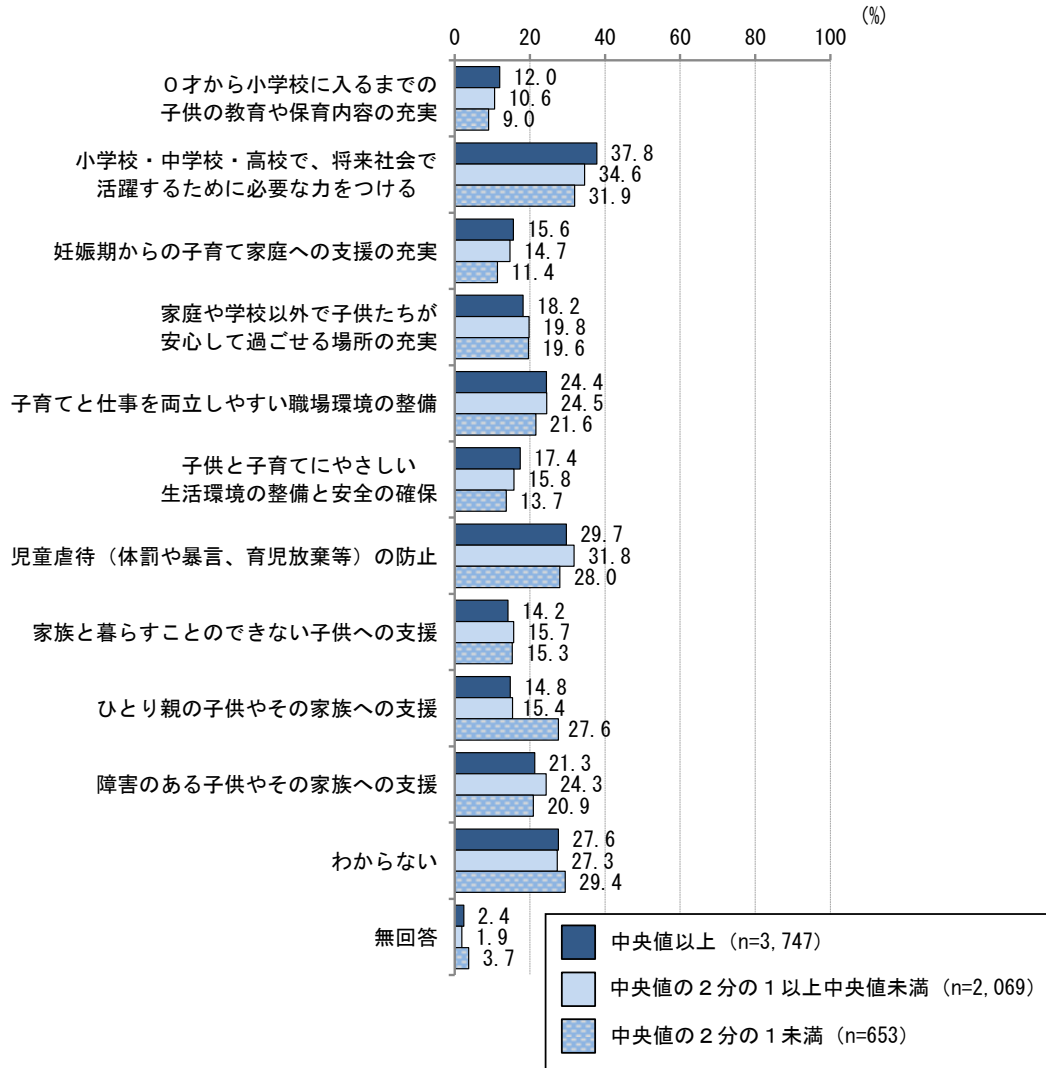


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子供やその家族への支援」が26.3%と高くなっている。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」、「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」、「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」、「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」、「児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止」、「家族と暮らすことのできない子供への支援」、「障害のある子供やその家族への支援」、「わからない」の10項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 24. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【等価世帯収入の水準別\_中学2年生】

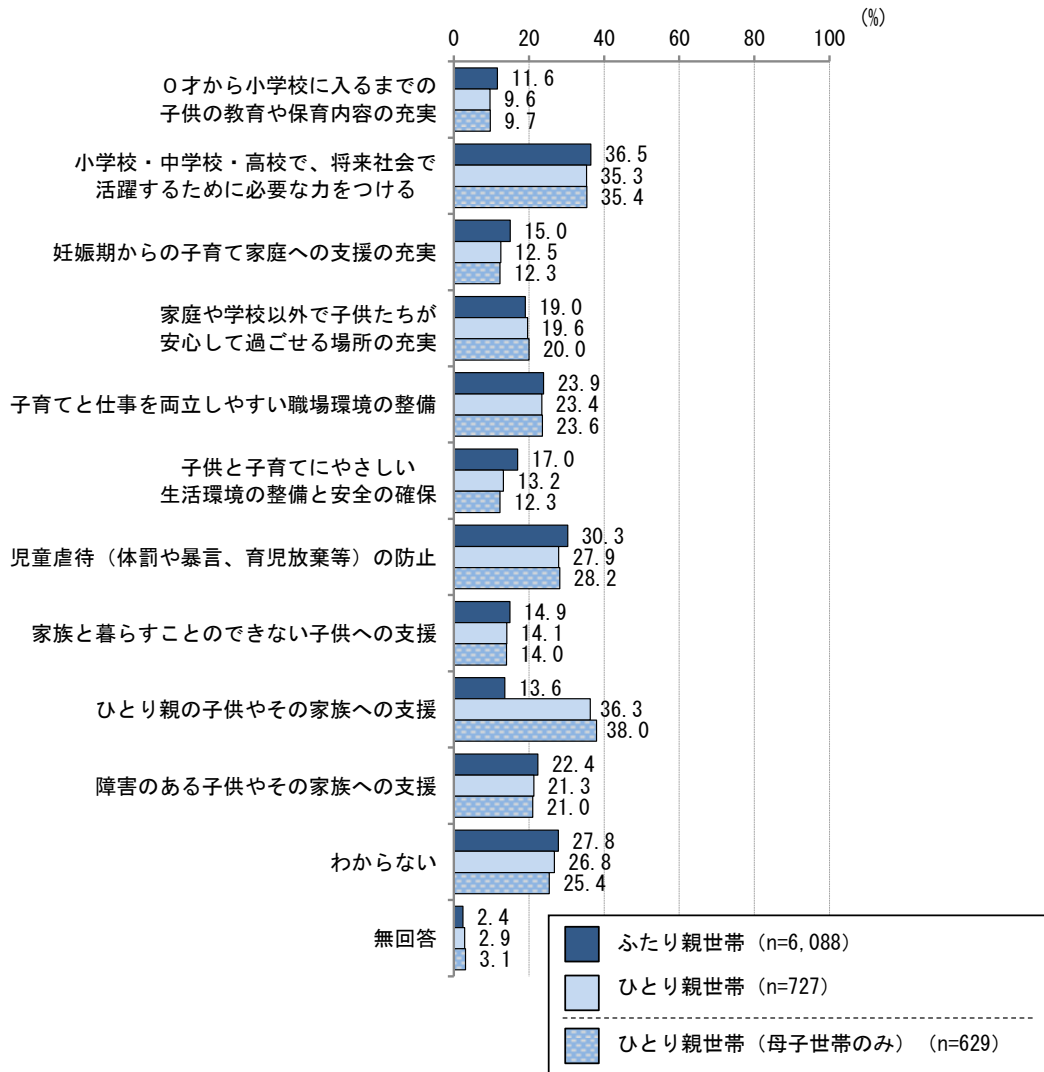


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「ひとり親の子供やその家族への支援」が27.6%と他の世帯と比べて高くなっている。

※等価世帯収入の水準別の集計結果について、「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」、「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」、「児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止」、「家族と暮らすことのできない子供への支援」、「わからない」の6項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

子供票問 24. あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。(3つまで)

【世帯の状況別\_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「ひとり親の子供やその家族への支援」が36.3%と高くなっている。

※世帯の状況(ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか)別の集計結果について、「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」、「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」、「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」、「児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止」、「家族と暮らすことのできない子供への支援」、「障害のある子供やその家族への支援」、「わからない」の9項目については5%水準で統計的に有意な差ではなかった。

## ※問 24 で「1～10」と答えた方に

## 子供票問 25. 理由があれば教えてください。(自由回答)

※以下は、主な意見を抜粋して掲載

＝ 「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」の理由 (368件) ＝

「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」の理由について、幼稚園や保育園に入れないといった待機児童問題や幼児のバス置き去りや虐待等の問題、小学校以降の学生生活や将来大人になったときに困らないため、といった理由がみられる。

1	保育園に入りたくても入れない人が多くいる事を親から聞いたことがあるため。
2	保育園や託児所などで子供や赤ちゃんが、亡くなるというニュースを見ることが増えてきているから。
3	少子高齢化を止めるには子供を産みやすい環境をつくるべきだと思ったから。
4	小さいころから英語を少しでもおぼえておくと小学校のときに生かせるから。
5	小学校に上がる前からマナーや質の高い教育を受けているとマナーの基本や基礎などが身について後々困らないから。
6	幼稚園や保育所が減っているからもう少し増やしていったほうがいいと思いました。
7	教育が充実していれば将来に不安を持つことが少なくなると思うし将来にも良い影響が出そうだから。
8	最近保育園や幼稚園での体罰が目立っているからもっと子供にストレスを与えない状態にしてほしい。
9	小さいころから勉強に慣れていれば大きくなったときにあまり苦だと思わなくなるかもしれないと考えたから。
10	乳幼児期に脳や神経系、体が著しく発達する時期であるため、そのころの運動や勉強のきかいを増やしたり、家庭環境を整えたりすることが大切だと思うから。
11	小学校に入る前に覚えること(平仮名の読み書き・片仮名の書き)を確実に覚えた方がいいと思ったから。
12	生きるための力を育てて(身に付けて)ほしい。迷子の時、水難事故、交通事故など
13	もし、共働きの人が、忙しくて子供の面倒をみきれないことがあった時、安心して預けるところがあれば、みんなが安心して暮らせると思ったから。
14	幼い頃から沢山の人と関わったり勉強を通して様々なことを学ぶことで人間性を磨けたり小学校でのいじめなどが減ると思うから。
15	待機児童がなくなるようにしてほしい。また、小さいころの教育は子供の性格を左右する大切なものだと思う。
16	私が保育園に行っていた頃に自然とふれ合う機会が多く、いい経験になったと思うから。
17	ニュースで、保育所の子が、暴力をうけていると聞きました。先生に、なやみごとがないかなど聞いてほしいです。

= 「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由 (1,176 件) =

「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由について、コミュニケーションや体験、パソコンやプログラミング、税金等のお金のことなど、勉強以外の将来社会で役に立つことをもっと学びたいという意見がみられる。

1	社会に出て、大切なことだけ学びたい。
2	最近の勉強は覚えるのばかりで体験とかがあまりないから。
3	コミュニケーション力を上げると、仕事にもやくにたつから小、中、高でそういうことがしたいから。
4	学校で税金やお金の事などについて学んだことがあまりないから。
5	広島県の中学卒業時点での英検の平均が全国平均を下回っているから。
6	海外で活躍したいから。
7	今、入試のテストなどがどんどん難しくなり、面接も高校入試に入っています。なので、勉強以外にも伸ばした方が良い。
8	社会で活躍するためには学力だけでなく社会人基礎力など様々なことが求められると思うから。
9	パソコンを学べる時間がほしいから。
10	インターネットなど ICT をもっと活用してほしいから。プログラミング力など、ものごとを順序づけて考える力をつけたいから。
11	最近、思考力を問う（記述問題）が増え、頭ではたくさん分かっているけれど文におこせないからそのような教育があつてほしいと思ったから。
12	グローバル化に追いつけていないと感じる場面があつたから。
13	今の学校でやっている古文とか跳び箱とかじゃなくて、書類を書く・読む力だったり、パソコンを使いこなすことができることのほうが重要だと思うから。
14	子供たちの個性を伸ばして、なにか突出した才能を育て上げたい。社会の活性化や日本の将来を豊かなものにしたい。すべての能力が平均的な子供よりも得意なものがとことん得意な子供を多くしてほしい。
15	今の高校受験などは面接もあるし、コロナのせいでコミュニケーションの取り方が分からなくなったり苦手な人がいると感じたから。
16	学校の勉強以外の企業の出前授業や投資や株などお金にまつわる授業など。
17	今の小学生、中学生：高校生は、SNSに触れる時間が増え、大事なことを学べていないと思うから。
18	政治・経済に関する授業を行ってほしいと思ったから。
19	将来就きたい仕事や小学・中学・高校・社会人に必要なスキル(判断力や瞬発力など)を学校で身につけさせ、社会で活躍できるようにする。
20	勉強ばかりやっても、コミュニケーションなどがなかったら社会に出てうまく話せず仕事が上手にできないかもしれないから
21	不登校という言葉を最近良く聞くようになったため、防止策や改善策が必要だと思ったから
22	自分の興味がある分野を詳しく学べる環境をととのえてほしい。時間も作ってほしい。

= 「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由 (535 件) =

「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由について、少子化対策のため、生まれてくる子供の命を守るためといった理由がみられる。

1	ポスターなどで子どものことについて、相談することができるというものをあまり見たことがないから。
2	妊娠期は大変だと思うから。
3	今、日本では少子高齢化が問題になっていて、この取組に力を入れたら少子高齢化の問題が少しでもやわらぐと思ったからです。
4	相談が出来ず、そのまま迷い、赤ちゃんを捨てたり殺したりする人がいるかも知れないから。
5	ニュースで虐待による死亡が多く流れており、これは、親の環境が悪く、気持ち的に辛くなったりしてしまうから、支援をすることで少しでも親の負担が減ってほしいから。
6	この取組をすることによって、少子化問題の対さくにもなると思うから。
7	妊娠期からの支援を継続的に行うことで、乳幼児の殺害・死体遺棄や虐待が経済的な理由のものは減るだろうから。
8	少子高齢化を防ぐために、子どもを産もうと簡単に言うのは無責任だと思うから。まずは基本をしっかりさせて子どもをもつことに安心感をもたせる必要があるとも思うため。
9	もし自分が子供を産むとなったとき初めてでとても不安だから、産む前～産んだあと少しの期間だけでも、心のよりどころとして、充実してほしいから。
10	最近、産婦人科がへっているときいたことがあって、自分や他の人が子どもをうむときにこまってしまうから。
11	妊娠期は、色々ストレスが溜まったり、不安になりやすいと思うので少しでも不安やストレスが減って楽になったらいいなという理由で選びました。
12	今社会で問題になっているから。
13	医療の充実で流産などの可能性を減らす。
14	出産準備の費用が高かったりなどの理由で、子どもはほしいが金銭面で諦める人が減ると嬉しいと思ったから。
15	妊娠のかていや生理のことを男女関係なく十分な知識を得て、のぞまない妊娠のよぼう、生理への理解を広げるため。
16	会社をお休みしたりして、給料の不足だったり生活費が必要になってくるから。
17	将来自分が妊娠したときに支援があれば安心できると思ったから。
18	場合によっては家族などの親族や友達などに気軽に相談できない人がいるかもしれないから。
19	子育てするのに、たくさんお金がかかったりすることで、子どもをうみたくない人もいると思うから。
20	子供が欲しいと思えるような環境づくり、また子供を産むことの凄さを認めてもらえる社会づくりが、これからの社会で必須となると思うから。
21	少子高齢化が進んでいるので、産婦人科などの医療費を支援することで少しは解決に近付くと思ったから。

= 「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」の理由 (641 件) =

「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」の理由について、学校生活や家庭で課題を抱えている子供や親が仕事で家にいない子供の過ごす場所をつくるため、遊べる場所が少ないから、といった理由がみられる。

1	学校とかでいじめられて、安心して過ごせる場所がないかもしれないから。
2	学校に居場所が図書室しかないから、学校で苦しい時があるから。
3	家ででの家庭環境が悪く、家でやすらぎを得ることの出来ない子供達に別のやすらぎを得る場所があった方が良くと思うから。
4	仕事で親の帰りがおそいときに使いたいと感じたから。
5	放課後児童クラブなどに入りたくても入れない人がたくさんいるから。
6	公園がなく、遊べる場所がないから。
7	イベントやプログラムで楽しめる内容だとよいので、行くだけではなくて内容の充実したプログラムをお願いしたい。
8	ひとり親だと親に自由が少ない気がしているので、子を安全に預けられる場所があれば、親も楽かなど。
9	外で思いっきりサッカーをできる場所がほしい。近くにサッカー自主練できる場所がなく、どこでボール遊びをしても大人に怒られる。
10	親が仕事で忙しくて、家に1人であることが多い子供がいるし、防犯的にもよくないから。(無料のしせつもあった方がいいと思う。)
11	高齢化社会の中で、全て高齢者のために町が整えられているような気がするから。
12	児童クラブの広さがせまいから落ちついて勉強することができないから。
13	学校だけの狭い空間以外にも、世界はあることを知れるから。また、人との交流が増えるから。
14	人が怖いと感じてしまう事があったり、人からの視線が怖いと思うことがあるから、そういう事を考えずに済むところが欲しい。
15	いろんな遊びができて、しかも、監視カメラが付いている安全な公園を増やしてほしい。
16	安心して子供をあずけられるところがあれば、仕事ができやすいからです。
17	子供たちが校区内で遊びに行けるところが少ないから、土日や平日の放課後で親がいなくても子供だけで遊びに行けるような場所があるといいから。安心して過ごせる場所だと、保護者の方も安心だから。
18	個人的には相談窓口などに電話したくないから一人でそっとしておく場所がほしい。
19	家庭、学校どちらに居ても安心できない子供の為に、つくってあげてほしい。1つでも安心できる場所をあげたい。
20	勉強が家でできない人がいると思うから、勉強ができる施設が増えてほしい。
21	小さい時に感じたのが、世の中をあまり知らないの、学校や家でつらいこと、嫌なことがあっても、それが全てで、自分ががまんするのがあたり前だと、本当に世の中のせまい所しか知らないの、思い込んでしまう節があるので、人とふれ合ったり、支えあったりして色々な価値観だったり、こういう手段があるんだよと知ったり、考えたり出来る所は大切だと思ったからです。



= 「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由 (778 件) =

「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由について、親が大変そうだから、親がいないことで寂しさを感じているからといった理由のほか、少子化や虐待、男女格差等の問題を改善するためといった理由がみられる。

1	子供の孤食なども問題になっていて整備が進むと時間が多くなり家族で食べられる機会が多くなると思ったからです。
2	男性の育休取得率が低いから。
3	自分が大人になった時、子供が出来るのなら、両立しやすい方が良いから。それに、親も子供と一緒にいられると嬉しいと思うから。
4	親が頑張りすぎるとイライラしてしまうと余計いやな思いをする人が増えると思った。
5	父さん、母さんが帰ってくるのが遅くてさみしいから。
6	親の仕事場で、弟の病院のため1カ月に1回(または2回)、学校行事などで休みたいのに休みすぎと言われたらしいから。
7	子育てと仕事を両立しやすい職場環境にして、育児をできるだけ、不安が無い状態でしてもらいたいから。
8	子供たちより、子供を育てる親の方が、悩み事が多く大変だと思っているから。
9	親にもっと家にいてほしいから。
10	不安やストレスをかかえてしまってそんなことによって子どもへの虐待につながってしまうかもしれないから。
11	お母さんが子育てと仕事のどちらもやっていて、睡眠などの休息の時間が少なく、大変そうだから。
12	性的マイノリティについての問題や、男性の育休など色々な変化があるので、男性女性関係なく職場環境を整えたほうがいいと思うから。
13	兄弟の人数が多い所は、兄弟の年の差も結構あるし、親が仕事と両立して、育児もしないといけないから。
14	育休についての意識を変えていくことで、少子高齢化の改善や地域の活性化につながると思うから。
15	妊娠期の事情で休暇をとった後の会社に戻りづらかったり、子育てしている場合は残業なしで帰ることが望ましいのでその事情などをふまえて受け入れやすいように意識の改善などがあつたほうがいいと思ったから。
16	今は別に会社に行かなくてもZOOMなどで会議などに参加できるので自宅で働ける環境をもっと作るべきだと思うから。
17	仕事と子育ての両立は大変だと思うから、子供のためにも親のためにも暮らしやすい環境をつくってほしいから。
18	子育てをしたくない理由として仕事と子育てを両立させるのが難しいからと言う理由が多いのでそこを改善したら子育てをする人が増えると思ったから。
19	私の家が共働きで私が熱を出したとき両親が仕事で家にいられないことがあったから。
20	親が共働きで、とてもしんどそうで、自分達のクラブや学校のことを頼みにくいと感じるから。

= 「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由 (579 件) =

「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由について、子供が遊べる場所が少ないのでつくってほしい、事故が多いので危険な場所の整備や防犯教室の開催をしてほしい、子育ての負担を少しでも軽減できるようにしてほしい等の意見がみられる。

1	子供の子育てがお金がかかるから嫌という理由で子供をつくりたくないという人が多くいるのでそれによって少子化が進むので無料サービスを設けたりして子育てを支援したほうがいいから。
2	公園なのにボールあそびなどがおもいっきり遊べないから。
3	もっとあそべる場所がほしい (スケボーパークとかプールとか)。
4	夏は公園は暑すぎる。変な人がいたりしてこわい事がある。
5	赤ちゃんを産んだ人に住みやすい街にしたいから。
6	厳しい環境で育ってしまったら、もしかしたら、人と関わることを避けてしまうかもしれないから。
7	歩道のせまいところがあり、ガードレールもなく車にひかれそう。
8	公園の遊具が古くて使えない公園が多いから。
9	子どもの死亡原因率を見たところ、交通事故により亡くなる子どもたちがけっこういるため、もっと交通安全の教育に手を入れるべきだと思う。
10	バリアフリー化すると楽になることが増えると思う。便利になれば、子供を産む人も増えるかも知れない。
11	小さい子供が保育園でなくなってしまう事件などを見て防止して欲しいと思いました。
12	地域の人と楽しく交流できる場が増えるといいなと思っているから。
13	屋内施設 (公園みたいなもの) がある施設を増やしてほしい。自分たち子どもが犯罪にあわない・しないような教育・安全教室を増やしてほしい。
14	おそわれたとき、どういう身のこなしをして逃げれば良いのかなど、防犯教室を増やして欲しい。
15	親は子ども育てるのが大変らしいので、少しでも楽に子育てができる、楽しい、やさしい環境になったらいいなと思うから。
16	いろんな所にミルクやご飯を食べるところ、オムツをかえるところなどがあると助かるから。
17	子連れで、訪れやすい場所などがふえると、子育てをしている方も少しは、気楽にすごせると思うからです。
18	小さな子どもは、飲食店とかで泣いてしまってめいわくになりがち。だから、親の周りへの気づかいが少しでもやわらぐ、親にも赤ちゃんにもやさしいしせつをつくったらいいと思ったから。
19	小さい子供同士でふれ合うことが出来るし、子供達が行きやすく安心して遊べる場所がたくさんある方が良くから。

= 「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由（1,447件） =

「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由について、最近虐待や体罰に関するニュースをよく見るため、苦しむ子供をなくしてほしいという意見がみられる。

1	自分もされたくないし、したくもないし、しているところをニュースなどでも見たくないから。
2	子供の頃に親がどんなかわり方をしていたかで、その子が親になった時の子供への対応が変わると本でよんだから。
3	虐待を受けている子は自分から相談することができないと思うから、周りの人がどれだけ気にかけてあげられるか次第だと思うから。
4	最近児童虐待のニュースが耳に入ります。なので少しでも安心できるようにしたいから。
5	自殺してしまう子どもがいるかもしれないから。親に話を聞いてもらえなかったり、暴力をうけて毎日苦しんでいる子どもによりそってあげたいと思ったから。
6	児童虐待をしていると、大人になった児童が、子供に対して虐待をしてしまうかもしれないから。
7	ニュースなどでよく親が子供を殺したりするニュースをよく見たり聞いたりするから。
8	命に関わる事は他の人にいづらいからすぐいえるかんきょうにしてほしい。
9	児童虐待、体罰、暴言、育児放棄などで亡くなってしまった人やそれで苦しみ、自殺する人をなくすため。
10	何も悪くないのに痛い目、つらい目に合っている子供達。大量のストレスにより、子供にあたらざるをえなくなった人たちを救うべきだと思うから。
11	もっと色々な視点から見てSOSを出せない子に気づいてほしい。
12	親のストレスによって何も悪くない子供が痛い思いをするということは絶対にあってはいけないし、その親も苦しい思いをしているはずだから私たちにはその親も子供も守る義務があると思う。
13	苦しめられている子どもがいちゃいけないし、それを助けないということは、いじめみたいなものだから。
14	見つからなかったり、隠ぺいされることが多いから。
15	相談しにくかったりすると思うし、私が相談されたとしても助けることは難しいからそういう人がいると気持ちが楽になると思う。
16	テレビで保育園などの先生が虐待をしていて、子供が学ぶ場なのに、トラウマができて何かに影響するかもしれないから、無くしたい。
17	そういった悲しいニュースをよく見るからなくなってほしいと思った。
18	子どもの虐待は自殺のキッカケになるし、その子どももそれがふつうだと思ってがまんして、だれにも相談できず苦しみを根にもったまま生きていかないといけないので不平等だから。親のイライラを関係のない子どもにぶつけるのもおかしいから。
19	ヤングケアラーなどは、友達にも相談できずに1人で悩んで追いつめられたりするのをニュースで見たことがある。でも親のせいで、子どもが不自由するのはどうかと思うし、でもニュースなどで適切な処置が取られていなかったのを見たこともあるので、相談した時に対応できるようにしてほしいと思ったから。

= 「家族と暮らすことのできない子供への支援」の理由 (650 件) =

「家族と暮らすことのできない子供への支援」の理由について、家族がいない子供がかわいそうなので幸せに暮らせるように支援してほしいという意見が多くみられる。

1	自分は親がいるけど、親がいない子どももいるから、少しでもその子たちがこの後、自分が生きていくなかで安心できるようなところがたくさんできたらいいと思う。里親でも自分をほんとは自分の子と思ってくれる人がたくさんいると、安心できると思う。
2	家族とくらすことのできない子が世の中にはたくさんいて、かわいそうだと思ったから。
3	家族とくらすれない子は、心の病気や、悲しい思いをしても、そうだんできる人がいなくて、苦しいとか思う人もいると思うから。
4	親の愛を受けている子供と親がいない子供では、大きく差があると思うから。
5	子どもはひとりで抱えこみやすいから、まずは大人の支援よりも子どもを支えてほしいと思ったから。
6	家族の温かさを知ってほしいから。
7	家族とくらすことができない子どもに不自由のない生活をしてほしいから。
8	本当の家族がいなくても、ごく普通に生活をおくって周りとの差別やいじめがおきないようにするため。
9	「めぐまれない」とつらい思いをしているのに支援も少ない人と手に入れることも手放すことも簡単にできる自由な人との格差が気になるから。
10	ネットで「施設の管理がよくない」みたいなのを聞いたことがあるので1人でも多く、そんな人たちをきちんと支援してほしいから。
11	家族がいないと学習などができないから。
12	家族がおらずに不安を抱えている子の悩みを少しでも解決してほしいから。
13	やっぱり人間は、愛情を注がれて育つ。そして、触れて、見て、聞いて、学び、生活に生かすことが大切だから。
14	家族がいる人以外の子どもたちが少しでも家族のような支え合って充実した生活をしてほしいから。
15	以前、学校で「里親制度」についての紙がくばられたことがあり、自分よりも小さい子が親とくらせていない、というのを知ったから。少しでも気が楽に、そして笑顔が増えるようにしてほしいと思った。
16	自分の親に育ててもらえず施設などで育つ子は必ず将来の事などに不安を持ってしまうのでそんな子達への支援をして、少しでも不安が晴れると良いと思うから。
17	家族がいなくても「家族だ」と思える人がいてほしいから。
18	メンタルケア等の支援が受けられることは良いと思います。子供の傷は大人になってもきえない場合があります。それを防いだり、1人でも信じられたり頼れる場所があると親としても子供としても安心だと思うから。
19	暮らしたくなくて暮らしていない子供もいると思うから、完全に平等にするのは無理でも同じ子供として少しでも同じような環境があれば良いのかなと思ったから。
20	家族とくらすことができない子どもが里親やファミリーホームに入ると、その子どものくらしが少しでも楽しくなると思ったから。

= 「ひとり親の子供やその家族への支援」の理由 (510 件) =

「ひとり親の子供やその家族への支援」の理由について、自分や周囲にひとり親世帯がいて、金銭面や仕事と家庭の両立に苦労しているのを感じるからという理由がみられる。

1	母はシングルマザーで、私の事を全て1人でしなければいけないという状況です。しかし、会社での有給休暇が少ないなど、とても大変そうです。そんな母にも快適に過ごして欲しいので、ひとり親家族への支援があればいいなと思います。
2	ひとり親の友だちがいて、そのひとり親の人が大変そうだから。
3	ひとり親は子育て、仕事の両立が難しく時間がないのでちょっとでも楽にしてあげるために支援が必要だと思います。
4	自分のお母さんが1人親で、本当に大変そうだから。
5	親が一人しかいないとお金の問題が苦しそうだから。
6	友達にもひとり親の子がいて、そういう人たちの苦労が少しでも減るといいなと思うから。
7	親が1人だからと、若いときから(中高生)仕事をしないといけないという環境はよくないから(その子が夢をあきらめることがないように)。
8	親が両方いる家庭と差が生まれてはいけないから。
9	ひとり親だと子育てが大変だと思うし、子育てをしているとお金が沢山必要になると思ったから。
10	親が1人で子育ても仕事もしなきゃいけないのは辛いから。
11	その環境にいるから周りから対等にあつかわれなかったり、父の日、母の日なので作文を書きましょうとかあるけど、それが1番辛い。自然に言わざるを得なくなるし、1人親ということもあって、その分色々な面での負担が大きい。国はそこにもちゃんと目を向けるべき。
12	ひとり親だったりすることによって不自由になることを減らすためや、親の負担を減らすことによって、親のストレスが無くなり、子どもを虐待するケースが減ると思ったから。
13	親になかなか会えないことで、将来人間関係に支障をきたす可能性があり、社会に出て困難になるだろうから。
14	子供たちより、子供を育てる親の方が、悩み事が多く大変だと思っているから。
15	ひとり親で、今後の進学などに必要なお金が用意できるか心配だから。
16	ひとり親は、家事や仕事、育児などを全て一人で行っていることがある。そのような家庭は、精神的にも経済的にも親が辛い場合が多く、普通の家庭のように自由にできないことがあるかもしれないから。
17	自分の家が1人親なので、お母さんが「つかれた」と言う回数が減ればいいな、と思うから。自分の家と普通の家の差を感じたくないと思うから。
18	夜おそくまで仕事をして、子どもがさみしい思いを思う。子どもはさんかんびなどの行事に来てほしいと思ったから。
19	子供と親の関係を崩さないため、不自由なく過ごせるようにしてあげてほしいから。
20	一度ひとり親になりそのとき食事や家事、勉強などを自分でしないといけないことがあり大変だったから。妹の世話もあり祖母が家に来ることもあったから。

= 「障害のある子供やその家族への支援」の理由 (977 件) =

「障害のある子供やその家族への支援」の理由について、障害の有無にかかわらず平等に生きられる社会を実現してほしい、障害者に対する差別をなくす必要がある等の意見がみられる。

1	障害があっても平等に活躍して欲しいから。
2	信号機の音や点字ブロックが（歩道の）ない所があるから。
3	障害のある子の短期入所サービスや、手当等を増やして欲しい。放課後デイサービスの利用日数の上限を撤廃して欲しい。
4	街での対応と、過疎地域の対応にあまりにも差があるように感じます。
5	なりたくて障害があるわけじゃないのにかげでこそこそいう人をみたから。
6	発達障害に対する知識が少ない人間が多いのに対し、発達障害の人が多く理解がおいついていないため、心ない言葉や態度の人が多く、勉強や指導を充実させてほしい。自分も兄弟が発達障害で、同じような思いをしているから。
7	自分が障害をもったときに、仕組を知っていたら楽にすすめていけるから。
8	自然に違いを受け入れる世の中になってほしいから。
9	障害のある人が福祉サービスや医療を簡単に受けられるようにした方が良いから。
10	障害でいじめられたり受け入れにくくならないようにしてほしいから。
11	バリアフリーで障害があろうがなかろうが誰もが平等に暮らせる社会を作りたいから。
12	もっと障害のある人たちの話などを自分たちは聞くべきだと思ったから。
13	障害者だからといって受けいれない所が多いと思うから。
14	障害がある子供自身たいへんだと思うけどそれを支える家族もたいへんだと思うから、忙しさを減らして、楽しい時間を過ごしてほしいから。
15	障害がある人は義務教育を終えた後、自立が人一倍難しいと思うから。
16	障害があってずっと付き添うのも大変だから。
17	障害がある子供は親の介護がないと生きていけない。しかし親のほうが先に死んでしまうのでそのときに支援では遅いから、その前からヘルパーさんなどを用意して障害のある子供の親の負担を軽減してあげないといけないと思った。
18	十分に支援を受けていると感じられないから。
19	誰でも平等に好きなこと、したいことをすることができる権利があると思うから。
20	義務教育で、ハンデを持つ人を知る機会をもっと増やした方が良いと思うから。
21	まだ障害の人に対して自分とは関係ないものと考えている人が多いため、障害者の理解もかねて福祉サービスを発達させる。
22	学校を卒業しても、ちゃんと障害を持っている方々の自立などを支援してあげてほしいから。
23	障害のある人たちを知ってもらうための取り組みとして、募金をもう少しふやしたり、その障害について学べるしせつをふやしてほしいからです。
24	様々な個性を持った人が充実した生活ができたらいいなと思ったから。

# 1 等価世帯収入の算出

## IV 参考資料

### 1 等価世帯収入の算出

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする）。

○上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

●等価世帯収入の中央値：290.69万円、等価世帯収入の中央値の2分の1：145.345万円（注）

（注）世帯員1人当たりの値であり、世帯人員に割り戻した場合、2人世帯では約205.5万円、3人世帯では約251.7万円、4人世帯では約290.7万円となる。

#### 【小学5年生世帯】

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
7.91	1	0.0	0.0
8.33	1	0.0	0.0
10.21	5	0.1	0.1
11.18	9	0.1	0.2
12.5	10	0.1	0.3
14.43	9	0.1	0.4
26.52	1	0.0	0.4
28.35	3	0.0	0.5
30.62	2	0.0	0.5
33.54	10	0.1	0.6
37.5	8	0.1	0.7
43.3	12	0.1	0.8
44.19	1	0.0	0.9
47.25	2	0.0	0.9
51.03	11	0.1	1.0
53.03	7	0.1	1.1
55.34	3	0.0	1.1
55.9	16	0.2	1.3
62.5	39	0.5	1.8
66.14	2	0.0	1.8
71.15	1	0.0	1.8
71.44	5	0.1	1.9
72.17	37	0.4	2.3
75	1	0.0	2.4
78.26	21	0.3	2.6
85.04	11	0.1	2.8
87.5	43	0.5	3.3
88.39	28	0.3	3.6
91.86	15	0.2	3.8
100.62	30	0.4	4.2
101.04	48	0.6	4.8
103.94	6	0.1	4.8
108.33	1	0.0	4.8
112.27	14	0.2	5.0
112.5	41	0.5	5.5
122.84	17	0.2	5.7
122.98	44	0.5	6.3
123.74	13	0.2	6.4
125	2	0.0	6.4
129.9	45	0.5	7.0
132.58	12	0.1	7.1
132.68	25	0.3	7.5
134.4	1	0.0	7.5
137.5	69	0.8	8.3
141.74	19	0.2	8.5
145.34	49	0.6	9.1

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
150.21	3	0.0	9.2
150.26	8	0.1	9.3
153.09	33	0.4	9.7
158.33	3	0.0	9.7
158.77	47	0.6	10.3
159.1	23	0.3	10.5
160.63	14	0.2	10.7
162.5	95	1.2	11.9
167.71	96	1.2	13.0
167.94	7	0.1	13.1
173.51	34	0.4	13.5
173.93	1	0.0	13.6
179.53	21	0.3	13.8
183.33	1	0.0	13.8
187.5	176	2.1	16.0
187.64	51	0.6	16.6
190.07	134	1.6	18.2
193.92	64	0.8	19.0
194.45	27	0.3	19.3
207.88	38	0.5	19.8
212.43	167	2.0	21.8
212.5	190	2.3	24.1
216.51	67	0.8	24.9
216.67	3	0.0	25.0
224.54	91	1.1	26.1
229.81	24	0.3	26.4
237.5	298	3.6	30.0
245.37	49	0.6	30.6
245.68	25	0.3	30.9
245.97	297	3.6	34.5
265.17	11	0.1	34.7
265.36	94	1.1	35.8
274.24	86	1.0	36.8
275	476	5.8	42.6
283.33	4	0.1	42.7
283.47	20	0.2	42.9

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
290.69	354	4.3	47.2
300.42	1	0.0	47.2
300.52	16	0.2	47.4
306.19	67	0.8	48.3
316.67	1	0.0	48.3
317.54	103	1.3	49.5
321.27	28	0.3	49.9
325	473	5.8	55.6
332.04	1	0.0	55.6
335.41	298	3.6	59.3
335.88	11	0.1	59.4
347.01	49	0.6	60.0
350	2	0.0	60.0
359.07	15	0.2	60.2
371.23	7	0.1	60.3
375	431	5.2	65.5
375.28	128	1.6	67.1
380.13	216	2.6	69.7
387.84	43	0.5	70.3
388.91	4	0.0	70.3
396.86	30	0.4	70.7
424.85	132	1.6	72.3
425	343	4.2	76.4
428.66	68	0.8	77.3
433.01	121	1.5	78.7
459.62	6	0.1	78.8
469.57	291	3.5	82.4
475	280	3.4	85.8
490.75	75	0.9	86.7
525	526	6.4	93.1
530.33	3	0.0	93.1
548.48	49	0.6	93.7
601.04	3	0.0	93.8
606.22	124	1.5	95.3
671.75	2	0.0	95.3
742.46	6	0.1	95.4

無回答	382	4.6	100.0
-----	-----	-----	-------

# 1 等価世帯収入の算出

## 【中学2年生世帯】

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
9.45	3	0.0	0.0
10.21	5	0.1	0.1
11.18	4	0.1	0.2
12.5	5	0.1	0.2
14.43	8	0.1	0.3
17.68	6	0.1	0.4
28.35	3	0.0	0.5
30.62	2	0.0	0.5
33.54	3	0.0	0.5
37.5	16	0.2	0.8
43.3	17	0.2	1.0
44.19	2	0.0	1.0
47.25	2	0.0	1.1
51.03	3	0.0	1.1
53.03	12	0.2	1.3
55.9	14	0.2	1.5
62.5	30	0.4	1.9
66.14	4	0.1	2.0
71.44	4	0.1	2.0
72.17	37	0.5	2.5
78.26	18	0.3	2.8
79.55	2	0.0	2.8
85.04	3	0.0	2.9
86.96	1	0.0	2.9
87.5	25	0.4	3.2
88.39	16	0.2	3.5
91.86	6	0.1	3.6
97.23	2	0.0	3.6
100.62	43	0.6	4.2
101.04	35	0.5	4.7
102.77	1	0.0	4.7
103.94	1	0.0	4.7
108.33	2	0.0	4.8
112.27	14	0.2	5.0
112.5	36	0.5	5.5
114.9	4	0.1	5.5
118.59	3	0.0	5.6
122.84	9	0.1	5.7
122.98	32	0.4	6.1
123.74	31	0.4	6.6
125	6	0.1	6.6
129.9	51	0.7	7.4
132.58	2	0.0	7.4
132.68	21	0.3	7.7
134.4	1	0.0	7.7
137.5	53	0.8	8.5
141.74	6	0.1	8.5
145.34	65	0.9	9.5

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
150.21	2	0.0	9.5
150.26	3	0.0	9.5
153.09	26	0.4	9.9
158.33	3	0.0	9.9
158.77	42	0.6	10.5
159.1	32	0.4	11.0
160.63	7	0.1	11.1
162.5	74	1.1	12.1
167.71	63	0.9	13.0
167.94	5	0.1	13.1
173.51	31	0.4	13.6
173.93	1	0.0	13.6
179.53	14	0.2	13.8
187.5	118	1.7	15.4
187.64	56	0.8	16.2
190.07	74	1.1	17.3
193.92	54	0.8	18.0
194.45	25	0.3	18.4
207.88	29	0.4	18.8
212.43	123	1.7	20.5
212.5	150	2.1	22.7
216.51	44	0.6	23.3
224.54	80	1.1	24.4
229.81	8	0.1	24.5
237.5	221	3.1	27.7
245.37	61	0.9	28.5
245.68	23	0.3	28.9
245.97	222	3.1	32.0
250	2	0.0	32.0
265.17	12	0.2	32.2
265.36	57	0.8	33.0
274.24	73	1.0	34.0
275	386	5.5	39.5
283.33	1	0.0	39.5
283.47	12	0.2	39.7

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
290.69	228	3.2	42.9
300.52	16	0.2	43.1
306.19	55	0.8	43.9
316.67	2	0.0	43.9
317.54	110	1.6	45.5
321.27	18	0.2	45.7
325	395	5.6	51.3
332.04	1	0.0	51.3
335.41	223	3.2	54.5
335.88	9	0.1	54.6
347.01	54	0.8	55.4
350	2	0.0	55.4
359.07	19	0.3	55.7
371.23	8	0.1	55.8
375	345	4.9	60.7
375.28	91	1.3	62.0
380.13	214	3.0	65.0
387.84	32	0.5	65.5
388.91	8	0.1	65.6
396.86	23	0.3	65.9
424.85	158	2.2	68.1
425	301	4.3	72.4
428.66	82	1.2	73.6
433.01	81	1.1	74.7
459.62	3	0.0	74.8
469.57	306	4.3	79.1
475	250	3.5	82.6
490.75	47	0.7	83.3
525	519	7.4	90.6
530.33	5	0.1	90.7
548.48	63	0.9	91.6
601.04	7	0.1	91.7
606.22	149	2.1	93.8
671.75	2	0.0	93.8
742.46	1	0.0	93.8

無回答	434	6.2	100.0
-----	-----	-----	-------



## 2 調査票

## (1) 保護者票

以下はインターネットでご回答いただく場合にご使用ください。

ID	
パスワード	

## ひろしまけんこども せいかつ かん じつたいちょうさ 広島県子供の生活に関する実態調査 ほごしゃひょう 【保護者票】

- この調査は、小学5年生または中学2年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うため、広島県が実施するものです。調査の結果は、子育て世帯等への施策に役立てることを目的としています。
- この調査票は、小学5年生または中学2年生のお子さんの保護者の方がお答えください。
- この調査は無記名です。名前を書く必要はありません。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 令和5年7月10日（月曜日）までに答えてください。
- 「紙への記入による回答」「インターネットによる回答」のいずれかで回答してください。

### 紙への記入による回答方法

- ご回答は、回答の番号に○をつけてください。
- ご記入いただいた調査用紙は、緑色の封筒に入れ、他の人に見られないようにテープで封をして、お子さんに渡してください。
- 紙の調査票で回答した場合は、インターネットで回答いただく必要はありません。

インターネットによる回答方法は次へ→

### インターネット(パソコン・スマートフォン)による回答方法

- 下の URL にアクセスするか、二次元バーコードを読み取り、回答してください。
- 回答する場合には、表紙の右上の ID とパスワードを入力して回答してください。
- インターネットで回答した場合は、紙の調査票を回答いただく必要はありません。

URL : <https://en.surece.co.jp/p.life23>



※ID、パスワードは、回答の重複を防ぐために使用するもので、  
個人を特定するものではありません。

- 調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

(お問合せ先情報)

ひろしまけんこどもらいあうえんか  
広島県子供未来応援課 (9:00~17:00 土日・祝日を除く)

電話 : 082-513-3171 FAX : 082-502-3674

Eメール : [fukodomo@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:fukodomo@pref.hiroshima.lg.jp)

ご協力をお願いします!



この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生又は中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

**問1** お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1 母親	2 父親
3 祖父母	4 その他

**問2** あなたがお住まいの市町を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 広島市	2 呉市	3 竹原市	4 三原市
5 尾道市	6 福山市	7 府中市	8 三次市
9 庄原市	10 大竹市	11 東広島市	12 廿日市市
13 安芸高田市	14 江田島市	15 府中町	16 海田町
17 熊野町	18 坂町	19 安芸太田町	20 北広島町
21 大崎上島町	22 世羅町	23 神石高原町	24 広島県外

**問3** お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	h) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	3 3人
2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	4 4人
e) 姉・兄	対象のお子さん (本人)	f) 妹・弟	g) その他	5 5人
0 いない	1人	0 いない	0 いない	6 6人
1 1人		1 1人	1 1人	7 7人
2 2人		2 2人	2 2人	8 8人
3 3人		3 3人	3 3人	9 9人
4 4人以上		4 4人以上	4 4人以上	10 10人以上

**問4** お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。  
(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

母親

歳

父親

歳

**問5** お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。  
(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- |   |               |   |               |
|---|---------------|---|---------------|
| 1 | お子さんの母親が単身赴任中 | 2 | お子さんの父親が単身赴任中 |
| 3 | その他           | 4 | 単身赴任中の者はいない   |

**問6** お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。  
(あてはまるもの1つに○)

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 結婚している <small>(再婚や事実婚を含む。)</small> |
| 2 | 離婚                                 |
| 3 | 死別                                 |
| 4 | 未婚                                 |
| 5 | わからない                              |
| 6 | いない                                |

**問7** 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。  
 また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 取り決めをしており、受け取っている     |
| 2 | 特に取り決めはしていないが、受け取っている |
| 3 | 取り決めをしているが、受け取っていない   |
| 4 | 取り決めをしておらず、受け取っていない   |

**問8** ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1 | 日本語のみを使用している              |
| 2 | 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い |
| 3 | 日本語以外の言語を使うことが多い          |

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
中学	1	1
中学、高校	2	2
中学、高校、専門学校	3	3
中学、5年制の高等専門学校	4	4
中学、高校、短大	5	5
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、 大学	6	6
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、 大学、大学院	7	7
その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

問10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	4	4
働いていない（専業主婦／主夫を含む。）	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

a, b いずれかで5を選んだ場合は問11に進んでください。

5

↓  
**問 11** 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。  
 (a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したいため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

**問 12** お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 認可保育所・認定こども園
- 2 その他の教育・保育等の施設
- 3 親・親族以外の個人
- 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
- 5 その他

**問 13** お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 幼稚園・認可保育所・認定こども園
- 2 その他の教育・保育等の施設
- 3 親・親族以外の個人
- 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
- 5 その他



問 14 あなたとお子さんの<sup>こ</sup>関わり方<sup>かか</sup>について、<sup>かた</sup>次のようなこと<sup>つぎ</sup>にどれくらいあてはまりますか。

(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない どちらかといえば、	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の <sup>じゆう</sup> 視 <sup>しちゆう</sup> 聴 <sup>じかんどう</sup> 時間等の ルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように <sup>すす</sup> 勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強 <sup>べんぎよう</sup> や成績 <sup>せいせき</sup> のことについて話 <sup>はなし</sup> をして くれる	1	2	3	4

問 15 あなたは、次のようなことをどの程度<sup>ていど</sup>していますか。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	よく参加 <sup>さんか</sup> している	ときどき参加 <sup>さんか</sup> している	あまり参加 <sup>さんか</sup> していない	まったく参加 <sup>さんか</sup> していない
a) 授業 <sup>じゆぎやう</sup> 参観 <sup>さんかん</sup> や運動会 <sup>うんどうかい</sup> などの学校 <sup>がっこう</sup> 行事 <sup>ぎやうじ</sup> への参加 <sup>さんか</sup>	1	2	3	4
b) PTA活動 <sup>かつどう</sup> や保護者会 <sup>ほごしやかい</sup> 、放課後 <sup>ほうかご</sup> 学習 <sup>がくしゆ</sup> 支援 <sup>しえん</sup> 等のボラ ンティアなどへの参加 <sup>さんか</sup>	1	2	3	4

問 16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

- |   |  |
|---|--|
| 1 | ちゅうがく<br>中学  |
| 2 | ちゅうがく こうこう<br>中学、高校  |
| 3 | ちゅうがく こうこう せんもんがっこう<br>中学、高校、専門学校  |
| 4 | ちゅうがく ねんせい こうとうせんもんがっこう<br>中学、5年制の高等専門学校                                 |
| 5 | ちゅうがく こうこう だんだい<br>中学、高校、短大  |
| 6 | ちゅうがく こうこう ねんせい こうとうせんもんがっこう だいがく<br>中学、高校 (または5年制の高等専門学校)、大学            |
| 7 | ちゅうがく こうこう ねんせい こうとうせんもんがっこう だいがく だいがくいん<br>中学、高校 (または5年制の高等専門学校)、大学、大学院 |
| 8 | た<br>その他   |
| 9 | まだわからない → 問 18 に進んでください。   |

問 17 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

(1～5については、あてはまるものすべてに○)

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | お子さんがそう希望しているから |
| 2 | 一般的な進路だと思うから    |
| 3 | お子さんの学力から考えて    |
| 4 | 家庭の経済的な状況から考えて  |
| 5 | その他             |
| 6 | 特に理由はない         |



問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

(a~c それぞれについて、1~3のあてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

(①~⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに 関する相談	b) 重要な 事柄の相談	c) いざと いう時の お金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

①~⑦のあてはまるものに○を記入してください。

問 19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ゆとりがある
- 3 ふう
- 4 苦しい
- 5 大変苦しい

**問 20** 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※2022年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利息、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。)
- ・その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)

1	50万円未満	9	400~450万円未満
2	50~100万円未満	10	450~500万円未満
3	100~150万円未満	11	500~600万円未満
4	150~200万円未満	12	600~700万円未満
5	200~250万円未満	13	700~800万円未満
6	250~300万円未満	14	800~900万円未満
7	300~350万円未満	15	900~1000万円未満
8	350~400万円未満	16	1000万円以上

**問 21** あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

(あてはまるもの1つに○)

- |   |          |
|---|----------|
| 1 | よくあった    |
| 2 | ときどきあった  |
| 3 | まれにあった   |
| 4 | まったくなかった |

問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- |   |            |
|---|------------|
| 1 | 電気料金       |
| 2 | ガス料金       |
| 3 | 水道料金       |
| 4 | あてはまるものはない |

問 24 次のa～fの質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

**問 25** 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない ←————→ 10 : 十分に満足している										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

**問 26** あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前(2019年以前)と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間(2020年から2022年)では、どのように変わりましたか。(a~fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増えた	減った	変わらない
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をすること	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 27 あなたの<sup>かてい</sup>ご<sup>せいかつ</sup>家庭の生活は、<sup>しんがた</sup>新型コロナウイルス<sup>かんせんしやう</sup>感染症が<sup>かくだい</sup>拡大していた<sup>まかん</sup>期間（2020年<sup>ねん</sup>から2022年）と<sup>げんざい</sup>現在を比べて、<sup>か</sup>どのように<sup>か</sup>変わりましたか。

(a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増 <sup>か</sup> えた	減 <sup>へ</sup> った	変 <sup>か</sup> わらない
a) <sup>せたいぜんたい</sup> 世帯 <sup>しやうにやう</sup> 全体の <sup>へんか</sup> 収入 <sup>へんか</sup> の変化	1	2	3
b) <sup>せいかつ</sup> 生活に <sup>ひつやう</sup> 必要な <sup>ししゆつ</sup> 支出 <sup>へんか</sup> の変化	1	2	3
c) <sup>かね</sup> お金が <sup>たり</sup> 足りなくて、 <sup>ひつやう</sup> 必要な <sup>しよくりやう</sup> 食料 <sup>いらく</sup> や衣服 <sup>か</sup> を買えないこと	1	2	3
d) <sup>こ</sup> お子さんと <sup>はなし</sup> 話を <sup>する</sup> すること	1	2	3
e) <sup>かてい</sup> 家庭内で <sup>い</sup> 言い争 <sup>あらず</sup> ったり、 <sup>あ</sup> もめごとが <sup>お</sup> 起こること	1	2	3
f) <sup>じしん</sup> あなた自身 <sup>らあん</sup> がイライラ <sup>かん</sup> や不安 <sup>きらん</sup> を感じたり、 <sup>しず</sup> 気分が沈むこと	1	2	3

問 28 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～eそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・自立支援センター ※5
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③	③
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

①～⑤のあてはまるもの1つに○

さんこう  
(参考)

- ※1 就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
- ※2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)
- ※5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

問 29 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。  
 (1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実  
 (例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける  
 (例) ・基礎的な学力の定着  
 ・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育てで家庭への支援の充実  
 (例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実  
 ・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実  
 (例) 保育所や放課後児童クラブの充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備  
 (例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする  
 ・パソコンを使って自宅で仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保  
 (例) ・授乳室や子供向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす  
 ・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)  
 ・子供たちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子供への支援  
 (例) ・施設での受け入れや退所後の自立支援  
 ・里親やファミリーホーム(5～6人の子供を里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子供やその家族への支援  
 (例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障害のある子供やその家族への支援  
 (例) ・障害の種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み  
 ・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない





**問 30** 前問で1～10と答えた場合、理由があれば教えてください。特に理由がない場合は、記載しなくても構いません。

選んだ番号	理由 (自由に記載)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



## (2) 小学生票

以下はインターネットで回答するときに使ってください。

ID

パスワード

## 広島県子供の生活に関する実態調査

### しょうがくせいひょう 【小学生票】

- これは、広島県の子供の生活状況などを調べるための調査で、広島県が実施しています。
- この調査票の回答は、あなたが自分で答えてください。おうちの方や学校の先生には見せる必要はありませんので、安心して答えてください。
- 名前は、書かないでください。
- 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- この調査票は調査の目的以外には使用しません。また、この調査票では名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- 令和5年7月10日（月曜日）までに答えてください。
- 「紙への記入による回答」「インターネットによる回答」のどちらかで回答してください。

#### 紙への記入による回答方法

- 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにしてください。
- 全部書き終わったら、自分で赤色の封筒に入れて、テープでとじてください。それを、おうちの方の封筒といっしょに、大きい封筒に入れて、先生の指示にしてください。
- 紙の調査票で回答した場合は、インターネットでの回答は必要ありません。

インターネットによる回答方法は次へ→

インターネット(パソコン・スマートフォン)による回答方法

- 下のURLにアクセスするか、二次元バーコードを読み取り、回答してください。
- 回答する場合には、表紙の右上のIDとパスワードを入力して回答してください。
- インターネットで回答した場合は、調査票を先生に提出する必要はありません。

URL : <https://en.surece.co.jp/k.life23>



※ID、パスワードは、回答の重複を防ぐために使用するもので、  
個人を特定するものではありません。

- 調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

(お問合せ先情報)

広島県子ども未来応援課 (9:00~17:00 土日・祝日を除く)

電話 : 082-513-3171 FAX : 082-502-3674

Eメール : [fukodomo@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:fukodomo@pref.hiroshima.lg.jp)

ご協力をお願いします!



問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。  
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	1時間以上、 2時間より少ない	2時間以上、 3時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
  - 2 だいたいわかる
  - 3 教科によってはわからないことがある
  - 4 わからないことが多い
  - 5 ほとんどわからない
- ⇒ 問7に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 1・2年生のころ
- 2 3年生のころ
- 3 4年生のころ
- 4 5年生になってから

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 中学                          |
| 2 | 中学、高校                       |
| 3 | 中学、高校、専門学校                  |
| 4 | 中学、5年制の高等専門学校               |
| 5 | 中学、高校、短大                    |
| 6 | 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学     |
| 7 | 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院 |
| 8 | その他                         |
| 9 | まだわからない → 問9に進んでください。       |

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- |   |                    |
|---|--------------------|
| 1 | 希望する学校や職業があるから     |
| 2 | 自分の成績から考えて         |
| 3 | 親がそう言っているから        |
| 4 | 兄・姉がそうしているから       |
| 5 | まわりの先輩や友達がそうしているから |
| 6 | 家にお金がないと思うから       |
| 7 | 早く働く必要があるから        |
| 8 | その他                |
| 9 | とくに理由はない           |

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校のクラブ活動に参加していますか。  
(あてはまるもの1つに○)

1	参加している	→ 問11に進んでください。
2	参加していない	

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。  
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	入りたいクラブがないから
2	塾や習い事が忙しいから
3	費用がかかるから
4	家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5	一緒にいる友達がないから
6	その他

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。  
(a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5~6日	週3~4日	ほとんど食べない 週1~2日
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問 12 あなたは、ふだん(げつようび きんようび)、ほぼ同じ時間(おな じかん ね)に寝ていますか。

(あてはまるもの1つに○)

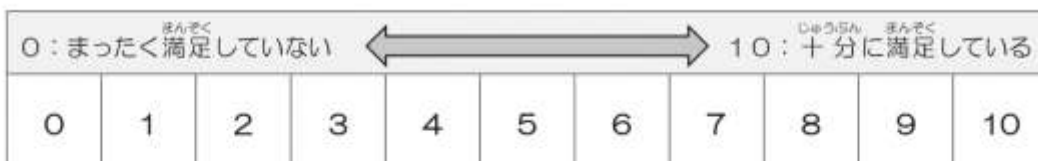
- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問 13 あなたにこま困っていることやなや悩みごとがあるとき、あなたが相談そうだんできると思う人おる ひとはだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1 おや 親
- 2 きょうだい
- 3 そ ぶ ぼ 祖父母など
- 4 がっこう せんせい 学校の先生
- 5 がっこう ともだち 学校の友達
- 6 がっこうがい ともだち 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 た おとな がくどうほいくじょ ひと じゅく なら こと せんせい ちいき ひと その他の大人(学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など)
- 9 し お ひと ネットで知り合った人
- 10 だれにも しょうだん しょうだん だれにも相談できない、相談したくない

問 14 全体として、あなたは最近(さいきん せいかつ)の生活(まんとく)に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足(まんとく)していない)から「10」(十分に満足(じゅうぶん まんとく)している)の数字(すうじ こと)で教えてください。

(あてはまるもの1つに○)





**問 15** 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人といる方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりて、すぐにおびえたりする。	1	2	3



問 16 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前（小学1年生の時）と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学2年生から小学4年生の時）では、どのように変わったと思いますか。（a～mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校のクラブ活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など)	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数 (映画、水族館、博物館、美術館など)	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

**問 17** あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学2年生から小学4年生の時）と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

(a~mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校のクラブ活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など)	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数(映画、水族館、博物館、美術館など)	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 18 あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(個数について 0~8 のどれか 1 つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、おされる、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を壊なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

- 0 ひとつもあてはまらない (0個)
- 1 1個あてはまる
- 2 2個あてはまる
- 3 3個あてはまる
- 4 4個あてはまる
- 5 5個あてはまる
- 6 6個あてはまる
- 7 7個あてはまる
- 8 すべてあてはまる (8個)

※上のようなことで、つらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口にご相談してみてください。

- LINE アカウント「こころのライン相談@広島県」
- ヤングテレホン広島 (082-228-3993)
- 「チャイルドライン」(0120-99-7777)
- 24時間子供SOSダイヤル (0120-0-78310)

**問 19** あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いませんか。

(a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		あれば利用したいと思っ	思わない	今後利用したいかどっか分からない
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を通すことができる場所 (放課後児童クラブや放課後児童教室、児童館など)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

**問 20** 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

(1~8 については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

問 21 あなたはヤングケアラーという言葉<sup>ことば</sup>を聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人<sup>おとな おこな</sup>が行うような家事<sup>かじ</sup>や家族<sup>かぞく</sup>の世話<sup>せわ</sup>などを日常的<sup>にちじょうてき</sup>に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利<sup>けんり</sup>が守られていないと思われる18歳未満<sup>さいみまん</sup>の子どものをいいます。

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 聞いたことがあり、内容 <sup>ないよう</sup> も知っている |
| 2 | 聞いたことはあるが、よく知らない                   |
| 3 | 聞いたことはない                           |

問 22 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- |   |         |
|---|---------|
| 1 | あてはまる   |
| 2 | あてはまらない |
| 3 | わからない   |

問 23 家族<sup>かぞく</sup>の中<sup>なか</sup>にあなたが世話<sup>せわ</sup>(※)をしている人<sup>ひと</sup>はいますか。

(2～7については、あてはまるものすべてに○)

※この質問<sup>しつもん</sup>でいう「世話<sup>せわ</sup>」とは、ふつう大人<sup>おとな おこな</sup>が行うような家事<sup>かじ</sup>や家族<sup>かぞく</sup>の世話<sup>せわ</sup>のことを指<sup>さ</sup>します。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 世話 <sup>せわ</sup> をしている人 <sup>ひと</sup> はいない      |
| 2 | 母親 <sup>ははおや</sup> の世話 <sup>せわ</sup> をしている      |
| 3 | 父親 <sup>ちち</sup> の世話 <sup>せわ</sup> をしている        |
| 4 | 祖母 <sup>そぼ</sup> の世話 <sup>せわ</sup> をしている        |
| 5 | 祖父 <sup>そふ</sup> の世話 <sup>せわ</sup> をしている        |
| 6 | きょうだいの世話 <sup>せわ</sup> をしている                    |
| 7 | その他の家族 <sup>た かぞく</sup> の世話 <sup>せわ</sup> をしている |

問 24 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。  
 (1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実  
 (例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける  
 (例) ・基礎的な学力の定着  
 ・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育てで家庭への支援の充実  
 (例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実  
 ・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実  
 (例) 保育所や放課後児童クラブの充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備  
 (例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする  
 ・パソコンを使って自宅です仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保  
 (例) ・授乳室や子供向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす  
 ・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)  
 ・子供たちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子供への支援  
 (例) ・施設での受け入れや退所後の自立支援  
 ・里親やファミリーホーム(5～6人の子供を里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子供やその家族への支援  
 (例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障害のある子供やその家族への支援  
 (例) ・障害の種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み  
 ・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない



**問 25** 前問で1～10と答えた場合、理由があれば教えてください。特に理由がない場合は、記載しなくても構いません。

選んだ番号	理由（自由に記載）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



## (3) 中学生票

以下はインターネットで回答するときに使ってください。

ID

パスワード

## 広島県子供の生活に関する実態調査

### 【中学生票】

- これは、広島県の子供の生活状況などを調べるための調査で、広島県が実施しています。
- この調査票の回答は、あなたが自分で答えてください。おうちの方や学校の先生には見せる必要はありませんので、安心して答えてください。
- 名前は、書かないでください。
- 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- この調査票は調査の目的以外には使用しません。また、この調査票では名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- 令和5年7月10日（月曜日）までに答えてください。
- 「紙への記入による回答」「インターネットによる回答」のどちらかで回答してください。

#### 紙への記入による回答方法

- 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにしたがってください。
- 全部書き終わったら、自分で黄色の封筒に入れて、テープでとじてください。それを、おうちの方の封筒といっしょに、大きい封筒に入れて、先生の指示にしたがって出してください。
- 紙の調査票で回答した場合は、インターネットでの回答は必要ありません。

インターネットによる回答方法は次へ→



### インターネット(パソコン・スマートフォン)による回答方法

- 下のURL にアクセスするか、二次元バーコードを読み取り、回答してください。
- 回答する場合には、表紙の右上のID とパスワードを入力して回答してください。
- インターネットで回答した場合は、調査票を先生に提出する必要はありません。

URL : <https://en.surece.co.jp/k.life23>



※ID、パスワードは、回答の重複を防ぐために使用するもので、個人を特定するものではありません。

- 調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

#### (お問合せ先情報)

広島県子ども未来応援課 (9:00~17:00 土日・祝日を除く)

電話 : 082-513-3171 FAX : 082-502-3674

Eメール : [fukodomo@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:fukodomo@pref.hiroshima.lg.jp)

ご協力をお願いします!



問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。  
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	2時間より少ない	1時間以上、 3時間より少ない	2時間以上、 3時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6		
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6		

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
  - 2 だいたいわかる
  - 3 教科によってはわからないことがある
  - 4 わからないことが多い
  - 5 ほとんどわからない
- ⇒ 問7に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがありましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 小学1・2年生のころ
- 2 小学3・4年生のころ
- 3 小学5・6年生のころ
- 4 中学1年生のころ
- 5 中学2年生になってから

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学
- 2 中学、高校
- 3 中学、高校、専門学校
- 4 中学、5年制の高等専門学校
- 5 中学、高校、短大
- 6 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- 7 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- 8 その他
- 9 まだわからない → 問9に進んでください。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達がそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他
- 9 とくに理由はない

**問9** あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。  
(あてはまるもの1つに○)

1	参加している	→ 問11に進んでください。
2	参加していない	

**問10** 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。  
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	入りたいクラブ・部活動がないから
2	塾や習い事が忙しいから
3	費用がかかるから
4	家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5	一緒にいる友達がないから
6	その他

**問11** あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。  
(a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5~6日	週3~4日	ほとんど食べない	週1~2日、
a) 朝食	1	2	3	4	
b) 夕食	1	2	3	4	
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4	

問 12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

(あてはまるもの1つに○)

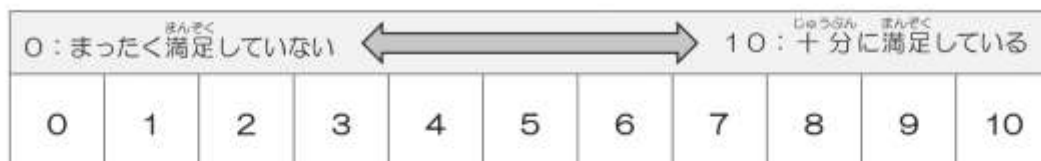
- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問 13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1 親
- 2 きょうだい
- 3 祖父母など
- 4 学校の先生
- 5 学校の友達
- 6 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など)
- 9 ネットで知り合った人
- 10 だれにも相談できない、相談したくない

問 14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。

(あてはまるもの1つに○)



**問 15** 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子供たちなど)。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人といる方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりて、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問 16 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前（小学4年生の時）と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学5年生から中学1年生の時）では、どのように変わったと思いますか。（a～m それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など)	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数 (映画、水族館、博物館、美術館など)	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3



問 17 あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間（小学5年生から  
 中学1年生の時）と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

(a~mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること	1	2	3
h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
i) 家族で外食する回数	1	2	3
j) 家族で旅行する回数	1	2	3
k) 野外レジャーに行く回数 (キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など)	1	2	3
l) 屋内施設に行く回数(映画、水族館、博物館、美術館など)	1	2	3
m) 家族で家で過ごす時間	1	2	3

問 18 あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(個数について 0~8 のどれか 1 つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、おされる、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を壊なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

- 0 ひとつもあてはまらない (0個)
- 1 1個あてはまる
- 2 2個あてはまる
- 3 3個あてはまる
- 4 4個あてはまる
- 5 5個あてはまる
- 6 6個あてはまる
- 7 7個あてはまる
- 8 すべてあてはまる (8個)

※上のようなことで、つらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや次の窓口に相談してみてください。

- LINE アカウント「こころのライン相談@広島県」 ●ヤングテレホン広島 (082-228-3993)
- 「チャイルドライン」(0120-99-7777) ●24時間子供SOS ダイアル (0120-0-78310)

**問 19** あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いませんか。

(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		あれば利用したいと思っ	思わない	今後利用したいか とっか分からぬ
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を通じることができる場所 (公民館や図書館など、勉強などができる場所)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

**問 20** 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

(1～8 については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

問 21 あなたはヤングケアラーという言葉<sup>ことば</sup>を聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

※ヤングケアラーとは、ふつう大人<sup>おとな おこな</sup>が行<sup>か</sup>うような家事<sup>かじ</sup>や家族<sup>かぞく</sup>の世話<sup>せわ</sup>などを日常<sup>にちじょう</sup>的に行<sup>おこな</sup>っていることにより、自分<sup>じぶん</sup>のやりたいことができないなど、子ども<sup>こ</sup>の権利<sup>けんり</sup>が守<sup>まも</sup>られていないと思<sup>おも</sup>われる18歳未満<sup>さいみまん</sup>の子どもをいいます。

- 1 聞いた<sup>き</sup>ことがあり、内容<sup>ないよう</sup>も知<sup>し</sup>っている
- 2 聞いたことはあるが、よく知<sup>し</sup>らない
- 3 聞いたことはない

問 22 あなたは自分<sup>じぶん</sup>が「ヤングケアラー」にあてはまると思<sup>おも</sup>いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 あてはまる
- 2 あてはまらない
- 3 分<sup>わ</sup>からない

問 23 家族<sup>かぞく</sup>の中<sup>なか</sup>にあなたが世話<sup>せわ</sup>(※)をして<sup>しよ</sup>いる人<sup>ひと</sup>はいますか。

(2～7については、あてはまるものすべてに○)

※この質問<sup>しつもん</sup>でいう「世話<sup>せわ</sup>」とは、ふつう大人<sup>おとな おこな</sup>が行<sup>か</sup>うような家事<sup>かじ</sup>や家族<sup>かぞく</sup>の世話<sup>せわ</sup>のことを指<sup>さ</sup>します。

- 1 世話<sup>せわ</sup>をして<sup>しよ</sup>いる人<sup>ひと</sup>はいない
- 2 母親<sup>ははおや</sup>の世話<sup>せわ</sup>をして<sup>しよ</sup>いる
- 3 父親<sup>ちちおや</sup>の世話<sup>せわ</sup>をして<sup>しよ</sup>いる
- 4 祖母<sup>おば</sup>の世話<sup>せわ</sup>をして<sup>しよ</sup>いる
- 5 祖父<sup>おじ</sup>の世話<sup>せわ</sup>をして<sup>しよ</sup>いる
- 6 きょうだい<sup>せわ</sup>の世話<sup>せわ</sup>をして<sup>しよ</sup>いる
- 7 その他<sup>た</sup>の家族<sup>かぞく</sup>の世話<sup>せわ</sup>をして<sup>しよ</sup>いる

問 24 あなたは、広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。  
 (1～10については、あてはまるもの上位3つまでに○。11を選ぶ場合は1つのみ○)

- 1 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実  
 (例) 幼稚園・保育所・認定こども園などでの質の高い教育 など
- 2 小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける  
 (例) ・基礎的な学力の定着  
 ・勉強以外の思考力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばす など
- 3 妊娠期からの子育てで家庭への支援の充実  
 (例) ・妊娠や子育てに関することをいつでも気軽に相談できる場の充実  
 ・産婦人科や小児科などの医療の充実 など
- 4 家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実  
 (例) 保育所や放課後児童クラブの充実 など
- 5 子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備  
 (例) ・育児や子育てのための休暇をとりやすくする  
 ・パソコンを使って自宅です仕事をしたり、時間や場所を有効に活用する働き方など
- 6 子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保  
 (例) ・授乳室や子供向けの無料サービスなど、子連れで訪れやすい店や施設を増やす  
 ・公園施設や公共交通機関のバリアフリー化(子連れでもスムーズに移動できたり、色んな人が使いやすくする)  
 ・子供たちへの防災・防犯・交通安全の教育 など
- 7 児童虐待(体罰や暴言、育児放棄等)の防止
- 8 家族と暮らすことのできない子供への支援  
 (例) ・施設での受け入れや退所後の自立支援  
 ・里親やファミリーホーム(5～6人の子供を里親が養育)を増やす など
- 9 ひとり親の子供やその家族への支援  
 (例) 親の就業(仕事につくこと)や子育て、養育費や面会の取り決めなどへの支援
- 10 障害のある子供やその家族への支援  
 (例) ・障害の種類や程度に応じた医療や福祉サービスを受けられる仕組み  
 ・卒業後の自立や社会参加に向けた学習支援や学習環境の整備
- 11 わからない



**問 25** 前問で1～10と答えた場合、理由があれば教えてください。特に理由がない場合は、記載しなくても構いません。

選んだ番号	理由 (自由に記載)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

名 称 広島県子供の生活に関する実態調査 報告書  
発 行 広島県 健康福祉局 子供未来応援課  
所 在 地 〒730-8511 広島県広島市中区基町 10-52  
電 話 : 082-513-3171  
F A X : 082-502-3674  
E-mail : fukodomo@pref.hiroshima.lg.jp  
発行年月 令和6年3月